

Shukujiri No. 2 Site

# 宿尻第二遺跡

県道穴山バイパス建設に伴う

## 発掘調査報告書



2004

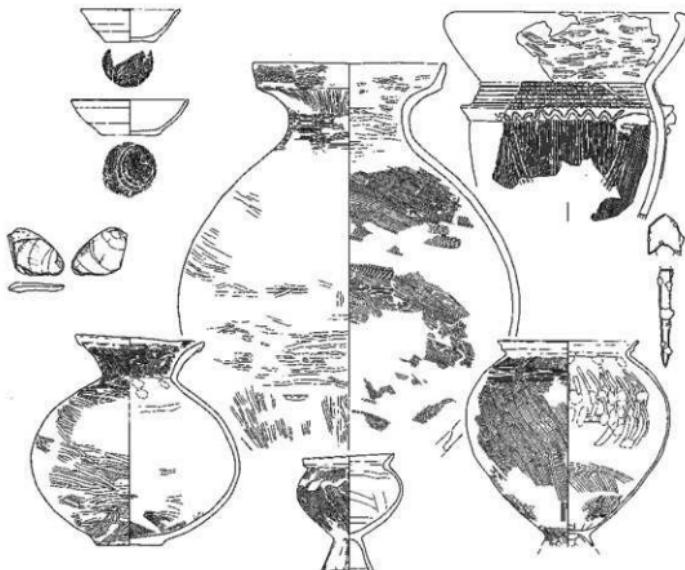
韮崎市教育委員会  
峡北地域振興局

Shukujiri No. 2 Site

# 宿尻第二遺跡

県道穴山バイパス建設に伴う

## 発掘調査報告書



## 序 文

韭崎市は武田発祥の地であり、武田氏ゆかりの史跡が数多く残っております。武田氏最後の城である新府城跡や関連のある武田八幡宮、願成寺、白山城跡や能見城跡があり、また治水遺構として勅使川旧堤防跡（将棋頭）など挙げ始めれば枚挙に暇のないほどであります。

このような中世以降の史跡もさることながら、中世以前の遺跡も数多く残っております。宿尻第2遺跡の所在する七里岩台地では、山梨県の考古学黎明期に調査され、博物館第一号をもつ坂井遺跡があります。近接する古墳時代の集落跡であります坂井南遺跡が1980年代に調査され、県内外から注目を集めております。宿尻第2遺跡も坂井南遺跡と同じく古墳時代の集落跡でありますが、遺跡の残りは類まれに良好であり、当時の建物の状況などに迫りうる資料が発掘調査の中で確認されています。

発掘調査地点は県道穴川バイパスとなり二度と見ることはできませんが、調査記録の集大成である本書により韭崎市の古墳時代の様子が浮かび上るとともに、また問題点なども浮き彫りになることでしょう。それらについても当教育委員会では引き続き検討を加えていく所存であります。

遺跡の調査から本書の刊行が多くの方々のご理解とご協力の中で遅滞なく進みましたことをこの場をかりて感謝申し上げます。

韭崎市教育委員会  
教育長 輿 石 薫

## 例

- 1 本書は県道穴山バイパス建設に伴い実施した菲崎市穴山町地内に所在する宿尻第2遺跡発掘調査報告書である。発掘調査は平成14年度に、整理作業を平成15年度に実施した。
- 2 発掘調査ならびに整理作業は岐北地域振興局と菲崎市教育委員会との間に協定を締結し、菲崎市教育委員会が事業を実施した。
- 3 本書の編集は間間俊明がおこなった。執筆は第4章第1節は株式会社パリノ・サーヴェイが、同章第2節は河西学氏（山梨文化財研究所）が、同章第3節は内山幸子氏（日本学術振興会 特別研究員）が、その他を間間がおこなった。
- 4 発掘調査・整理作業に次の業務を委託した。  
航空写真撮影・測量：㈱フジテクノ  
炭化種実等分析：㈱パリノ・サーヴェイ  
胎土分析：㈱山梨文化財研究所
- 5 本書で使用した地図は国土交通省国土地理院発行の地形図（1:25,000・1:50,000）、地勢図（1:200,000）、菲崎市発行の都市計画図（1:2,500・1:5,000）、菲崎市所有の地籍図（1:4,000）を原図に使用している。
- 6 本調査に関わる出土品・諸記録は菲崎市教育委員会において永久保管されている。
- 7 発掘調査から本報告書刊行までの間、以下の諸氏・諸機関から多大なご助言、ご教示、ご配慮を

## 言

- 賜った。感謝申し上げたい。（順不同・敬称略）  
石神孝子・大山祐喜・小野正文・小林健二・佐野隆・長谷川誠・平野修・村松佳幸・森原明廣・渡辺旗彦・岐北地域振興局道路課・山梨県教育委員会学術文化財課・山梨県埋蔵文化財センター
- 8 組織 菲崎市教育委員会  
教育課 生涯学習推進室  
教育長 奥石 嘉  
課長 新藤 稔  
室長 横森武千代（前任 長野栄太）  
リーダー 山下孝司  
調査担当 間間俊明・秋山圭子（H14年度退職）  
調査参加者（順不同・敬称略）阿部由美子・阿部恵美子・阿部純一・石原ひろみ・上野理江・上野慎司・内山こずえ・漆原弘子・小野初美・加藤歩美・木内純子・奥石翔一・土屋啓子・中島聰・深沢真知子・藤原和美・三井博貴・功力貴也・功力勇樹・塙内裕司・長田愛子・片山和江・齊藤浪江・鶴津佐代子・比奈田可つえ・細川二三子・守屋道子・守屋真弓・山下千代子  
整理作業参加者（順不同・敬称略）阿部由美子・阿部恵美子・阿部純一・石原ひろみ・上野理江・上野慎司・内山こずえ・漆原弘子・小野初美・加藤歩美・木内純子・奥石翔一・土屋啓子・中島聰・深沢真知子・藤原和美・三井博貴

## 凡

- 1 遺跡全体図をはじめとする測量データのX・Y座標数値は、平面直角第8系に基づく値である。各遺構平面図中の北を示す方位は、すべて座標上の北を示す。磁針方位は西に約6度傾く。
- 2 遺構および遺物の縮尺は原則として次のとおりである。  
遺構 積穴住居跡（使用時） 1:60  
積穴住居跡（完掘時・遺物ドット図） 1:90  
土坑・炉・柱穴 1:60、1:40又は1:20  
溝・全体図 任意
- 3 遺物 完形・図上復元土器 1:4又は1:6  
小型石器 2:3  
大型石器 1:3又は1:4

## 例

- その他 任意
- 3 積穴住居跡内遺物出土状況図のポイントは遺構内の層位を示す。▲：直上層、■：上層、△：下層、★：床面直上、○：付属施設覆土である。
  - 4 積穴住居跡の一点破線は堅敏な貼床範囲を示す。ただし、全面に渡る場合にはあえて図示していない。
  - 5 やや薄いスクリントーンは炉もしくは炉内の赤化範囲を示し、濃いものは炭化物を多量に含む土壤範囲を示す。
  - 6 据立柱建物跡の柱相関関係図のラインは推定線である。

# 目 次

序 例 凡 目	文 言 例 次	
第1章	発掘調査の経緯と概要	1
	第1節 調査経過	1
	第2節 調査概要	1
第2章	遺跡の環境	1
	第1節 自然環境	1
	第2節 歴史環境	1
第3章	発掘された遺構と遺物	7
	第1節 坪穴住居跡	7
	第2節 掘立柱建物跡	14
	第3節 土坑	16
	第4節 溝	17
	第5節 遺構外の遺物	18
第4章	自然科学分析	110
	第1節 2号坪穴住居跡内出土の炭化物	110
	第2節 土師器の胎土分析	111
	第3節 動物遺体について	116
第5章	成果と課題	118
	第1節 古墳時代前期の遺物について	118
	第2節 古墳時代前期の集落様相	122
	第3節 胡桃と桃の種子について	123

# 第1章 発掘調査の経緯と概要

## 第1節 調査経過

平成13年度に岐北地域振興局から主要地方道茅野小淵沢芦崎線穴山バイパス建設予定地の垂崎市穴山町字宿尻地内の埋蔵文化財包蔵地有無確認の依頼書が並崎市教育委員会へ提出された。教育委員会では有無確認調査を平成13年8月に実施し、その結果周知の埋蔵文化財包蔵地である宿尻遺跡の一部であることを確認した。現在中央線により遺跡が大きく分断されていることから、宿尻第2遺跡として新たに遺跡台帳に登録した。

平成14年度に岐北地域振興局と並崎市教育委員会の間で発掘調査に関する協定書を締結し、8月から現地での発掘調査を開始し、翌年2月に終了し、現地を引き渡した。出土品等の整理作業は平成15年度に実施した。

## 第2節 調査概要

バイパス建設業務進捗状況や発掘調査進行方法の関係から、調査範囲を便宜的に3区に区切り調査を

進めた。調査を円滑に進めるため、耕作土および客土を重機で掘り下げ、調査区内に一辺5mのグリッドを公共座標で設定し、遺物の出土する黒色土面から手作業により発掘を実施した。

調査区北側の範囲は、厚い客土のために遺存状況が良好であり、古代に堆積したと考えられる黒色土層が見られた。黒色土層中から平安時代・古墳時代の遺物が散見されたが、古代以前の遺構確認は困難であった。厚さ10から20cm程度の黒色土層を掘り下げ、暗褐色土が確認できたところで遺構の平面プランを確認することができた。

調査区中央は耕作により、北側で見られた黒色土層は攪拌されほとんど確認できない状況であった。暗褐色土層中で遺構の確認を行なったが、一部ソフトローム層面まで掘り下げて確認した地区もある。

調査区南側ではさらに耕作が著しく、耕作土をはいだ時点でソフトローム層からハードローム層面を検出する地区もあった。最南端では、台地が谷に向かい一段下がるが、西側に向かい古代の黒色土とは異なる灰色がかった黒色土が見られ、縄文時代早期の遺物を中心に包蔵していた。

# 第2章 遺跡の環境

## 第1節 自然環境

宿尻第2遺跡は八ヶ岳山麓から延びる芦崎岩屑流で構成される七里岩台地上に占地する。七里岩台地は小円頂丘が点々とみられ、その高台に遺跡が所在する。近隣では宿尻遺跡、伊藤塚遺跡、坂井遺跡や坂井南遺跡など枚挙に暇がない。

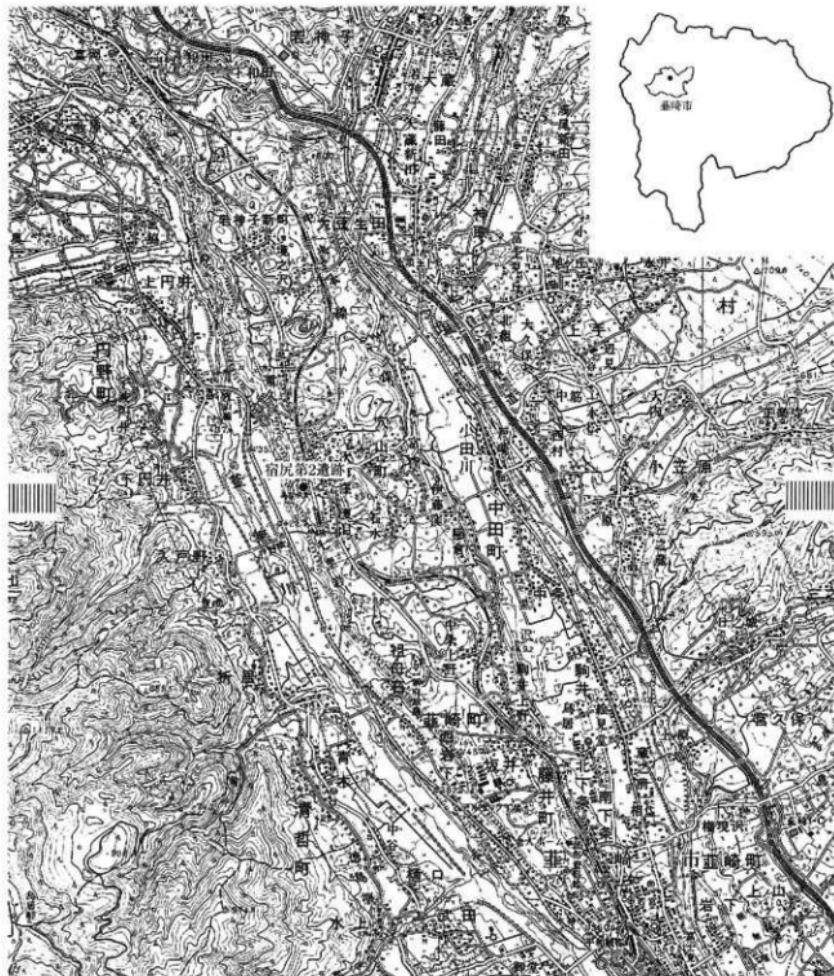
南方の能見山から流れる宿尻沢、北方の兜山から流れる沢に挟まれ、東から南西に向かい緩やかに傾斜する舌状台地上に位置する。西側は七里岩台地の断崖となっている(第4図)。沢幅は広くなく、七里岩の断崖に近いため地表面に常時水流があるわけではない。現在は宅地のほか畑地として土地利用がされている。東に茅ヶ岳、西に南アルプス鳳凰山、南に富士山そして北に八ヶ岳を臨むことのできる場所である。七里岩台地上では遺跡の所在する穴山町

あたりで気象の変化があり、北と南で冬は積雪量に違いが見られるなど変換地点といえる。

中央線により東西に区切られているが、東の宿尻遺跡と西の本遺跡は地形上、本来は同一遺跡として捉えることができる。ただ、県道が南北に横断する狭い丘陵部には現在のところ遺構・遺物は確認されていない。

## 第2節 歴史環境

本遺跡は中央線の開設により集落から分断され、地元で西原と呼ばれ、開発行為もほとんど行なわれなかった。しかし、遺跡の所在する穴山町字宿尻周辺が人々の生活の場として使われ始めたのが、縄文時代にまでさかほることは、畑の耕作などで土器や石器などが発見され古くから知られていた(「並



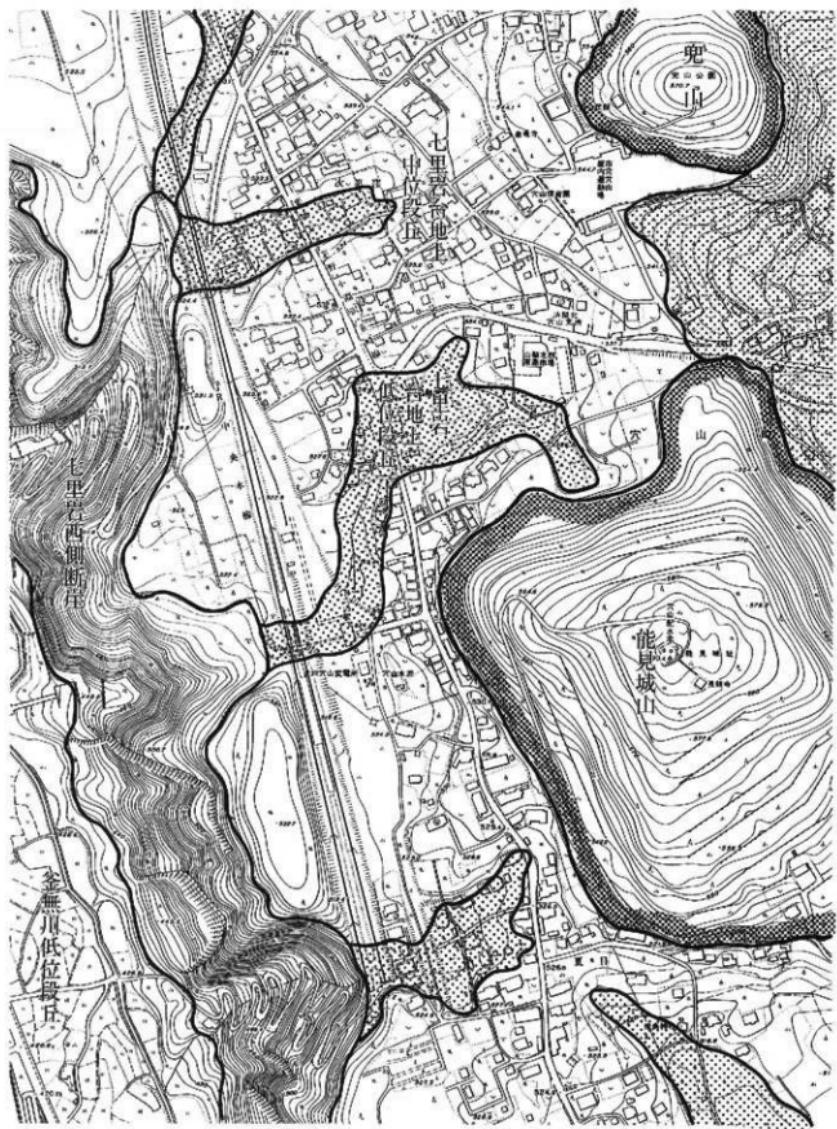
第1図 宿尻第2遺跡位置図 ( $S = 1/50,000$ )



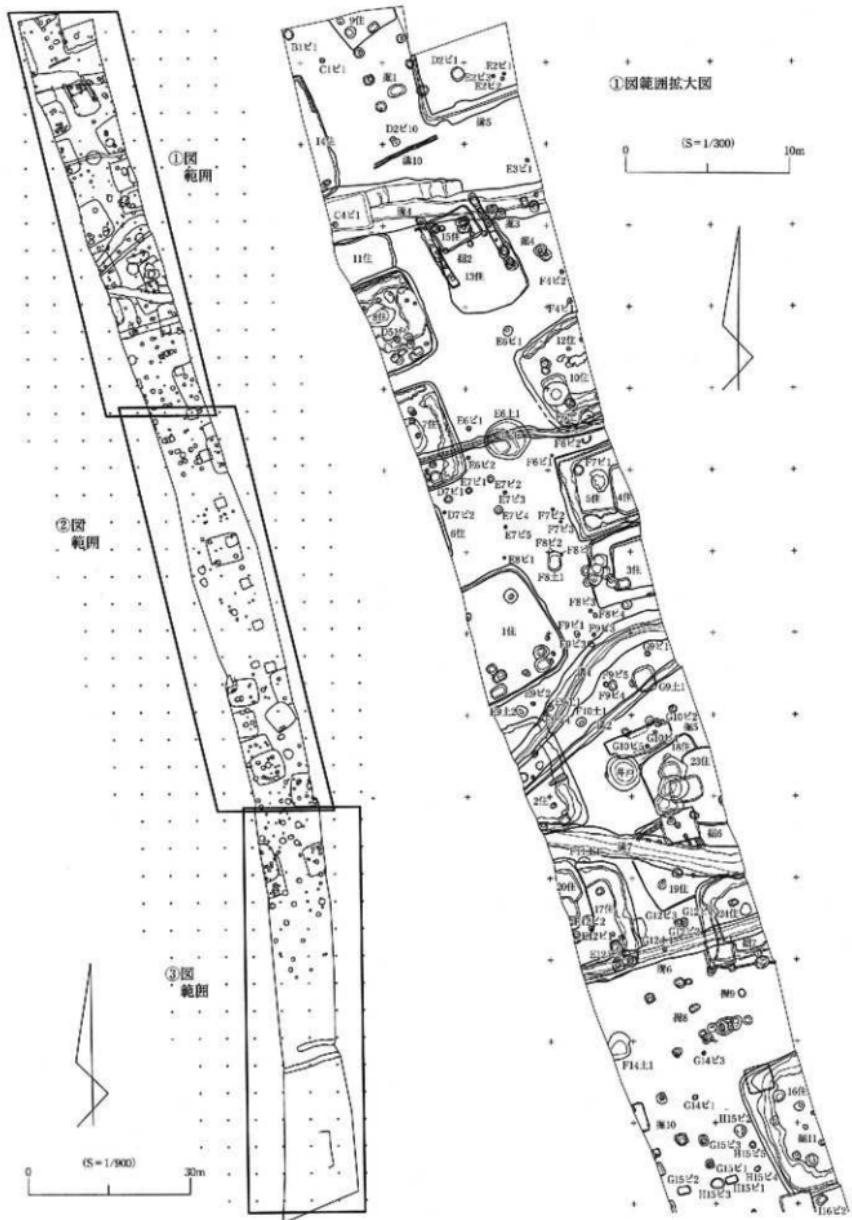
第2図 宿尻第2遺跡と周辺の遺跡 (S=1/25,000)



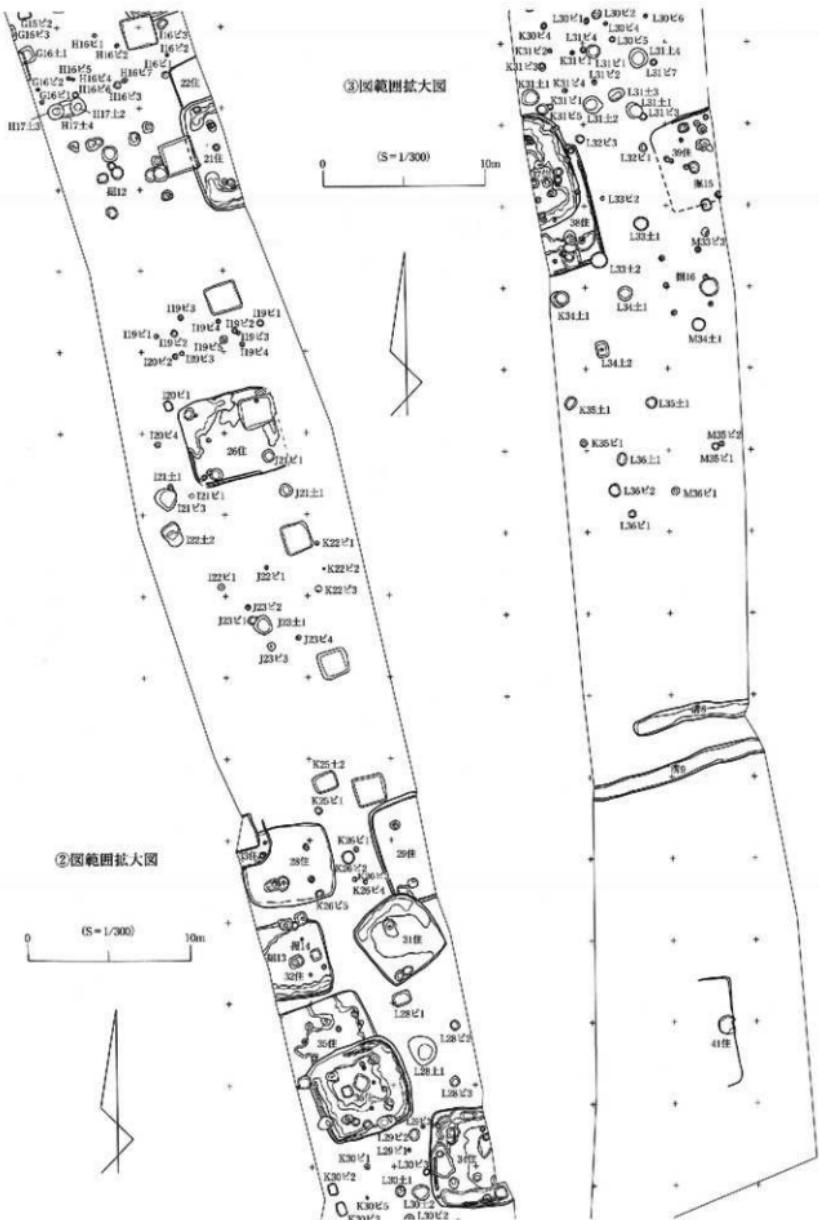
第3図 調査地点 ( $S=1/2,500$ )



第4図 宿尻第2遺跡周辺の微地形区分概要図 ( $S=1/5,000$ )



第5図 調査区全体図 (1)



第6図 調査区全体図 (2)

本遺跡で人類の活動痕跡が確認できるのは繩文時代早期以降である。周辺では沢を挟み北側の次第窪遺跡(第2図2)の沢へ傾斜する南斜面で、押型文期・打越式期をはじめとする早期から前期初頭の遺物が出土している(秋山圭子2002「次第窪遺跡」非崎市教育委員会)。この点は当遺跡での早期の遺物分布状況と一致し、当該期における活動戦略の一端を示していると考えられる。本遺跡出土資料は次第窪遺跡出土のものと型式差があり、さらなる周辺の状況を把握する必要がある。

中期に入り、活動痕跡が拡大していることは畠地などから発見される遺物の分布から想定でき、二度にわたる発掘調査により遺跡内容も把握され始めている(中山誠司1988「宿尻遺跡」山梨県教育委員会・関間俊明1999「宿尻遺跡」非崎市教育委員会)。中期(勝坂式)から後期(堀之内2式)の集落跡が存在し、台地上の平担部はもとより沢へ落ち込む傾斜地にも生活範囲が及んでおり、地理的環境を活かし生活していたことを示唆している(同図3・4)。中期では七里岩台地上に考古学的にも著名な坂井遺跡があり、釜無川をはさんで北西には石之坪遺跡を望むことも可能であり、当然当時において何らかの交流があったであろうが、現在のところその推測の域を出ない。

当遺跡のメインとなる弥生時代終末から古墳時代初頭にかけての周辺の遺跡としては坂井南遺跡が知られている。方形周溝墓と住居跡で構成される遺跡であり、居住城と墓域との関連が指摘されている(伊藤正彦1997「坂井南集落」「坂井南遺跡Ⅲ」並崎市教育委員会他)。

中世に入り穴山に武田義武が封され穴山氏を名乗る。穴山氏は河内領に移ることになるが、それまで棲敷場と呼ばれる次第窪地区と重久地区との境界付近にある場所に屋敷を構えていたことが「国志」により伝えられている。現在、推定地では十星や郭などが東西約400m、南北約300mあり、遺構自体は「国志」の記述と同様である(同図7)。しかし、遺構が穴山氏であると証明する資料は皆無であり、「国志」段階で何を根拠として特定したのかの解明が待たれる。この他長坂氏屋敷跡(同図6)や大学屋敷(同図5)などをはじめとする土塁をもつ屋敷跡が穴山には数多く残る。また、中世から近世にかけての遺構として能見城防壁跡を挙げることができる。「国志」では武田勝頼が新府城在城時に機能していたとするが、武田氏滅亡後に発生した徳川氏と北条氏による天正千年的戦いの際に徳川氏が築いたとする説(山下孝司1991「中世甲斐国における城郭の歴史的立地」「戦国大名武田氏」名著出版)もあり、結論を見ていよい。

### 第3章 発掘された遺構と遺物

古墳時代前半の建替え等を含めて堅穴住居跡39軒・掘立柱建物跡16棟、平安時代の堅穴住居跡2軒、溝10条などの遺構が確認された。発掘調査段階で確認して付した番号順に報告を行なう。遺構の時期については床面及び付属遺構内から出土している遺物を一次資料として用い、「山梨県史」による各時代の編年を使用した。堅穴住居跡覆土内から出土した遺物のうち、明らかに遺構に伴わない上器・土製品を除き報告した。これまで古墳時代の遺物として取り扱われることの少ない石器を再度出土状況から再検討するためには必要と考えたためである。古墳時代の石器の検討については第5章第1節で記す。

#### 第1節 堅穴住居跡

古墳時代前期の堅穴住居跡39軒と平安時代の堅穴住居跡2軒を検出した。調査中ならびに本書作成段階の検討により堅穴住居跡とは断定できないものが2軒あり、これらについては欠番として報告する。

##### 1号堅穴住居跡

・辺7.4m、確認面から床面までの深さ70cmの隅丸方形である。主柱穴は4本で、貯蔵穴と考えられる上坑を2基確認している。主軸はN-30°-W

である。1号上坑は貼床下で確認されたことから最も1回のメンテナンスが行なわれたといえる。また、南西の柱穴は3本あり、この柱のみ2回の位置換が行なわれている。旧柱穴には柱旗が平面的に確認されており、柱を換える際に上層全体に手をつけず、柱のみを換えるメンテナンスが想定できる。

堅穴内の中央よりやや北側に枕石を伴う地焼ががあり、その東側には直径30cm程度の円形地焼が2基ある。枕石は大型の直方体砾で、上面が丁寧に

磨かれており台石として使用されたものと考えられる。枕石を伴う比較的大型と伴わない小型には時間差の存在よりも、規模の点から機能差の可能性を指摘しておきたい。

南壁の東半分には床面から高さ約20cm程度のベット状遺構がある。ベット状遺構の中央よりやや東側に土坑とピットがあり、ピットの東にはベット状遺構よりも一段高いマウンドがあり小ピットが壁に向かって斜めに作られている。竪穴内の出入りに関連すると考えられる。

S字型B・C・D類相当が混在し、有段口縁壺、高杯、器台、壺や鉢で組成されている。肩部に横柄毛を持つ固体が多く、有段口縁壺が破片ではあるが認められる。このことからⅡ期の新しい段階からⅢ期の古い段階に位置づけられる。

石器は叩石・打製石斧・石匙が出土している。石匙は繩文時代の所産と考えられるが、それ以外は当住居の所属時期に伴う可能性もある。

#### 2号竪穴住居跡

一辺7.4m、確認面から床面までの深さ70cmの隅丸方形であり、周溝は壁に沿って全周し、床面は堅穂である。主柱穴は4本と考えられ、うち2本を確認した。主軸はN-24°-Wである。南側やや東よりも土坑があり、三連S字口縁台付壺・高杯・敲打痕のある磨石が出土している。

竪穴内南東隅では炭化した桃・胡桃種子が大量に出土した（第4章第1節参照）。炭化物集中直下の床面に接した状態の縛があり、被熱により赤化していた。床面の焼けた状況は視覚的には確認できなかった。

東壁中央から竪穴中央部に向かい清状の遺構を確認した。31号竪穴住居跡では仕切りと考えられるマウンドがあることから、他の竪穴で確認されていないが、間仕切り溝の可能性がある。竪穴の掘り方は中央部が高くなり壁側が深くなる。特に南側は深い。竪穴内襖上の観察から当住居跡に入れ子状の浅い竪穴住居跡が存在したことを確認した。2号竪穴住居跡として遺物は取り扱うこととしたが、平面形態等の規模については資料化し得なかった。

2号竪穴住居跡では櫛描波状文やボタン状貼付文を持つものや三連式S字口縁台付壺が出土していることからⅡ期の古い段階に位置づけられる。2号竪穴住居跡はS字型D類相当が出土していることからⅢ期の古い段階に位置づけられる。

#### 3号竪穴住居跡

一辺4.3m、確認面から床面までの深さ40cmの隅丸方形である。主軸はN-10°-Wである。北辺、西辺の一部と南辺の一部に周溝がある。竪穴内の中央から北に向かい堅穂な床が見られた。中央部には地焼炉がある。遺物は中央よりやや南西部と南壁沿いに床面に接した状態で出土している。貼り床の下には一回り小さい一辺3mの竪穴住居跡がある。南西隅に長方形の土坑があり貯蔵穴と考えられる。掘り方は明瞭ではない。

西壁付近に床面下から重複する上坑群が確認されているが、遺物の出土ではなく、底面をはじめとして全体的に不整形であることから、人為的な掘削によるものではないと考えられる。

S字型B・C・D類相当が混在し、折返口縁壺、器台や壺で組成されている。1号竪穴住居跡と同時期のⅡ期の新段階からⅢ期の古段階と考えられる。

#### 4号竪穴住居跡

一辺3.1m、確認面から床面までの深さ50cmの隅丸方形である。主軸はN-30°-W南壁に平行して土手状の高まりがあり、それと直行するやや低い高まりが竪穴内中央に延びる。遺物は南西隅を中心に壺と羽釜が出土している。壺部の調整が繰り返され、直線的ではなくやや内湾することなどから、10世紀後半に位置づけられる。

石器としては板状の砥石が出土している。表面に対象物の痕跡が線状に観察できる。

#### 5号竪穴住居跡

3号竪穴住居跡と重複関係にあり、当住居の方が後出である。一辺5.5m、確認面から床面までの深さ20cmの方形である。主軸はN-18°-Wである。床面は脆弱で、周溝やがなどの付属施設はない。竪穴中央部が島状に高くなる掘り方であり、南側では2条の溝がめぐる状況であった。重複関係から3号住居よりも新しいことは明らかであり、Ⅲ期と考えておきたい。

#### 6号竪穴住居跡

東辺の一部を調査したのみである。確認面から床面までの深さは50cmであり、一辺約3m程度の隅丸方形と考えられる。主軸はN-17°-Wである。同化可能な遺物の出土はなく、時期は占墳時代前期である。

#### 7号竪穴住居跡

一辺6.5m、確認面から床面までの深さ80cmの隅丸方形であり、周溝は壁に沿って全周し、床面は堅穂である。主軸はN-20°-Wである。主柱穴は

4本と考えられ、そのうち東側の2本を確認した。いずれの柱穴も柱痕は認められず、柱穴上半部が広がることから、柱は住居廃絶時以降に抜き取られた可能性が高い。

東壁沿いのやや北側に南北に並ぶピットは柱痕などを確認できなかったが、屋外と竪穴内の出入りに関連する施設痕跡と捉えておきたい。炉は竪穴内中央よりやや北側に位置し、一部に粘土を貼った地焼炉である。南東主柱穴の南側に土坑がある。貯蔵穴と考えられ、一辺約70cmの隅丸の方形であり、高塙などが出上した。

竪穴の掘り方は中央部が高くなり壁側が深くなる。全周はせず、北東隅では溝が切れている。土坑内からボタン状貼付文のある裝飾の明瞭な壺（7住土1-1）が出土し、竪穴覆土からS字甕C類相当（7住-3）とD類に併行する台付甕（7住-4）が出上していることから、II期の新段階からIII期の古段階と考えられる。

#### 8号竪穴住居跡

一辺6.2m、確認面から床面までの深さ70cmの隅丸方形であり、周溝は壁に沿って全周し、床面は堅緻である。主軸はN-23°-Wである。主柱穴は4本と考えられ、うち東側2本を確認した。柱穴上半部が広がることから、柱は住居廃絶時以降に抜き取られた可能性が高い。炉は竪穴内中央よりやや北側に位置し、南側に2点の小隙が並列していた。

竪穴内中央部が島状に高くなる掘り方であり、壁際は幅40~90cmの溝がめぐる。

遺物は下層から床面にかけて出土した。特に、貯蔵穴のある南東隅からは生粘土塊2点なども床面に接して出土した。ただし、貯蔵穴の底面では出土していない。このことから、貯蔵穴内に土壤が堆積した後に土器が廃棄されたかまたは、貯蔵穴上面に蓋などの覆いが存在していたことも想定できる。特殊なものとして鉄錆の茎部が床面で出土している。

S字甕C類相当が出土し、口唇部がやや膨らみ脣部最大径がドガリ、C類の中でも新しい要素を持つ。D類相当の脣部に横ハケ目のないものも出土している。これらのことからII期の新段階からIII期の古段階と考えられる。

#### 9号竪穴住居跡

一辺3.3m、確認面から床面までは5cmを測る。主軸はN-37°-Wである。竪穴南部は搅乱（おそらく近代以降）により破壊されている。竪穴内中央部付近に堅緻な床面が確認されたが、全体的に脆弱である。

出土遺物は極めて少なくまた、小破片であったことから報告していない。なお、脆弱な床面にめり込む状況で2個の幼児頭大程度の生粘土塊が出土した。出土遺物は小破片ではあるが古墳時代前期の所産である。

#### 10号竪穴住居跡

一辺3.3m、Ⅲ層上面から床面までは50cmを測る。竪穴東部は調査区外へ広がっているが、東西辺の方方が南北よりも長いことは間違いない、不整な長方形の平面形態と考えられる。主軸はN-12°-Wである。一部に堅緻な貼床が認められるが、全体的に脆弱である。柱穴などの付属施設の痕跡は一切検出されていない。

12号竪穴住居跡と重複関係にあり、当住居跡のほうが新しいことを土層観察により確認している。S字甕C類相当が出土しており、脣部最大径がやや下がることからII期の新段階と考えられる。

#### 11号竪穴住居跡

竪穴の北東部のみを検出したことから平面規模は不明である。確認面から床面までは30cmを測る。主軸はN-14°-Wである。床面は部分的に堅緻な部分があるが全体的に脆弱である。2箇所で不整な円形の地焼が認められたが、地山まで熱を強く受けた状況ではなかった。

8号竪穴住居跡と4号溝と重複関係にあり、いずれの遺構よりも古いことが上層断面により確認された。出土資料が少ないが、S字甕B・C類相当が出土していることからII期であり、8号住との重複関係から古段階と考えられる。

#### 12号竪穴住居跡

一辺6.3mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは約70cmを測る。主軸はN-31°-Wである。周溝はほぼ全周するが、北側で途切れる箇所がある。床面は堅緻である。主柱穴は4本と考えられ、南東の柱穴は調査区外に存在するとと思われる。貼床を掘り下げ後に主柱穴に重複した状況でピットが確認された。深いものと浅いものがあり、旧柱穴および旧柱抜取り痕と捉えておきたい。南西の旧柱穴覆土からは上器片中央部に穿孔した上製紡錘車が出土している。

炉は竪穴内中央部よりやや北側に位置し、床面をやや埋めた不整形な地焼炉である。

竪穴の掘り方は中央部が高くなり、壁際が深くなる。北側では幅50cm、南側では幅50cmの南壁に

並行するものと南西隅でL字状に屈曲する深い溝が検出された。

L字状溝の西壁中央付近で直径約150cm、深さ約1mの土坑を検出した。土坑内からの遺物出土はなく、所属時期について不明確な点が多いが、周辺で古墳時代前期以外の遺構が平安時代のものを除き確認されていないことから、当竖穴の建築時に何らかの意図を持って掘削された土坑と考えておきたい。竖穴建築に関する祭祀的行為であるか、竖穴建築構造的なことに関連するのかなどを検討するまでのデータは得られず、また蔚崎市の同時期の遺構でこのようなものは管見ではなく、土坑の意味については今後の課題としておきたい。

10号竖穴住居跡と重複関係にあり、土層観察により当竖穴の方が古いことを確認している。裝飾窓(12住-9)や肩がやや張るS字窓(12住-1)が出土している。これらのことからⅢ期の古段階と考えられる。

#### 13号竖穴住居跡

東西約4.5m、南北6m以上の不整な長方形形態であり、確認面から床面までの深さは20cmである。主軸はN-23°-Wである。貼床、竖穴はほぼ中央から地焼炉及び明瞭ではないが壁の立ち上がりが認められたことから竖穴住居跡として調査を行なった。柱穴や貯蔵穴を確定することは困難であった。

15号竖穴住居跡、2・3・4号掘立柱建物跡及び4号溝を重複する。15号住→2号掘立→13号住→3・4号掘立の順で新しいと考えられる。2号掘立と13号住は、13号住の方がやや南に広がるもの、ほぼ同じ主軸方位であり、2号掘立の布掘の溝の間に貼床が確認されていることから、同一遺構の可能性もあるが、建物上層構造の検討を加えていない現段階では、別遺構と捉えておくこととする。出土資料からⅡ期と考えられる。

#### 14号竖穴住居跡

竖穴東部の一部分のみを検出した。一辺7.6mの隅丸方形と考えられ、Ⅲ層上面から床面までは25~40cmを測る。主軸はN-21°-Wである。北東隅から東壁の中央部まで周溝が検出された。南東隅の土坑は貼床の下で確認されたものである。

S字窓の肩がやや張ること(14住-1)と構造波状文施文の窓(14住-3)が出土していることからⅡ期の古段階以前と考えられる。

#### 15号竖穴住居跡

東西2.7m、南北2.1mの長方形である。13号住お

よび溝4を調査中に確認したものである。13号住の床面から深さ60cmを測る。主軸はN-31°-Wである。床面は堅緻であるが、豎穴掘削後に貼床とした状況ではなく、掘削した状況をそのまま生かして床としている。炉や柱穴などの付帯施設は確認していない。

13号住、3号掘立および溝4よりも古いことが土層観察で確認している。Ⅱ期の所産と考えられる。

#### 16号竖穴住居跡

南北8.7mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは80cmを測る。主軸はN-25°-Wである。周溝は確認されている範囲では全周している。北側の周溝上面には炭化物粒子と焼土粒子を多量に含む層が、周溝に平行して確認できており、壁を押さえていた材が焼けた可能性がある。床面は堅緻で、主柱穴は4本と考えられるがそのうち西側2本(ビ1・2)を確認した。炉は豎穴内ほぼ中央に小型の地焼炉を検出している。

ビ1の西側(マ3)、ビ2の東側(マ1)および西壁の南(マ2)によりマウンド状の高まりが認められた。マ1・3は掘り下げるとき下部から床面が検出され、また床面ほど堅緻ではなくビットの掘り方もしくは抜き取り痕の外周を回ることから、使用時ではなく、豎穴廃絶後の堆積と考えられる。柱を抜き取る際に掘削した土壤の可能性もあるが、類例を確認していない。マ2はやや脆弱ではあるが上面は硬く、階段状であることから豎穴内の出入りに使用した施設として捉えておきたい。

豎穴の掘り方は中央部が高くなり壁際が深くなる。コーナー周辺ではやや幅が広がる。

S字窓の口縁端部が肥厚していることからⅡ期の新段階と考えられる。

#### 17号竖穴住居跡

南北7.3mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは60cmを測る。周溝はコーナー周辺で途切れる。主軸はN-13°-Wである。床面は堅緻である。主柱穴は4本と考えられ、そのうち東側2本(ビ2・3)を確認した。柱穴の掘り方は隅丸のほぼ方形であった。炉は不整形な地焼が豎穴内ほぼ中央に位置する。

炉から南壁の間(マ1・3)と東壁ほぼ中央(マ2)にマウンド状の高まりが認められた。マ1・3の上面は床面ほど堅緻ではないことから、住居廃絶後に堆積したものと考えられる。16号住のマ1・3とは異なり主柱穴の抜き取りが確認されていないこ

とから、別の要因を考える必要がある。可能性としては土屋根や上壁であるが、スサなどの混入が見られず、内部はしまりが弱いため、上壁というよりも土屋根の可能性があろう。土屋根の場合、自然による屋根への堆積の可能性もあるが、土壤がローム主体であることから人為的に土屋根として上を盛ったものと考えられる。

堅穴南東隅付近で上坑2基を検出し、土1からは小型丸底壺（17住-2）が柱痕に近接した状況で出土している。堅穴の掘り方は中央部が高くなり壁際が深くなる。東西方向のものがやや幅が広い。

20号住、溝6と重複する。当住居がいずれよりも古いことを上層観察で確認している出土資料等からⅡ期の新段階の所産と考えられる。

#### 18号堅穴住居跡

東西3.9m、南北4m程度の隅丸方形であり、Ⅲ層上面から床面までは25cmを測る。床面はやや堅敏であり、周溝は北壁沿いにのみ確認できた。炉は中央よりもやや北西側で2箇所のやや窪みのある地焼炉を確認した。

堅穴の掘り方は全体的に凸凹している状況である。掘り方調査時にG11上3・4とG10下2を確認した。不整形であり、堆積土壤が逆転する箇所が観察できることから当住居構築以前の風倒木痕と考えられる。

19・23号住、G11土1・2と重複する。G11土1・2より古い。上層観察により23号住より新しいが、19号住とは重複部にG11土1が所在することから確認可能な状況ではなかった。

内外面ハケ日調整で肩部に幅広粘土帯の貼付文のある壺（18住-4）などが出土している。ⅡからⅢ期の所産と考えられる。

#### 19号堅穴住居跡

東西4.2m、南北5.2mの隅があまり丸くならない方形であり、確認面（Ⅲ層中）から床面までは20cmを測る。主軸はN-27°-Wである。床面は脆弱であり、周溝は北側のみで確認した。重複する溝7により南側の床面は削平された状態での確認である。主柱穴は4本で、19住ビ2・5・6とG11ビ6で構成されると考えられる。南側の東西主柱穴（ビ2・5）間に焼土が見られたが、規模が小さく、地山が熱を受けた状況は認められなかつたことから、主体となるかではないと考えられる。

18号住・24号住、溝7と重複し、溝7よりも古いが、24住との重複関係を捉えるには至らなかつた。

図示した遺物はないが、古墳時代前期の所産である。

#### 20号堅穴住居跡

南北5.7mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは65cmを測る。主軸はN-17°-Wである。周溝は一部途切れる箇所もあるが、ほぼ全周する。堅穴中央部で堅敏な貼付が見られる。東壁際のほぼ中央に不整形なマウンド状の高まり（マ1・2）がある。いずれも17号住ほど厚みではなく、上面も堅敏ではないが、土屋根等を想定しておきたい。

掘り方調査時に調査区の際から柱穴（ビ1）を確認した。おそらくこれが主柱穴の1本と考えられる。部分的な調査ではあるが、堅穴の掘り方は東西に並行する3本ほどの幅広の溝が掘削されている状況であり、当遺跡の他の住居で見られるドーナツ型のものとは異なる。17号住と重複し、当住居の方が古い。

出土資料などからⅡ期の新段階からⅢ期の古段階の所産と考えられる。

#### 21号堅穴住居跡

南北7.0mの隅丸方形であり、Ⅲ層上面から床面までは65cmを測る。主軸はN-16°-Wである。床面は堅敏である。北西隅には炭化物粒子と焼土粒子を多量に含む土が薄く堆積していた。周溝は調査区内では全周する。

主柱穴は4本と考えられそのうち西側2本（ビ1・2）を確認した。ビット確認面からやや下げる段階で柱痕が認められたことから柱全部を抜き取るような行為はなかったものと考えられる。柱穴からは柱痕を避けるような状況で大型の螺がそれぞれ出土した。それらは接合し1個の螺となる。何らかの意図で持ち込まれた螺が、故意または偶然割れ、柱穴へ埋設したものと考えられる。

堅穴南西隅には上坑があり、口縁部の一部と底部を欠き、胴部に穿孔のある壺（21住-1）が螺と共に出土している。この壺の頸部内面に二次的な然によるアバタ状の剥落及び赤化が著しく認められるこから、火を使用する道具（直接器内に対象物を入れて煮沸する以外）として転用された可能性が高い。

堅穴の掘り方は中央部を鳥状に高く残し、西壁中央付近で掘り方の溝は途切れた状況であった。

21住-4・5はいずれも焼成粘土塊であるが、平坦面を形成し、内面の割れ口に幅2.5cm程度のものが挟まっていた状況が観察できる。スサなどの混

入は認められず出土量も少ないが、壁上や屋根土の可能性を指摘しておく。

22号住と重複し、本住居の方が新しい。ⅡからⅢ期の所産と考えられる。

#### 22号竪穴住居跡

平面規模の不明な方形で、Ⅲ層上面から床面までは20cmを測る。主軸はN-20°-Wである。床面は極めて脆弱であり、壁の立ち上がりも弱い。周溝などの付帯施設は確認し得なかった。

竪穴の掘り方は全体が凸凹した状況であった。図示し得る出土遺物はない。21号住と重複し、本住居の方が古いことを覆土観察で確認している。このことからⅡからⅢ期の所産と考えられる。

#### 23号竪穴住居跡

南北4.9mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは35cmを測る。主軸はN-9°-Wである。床面は竪穴中央部を中心に堅緻である。竪穴内での場の使われ方の違いに起因する可能性がある。周溝は北壁の西側にのみあり、炉は小型の地焼炉であり、竪穴内の南西部に位置する。

18号住と重複し、当住居の方が新しい。ⅡからⅢ期の所産と考えられる。

#### 24号竪穴住居跡

南北5.8mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは60cmを測る。主軸はN-10°-Wである。床面は全体的に堅緻であり、周溝は確認していない。4本主柱穴と考えられ、そのうち西側の2本(ビ1・2)を確認した。炉は竪穴内中央よりやや北側で窪みのある地焼炉であった。

竪穴の掘り方は、中央が島状に高くなる。南北壁に平行する溝の幅が広く、西壁で溝は狭い。

溝6・7より古く、19号住との重複関係を捉えるには至らなかった。

S字型の口縁部端部が肥厚し、横ハケ目があることからⅡ期の新段階と考えられる。

#### 25号竪穴住居跡

作居番号を飛ばしたことにより欠番とする。

#### 26号竪穴住居跡

東西5.6m、南北5.3mの隅丸方形で、確認面から床面までは20cmを測る。主軸はN-16°-Wである。周溝は西壁と南壁で確認した。床面は全体的に堅緻であるが、南側主柱穴を結ぶラインを挟んでやや脆弱であった。炉は竪穴内中央よりやや北側で、不定形でやや窪みのある地焼炉であった。主柱穴は4本と考えられ、そのうち3本(ビ1・2・

5)を確認した。南東部分にあったであろう柱穴は縄文時代のJ21ビ1と重複していたものと考えられるが、平面プラン確認時には認められなかった。北西隅に土坑があり、脚部の欠けた高壙が出士した。

竪穴の掘り方は北西隅周辺が三角形状に掘り進められ、東壁付近でやや幅のある溝状であった。

26住-3は不整に崩かれた構造である。やや透き透る黒で斑点が見られる。

S字型B・C類相当と丁寧なミガキのある楕円高壙が出土していることからⅡ期の古段階と考えられる。

#### 27号竪穴住居跡

調査時に縄文時代中期の遺物がやや集中したことから竪穴住居跡として捉えたが、調査進行により縄文時代の土坑であると断定したことから、本住居番号は欠番とし、K21グリッド内1・2号土坑(K21 SD 1・2)として扱う。

#### 28号竪穴住居跡

東西5.5m、南北5.0mの隅丸方形で、確認面から床面までは25cmを測る。周溝は北壁の中央付近と南壁の中央から西壁の中央にかけて確認した。古墳時代前期の所産である。

#### 29号竪穴住居跡

南北6.5mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面までは80cmを測る。主軸はN-17°-Wである。周溝はほぼ全周する。床面は全体的に堅緻であるが、北西主柱穴(ビ1)の東側に脆弱な部分が認められた。主柱穴は4本と考えられそのうち西側の2本(ビ1・2)を確認した。ビ1からは小型甕がほぼ完全な形で覆土中層よりやや高いレベルで出土した。平面的にアタリとされていることと柱底自体未確認であることから、柱設置時のものか解体に伴うものであるかは断定することはできない。

ビ2から南西隅にかけてロームを主体としたマウンド状の高まりを確認した。竪穴の内から外に向かってスロープ状にあがるものであり、出入り口施設の可能性が高い。竪穴の掘り方は中央部が島状に高まり、壁際が深くなる。

30・31号住居と重複し、30住→29住→31住の順に新しいことを土層断面などから確認した。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

#### 30号竪穴住居跡

床床のみの確認であり規模などは不詳である。29・31号住居と重複し、30住→29住→31住の順に新しいことを土層断面などから確認した。重複関係か

らⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 31号竪穴住居跡

東西4.6m、南北4.8mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面まで30cmを測る。主軸はN-39°-Wである。周溝や柱穴ではなく、南西隅に隅丸長方形の土坑(上1)がある。竪穴内の西側に幅30cm、高さ8cmの土手がL字型にあり、東西80cm、南北240cmの空間を構成している。空間内の床面はやや脆弱である。

炉は竪穴内中央からやや北側に位置する。北側がやや深くなる精円形で、中央部に枕石がある。上1近くの南壁には階段状にロームが固められたブロックがあり、出入り口施設の可能性がある。

竪穴北東隅付近に有段口縁壇の頭部へ口縁部部分を伏せた状態で出土している。

29・30号住居と重複し、30住→29住→31住の順に新しいことを土層断面などから確認した。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 32号竪穴住居跡

南北4.8mの隅丸方形で、確認面から床面まで30cmを測る。主軸はN-14°-Wである。床面は竪穴内中央付近が特に堅緻であり、それ以外はやや脆弱である。4本主柱穴と考えられ、そのうち東側2本(ビ1・2)を確認した。柱痕と掘り方が同一規模であり、当住居以外の柱穴の掘り方が柱痕よりも明らかに大きいことと異なる。

地焼炉として床面が赤化している場所は3箇所であった。ビ1の東側(マ1)と南壁の東より(マ2)にマウンド状の高まりが認められた。調査区境界付近で、やや大型の炭化材が出土しており、焼失住居跡と捉えることができる。竪穴の掘り方はC字型である。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 33号竪穴住居跡

竪穴南東部隅のみの確認である。確認面から床面までは15cmを測る。床面はやや堅緻であった。28号住やJ26土1と重複し、J26土1より古く、28号住よりも新しいことを確認している。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 34号竪穴住居跡

東西5.4m、南北6.2mの隅丸方形で、Ⅲ層上面から床面まで45cmを測る。主軸はN-2°-Wである。周溝は北壁中央付近から南壁中央付近まで認められた。床面は全体に堅緻である。主柱穴は4本と考えられそのうち北東隅を除き確認した(ビ1・

2・6)。ビ1の底面からS字状口縁台付壺の口縁部片が出土している。

炉は竪穴内中央からやや北東に偏った位置にあり、不整な精円形をした浅い掘り込みの地焼炉である。北側に大型の扁平な礫、その周辺に小型の礫2点が据えられていた。ビ6の南側に方形土坑(土1)があり、大型の壺がほぼ1個体分出土した。土坑の東側から土坑内部へ崩れ落ちた様な状況であった。竪穴の掘り方は中央部を島状に残す。

出土資料からⅡ期の新段階からⅢ期の古段階の所産と考えられる。

### 35号竪穴住居跡

東西5.6m、南北4.8mの隅丸方形で、確認面から床面までは5cmを測る。主軸はN-27°-Wである。床面は竪穴内中央から南東隅及び北西隅にかけて堅緻である。炉は竪穴内ほぼ中央に位置し、大型の地焼炉1基と小型の地焼炉3基を確認した。

床面確認段階での柱穴の確認は困難であった。掘り方調査時に確認したビ3・4・6が位置関係から上柱穴であった可能性が高い。36号住と重複し、貼床が36号住の平面プランの上面まで広がることから、当住居の方が新しい。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 36号竪穴住居跡

東西5.8m、南北5.6mの隅丸方形であり、東壁がやや丸みを帯び膨らむ。確認面から床面までは30cmを測り、床面は全体的に堅緻である。主軸はN-21°-Wである。主柱穴は4本(ビ7・9・12・14)であり、北西隅のビ7を除き、旧柱穴がやや西側に存在していたことが確認でき、柱自体が東側へ移動したこととなり、竪穴の東壁がやや弧状になることと関連する可能性もある。

炉は竪穴内中央からやや北側に寄る。円形で浅い掘鉢状を呈し、南側に2個の礫を配している。

北東隅と東壁中央付近には木端状の細かい炭化材が集中して床面に接した状態で出土した。南東隅からやや北よりにはロームを主体としたマウンド状の高まりが確認できた。

南東隅の主柱穴(ビ14)と南壁の間には底面が2段ある精円形の土坑(土2)があり、覆土から口縁部を欠く小型壺が出土している。掘り方は中央部を島状に残すが、壁に平行してやや狭い溝が巡ることが特徴的である。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 37号竪穴住居跡

南北7mの隅丸方形であり、確認面から床面までは40cmを測る。主軸はN-20°-Wである。竪穴内ほぼ中央に位置する炉から北側で床面は堅密であるが、南側半分は耕作による搅乱で床面は壊されていた。周溝はほぼ全周するものと考えられる。主柱穴は4本と考えられそのうち東側の2本（ビ1・6）を確認した。床面には炭化物と焼土を多量に含む土がブロック状に数箇所に見られた。

東壁に沿って約2mの間隔で壁を削りこむようなピットが3基確認できた（ビ13・2・14）。確認したのは周溝調査時であり、住居廃絶後のものは考えられない。掘立柱建物跡の可能性もあるが、柱間比率を考慮した場合、東ないしは西側に想定される位置に柱穴は確認されていない。以上のことから、当住居に関連する施設と捉えておく。また、掘り方調査時に確認したビ15も一連のピット群と関連する可能性がある。

竪穴内南東隅付近にやや不整な円形の貯蔵穴と考えられる土坑があり、礫や土器片などとともに白色の粘土塊が1点出土した。掘り方は竪穴内中央部を島状に残すものである。東壁の掘り方溝は壁に接していない。

38号住と重複し、覆土堆積状況から当住居の方が新しい。出土資料からⅡ期の新段階からⅢ期の古段階の所産と考えられる。

### 38号竪穴住居跡

南北5mの方形であり、確認面から床面までは20cmを測る。主軸はN-13°-Wである。床面は全体的に脆弱であった。周溝は竪穴内南東隅を軸にL字形に確認した。主柱穴は4本と考えられそのうち東側の2本（土1・37住ビ10）を確認した。

土1から南壁にかけて3基の土坑（土3・4・2）と2基のピット（ビ1・2）が重複している。土2→土1→土3の順序で掘削されたことが覆土堆積状況から捉えることができたが、その他の造構の重複関係については明確に判断することができる状況ではなかった。土1は主柱穴と考えられるが、出土状況図にあるように遺物が折り重なって出土していることから、遺物は柱の抜き取り時に廃棄された可能性が高い。掘り方は竪穴内全体に床面からやや深く掘削されている程度であった。37号住と重複し、覆土堆積状況から当住居の方が古い。

出土資料からⅡ期の新段階からⅢ期の古段階の所産と考えられる。

### 39号竪穴住居跡

北側の壁際のみを平面的に捉えることができた。調査区の土層堆積状況から、南北約5.6mの方形であったと推定できる。主軸はN-18°-Wである。主柱穴は確認できず、周溝は北壁沿いのみを確認した。がは不整形な地焼炉である。想定される竪穴内部から15号掘立をはじめとする複数のピットを確認したが、床面の状況が判然としなかったため、前後関係に関しては判断することができなかつた。

出土資料からⅡからⅢ期の所産と考えられる。

### 40号竪穴住居跡

調査区内の土層観察により把握したものである。北東隅周辺の一部が調査区内にかかっていたものと考えられるが、平面プラン確認時には把握し得なかつた。

覆土の状況から古墳時代前期と考えられる。

### 41号竪穴住居跡

南北6.7mの方形であり、確認面から床面までは最大で20cmを測る。主軸はN-83°-Eである。東壁のほぼ中央にカマドがある。坪（41住-1）は見込み部に同心円暗文・部に放射状暗文が見られる。皿（41住-2）は同心円暗文であり、部にヘラ削りなどの整形はされていない。以上のことから9世紀代の所産と考えられる。

## 第2節 掘立柱建物跡

合計16基の掘立柱建物跡を確認した。掘立柱建物跡としての並びを把握し得なかつたが、同規模の柱穴跡を調査区内で検出しており、確認以上の掘立柱建物跡が存在していたことと考えられる。また、各掘立柱からの出土遺物はほとんど無く、遺物からの時期決定は困難であり、遺構の重複関係による前後関係及び柱内の覆土から判断し、古墳時代前期の所産であると結論付けた。

### 1号掘立柱建物跡

1間×2間（2.7m×3.7m）の掘立柱建物跡であるが、中央よりやや南に焼土粒子をやや多く含む土坑があり、掘立柱建物跡の付帯施設の可能性が高い。柱穴の掘り方は若干ゆがんではいるが方形であり、南西隅の柱穴を除き、柱のアタリが明確に確認できた。9号竪穴住居跡と隣接し、同時存在は考えにくいが、その前後関係の把握は困難であった。

### 2号掘立柱建物跡

確認段階では2条の溝と捉えていた造構であるが、調査の中で布掘りの掘立柱建物跡であることを

確認した。主軸はN-29°-Wである。

3・4号掘立柱建物跡と重複関係にあるが、その前後関係については不明である。4号溝よりは古く、13号豎穴住居跡よりは新しいことが土層観察により把握できている。

西側溝は幅50cm、長さ5mであり、深さ50cmの長方形の掘り込みが3箇所ある。3箇所の掘り込みにはそれぞれアカリが確認でき、そのうち一帯北側については一つの掘り込みに3箇所のアカリを認めることができ、建替えなどが想定される。浅い掘り込みに2箇所のアカリがあり、5本の柱により構成されていたと考えられる。

東側溝は幅50cm、長さ4.5mであり、深さ80cmの長方形の掘り込みが4箇所ある。4箇所の掘り込みにそれぞれアカリが確認でき、浅い掘り込みに1箇所アカリがあり、計5つのアカリを確認した。以上のことから、2間×4間の掘立柱であったと考えられ、西側溝北部は建替えがされたといえる。

上層観察による柱痕の確認はし得なかつたが、溝内には明瞭ではないが版築状であった。

本来、このような建物跡には棟持柱跡が付随する事例が多いが、調査の中では確認し得なかつた。溝ノ口遺跡（静岡県掛川市）S-II01にその類例を求めることができる（井村広巳・松本一男2000『溝ノ口遺跡』掛川市教育委員会）。

### 3号掘立柱建物跡

1間×2間（3.5m×4.0m）の掘立柱建物跡である。柱穴の掘り方は隅丸の長方形もしくは方形であり、すべてに柱穴にアカリが確認できた。主軸はN-73°-Eである。

2・4号掘立柱建物跡と重複関係にあり、2号との関係は不明であるが、4号よりは新しいことを柱穴の確認順序から把握した。4号溝より古く、13号豎穴住居跡よりは新しい。

### 4号掘立柱建物跡

1間×2間（3.2m×4.3m）の掘立柱建物跡である。柱穴の掘り方は隅丸の長方形もしくは方形であり、すべての柱穴にアカリが確認できた。主軸はN-75°-Eである。

### 5号掘立柱建物跡

本書を作成検討中に掘立柱建物跡として捉えたものである。主軸はN-60°-Wである。

1間×2間（2.4m×3.2m）の掘立柱建物跡と考えられる。柱穴6基のうち北側の3基と南側の1基を確認している。柱穴の掘り方は円形であるが、本

來は隅丸の方形もしくは長方形であったと考えられる。4基のうち2基にアカリが確認できた。

18号豎穴住居跡の貼床を剥がした段階で南側の1基を確認したことから、18住よりも古いといえる。

### 6号掘立柱建物跡

本書を作成検討中に掘立柱建物跡と想定したものである。主軸はN-62°-Wである。

1間×2間（-×4.0m）の掘立柱建物跡と想定される。柱穴は北側の2基のみである。その他については、調査区外ならびに7号溝により壊されていると仮定した。23号豎穴住居跡と重複するが、柱穴が貼床下で確認されていることから、23号住よりも古いといえる。

### 7号掘立柱建物跡

本書を作成検討中に掘立柱建物跡と想定したものである。主軸はN-28°-Wである。

1間×2間（-×3.9m）の掘立柱建物跡と想定される。柱穴は北西隅と南西隅の2基のみである。いずれの柱穴にもアカリを確認した。その他については、調査区外ならびに24号豎穴住居跡建築時に壊されたと仮定した。

### 8号掘立柱建物跡

1間×2間（3.7m×4.2m）の掘立柱建物跡である。主軸はN-64°-Eである。柱穴の掘り方は隅丸の方形であり、全ての柱穴にアカリが確認できた。24号豎穴住居跡と9号掘立柱建物跡と重複関係にある。24号住よりは新しいが、9号掘立との前後関係は確認しなかつた。ただし、8号掘立の柱穴では上層観察で柱痕が認められ、9号掘立では認められていないことから、9号掘立の柱を抜き取り後に8号掘立の建築した可能性がある。

### 9号掘立柱建物跡

1間×2間（3.0m×3.4m）の掘立柱建物跡である。主軸はN-16°-Wである。柱穴の掘り方は隅丸の方形または円形である。北側2基の柱穴でアカリを確認できた。24号豎穴住居跡と8号掘立柱建物跡と重複関係にある。24号住より新しい。8号掘立との前後関係は不明確であるが、8号掘立の項で述べたとおり、9号掘立の方が古い可能性がある。

### 10号掘立柱建物跡

1間×2間（2.9m×3.8m）の掘立柱建物跡である。主軸はN-62°-Eである。柱穴の掘り方は隅丸の方形であり、検出した4本のいずれにもアカリを確認した。西側は調査区外へ広がると考えられる。

### 11号掘立柱建物跡

1間×2間（2.5m×3.8m）の掘立柱建物跡である。上軸はN-58°-Eで、柱穴の掘り方は不整な円形である。東側は調査区外へ広がると考えられる。16号竪穴住居跡と重複する。貼床を剥がした段階で柱穴を確認したことから、11号掘立の方が古い。

### 12号掘立柱建物跡

2間×2間（4.2m×6.8m）の総柱掘立柱建物跡である。主軸はN-73°-Eである。東西の柱間が3.6mと3.2mで同一ではないことから、中央の柱並びと東の柱並びもしくは中央の柱並びと西の柱並びによる1間×2間の2軒の掘立柱建物跡であることも想定できる。ただし、東西方向の柱並びが3列平行していることから、調査区の限られた現段階では総柱掘立柱建物跡と捉えておくこととする。

21号竪穴住居跡と重複する。貼床を剥がした段階で柱穴を検出したことから、12号掘立の方が古い。

### 13号掘立柱建物跡

1間×2間（-×5.0m）の掘立柱建物跡と想定される。主軸はN-15°-Wである。東側の南北柱通りのみの確認であり、西側の調査区外へ広がると考えられる。柱穴の掘り方は隅丸の方形であり、検出した3本全てにアタリが確認できた。28・32号竪穴住居跡および14号掘立柱建物跡と重複関係する。28・34号住の貼床を剥がした段階で柱穴を確認したことから、各作居跡よりも古い。14号掘立との前後関係は不明であるが、隣接し重なり合う部分が多いことから建築によるものと考えられる。

### 14号掘立柱建物跡

13号掘立柱建物跡と同一規模であるが、主軸方位がやや西に傾く。主軸はN-24°-Wである。

### 15号掘立柱建物跡

1間×2間（-×5.0m）の掘立柱建物跡と想定される。西側の南北柱通りのみの確認であり、東側は調査区外へ広がると考えられる。主軸はN-17°-Wである。柱穴の掘り方は隅丸の方形であり、検出した3本のうち2本にアタリを確認できた。39号竪穴住居跡と重複し、39号の掘り方を調査中に柱穴を検出したことから、本掘立の方が古い。

### 16号掘立柱建物跡

1間×2間（2.4m×3.5m）の掘立柱建物跡である。確認面がIV層であり、柱穴の上部は削平されていると考えられる。主軸はN-12°-Wである。柱穴の掘り方は円形であり、南東側の1本を除きアタ

リが確認できた。

柱穴掘り方構造が単純なものである。ただし、上部が削平されているため、確認した円形プランのみで構成されるのか、他の掘立柱建物跡と同様に一回り大きい掘り方が存在したかは不明である。

遺物の出土はないが、規模の類似する掘立柱建物跡が遺跡内に確認されていることや周辺の耕作上や包含層から出土する遺物が古墳時代前期のものが多いことから、古墳時代前期以降の所産とする。

## 第3節 土坑

縄文時代10基、古墳時代2基などを確認した。各遺構の時期別出土破片数・重量は住居以外出土遺物重量破片数表に示したとおりである。以下に微細図等掲載の遺構について報告を行なう。

### E 6グリッド内1号土坑（E 6土1）

直径2.5m、Ⅲ層上面から底面まで60cmを測る円形の土坑である。底面は西側でやや急に立ち上がり、東側で緩やかである。底面の一部および底面付近で炭化物粒子や焼土粒子がブロック状に集中する箇所があった。脚部径13cmの大きいS字状口縁台付臺をはじめ、遺物は確認面から底面まで出土した。溝3に切られる。出土遺物から古墳時代前期の所産である。

### G11グリッド内1号ピット（G11ピ1）

直径50cm程度で、確認面から底面まで20cmを測る円形のピットである。確認面で礫が出土し、その下部から甕の大型破片が出土した。出土遺物から古墳時代前期の所産と考えられる。

### G12グリッド内1号土坑（G12土1）

フ拉斯コ型の土坑であるが、開口部は崩落したものと考えられる。出土遺物はないがその形態から縄文時代として間違いない。

### H17グリッド内2・3・4号土坑（H17土2・3・4）

確認時は楕円形の上坑を捉えたが、半裁したところ3つの土坑が重複していたことを確認した。

土2は直径1m、確認面から底面まで1mを測る円形の上坑である。底面はほぼ平であり、土坑断面形態はバケツ型である。首利V式の土器片が中心に出土している。土3は直径90cm、確認面から底面まで85cmを測る円形の土坑である。断面形は土2に類似する。底面からやや浮いた状況で首利V式の土器片が出土している。土4は東西推定1.6m、南北1m、確認面から底面まで40cmの楕円形の土坑

である。土2・3に切られていることから曾利V式以前の所産である。

#### H17グリッド内1号土坑（H17土1）

直徑90 cm、確認面から底面まで50 cm の円形土坑で、断面形態は底が平坦でバケツ型である。覆土中層から曾利V式の土器片が出土している。

#### K21グリッド内1・2号土坑（K21土1・2）

確認時に27号竪穴住居跡として調査したものであるが、調査により開口部付近で重複する2つの土坑であると分かったことから住居内施設と関連しない土坑と捉えることとした。

上1は直徑1 m、確認面から底面まで80 cm の円形土坑で、断面形態は底の平坦なバケツ型である。曾利I式の大形な破片、V式の土器片および叩き石などの石器が出土している。覆土下層から中層で曾利V式が出土していることからその時期に所産すると考えられる。同一レベルで曾利I式の破片も出土している。これは流れ込みを想定するような大きさではないことから、曾利V式段階に、故意に曾利I式段階の土器片を土坑内へ入れた可能性を指摘しておきたい。土2は直徑1 m、確認面から底面まで60 cm の円形土坑で、断面形態は底の平坦なバケツ型である。

#### K31グリッド内1号土坑（K31土1）

直徑1 m、確認面から底面まで60 cm の円形土坑で、断面形態は底の平坦なバケツ型である。覆土観察では土坑中央付近に直徑20~30 cm の柱状の存在する可能性が認められたが、周辺で組み合うものがないことから土坑として捉えた。覆土や出土遺物から縄文時代の所産である。

#### L31グリッド内1号土坑（L31土1）

直徑1 m、確認面から底面まで50 cm の円形に近い隅丸方形で、断面形態は底の平坦なバケツ型である。覆土や出土遺物から縄文時代の所産である。

#### L31グリッド内2号土坑（L31土2）

直徑1 m、確認面から底面まで70 cm の円形で、断面形態は底の平坦なバケツ型である。覆土下層から磨石と楔形石器が出土している。覆土や出土遺物から縄文時代の所産である。

#### L31グリッド内3号土坑（L31土3）

東西1 m、南北70 cm、確認面から底面まで30 cm の楕円形で、断面形態は皿状である。焼土が覆土中層付近で西側を中心に広がっており、土坑内で火を用いた可能性が高い。

#### K34グリッド内1号土坑（K34土1）

近代以降の浅い土坑に一部壟されている。長軸85 cm、短軸75 cm、確認面から底面まで35 cm の円形で、断面形態は底の平坦なバケツ型である。底面から北西方向に口を開いた状況で曾利V式の深鉢形土器が出土した。土器は口縁の1/8を欠いている。出土状況から存在していない部分は土器埋設時にはすでにない状態であったことが想定される。土器には補修孔2点があるが1点は貫通しているが1点は未貫通である。

#### F10グリッド内井戸

調査区内で唯一の井戸跡である。地籍図や現況の検討により道の脇に存在していたことが分かる。

直徑1 m の円形の穴を水が湧き出す深さ約4.5 m まで掘り下げている。掘り込みの壁の東西に対になって幅14 cm、奥行き20 cm の窪みがある。おそらく階段の代わりとして使用したのであろう。壁にはT字痕が認められた。

上部構造は大型の櫛を小型の櫛を打つようにして数段積み上げたものである。土坑上面に直徑20 cm 程度のピットが1対ある。これは水を汲み取るために施設をかけた柱穴であると考えられる。

使用年代は不明であるが、道が国鉄建設により無くなうことから、概ねその時期に廃絶したものであろう。

#### 連続方形土坑

1辺約2 m の方形、底面は平坦で、壁が直線的に立ち上がる土坑が南北に約7 m の等間隔に10基で1列（75m）、約7 m 隔てて西に平行して1列を確認した。

溝6・7よりも新しく、覆土はI~IV層が混ざったような土であり、人为的に埋め戻したものと考えられる。現在の地割りは明治28年には存在したものである。連続方形土坑の出土遺物で最も新しいものは昭和時代であることから、上地区画を越えて掘削されたことは間違いない。周辺で聞き取りを行なったがそのことを知る方は残念ながらいなかった。

## 第4節 溝

古墳時代から平安時代の溝1条、近・現代の溝6条を確認した。近・現代の溝については地図あるいは道の側溝と考えられる。

#### 1号溝（溝1）

幅約2 m、深さ約1 mで、平面形態はカーブを描いている。断面形態は底面ですばり、開口部に向

けてラッパ状に大きく広がるロート状の形態をしている。覆土から1953年とプリントされた磁器製の碍子が出土しており、1953年以降に溝に覆土が堆積したことがわかる。

#### 2号溝（溝2）

幅約60cm、深さ約55cmで、直線的な溝である。1号溝とはほぼ平行し、地籍図上に存在する道と場所がほぼ一致する。このことから1・2号溝は道の側溝として掘削されたものと考えられる。

#### 3号溝（溝3）

幅約60cm、1層から掘りこまれており深さ70cmを測る。開口部はラッパ状に大きく広がり、底部に向かい傾斜が強くなる。覆土から近・現代の溝と考えられる。

#### 4号溝（溝4）

東西に伸びる溝である。東側は幅1.9mで深さ80cmであるが、調査区のほぼ中央部で確認面から階段状に西に向かって下がる溝が並列する。溝と階段状の合流部で溝は一段下がり、内側へ伸びる。いずれの造構も土層観察では重複関係ではなく、同時に機能していたものといえる。水の流れていたことを示す砂粒の堆積や鉄分の付着は認められない。

覆土上層に平安時代の造構覆土と同質の土が含まれている点及び古墳時代の堅穴住居跡を壊している点から、古墳時代に機能し平安時代まで溝内の土壤堆積が継続したか、平安時代に機能していたものと考えられる。なお、覆土中から平安時代の遺物の出土はなく、大型の砥石が溝底面から出土した。

#### 5号溝（溝5）

調査区内でL字形に曲がる溝である。幅30~90cm、深さ約80cmで、V字状の断面形態である。覆土から近・現代の溝と考えられる。

#### 6号溝（溝6）

幅約1.2m、底面幅約30cmで深さ約60cmの溝である。断面形態は台形であるが、側壁の途中で傾斜変換があり二段掘り込み状となっている。覆土から近・現代の溝と考えられる。

#### 7号溝（溝7）

幅約1.5m、底面幅約45cmで深さ約80cmの溝である。断面形態は台形であるが、側壁の途中で傾斜変換があり二段掘り込み状となっており、溝6と形態的に類似する。覆土から近・現代の溝と考えられる。

#### 8・9号溝（溝8・9）

いずれも幅約1m、深さ約15cmで断面形態は直

形をしており平行して存在している。現在ほとんど使用されることのない道が調査区外へ延び、その道と連動することから、道に伴う側溝と考えられる。覆土から近・現代の溝と考えられる。

#### 10号溝（溝10）

幅約20cm、深さ約10cmの溝である。溝4を除く溝1~9の覆土と比較して、ロームブロックなどの混入が見られず、それらの溝とは時期が異なるものと考えられるが、出土遺物がなくまた掘り込み層位を確認し得なかったことから時期特定には至っていない。

### 第5節 遺構外の遺物

調査区内の遺構以外または遺構に明らかに伴わない遺物が出土している。それらを時代ごとに以下に報告する。各遺物についての詳細は概要表に譲りここでは時期ごとの傾向を報告することとする。

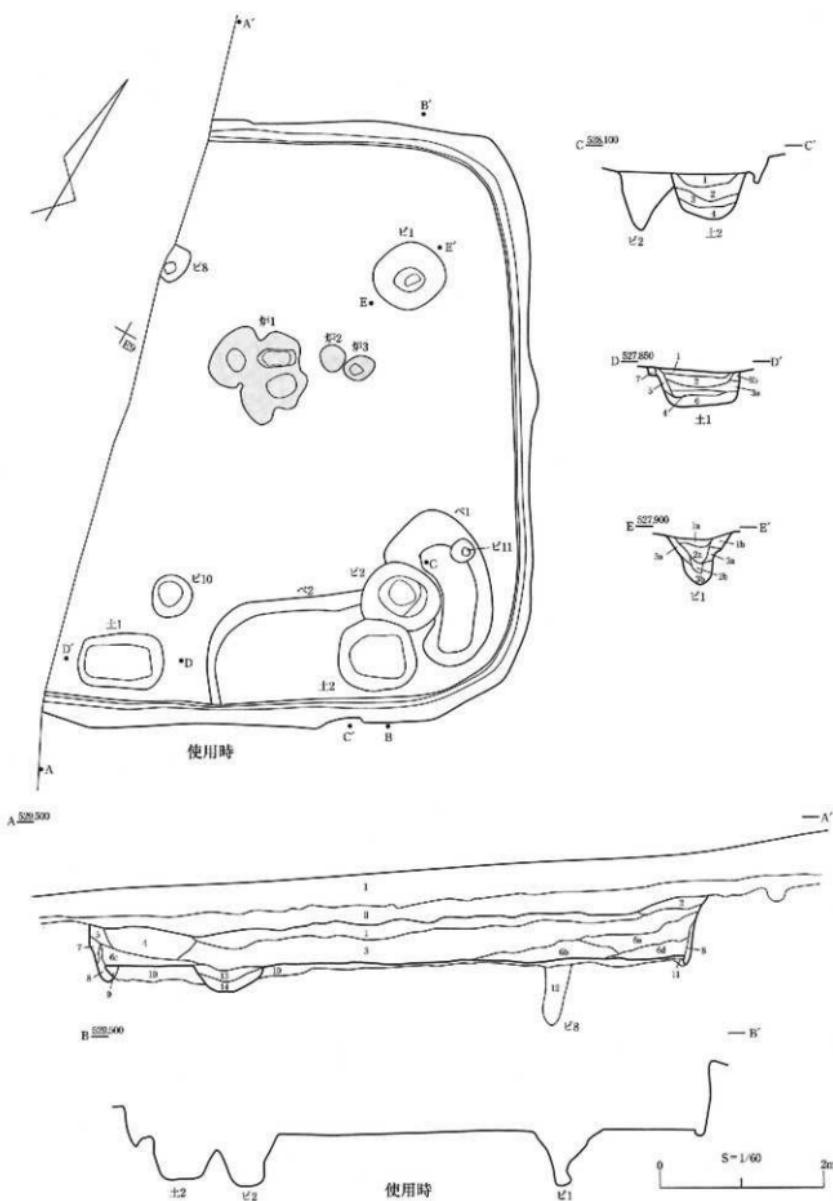
縄文時代：早期から前期の遺物は調査区南端の沢に向かって落ち込む斜面に堆積する黒色土中から出土している。時期はやや遅るが当遺跡の北に位置する次第跡遺跡からも同様な地形から早期末葉の上器が出土している。いずれも遺構は伴わず遺物のみである点と出土する土器の時間的幅が短いことが共通している。

中期の遺物は調査区南半分を中心に出土した。特に曾利V式及び加曾利E4式資料が量的に多い。土坑などの存在とともに、縄文時代における宿戸遺跡の集落内での調査範囲の土地利用形態を示している。

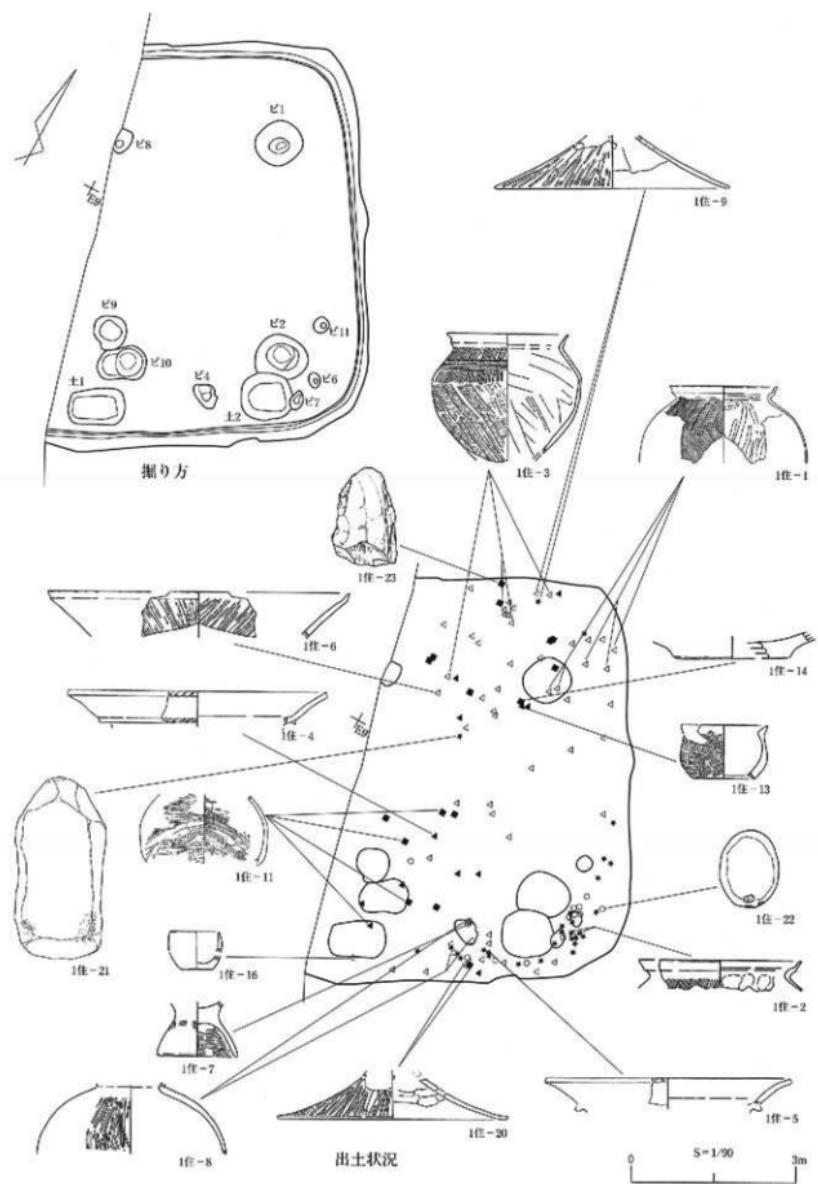
後期は称名寺式・堀之内式が出土しているが量的には少ない。

弥生時代：櫛描波状文の施文された壺などが出土しているが、極めて少ない。

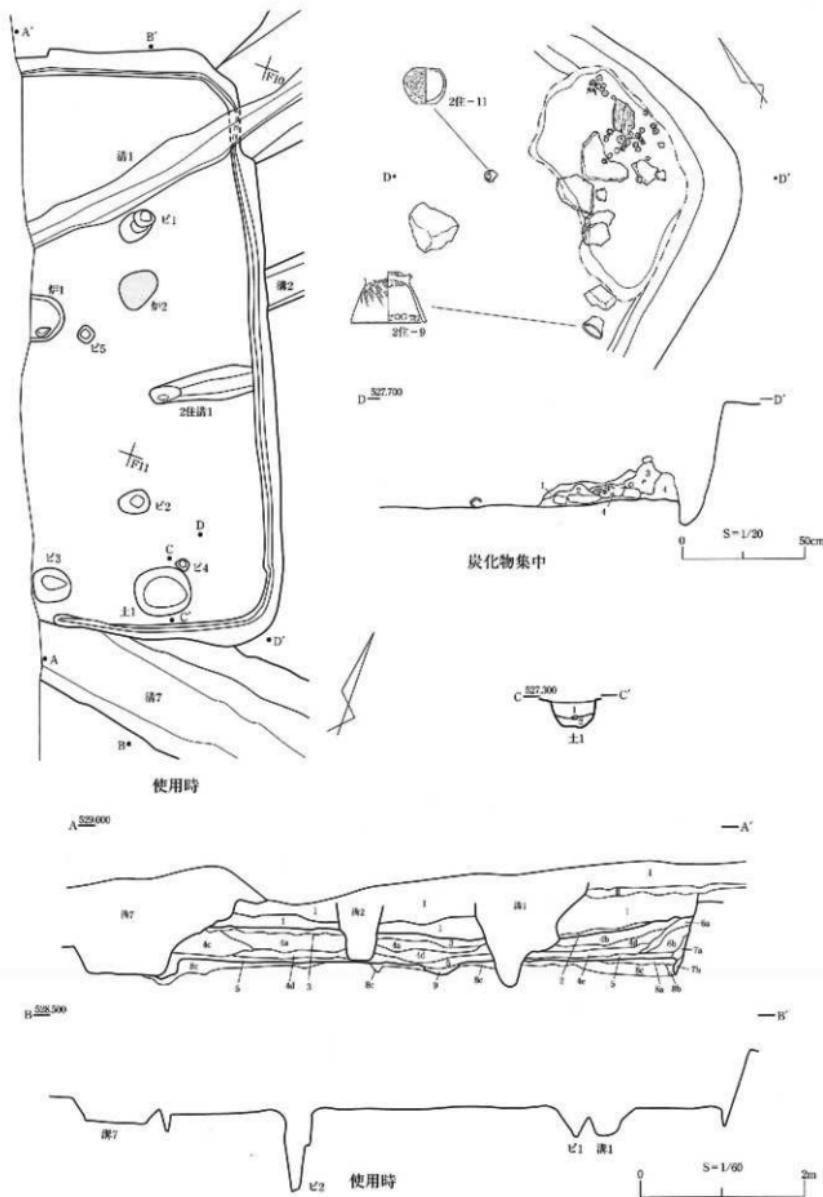
古墳時代・平安時代：遺構外からの出土は少なく、堅穴での土器の使用や廐棄などはほとんど行なわれなかつたものと考えられる。掘立柱建物跡の内部に当たる部分でも遺物の出土は稀であった。



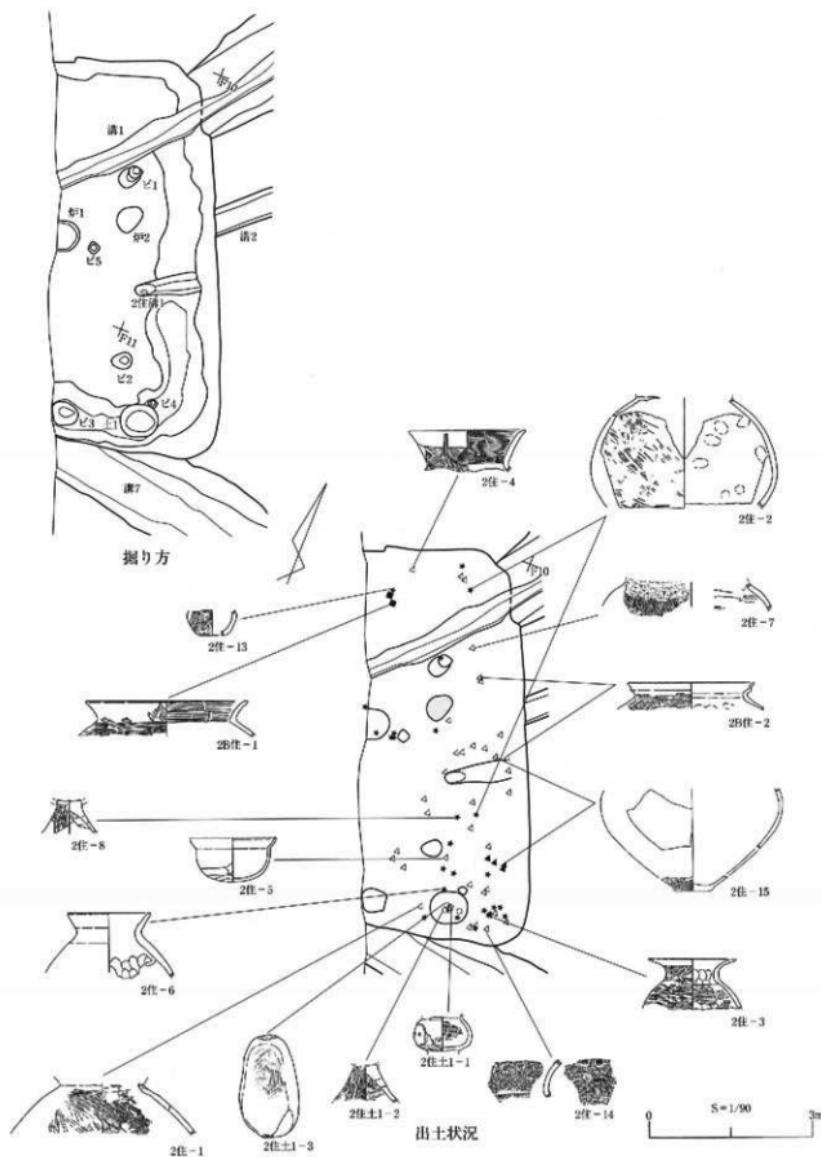
第7図 1号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



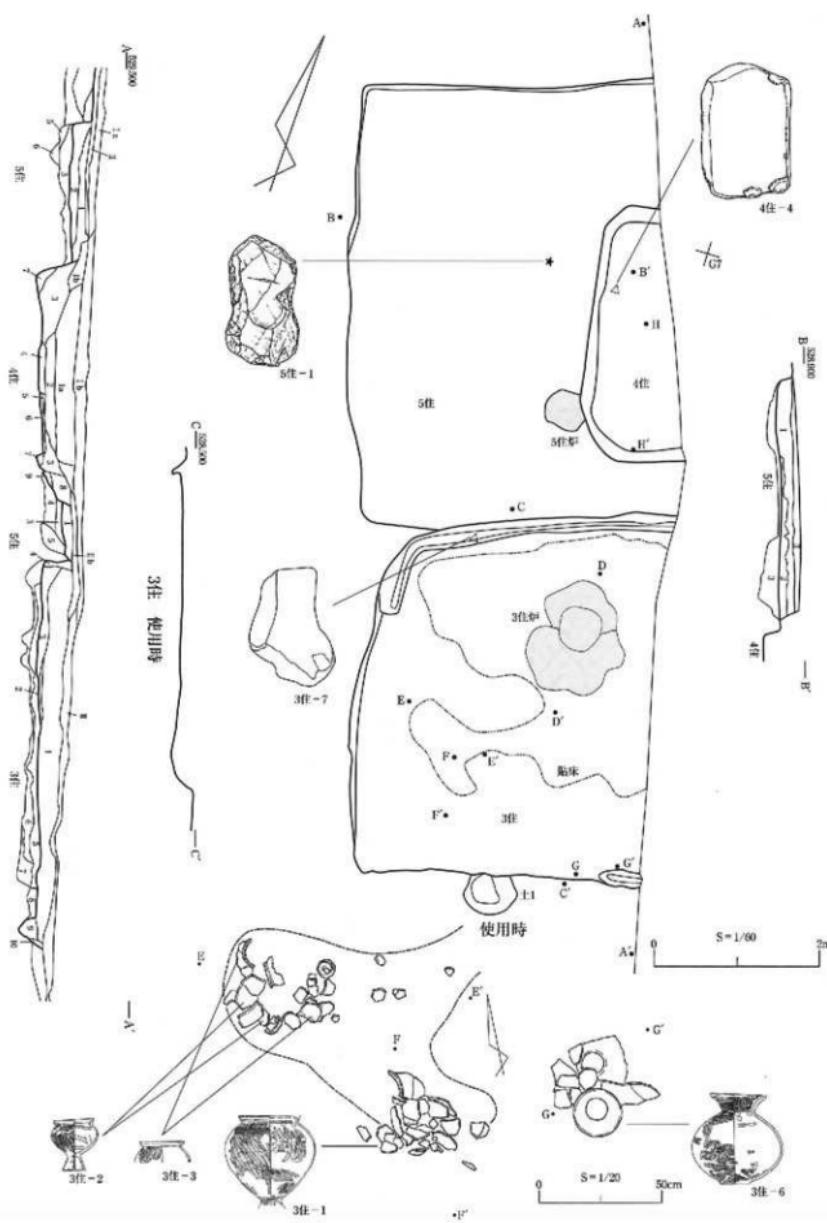
第8図 1号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



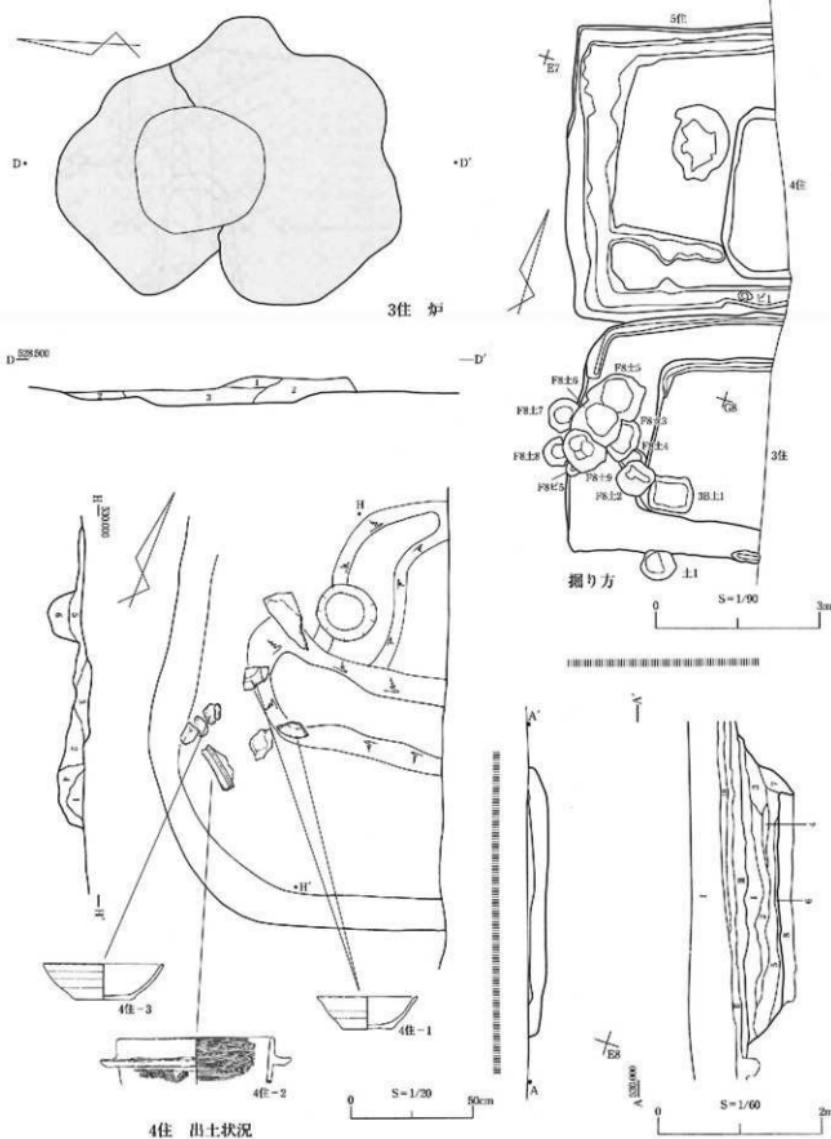
第9図 2号竖穴住居跡 平・断面図 (1)



第10図 2号竪穴住居跡 平・断面図 (2)

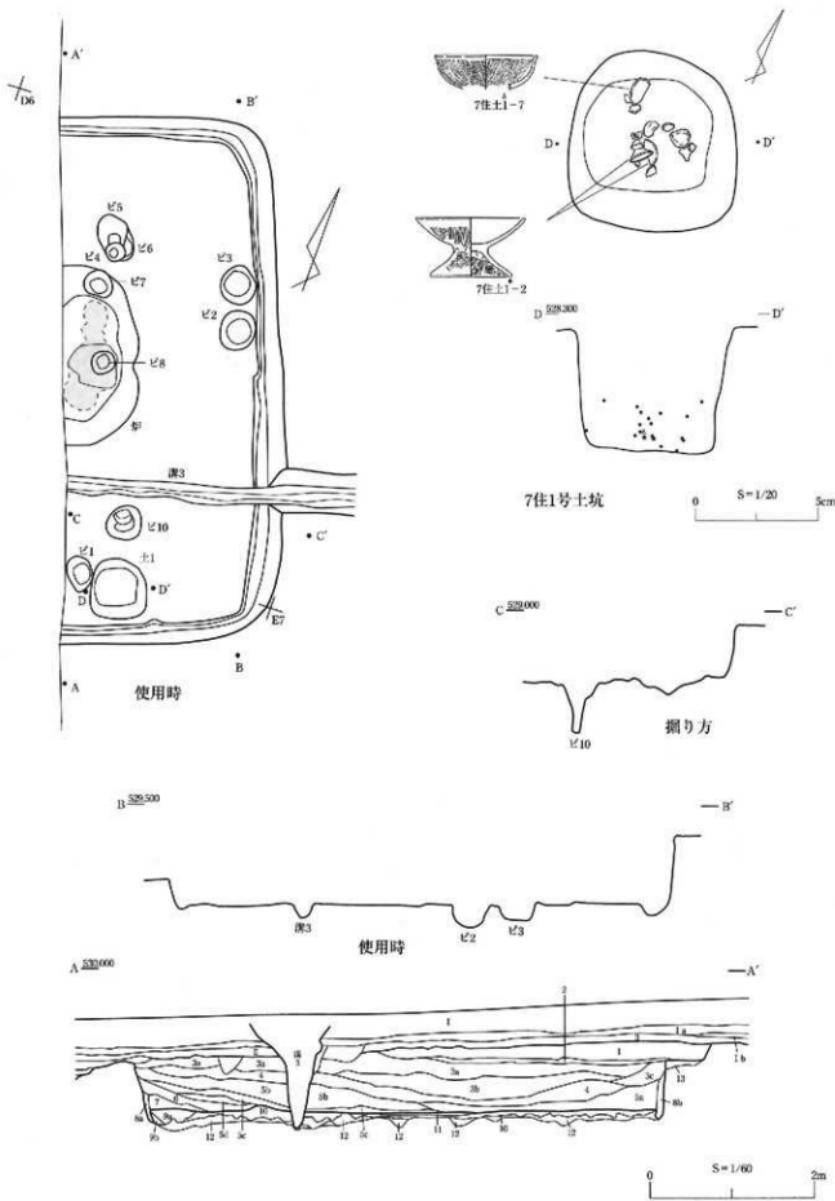


第11図 3・4・5号竪穴住居跡 平・断面図 (1)  
 Plan and section diagrams of the 3, 4, and 5 Vertical Pit Dwelling sites (1)

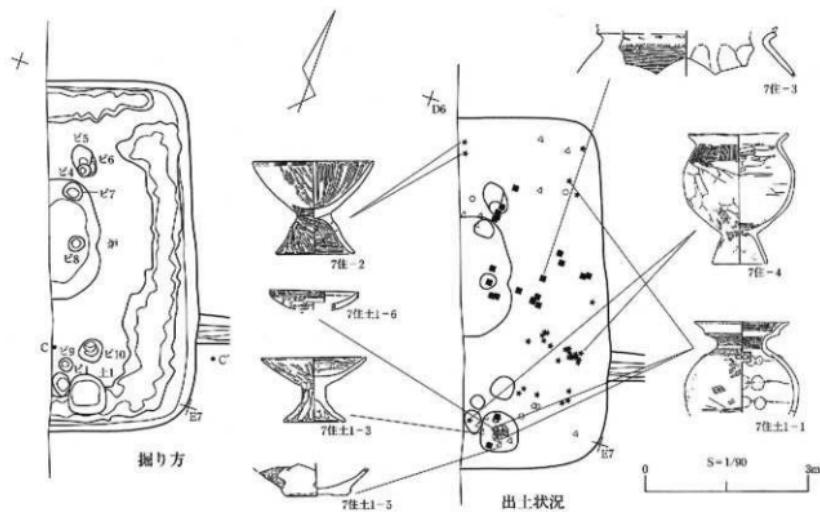


第12図 3・4・5号竪穴住居跡 平・断面図 (2)

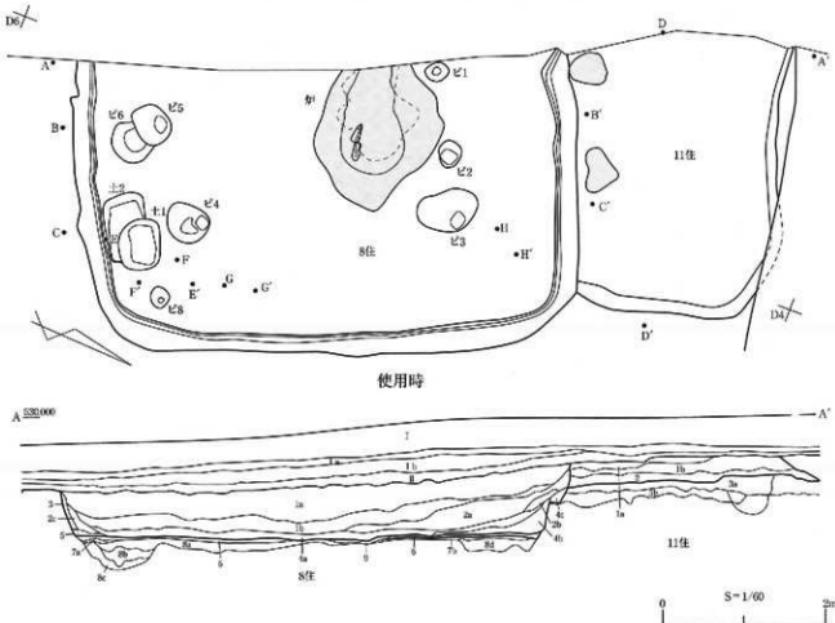
第13図 6号竪穴住居跡 平・断面図



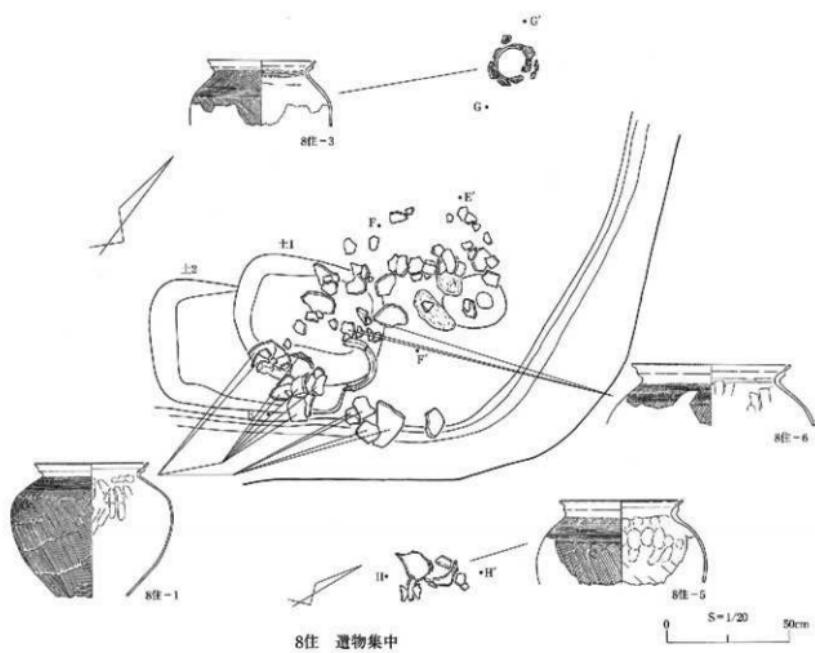
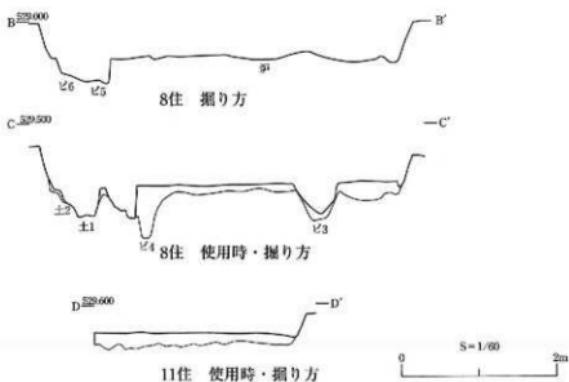
第14図 7号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



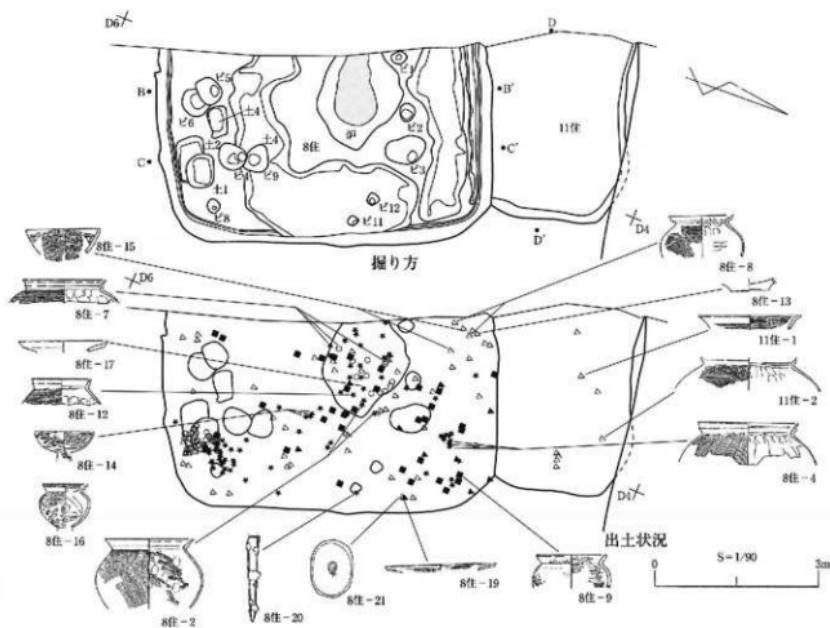
第15図 7号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



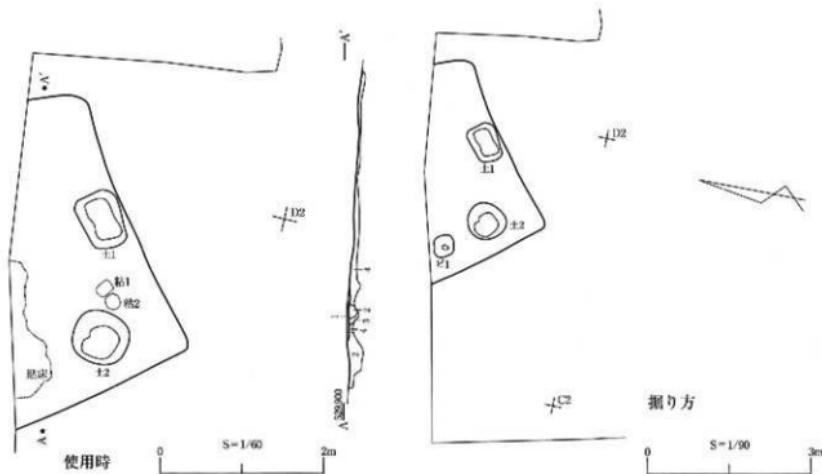
第16図 8・11号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



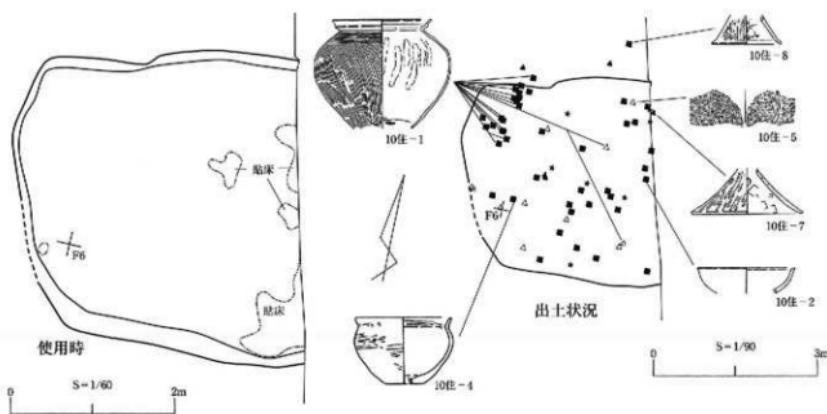
第17図 8・11号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



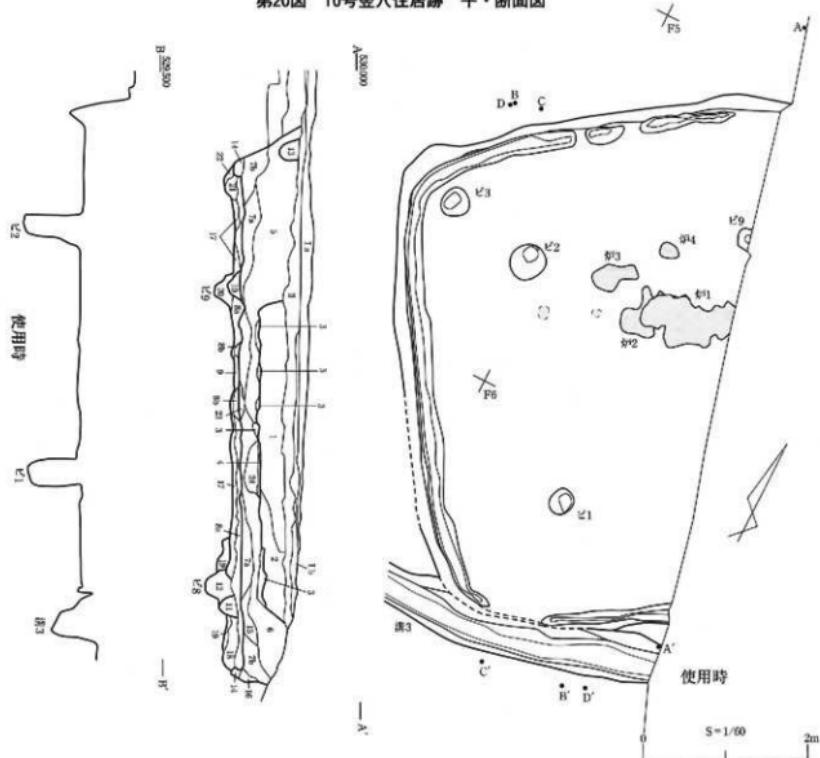
第18図 8・11号竪穴住居跡 平・断面図 (3)

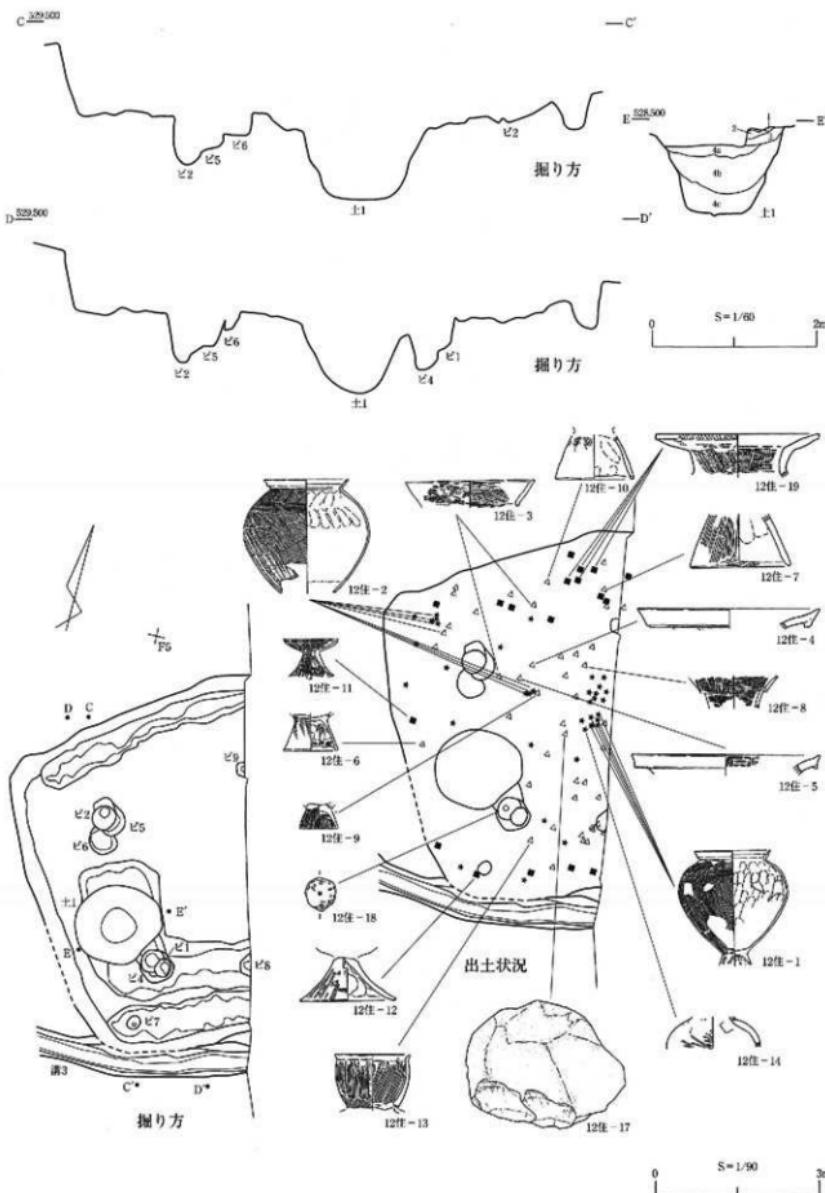


第19図 9号竪穴住居跡 平・断面図

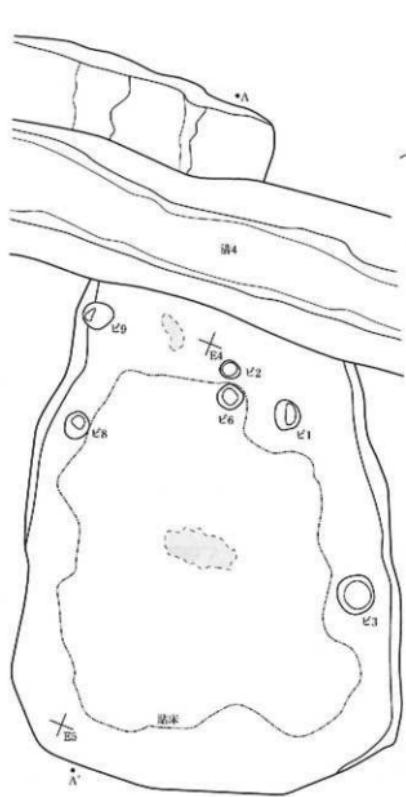


第20図 10号竪穴住居跡 平・断面図

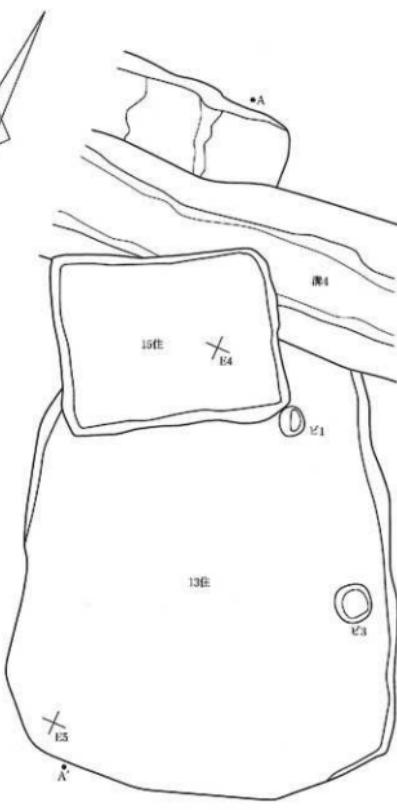




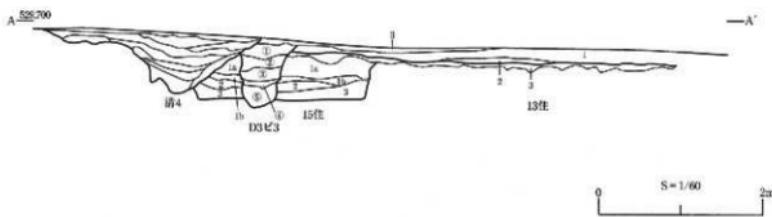
第22図 12号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



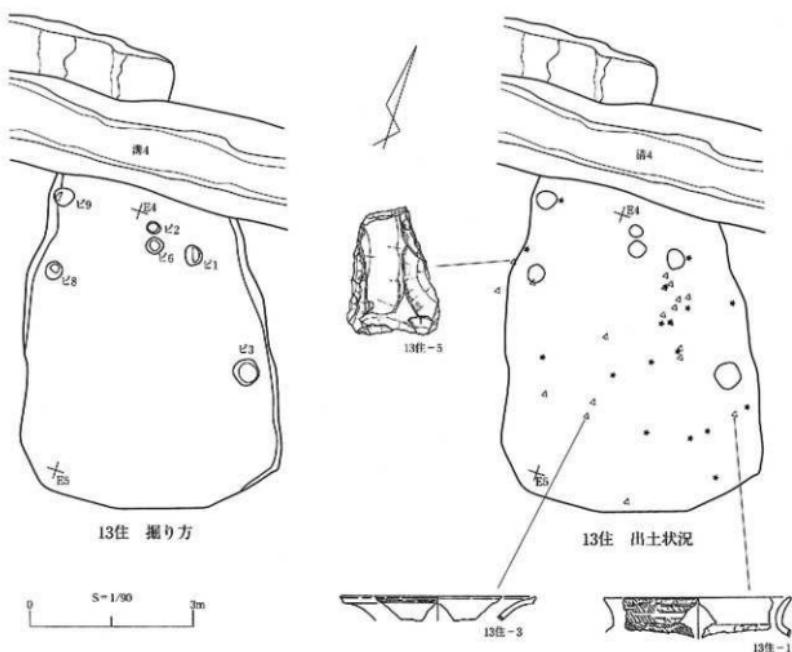
13住 使用時



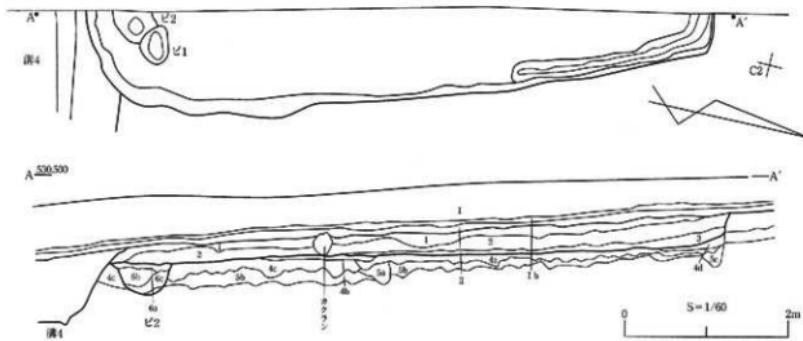
15住 使用時



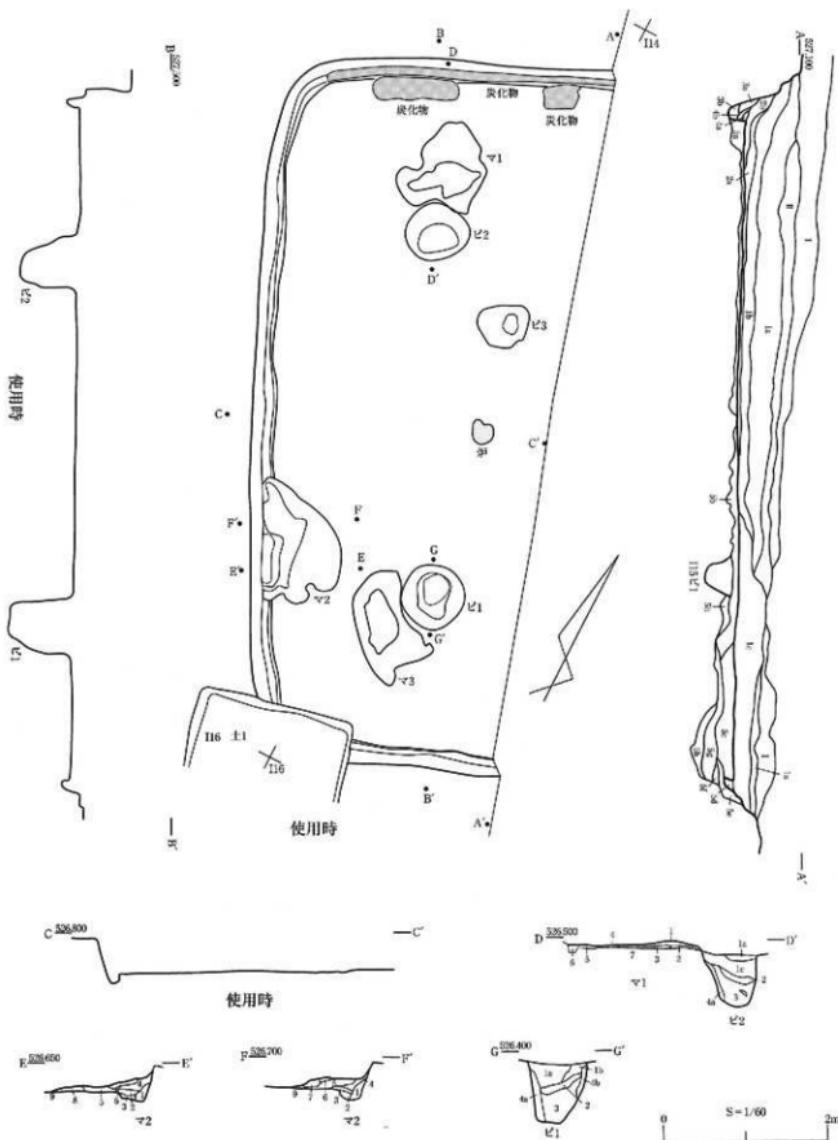
第23図 13・15号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



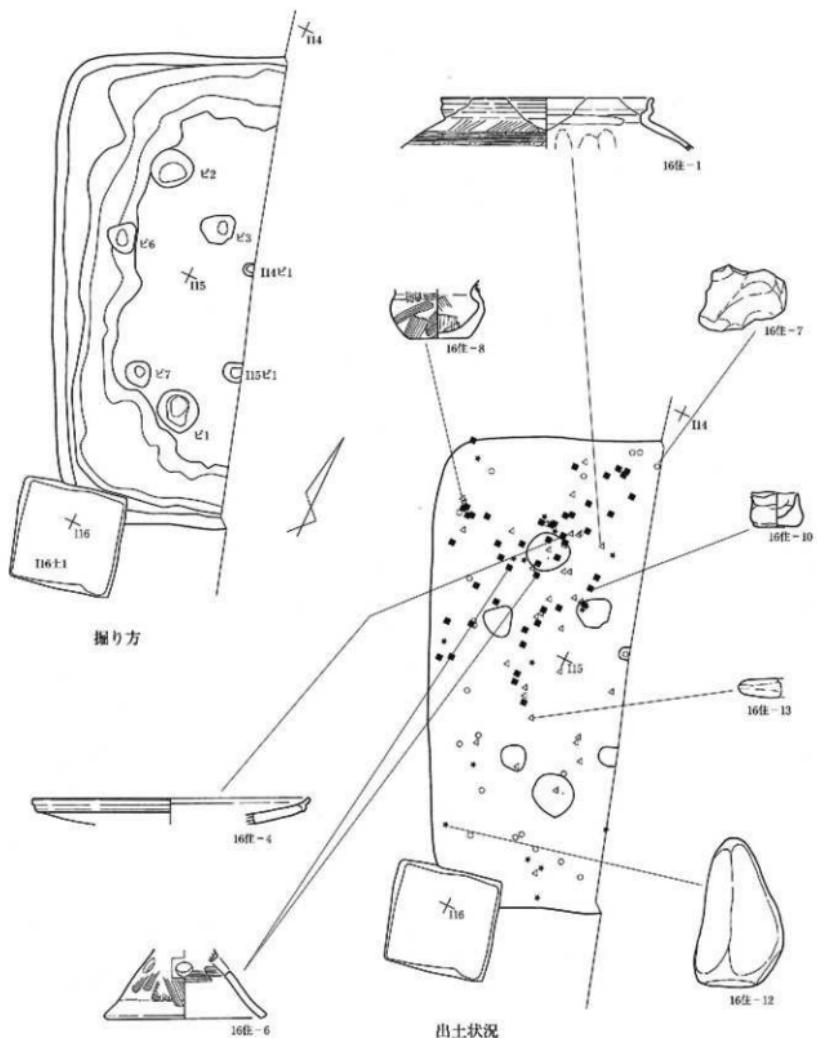
第24図 13・15号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



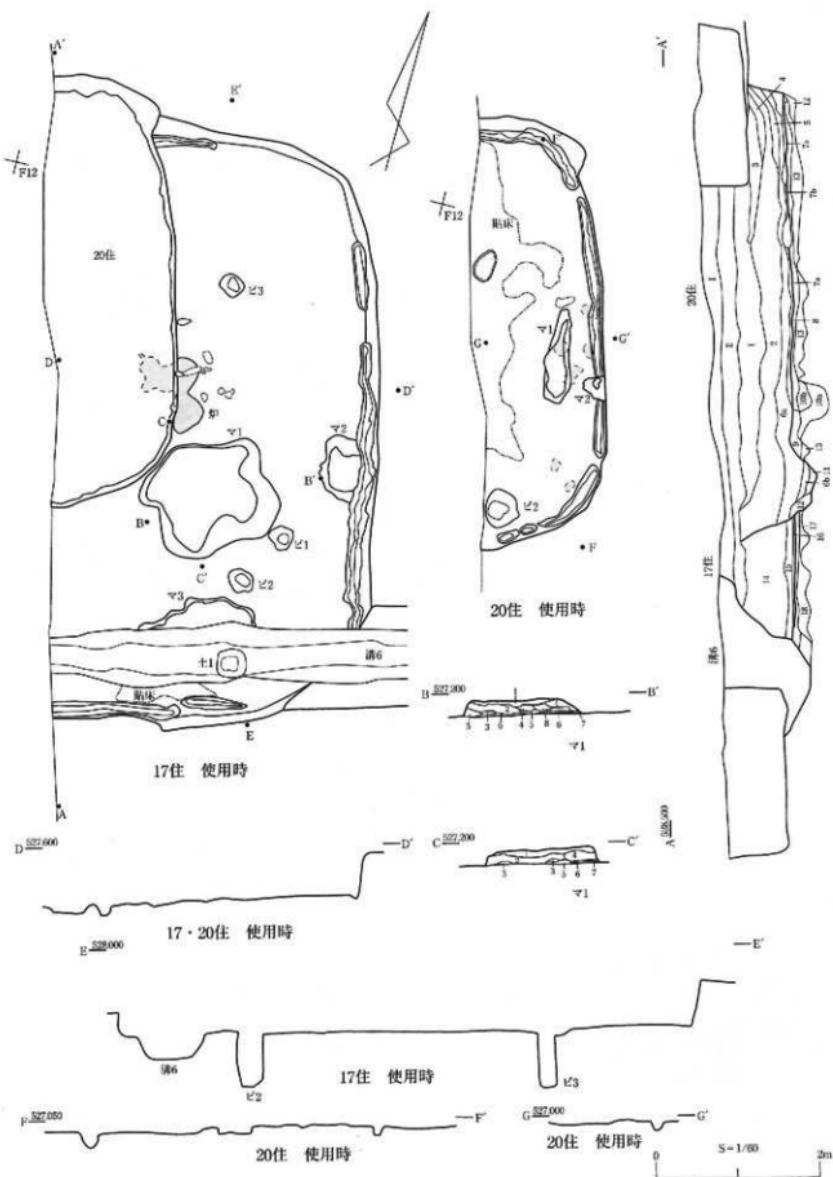
第25図 14号竪穴住居跡 平・断面図



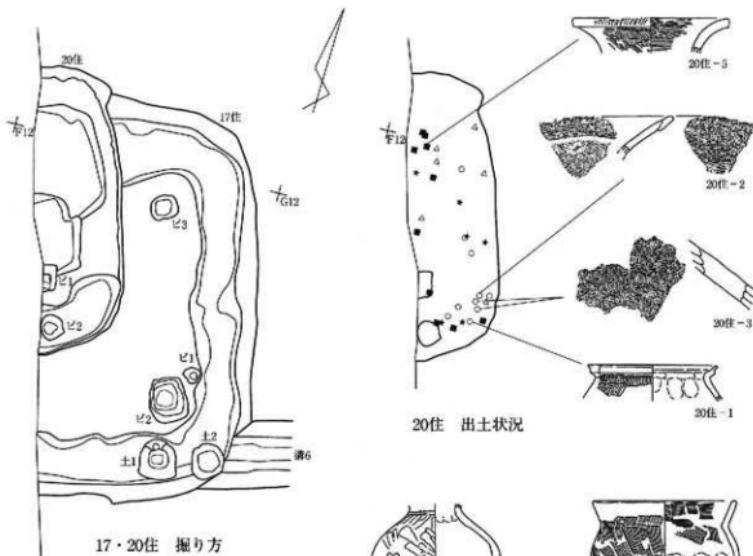
第26図 16号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



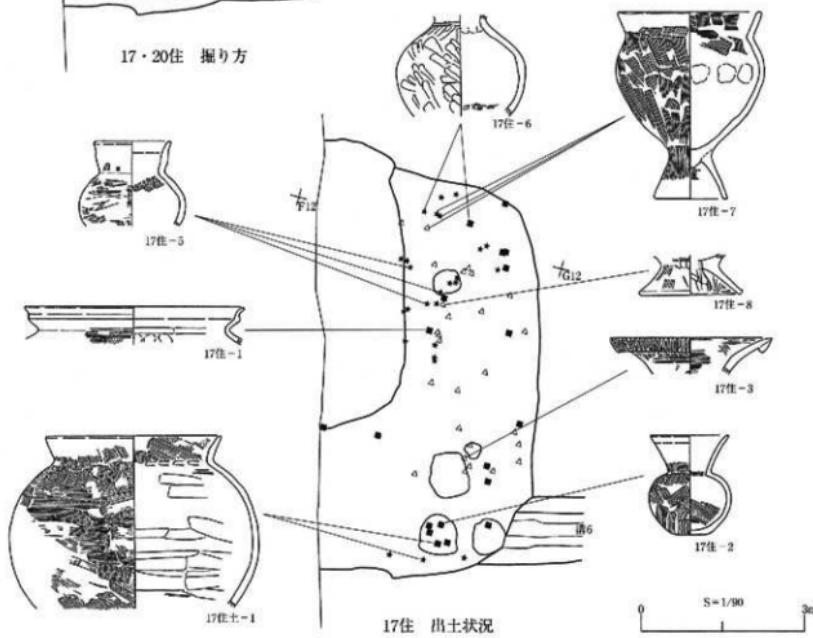
第27図 16号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



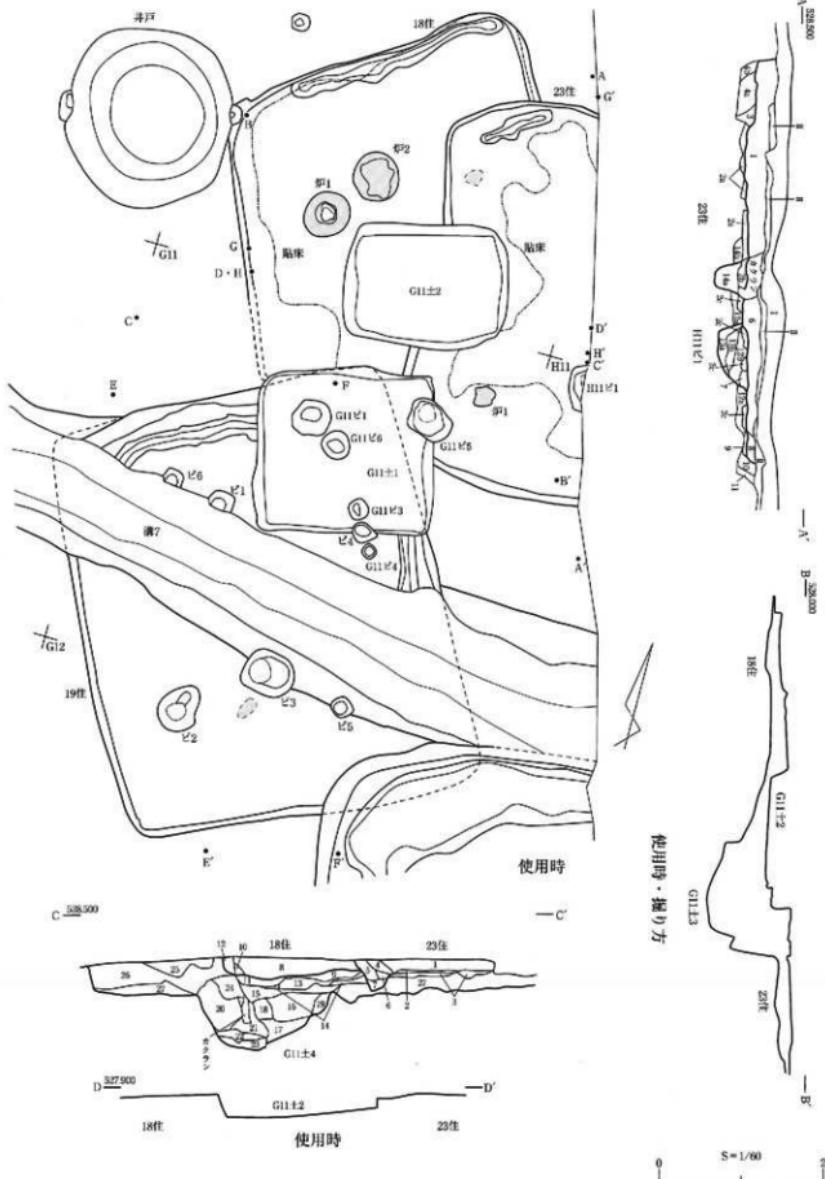
第28図 17・20号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



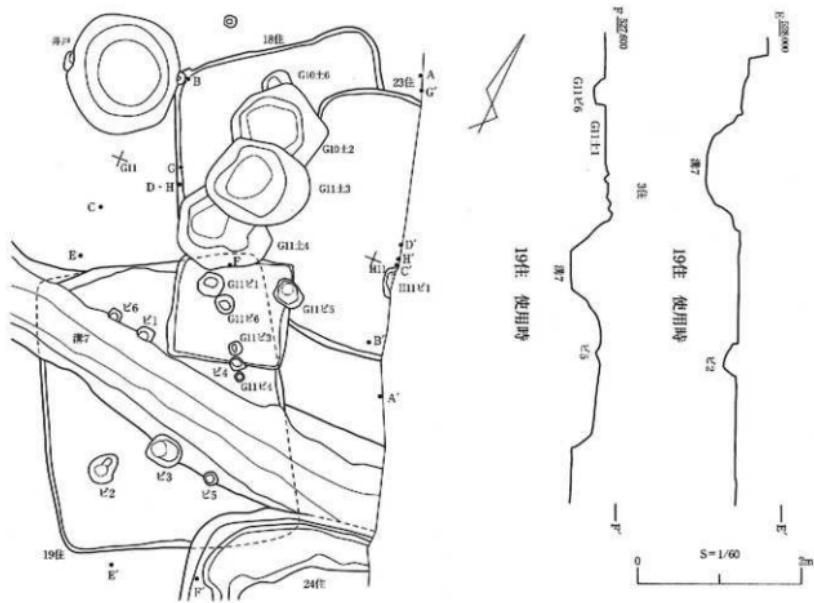
17・20住 挖り方



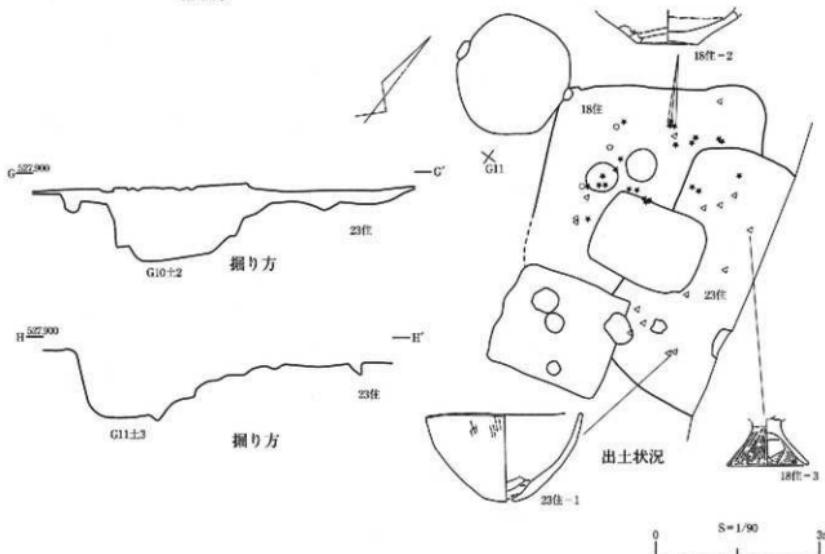
第29図 17・20号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



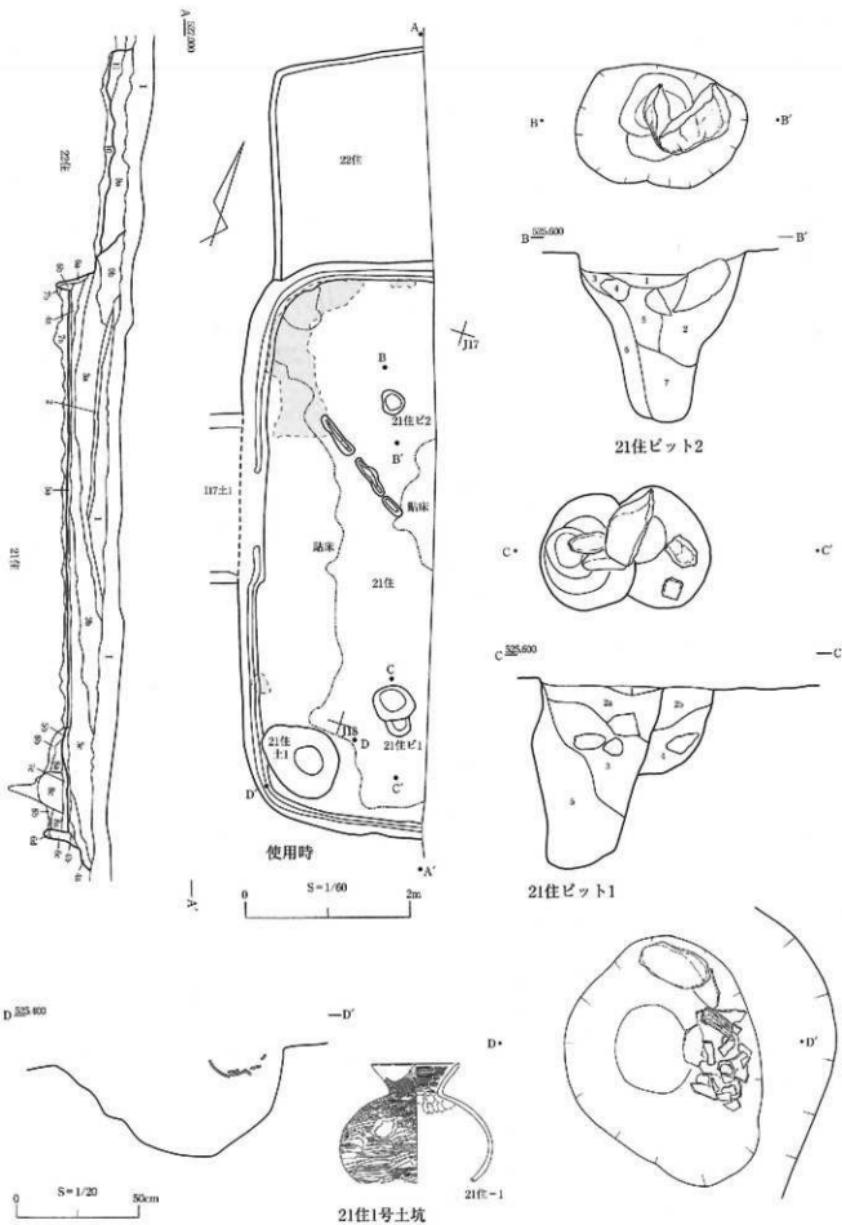
第30図 18・19・23号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



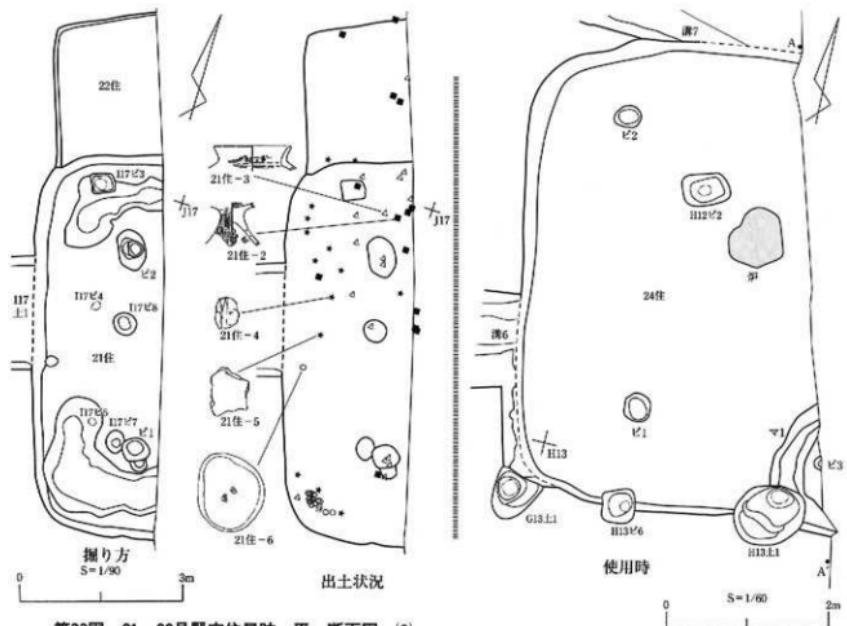
掘り方



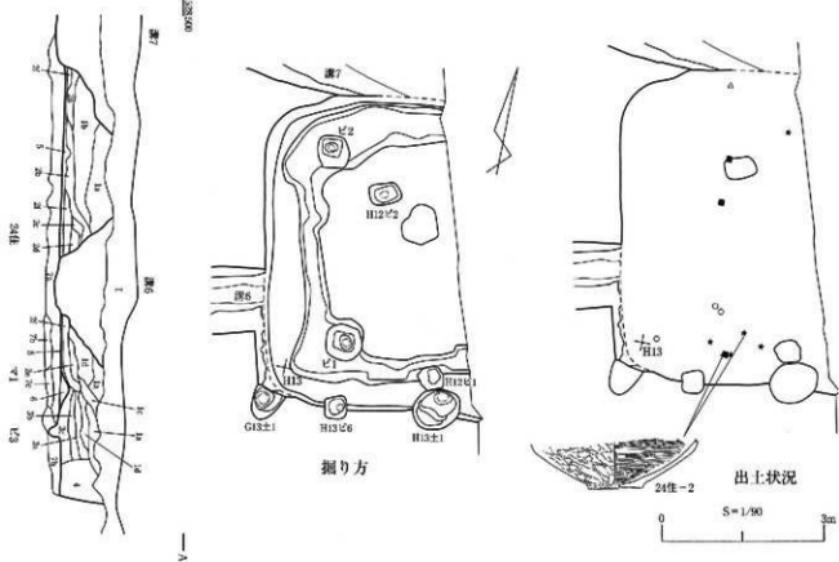
第31図 18・19・23号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



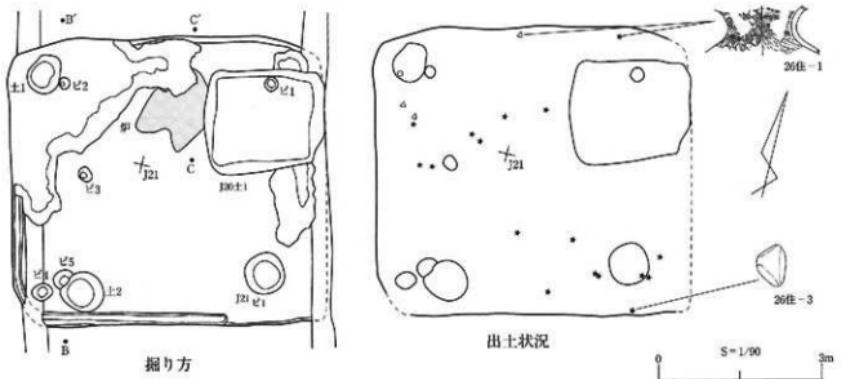
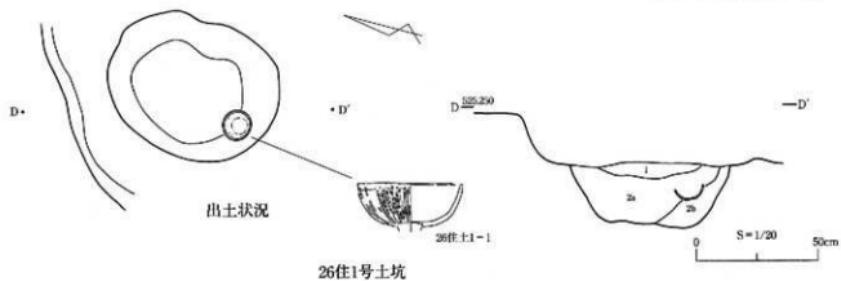
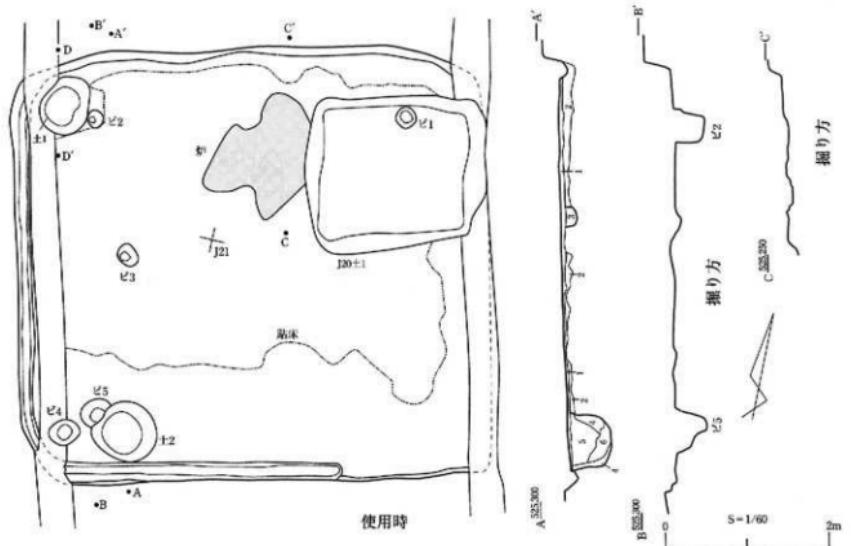
第32図 21・22号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



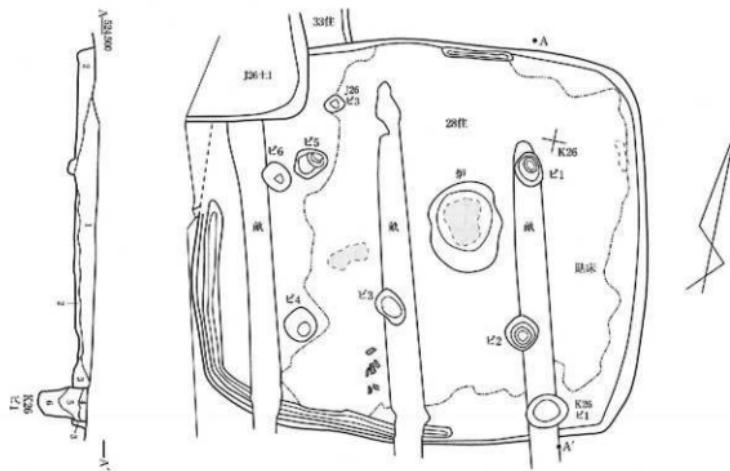
第33図 21・22号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



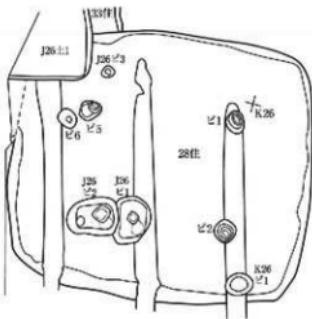
第34図 24号竪穴住居跡 平・断面図



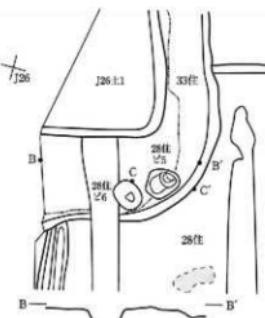
第35図 26号竪穴住居跡 平・断面図



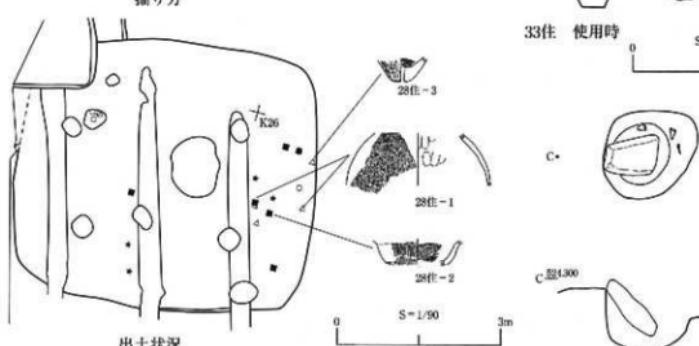
28住 使用時



掘り方

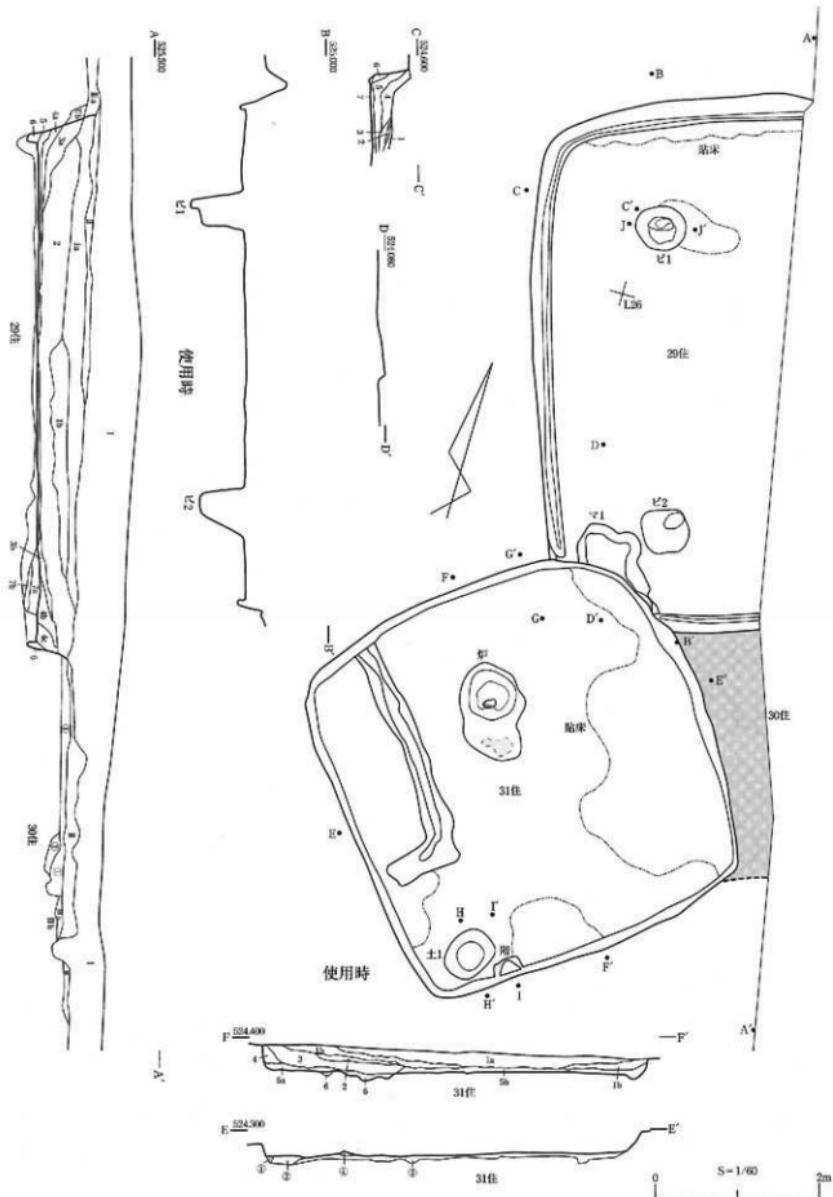


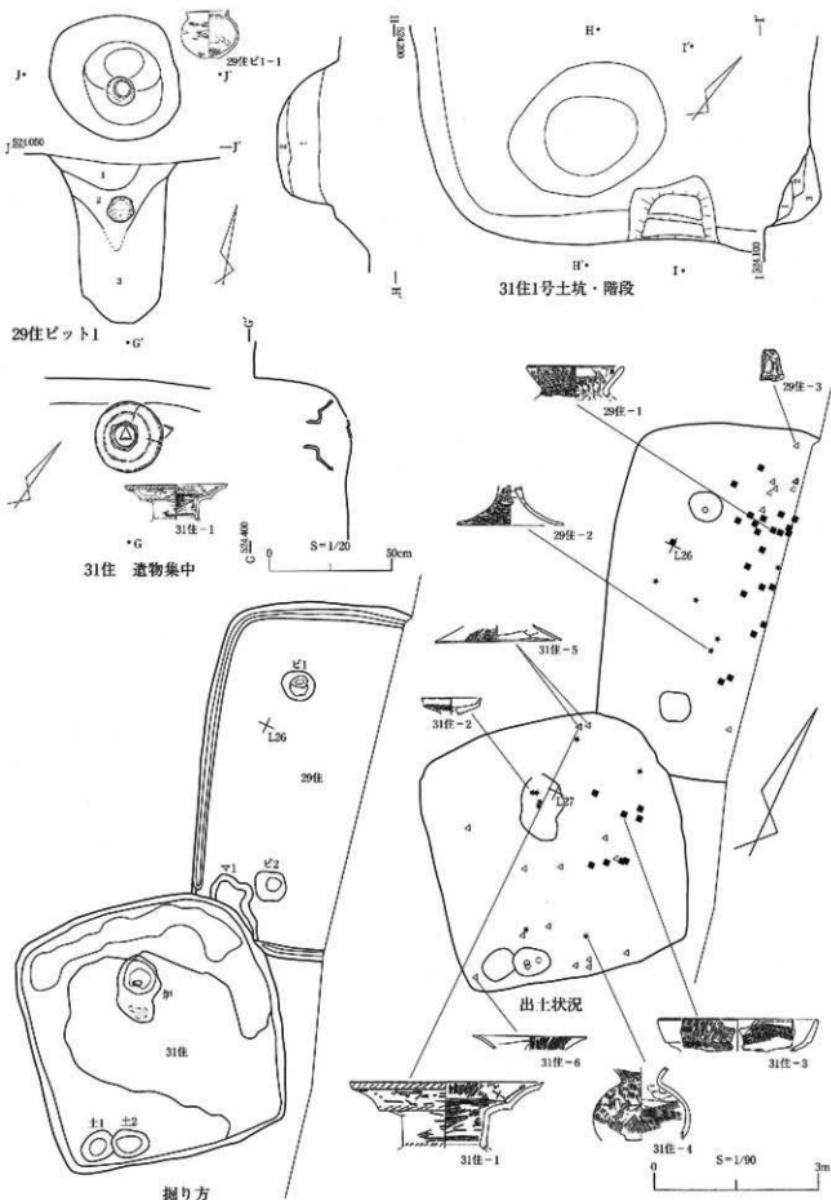
33住 使用時



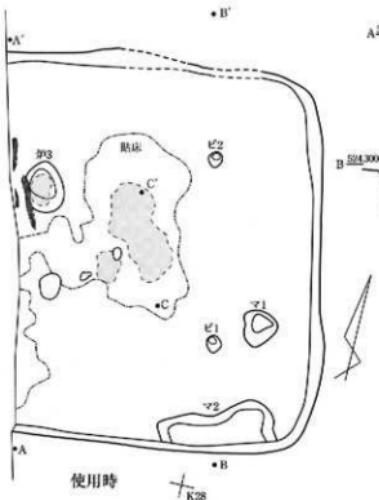
28住 ピット5 S=1/20 50cm

第36図 28・33号竪穴住居跡 平・断面図





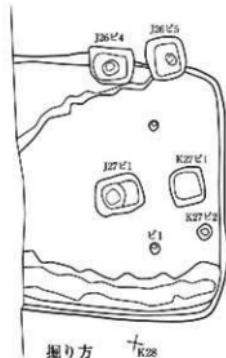
第38図 29・31号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



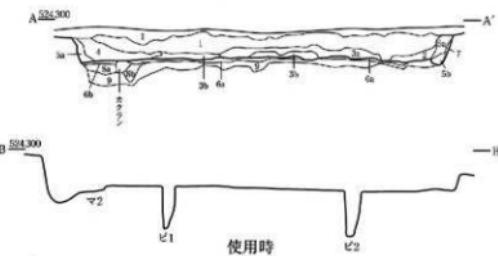
使用時



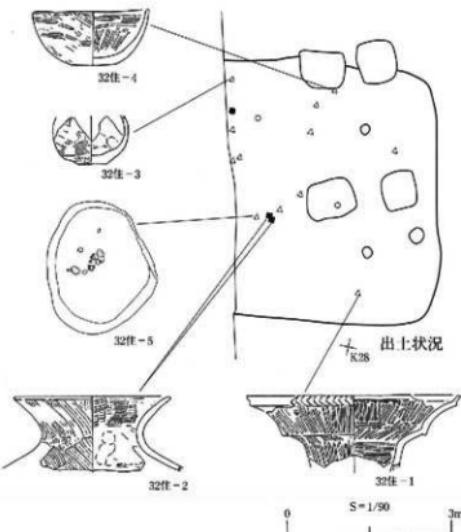
S = 1/60



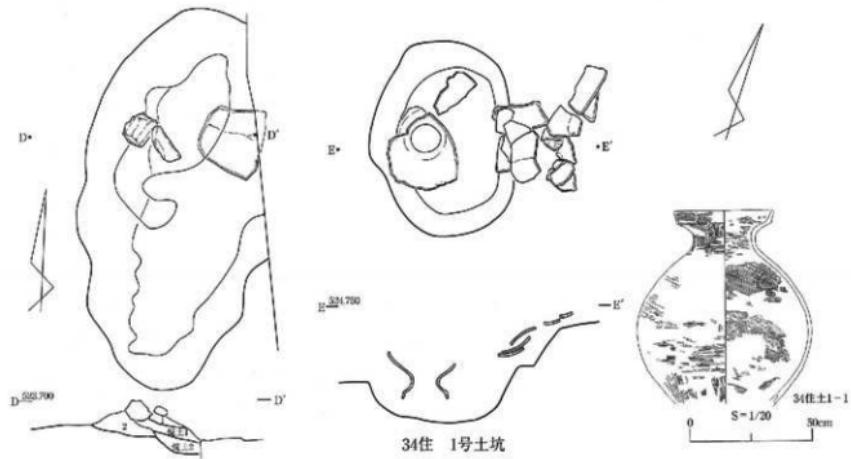
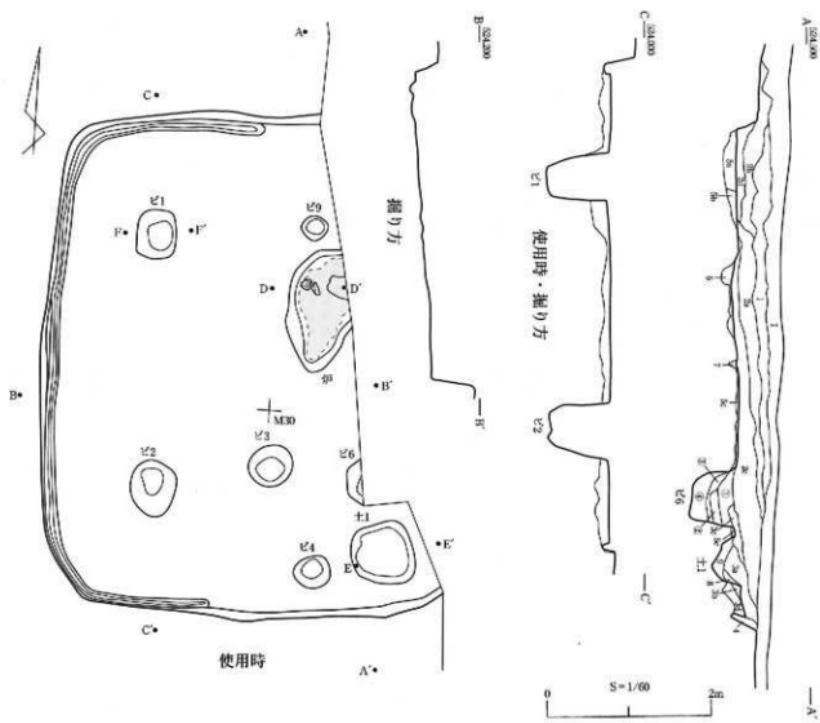
掘り方



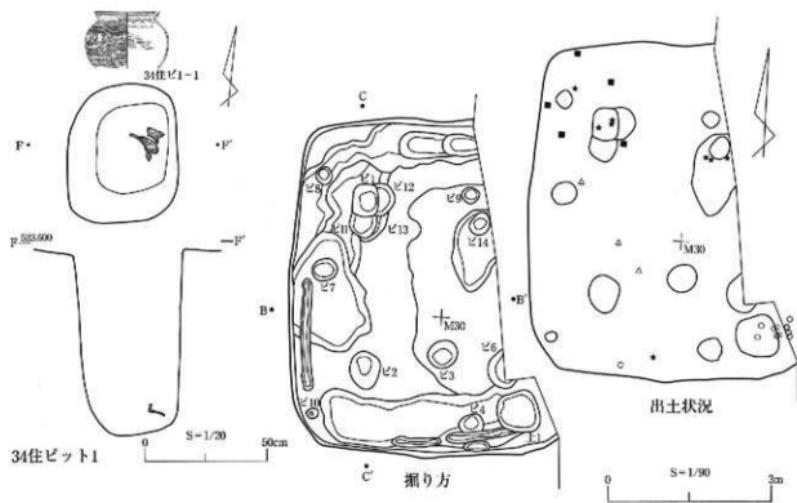
使用時



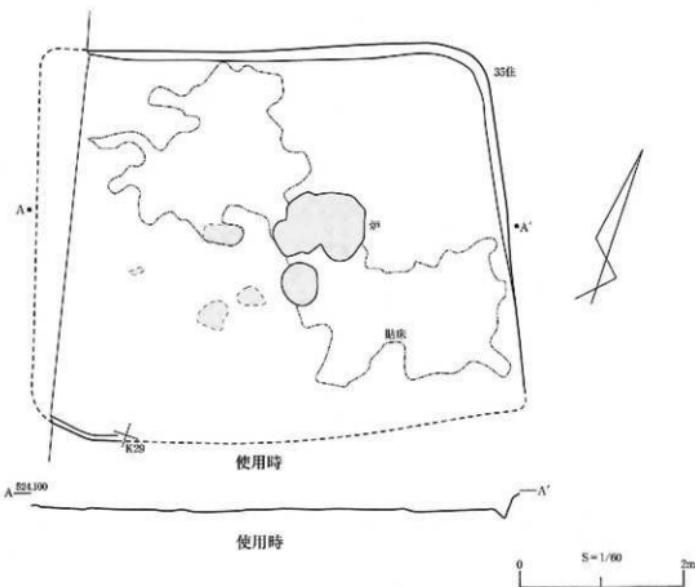
第39図 32号竪穴住居跡 平・断面図



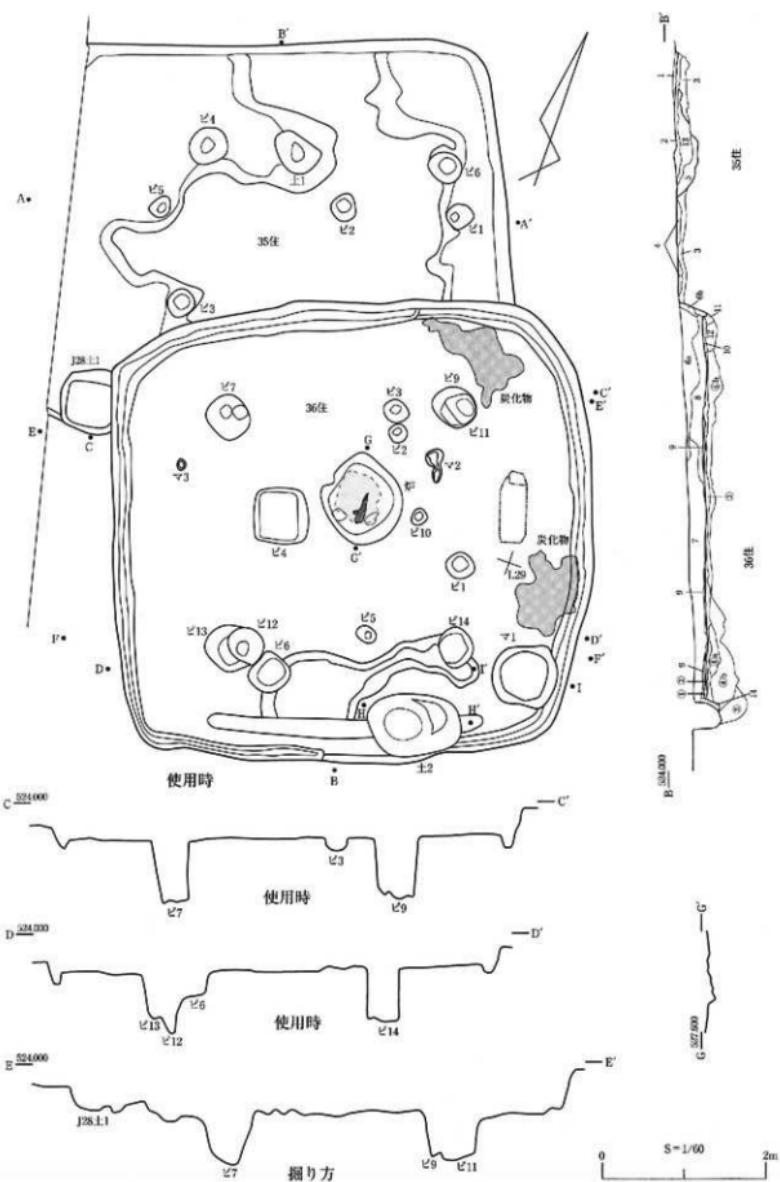
第40図 34号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



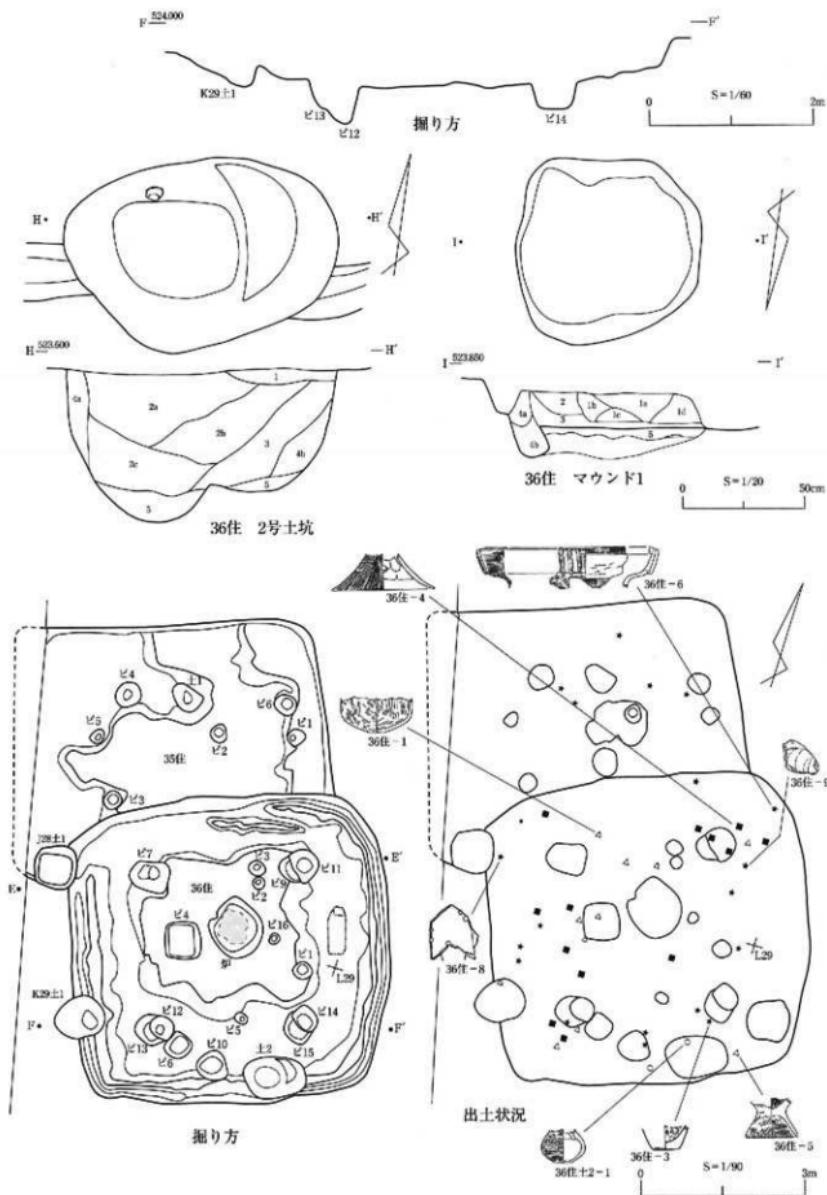
第41図 34号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



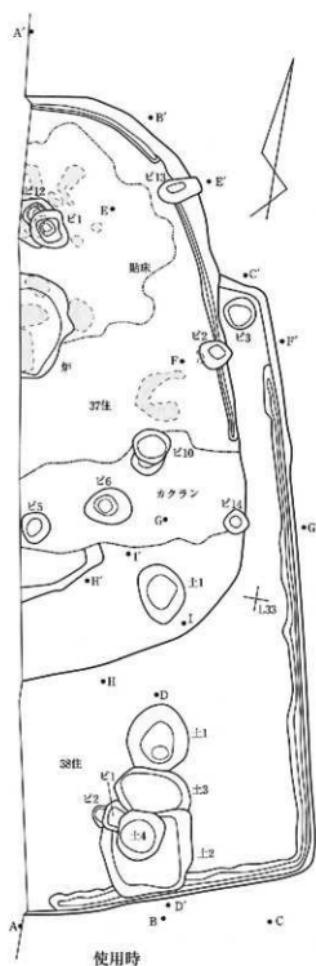
第42図 35号竪穴住居跡 平・断面図



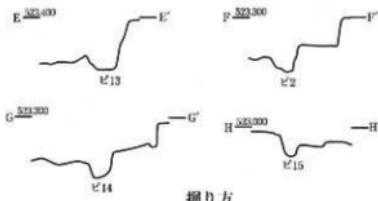
第43図 35・36号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



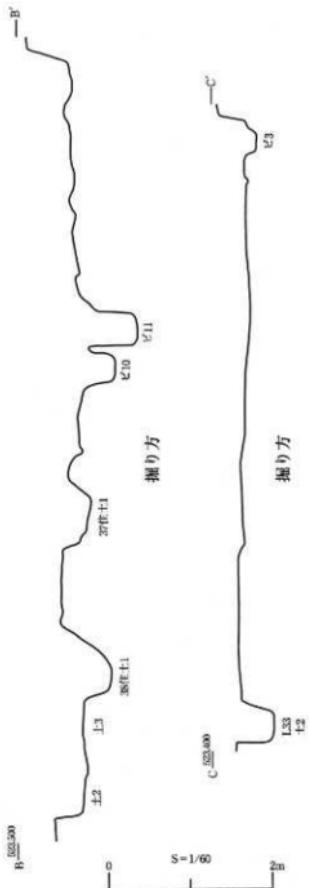
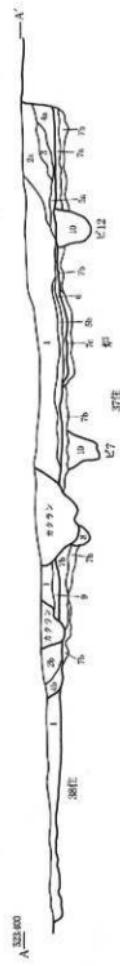
第44図 35・36号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



使用時



掘り方



B 1/60  
30cm

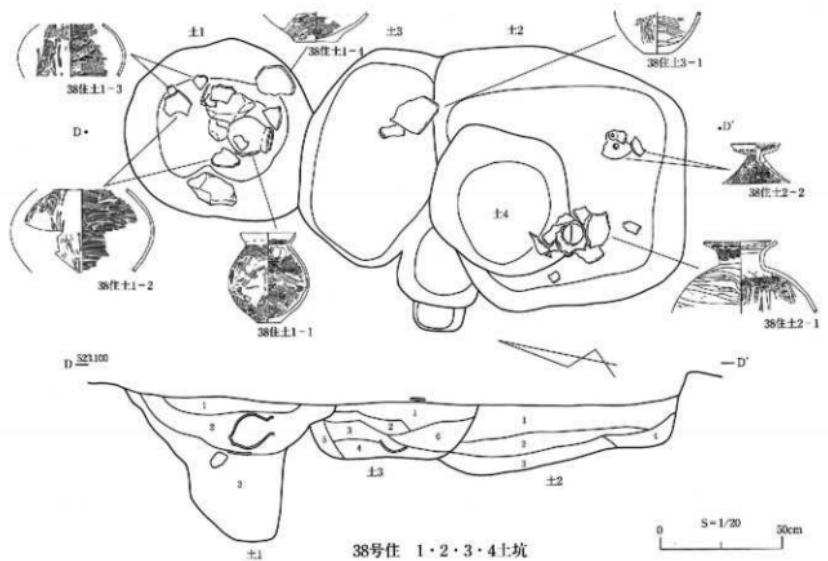
S = 1/60



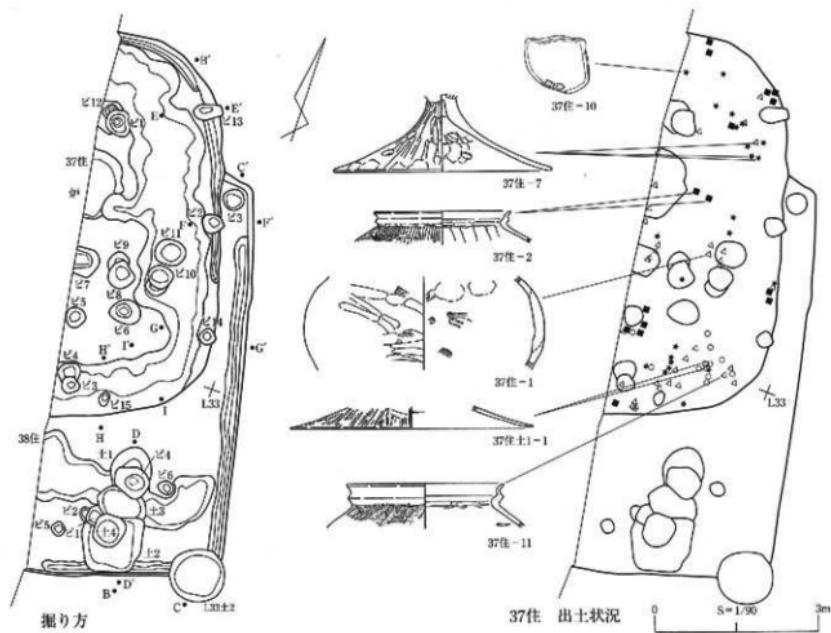
37住 1号土坑

S = 1/20  
50cm

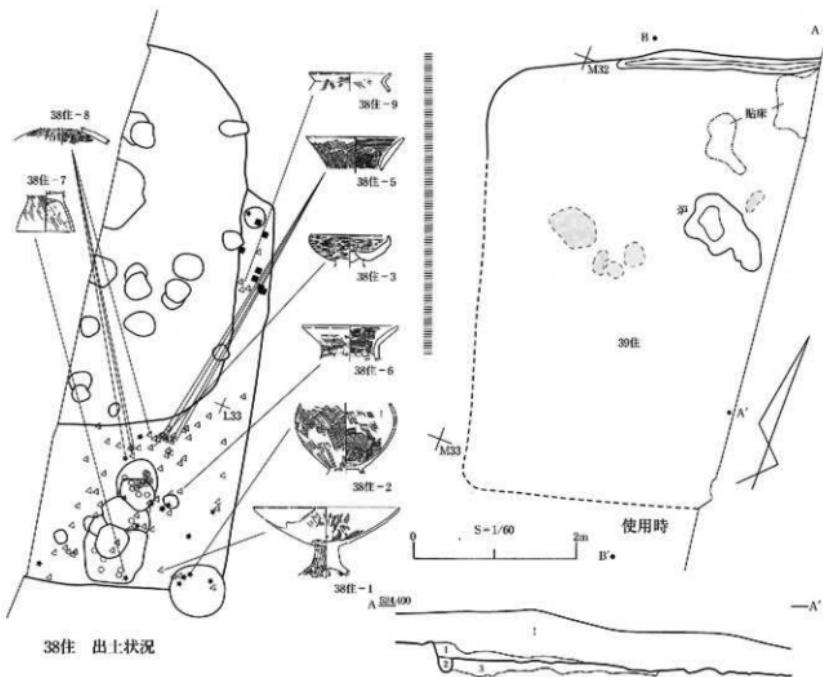
第45図 37・38号竪穴住居跡 平・断面図 (1)



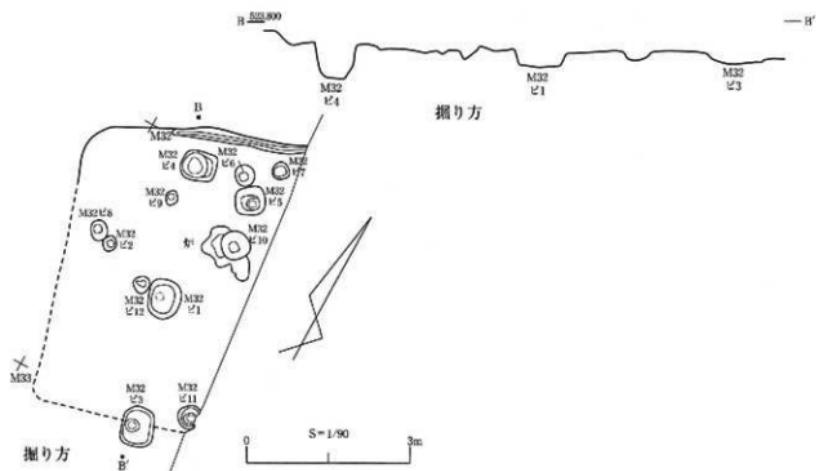
38号住 1・2・3・4土坑



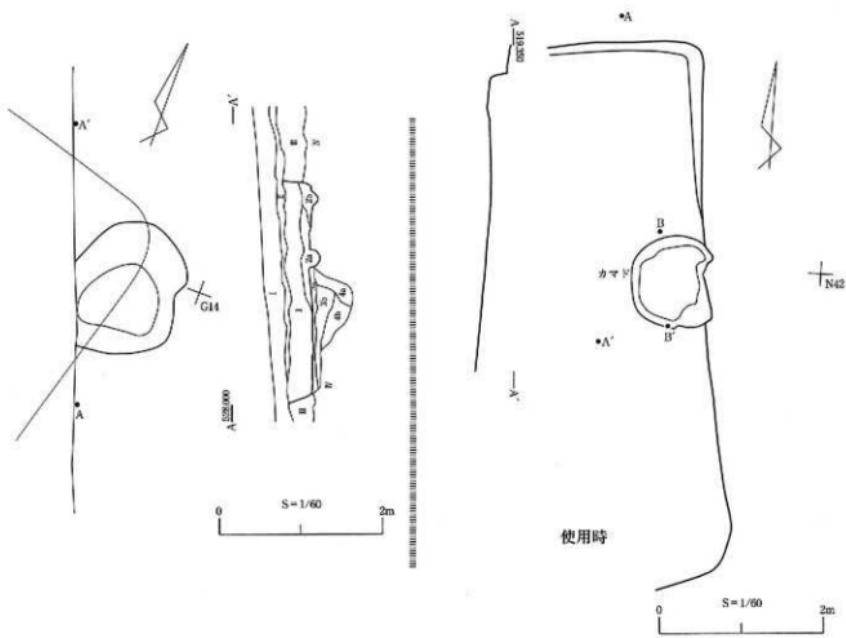
第46図 37・38号竪穴住居跡 平・断面図 (2)



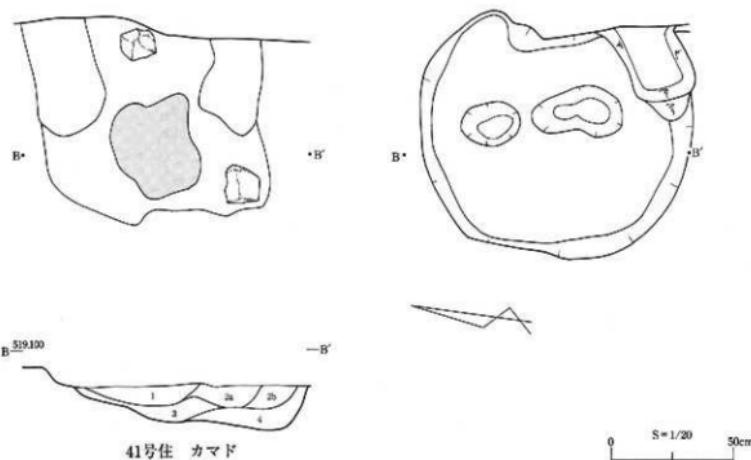
第47図 37・38号竪穴住居跡 平・断面図 (3)



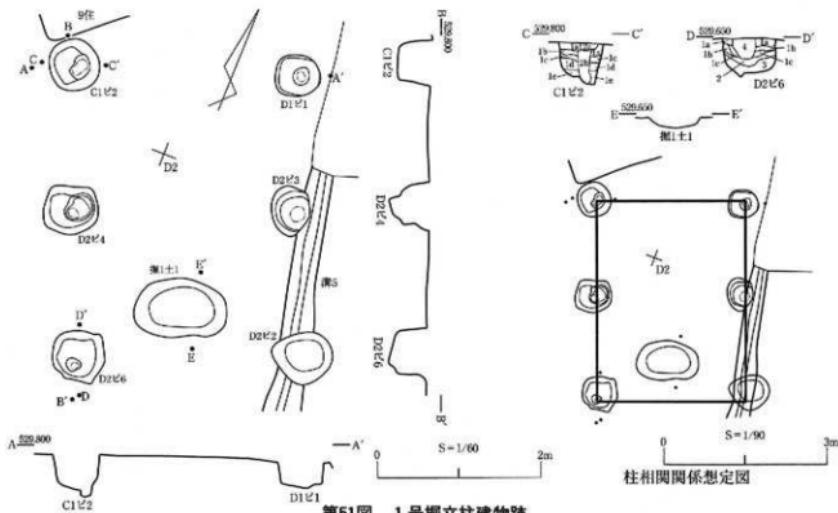
第48図 39号竪穴住居跡 平・断面図



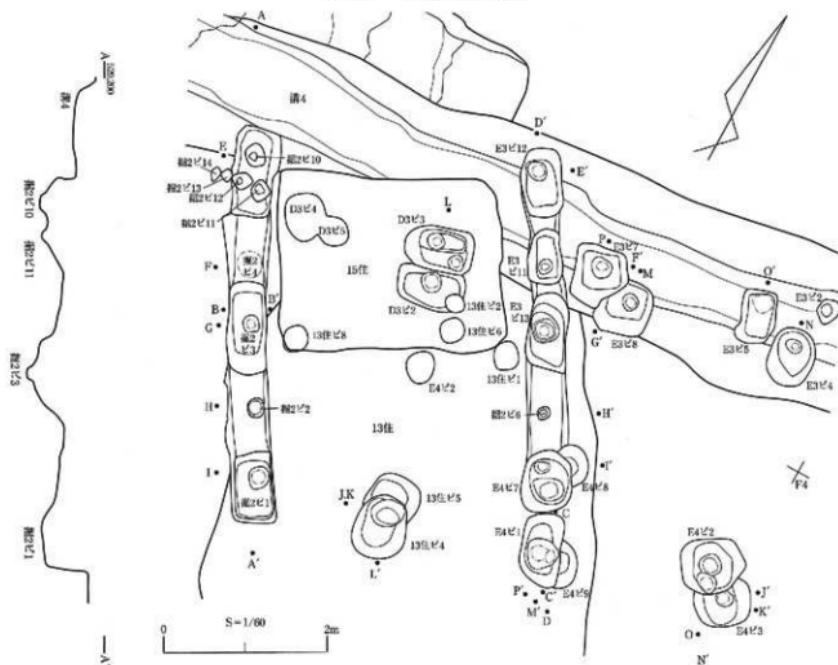
第49図 40号竪穴住居跡 平・断面図



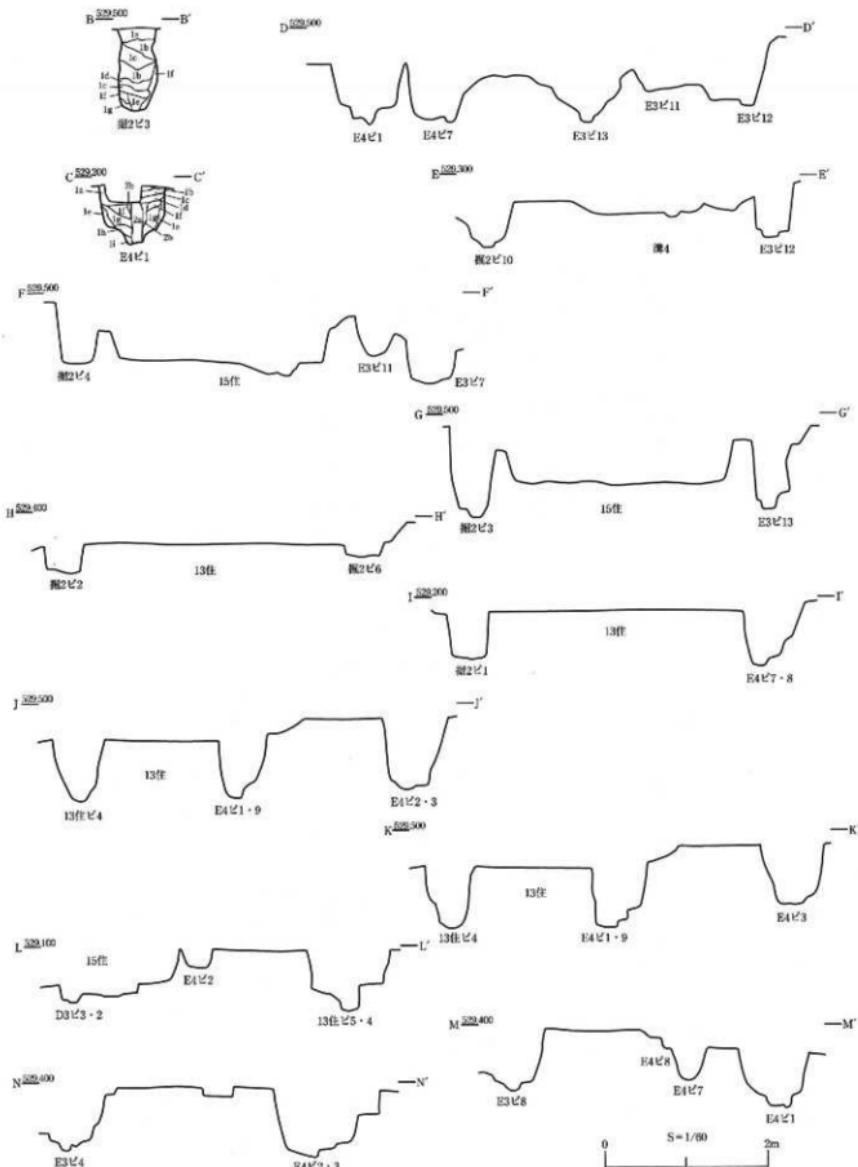
第50図 41号竪穴住居跡 平・断面図



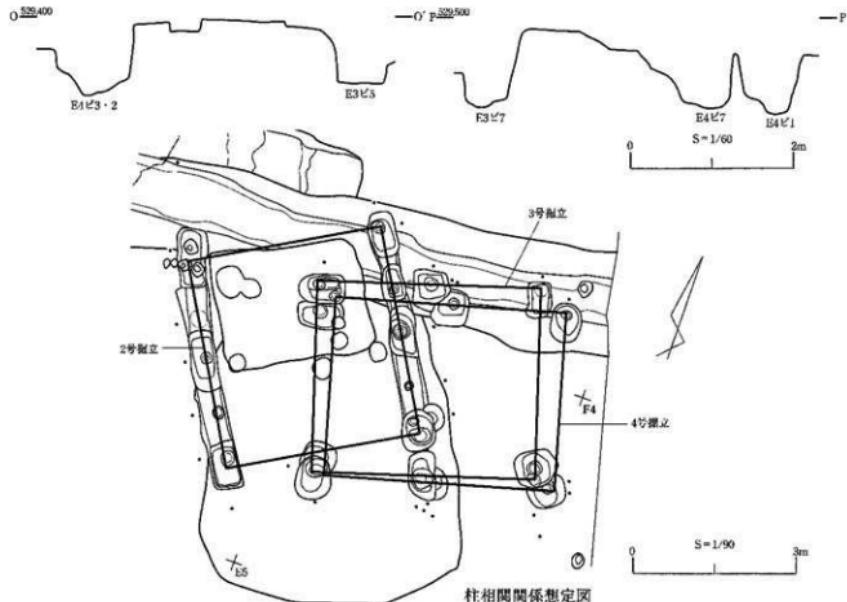
第51図 1号掘立柱建物跡



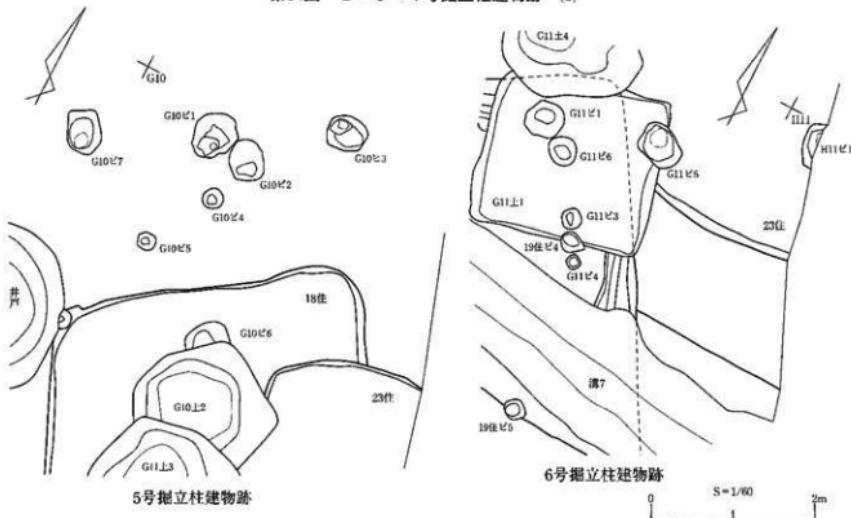
第52図 2・3・4号掘立柱建物跡 (1)



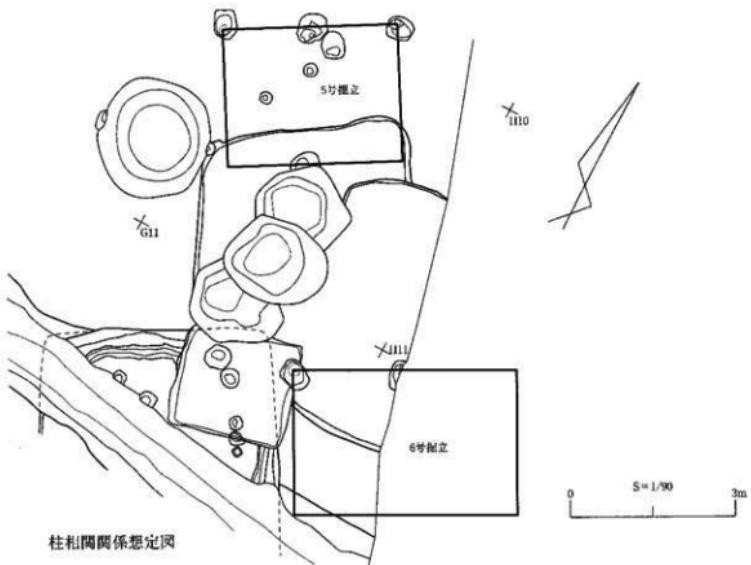
第53図 2・3・4号掘立柱建物跡 (2)



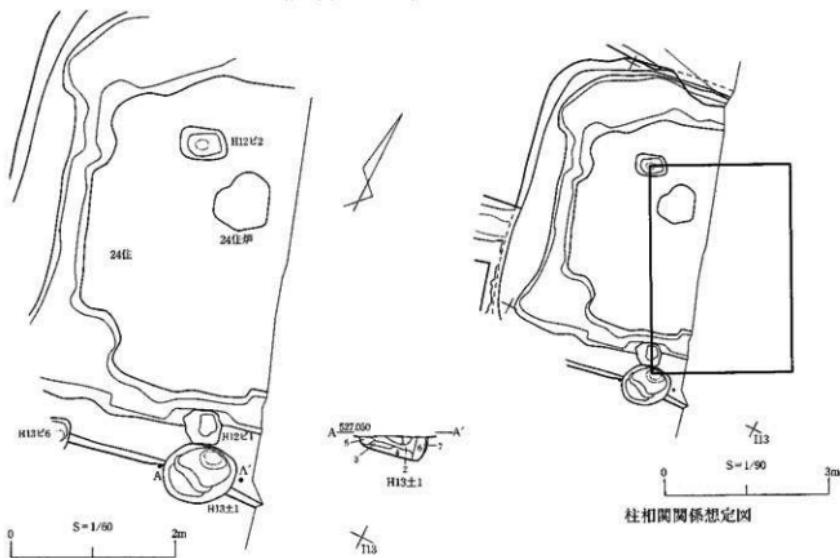
第54図 2・3・4号掘立柱建物跡 (3)



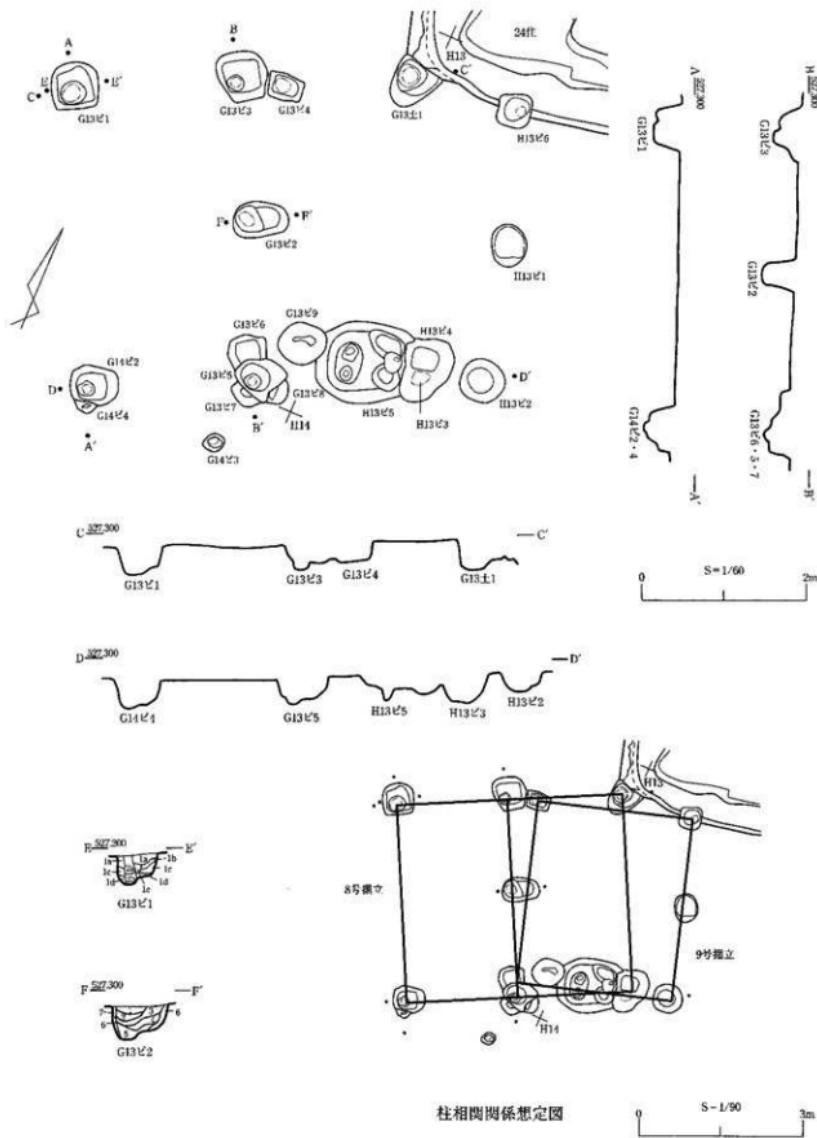
第55図 5・6号掘立柱建物跡 (1)



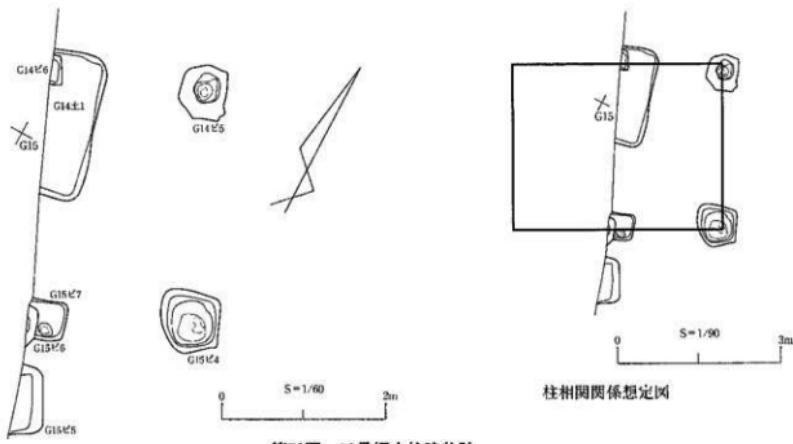
第56図 5・6号掘立柱建物跡 (2)



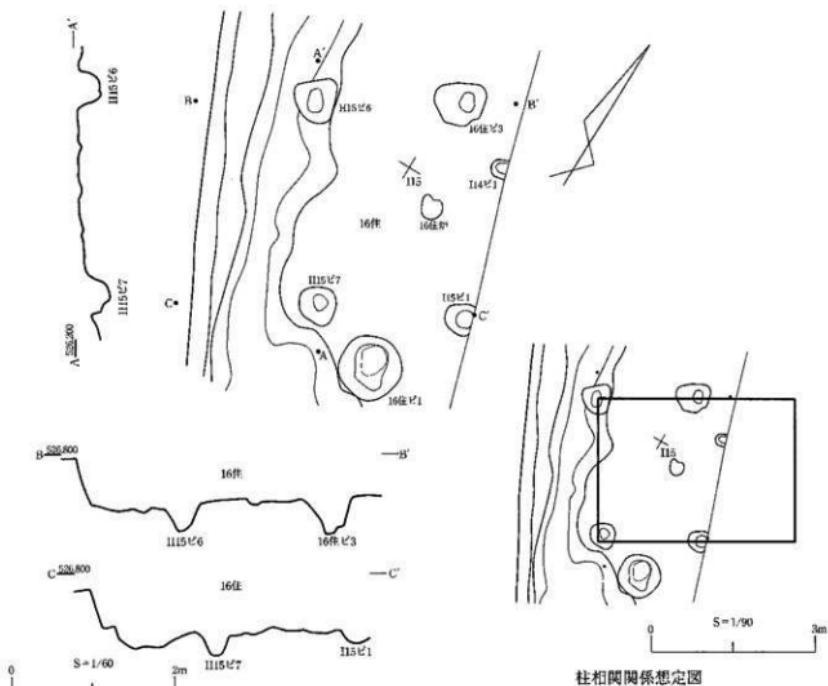
第57図 7号掘立柱建物跡



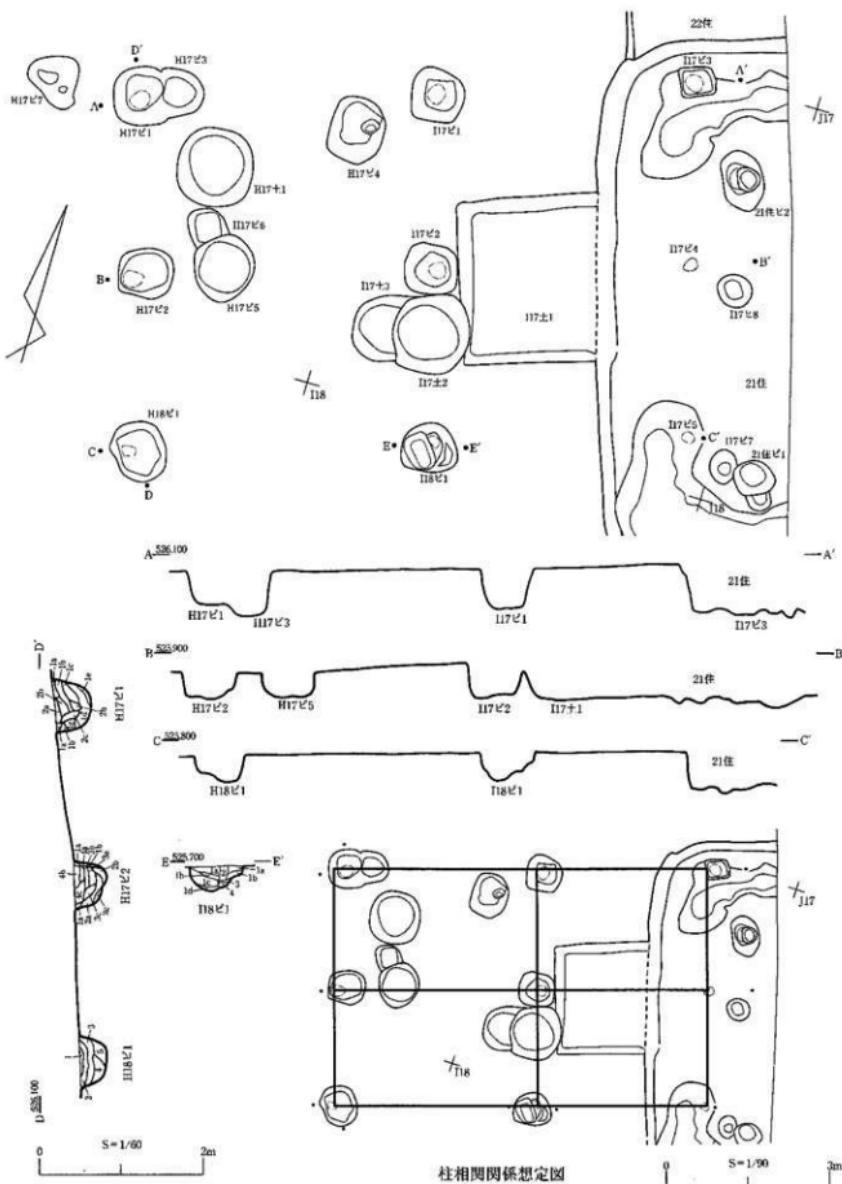
第58図 8・9号樋立柱建物跡



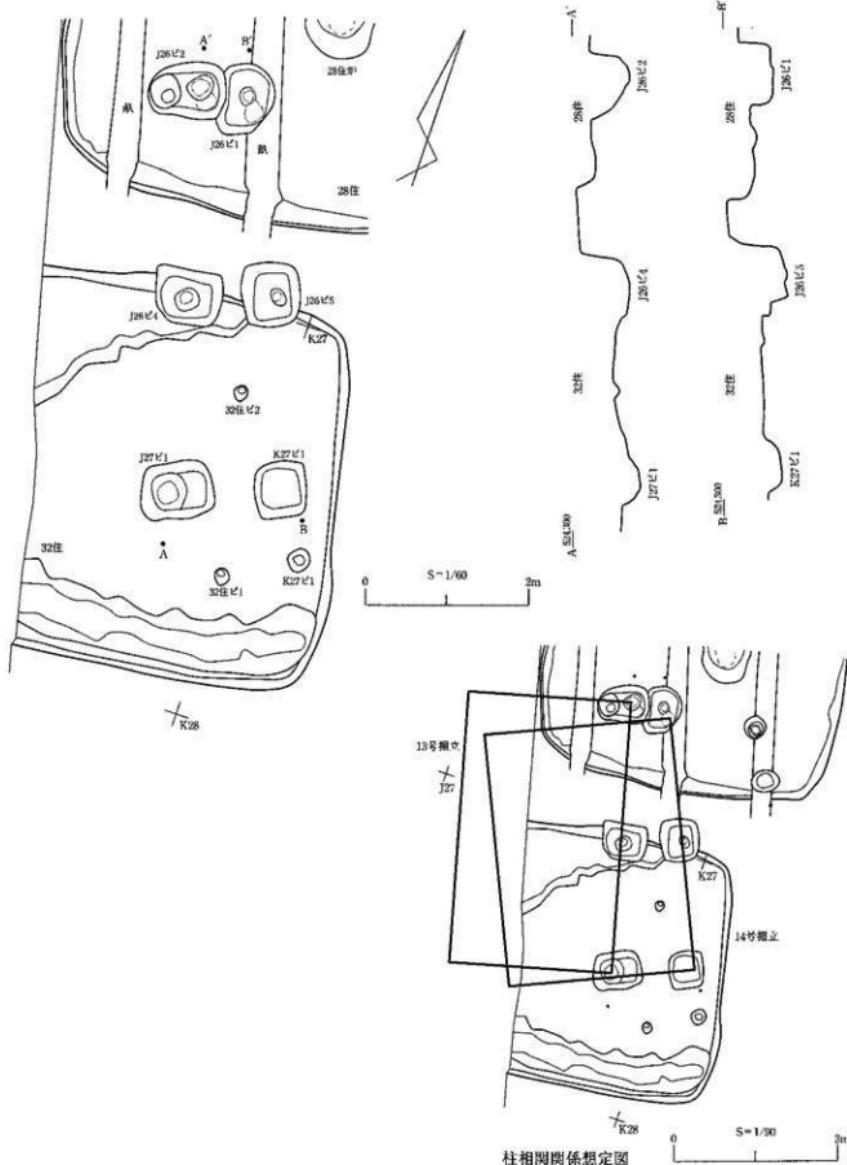
第59図 10号掘立柱建物跡



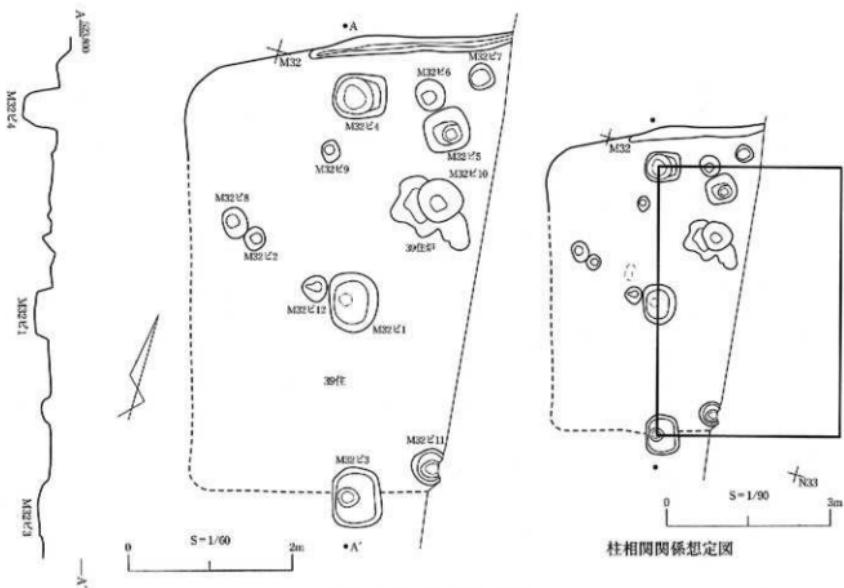
第60図 11号掘立柱建物跡



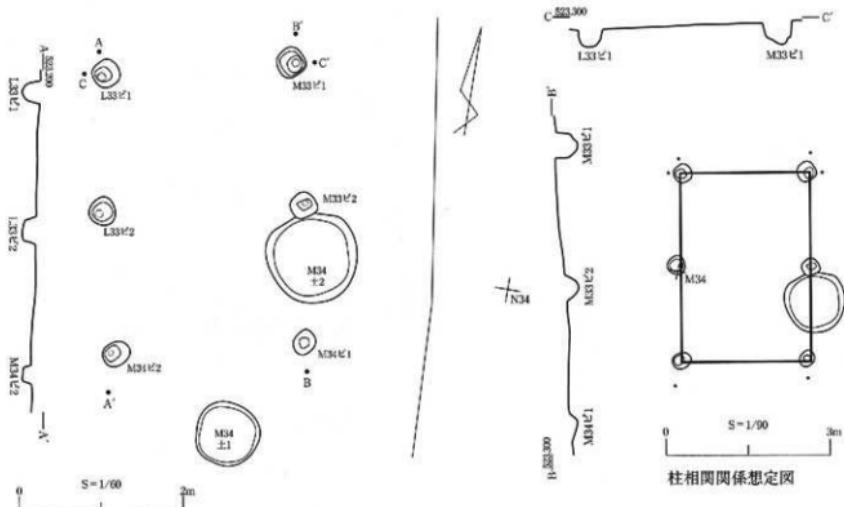
第61図 12号据立柱建物跡



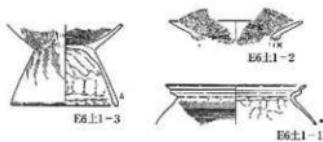
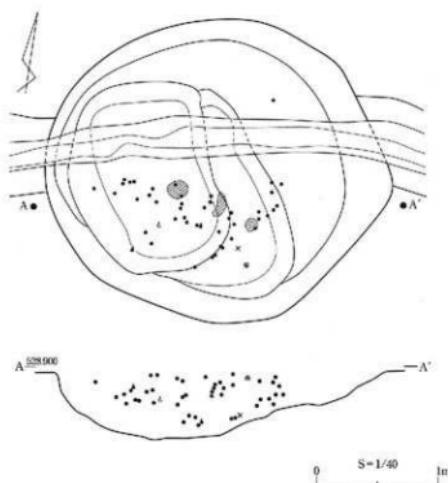
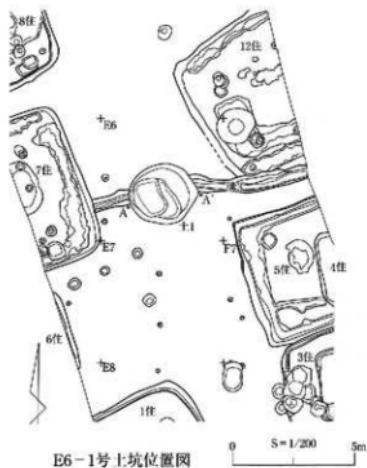
第62図 13・14号掘立柱建物跡



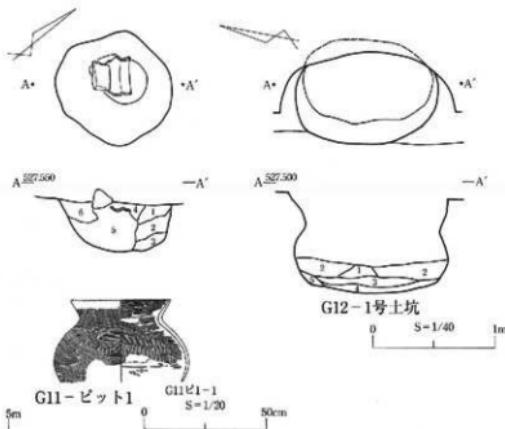
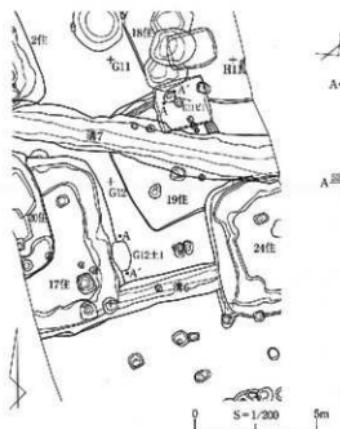
第63図 15号掘立柱建物跡



第64図 16号掘立柱建物跡

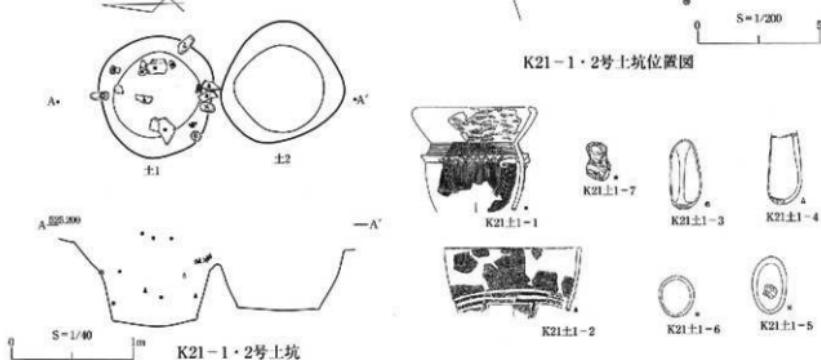
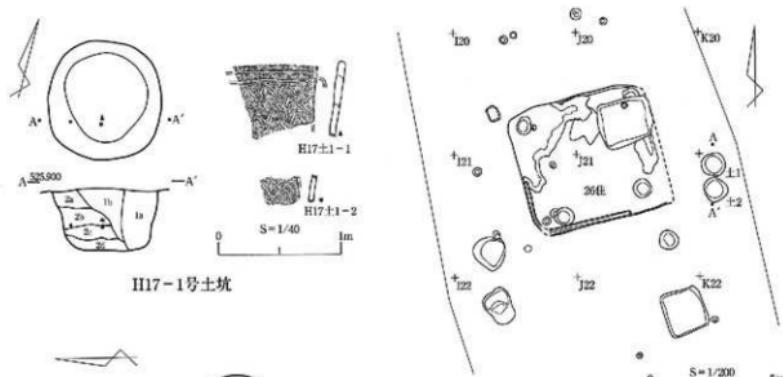
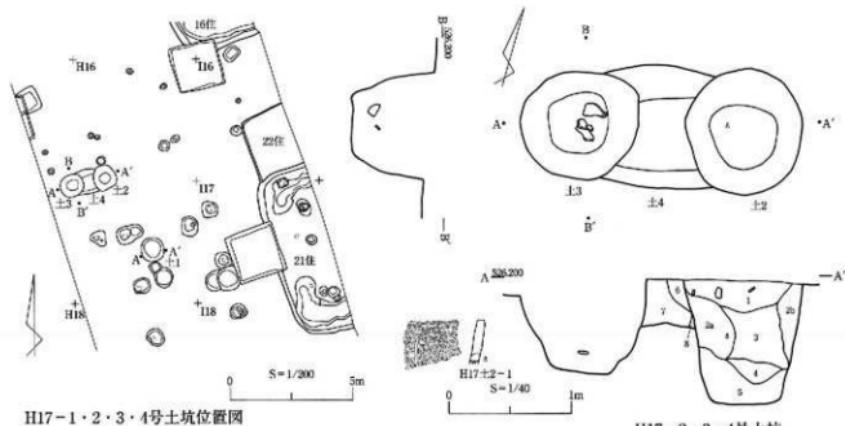


E6-1号土坑

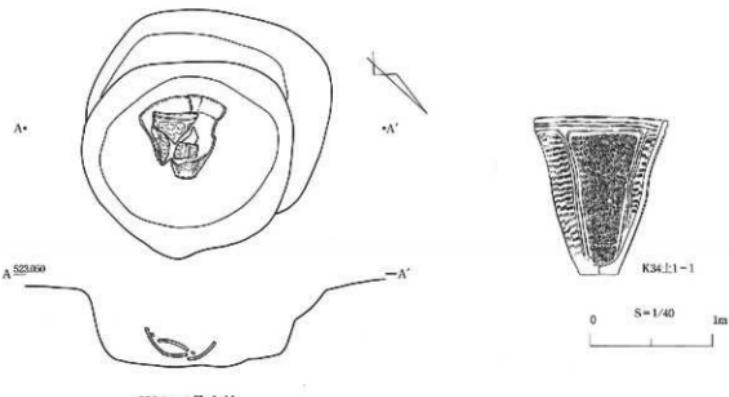
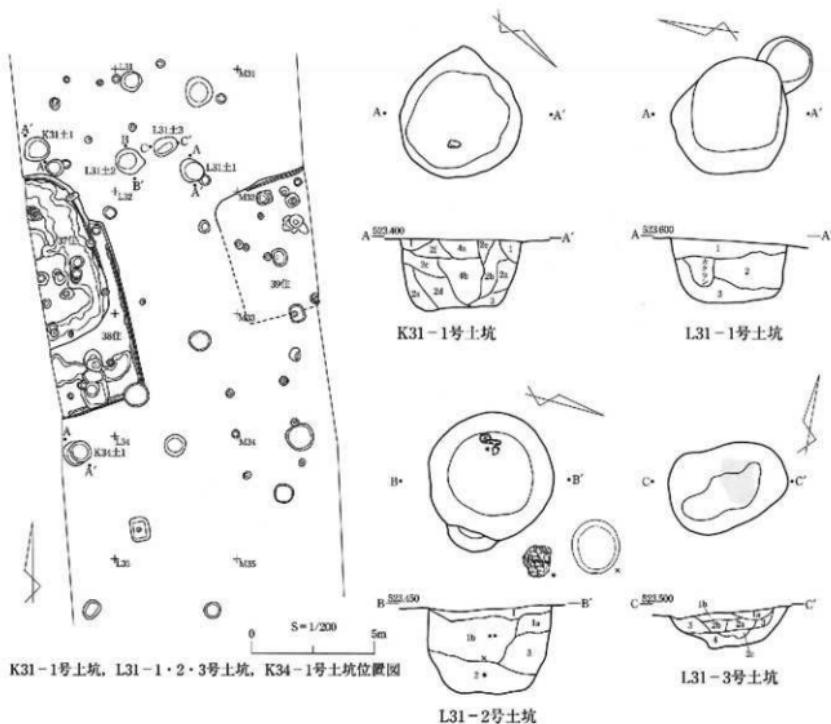


G11-ビット1・G12-1号土坑位置図

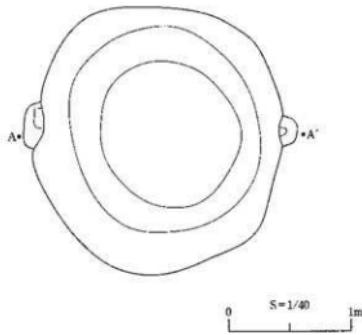
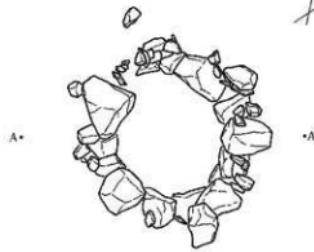
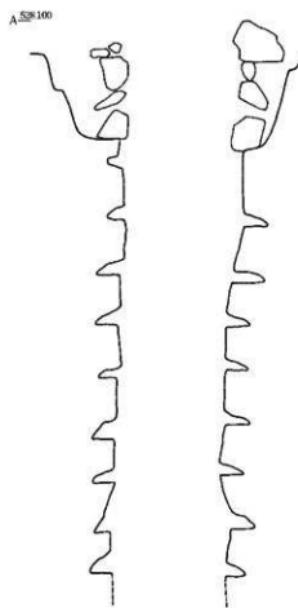
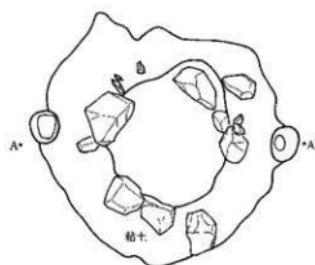
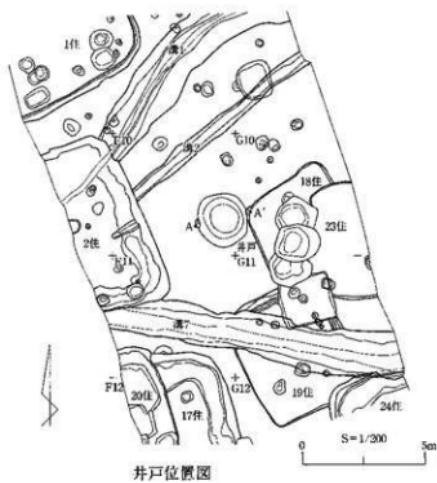
第65図 E 6 - 1号土坑、G11 - ビット1、G12 - 1号土坑 平・断面図



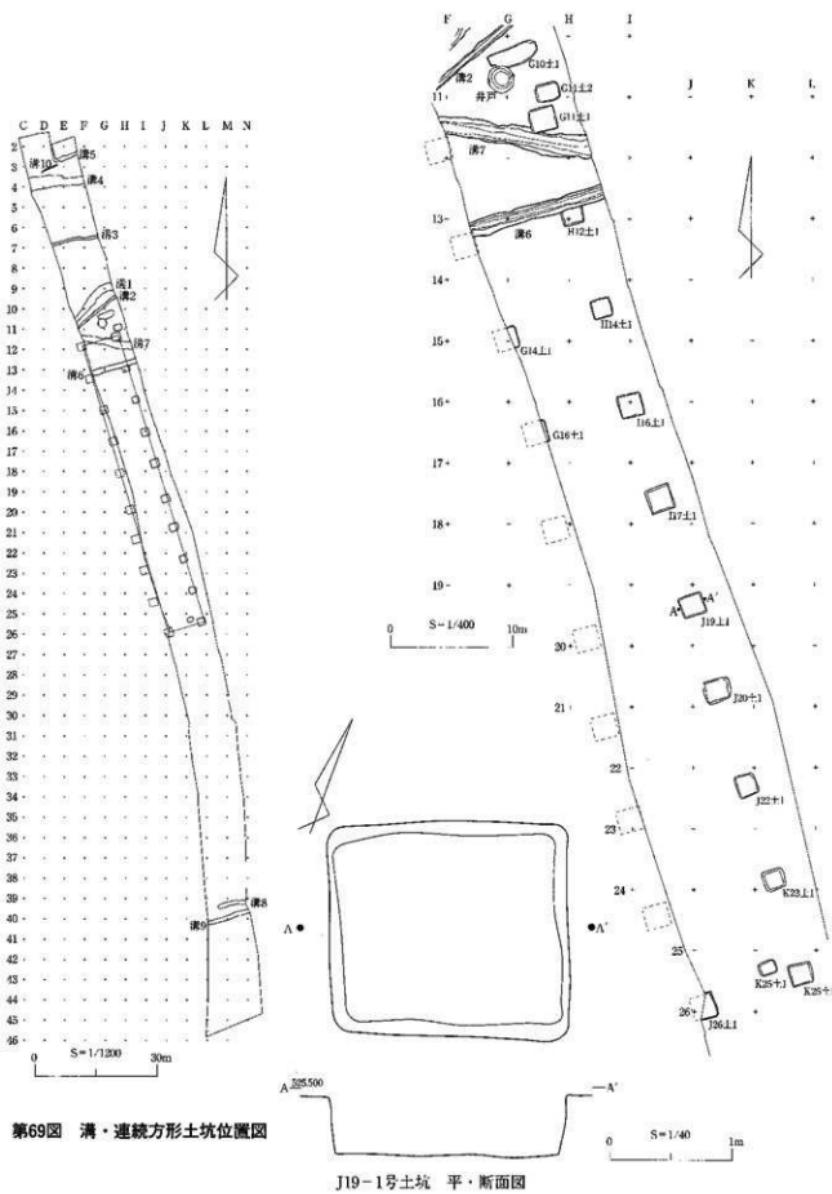
第66図 H17-1 · 2 · 3 · 4号土坑、K21-1 · 2号土坑 平・断面図

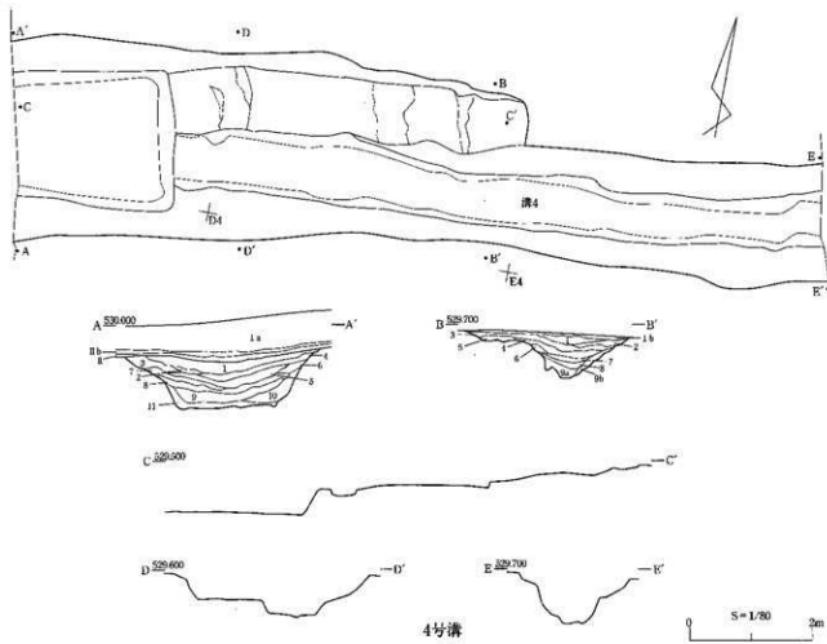
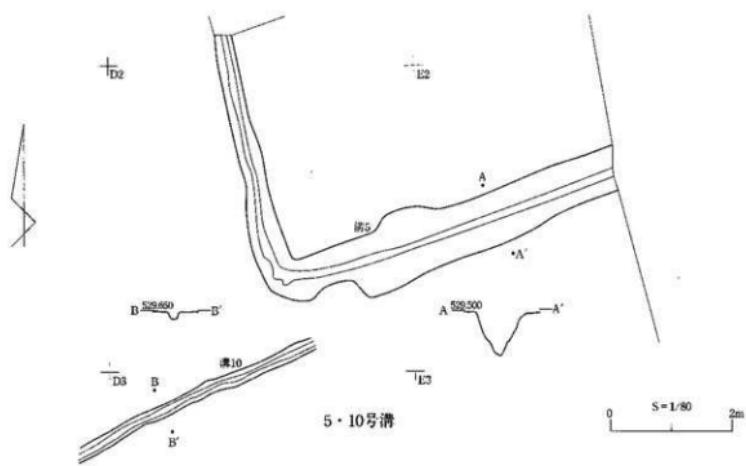


第67图 K31-1号土坑, L31-1·2·3号土坑, K34-1号土坑 平·断面图

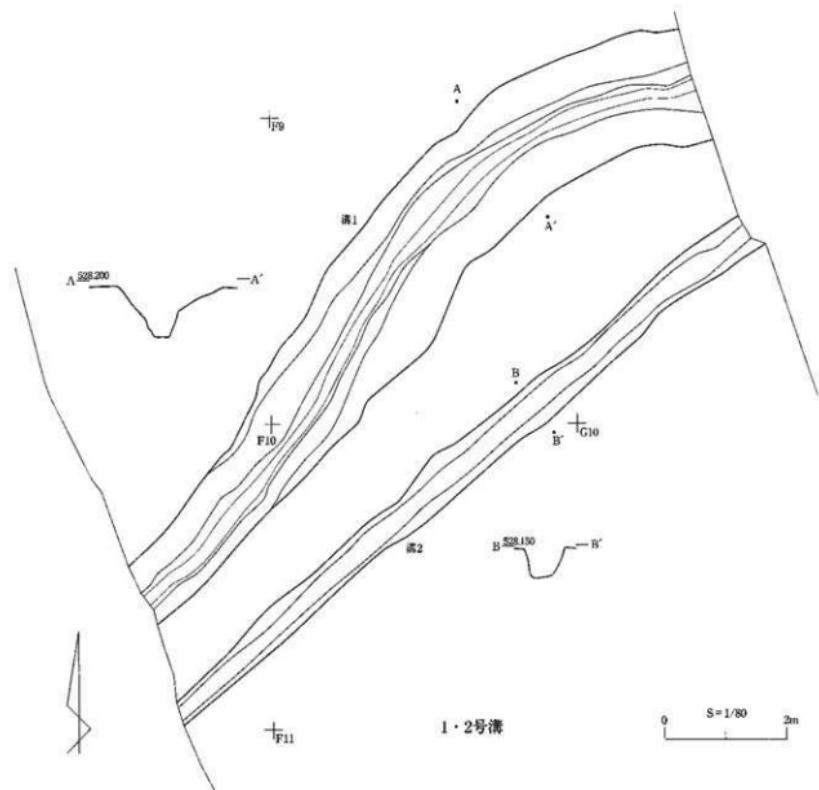
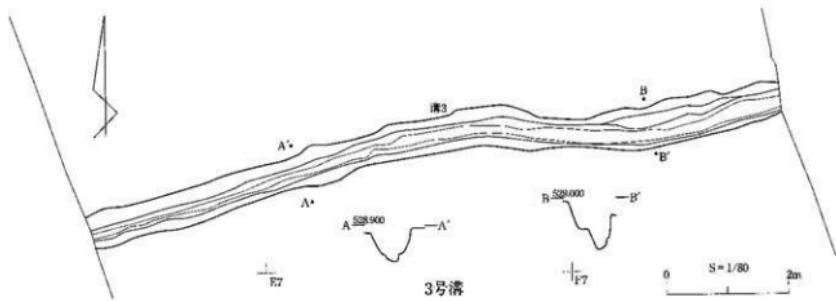


第68図 F10 - 井戸 平・断面図

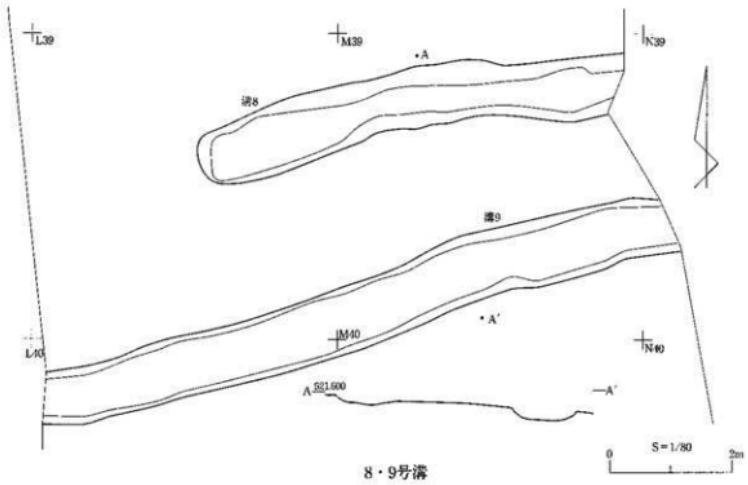
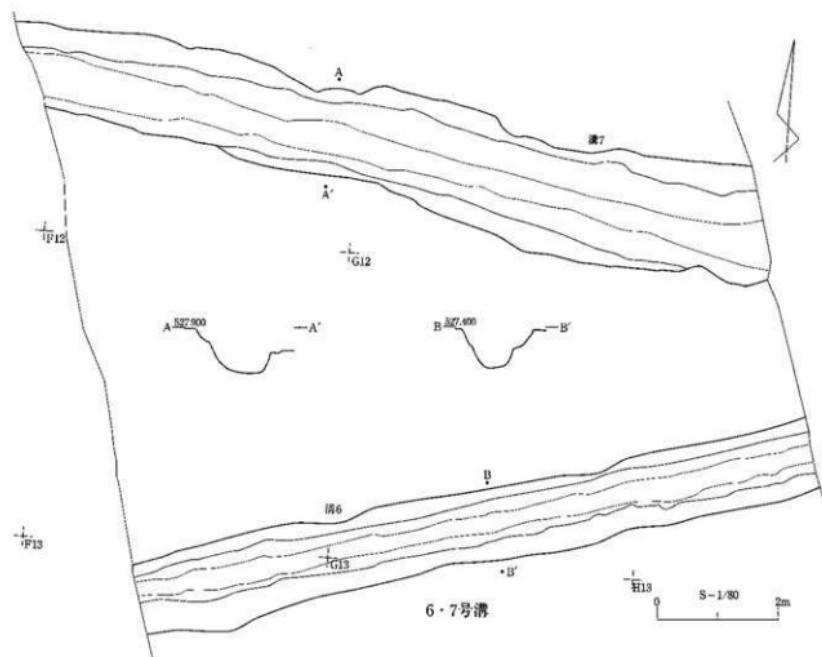




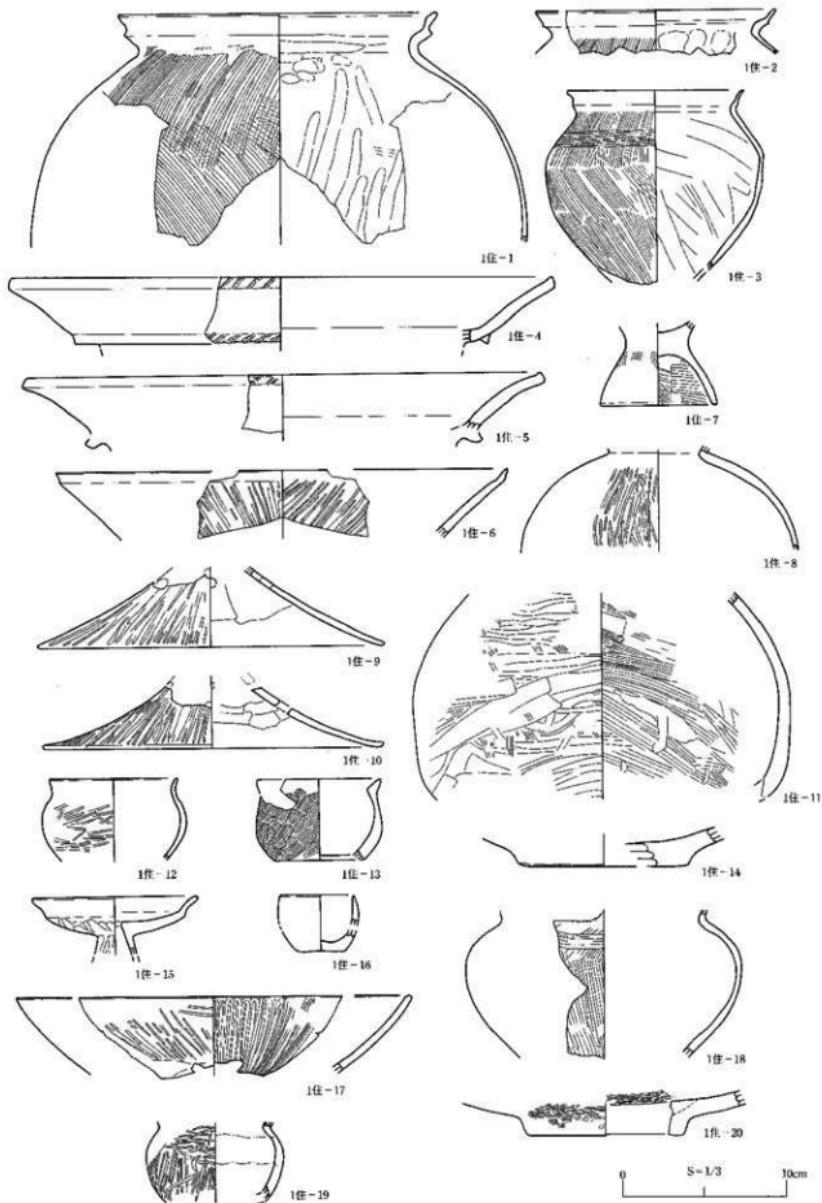
第71図 4・5・10号溝 平・断面図



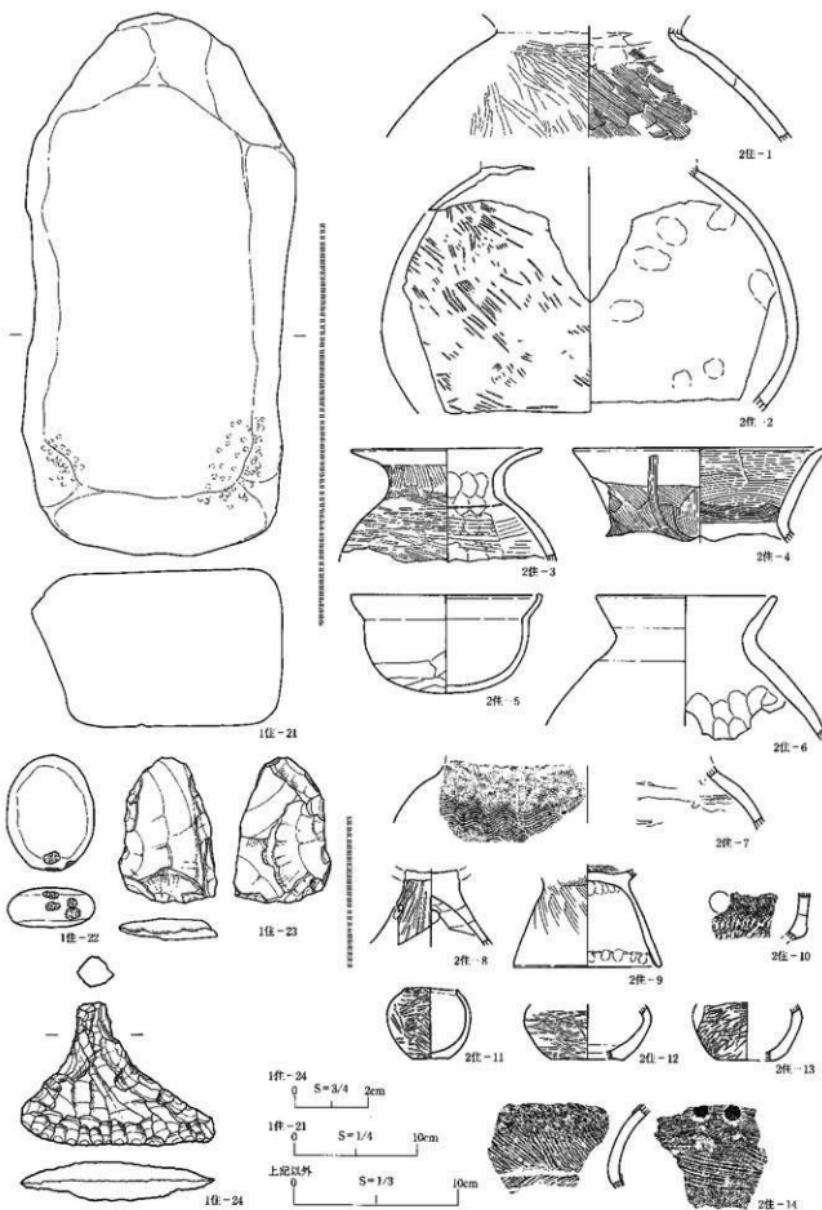
第72図 1・2・3号溝 平・断面図



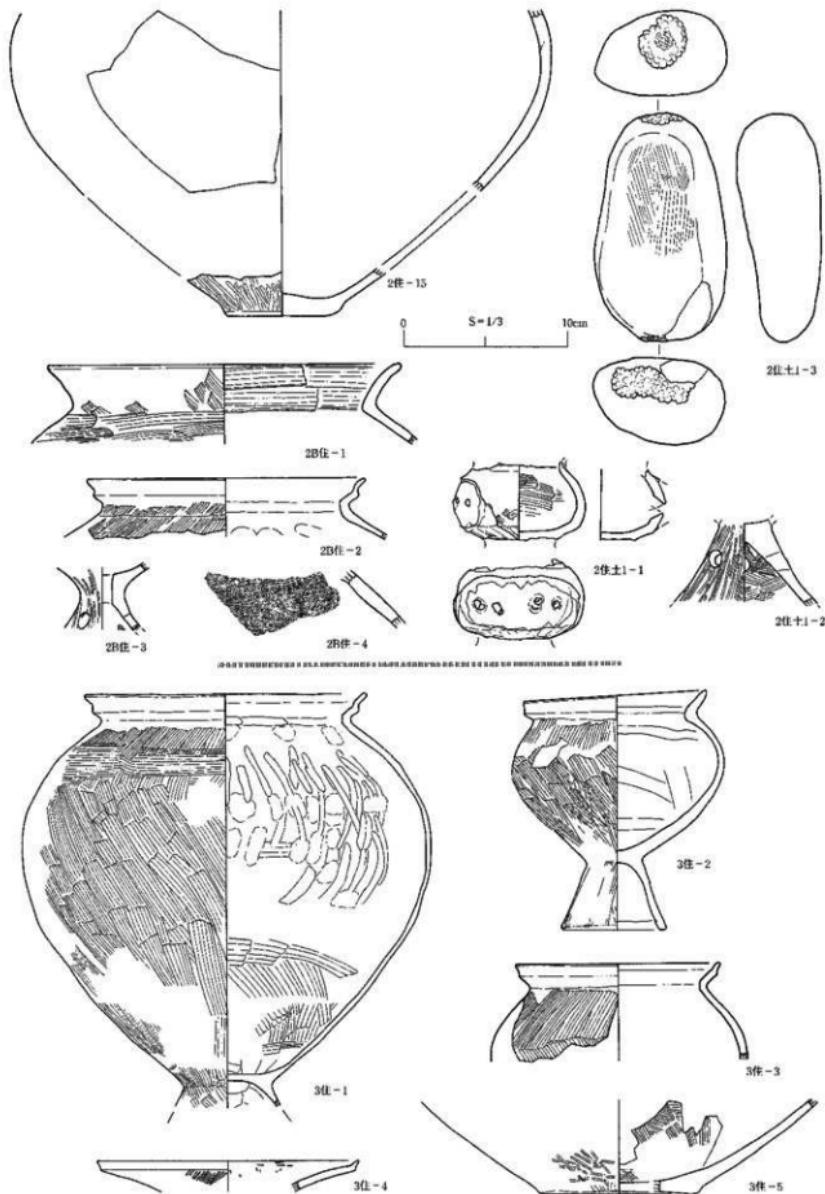
第73図 6・7・8・9号溝 平・断面図



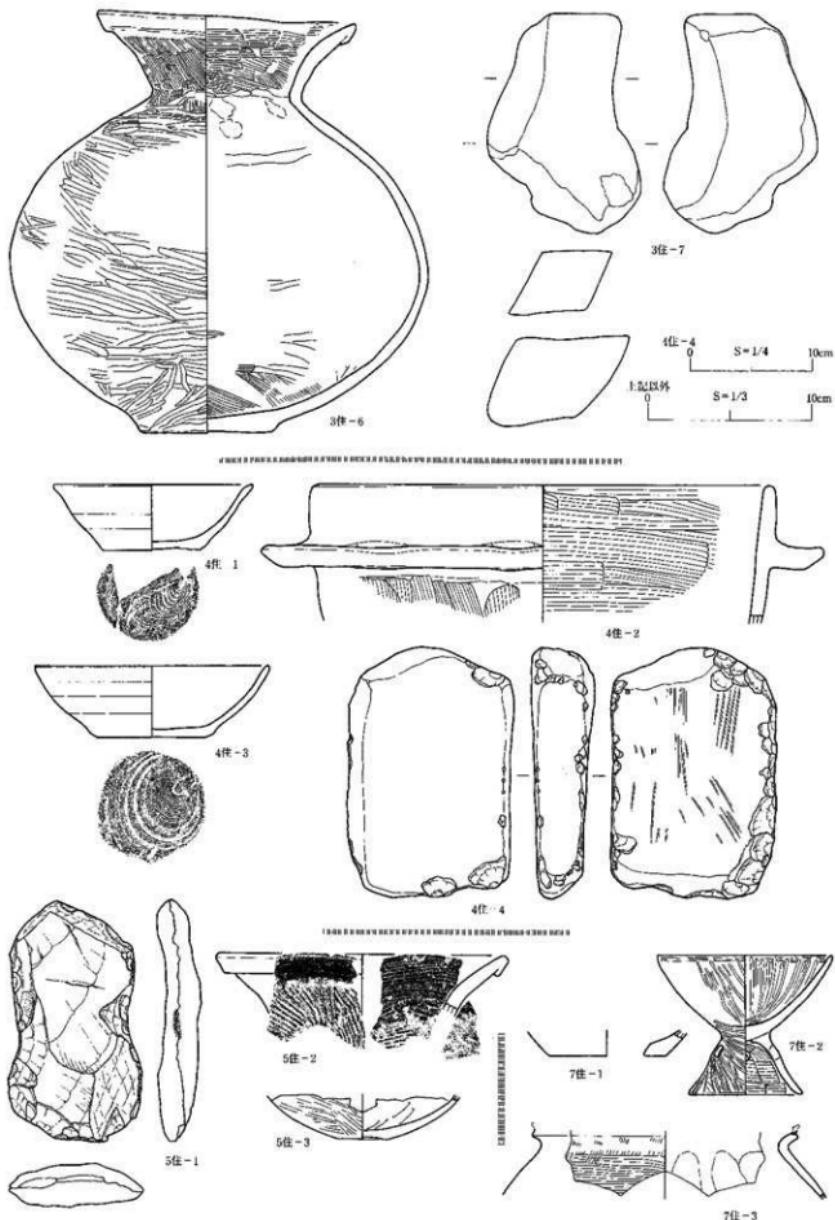
第74図 1号竪穴住居跡出土遺物



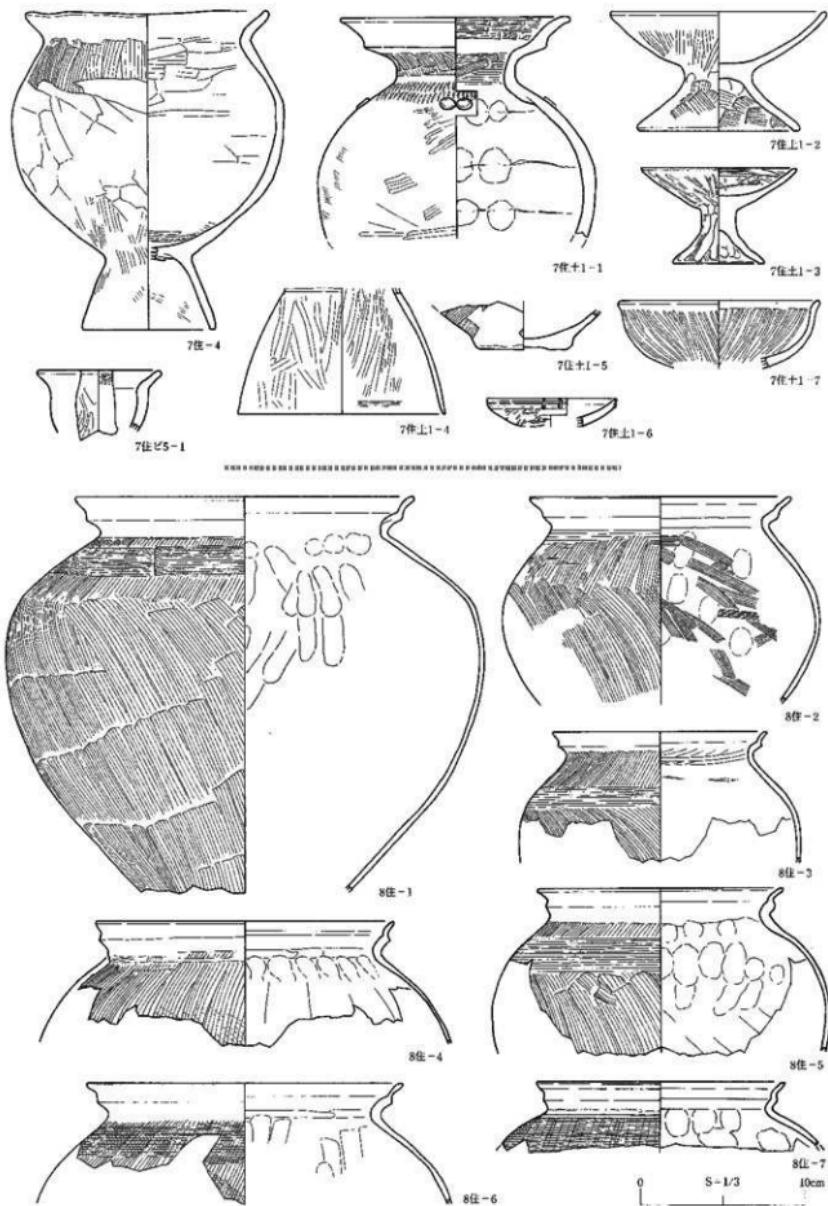
第75図 1・2号竪穴住居跡出土遺物



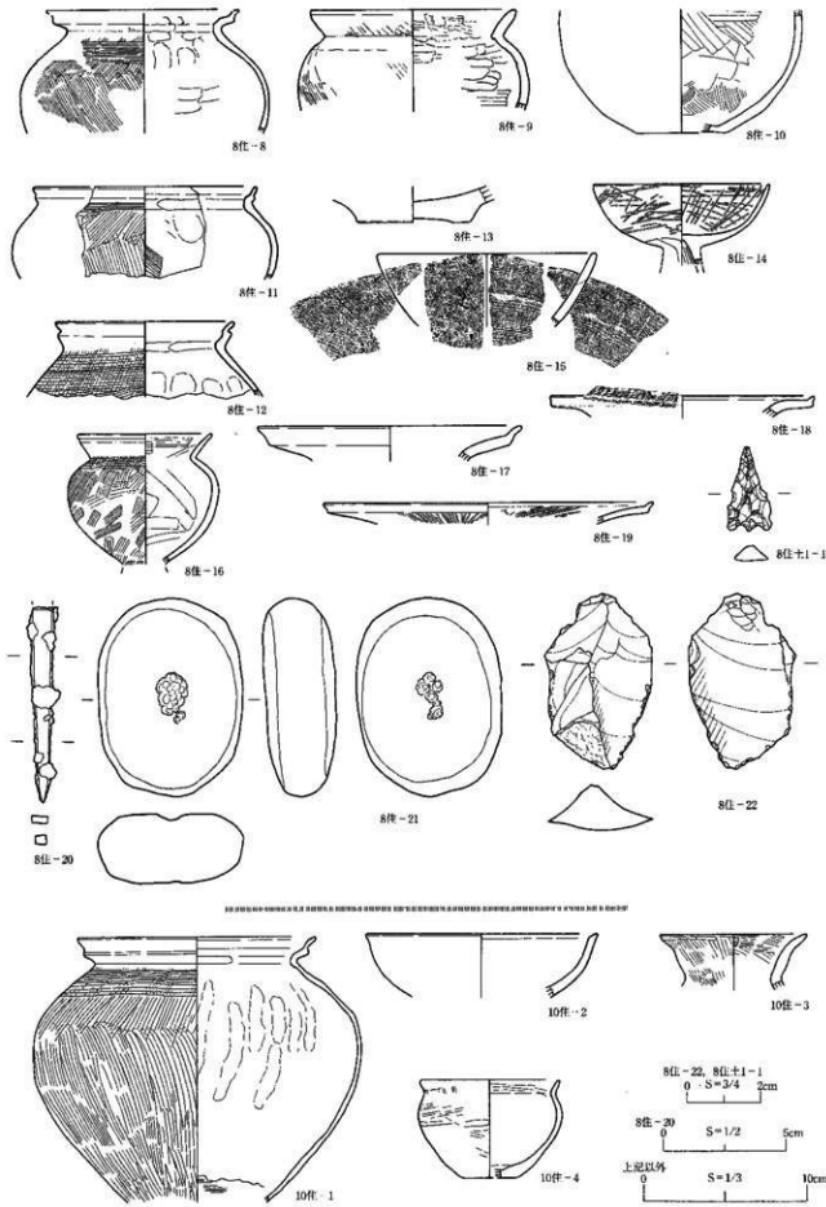
第76図 2・3号竪穴住居跡出土遺物



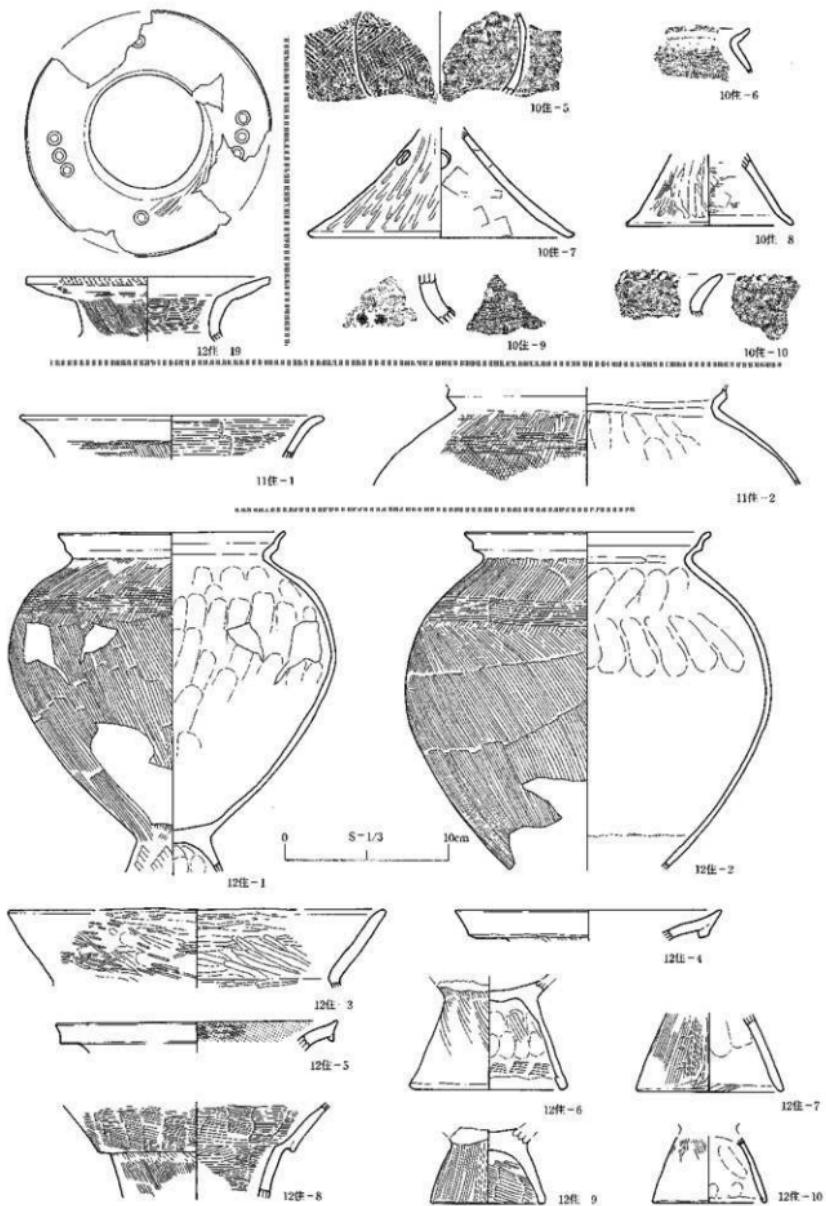
第77図 3・4・5・7号竪穴住居跡出土遺物



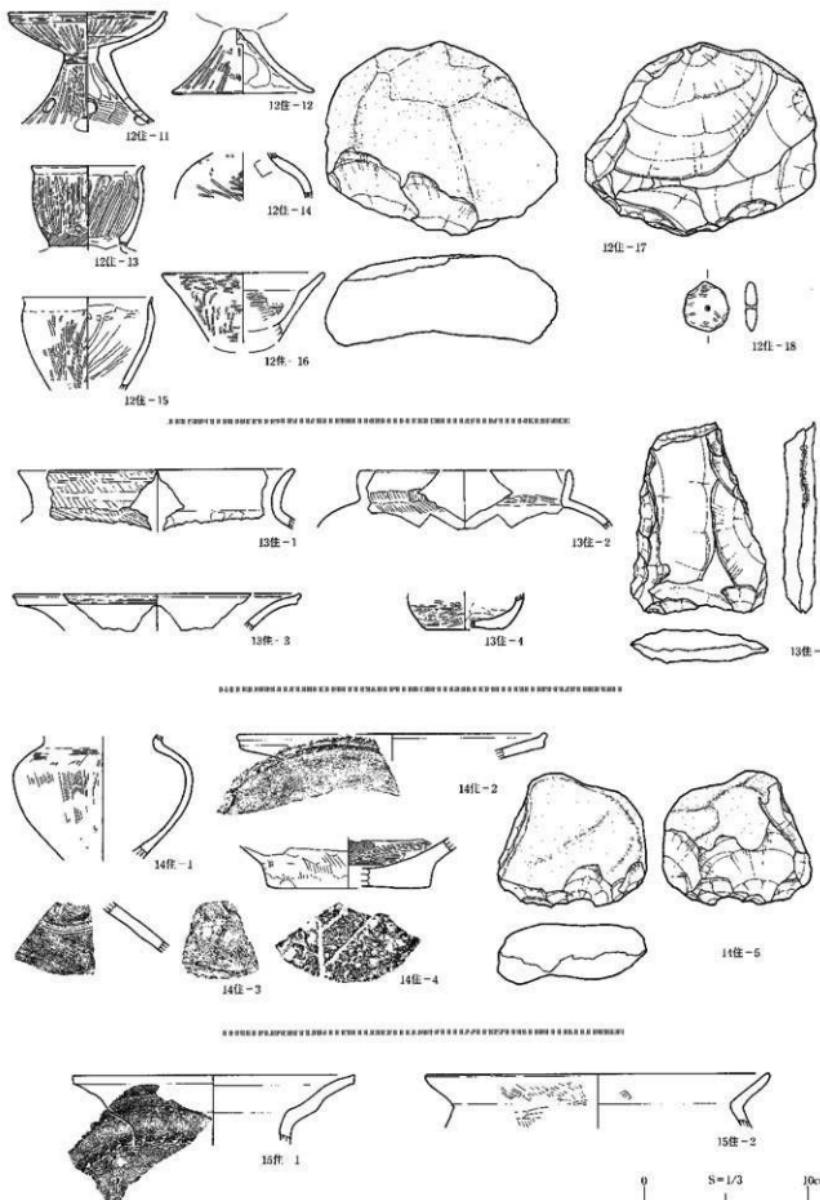
第78図 7・8号竪穴住居跡出土遺物



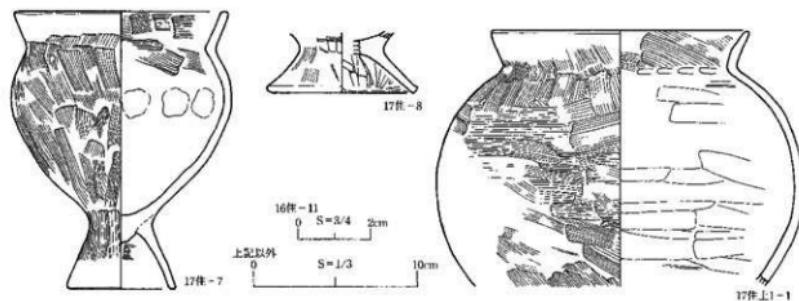
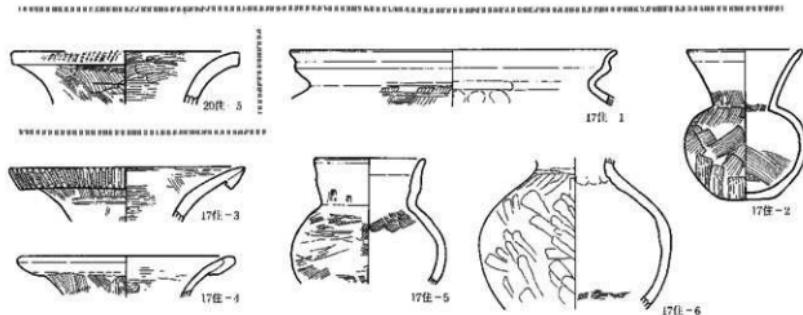
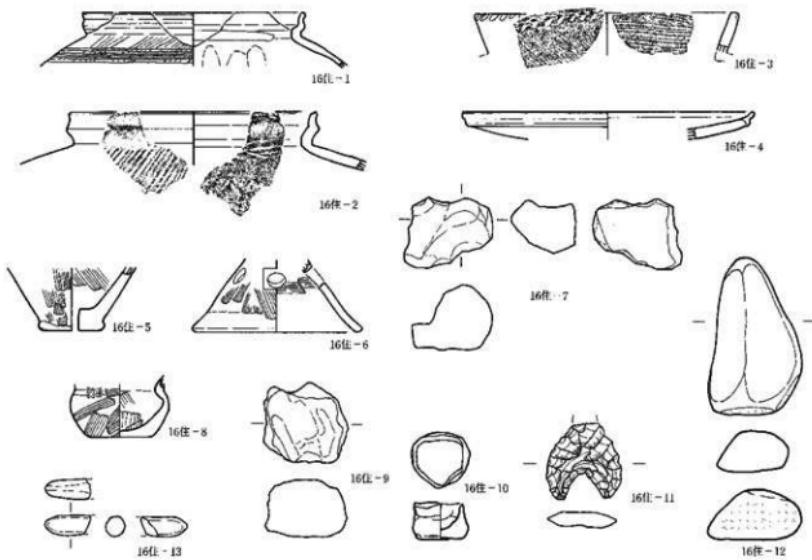
第79図 8・10号竪穴住居跡出土遺物



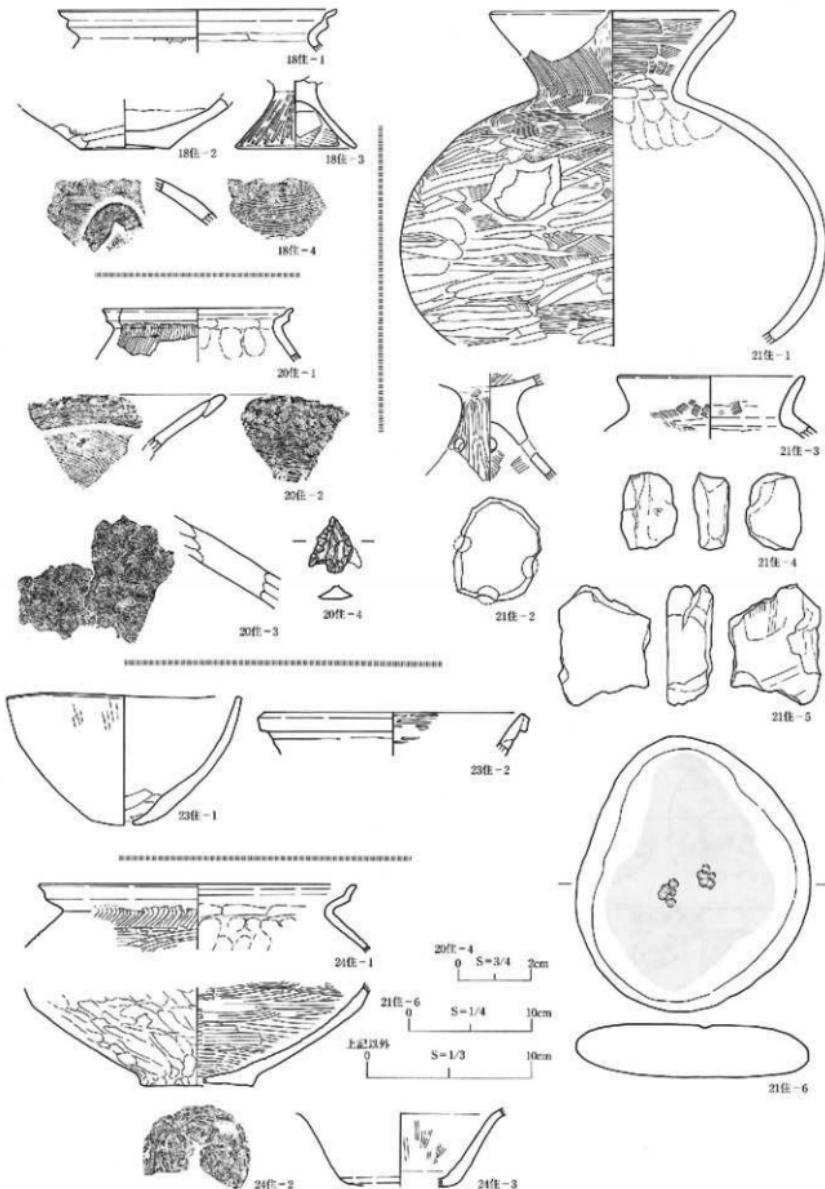
第80図 10・11・12号竪穴住居跡出土遺物



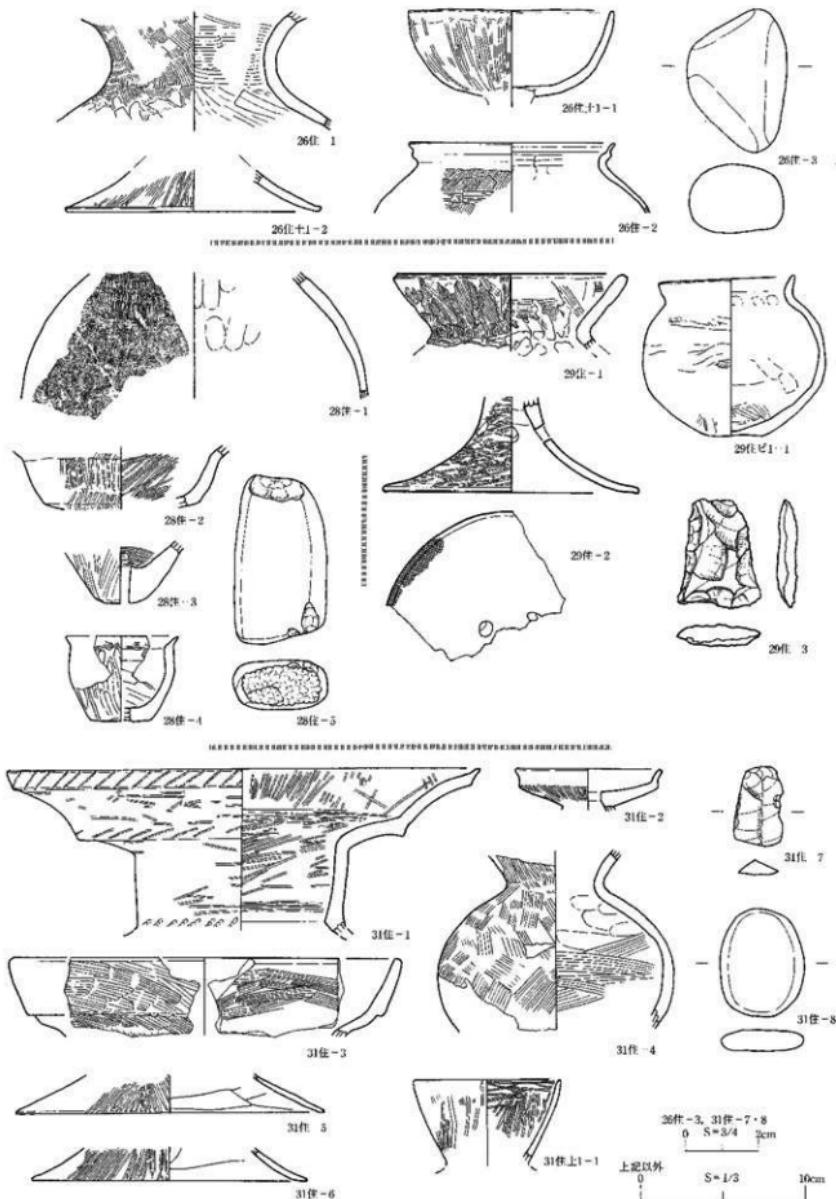
第81図 12・13・14・15号竪穴住居跡出土遺物



第82図 16・17・20号竪穴住居跡出土遺物



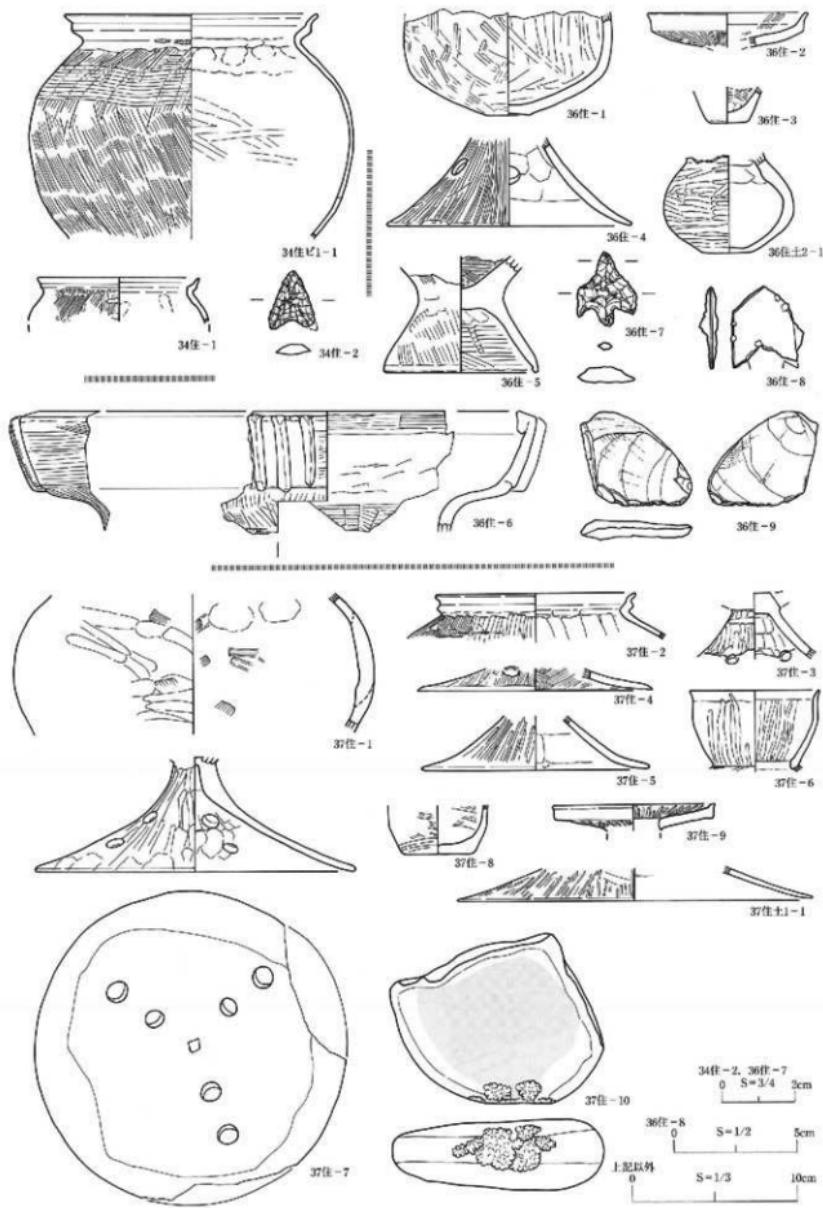
第83図 18・20・21・23・24号竪穴住居跡出土遺物



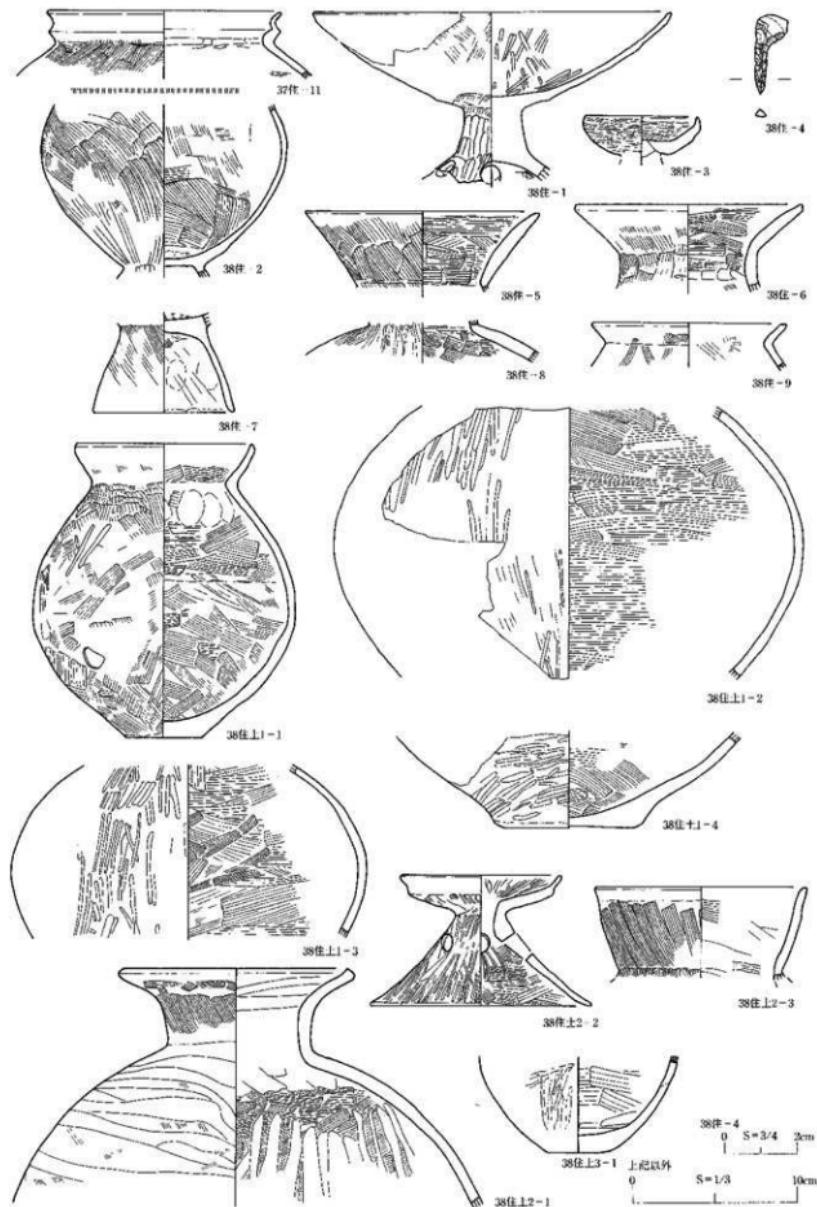
第84図 26・28・29・31号竪穴住居跡出土遺物

第85圖 32·33·34號堅穴住居跡出土遺物

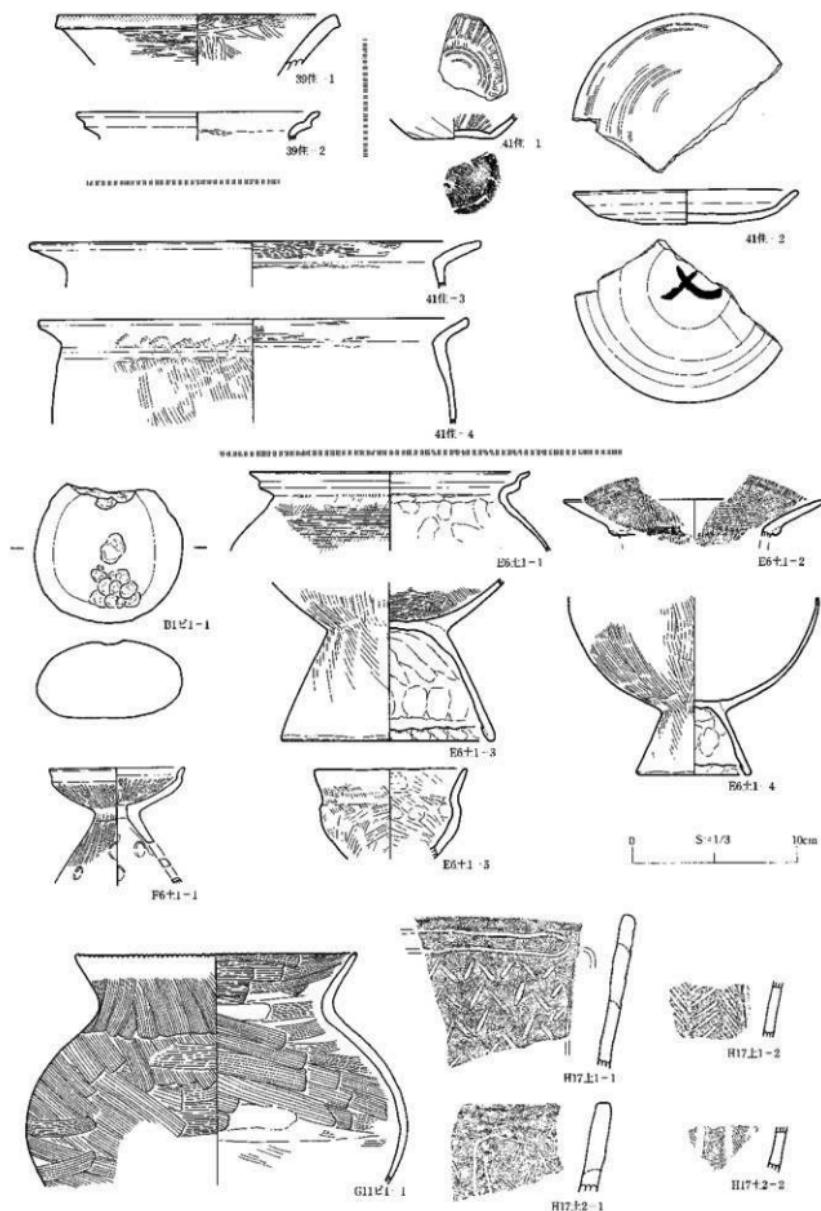




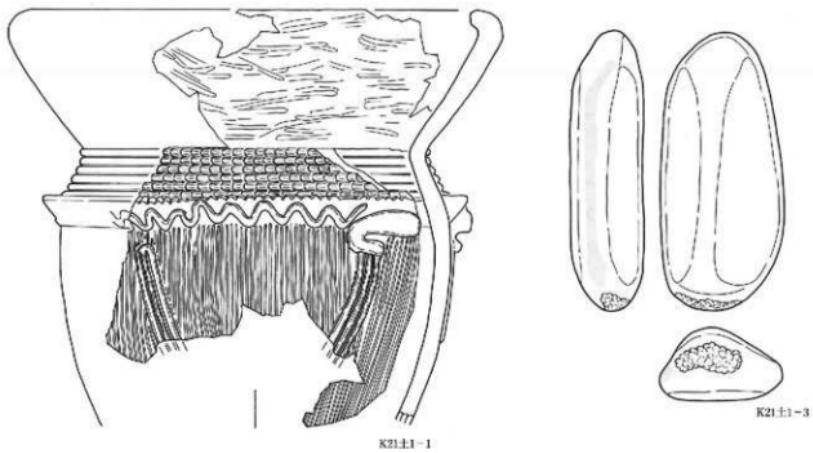
第86図 34・36・37号竪穴住居跡出土遺物



第87図 37・38号竪穴住居跡出土遺物



第88図 39・41号竪穴住居跡、グリット土坑・ピット出土遺物 (1)

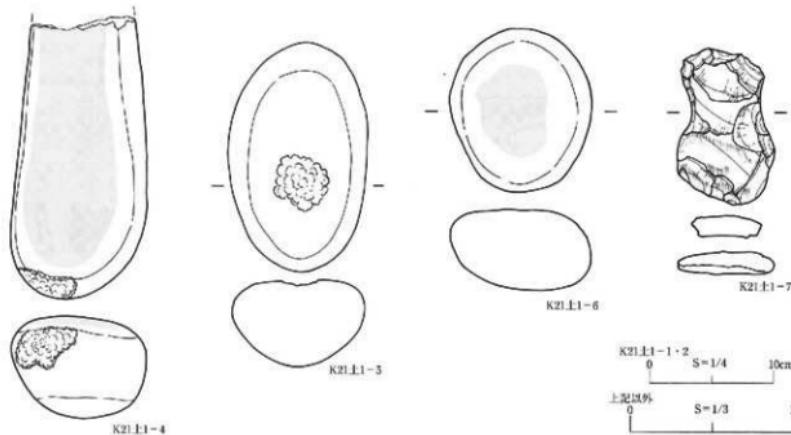


K21上1-1

K21上1-3

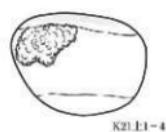


K21上1-2



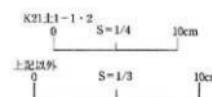
K21上1-6

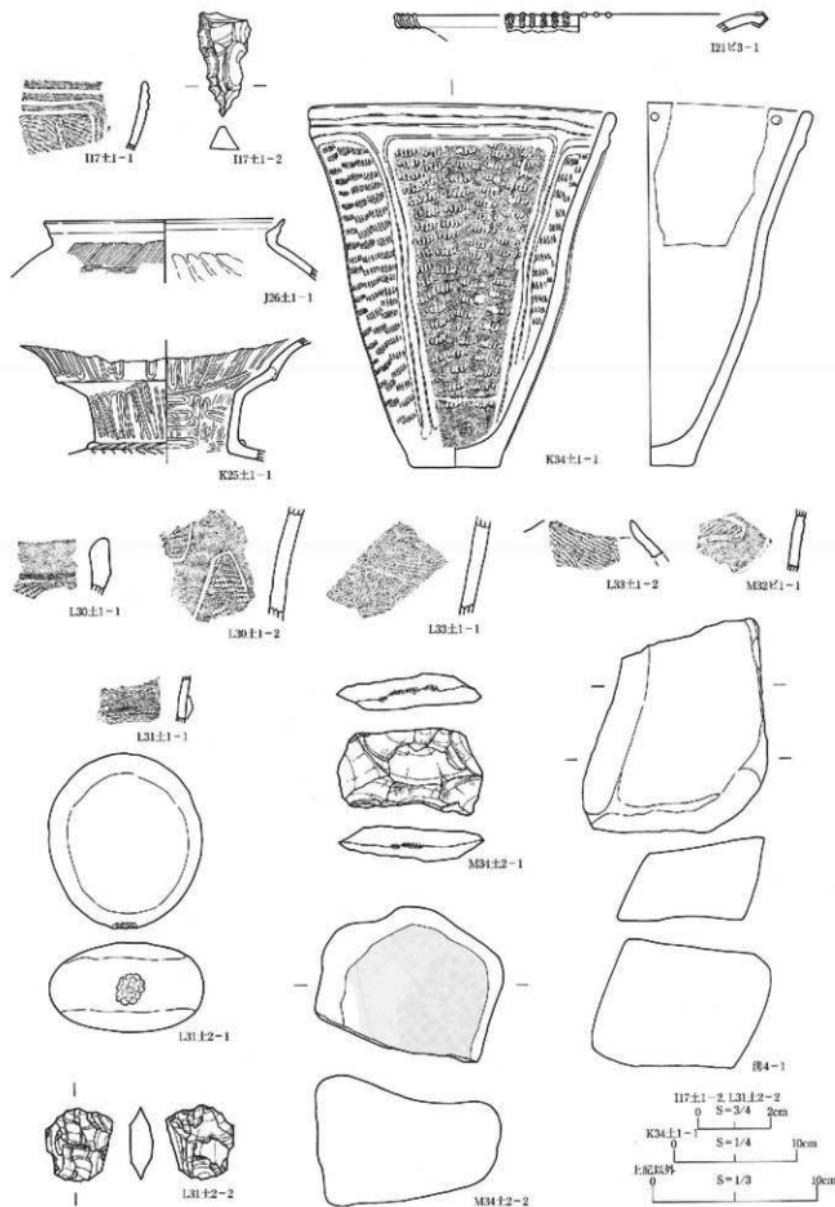
K21上1-7



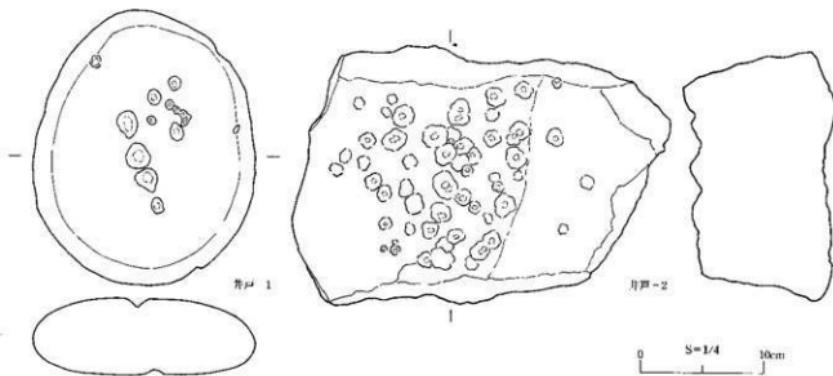
K21上1-4

第89図 グリット土坑・ピット出土遺物 (2)

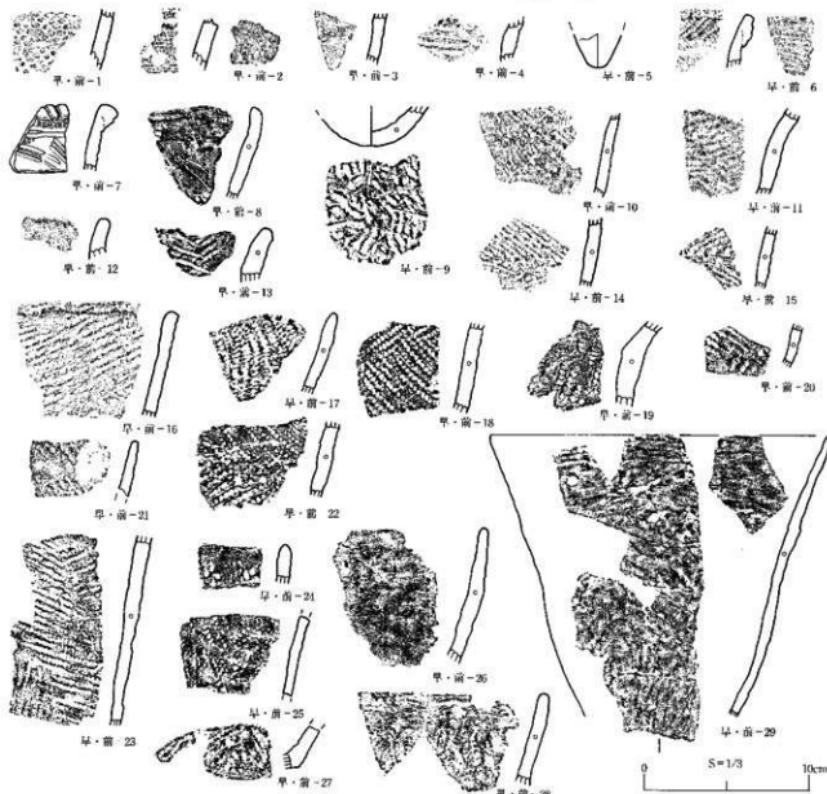




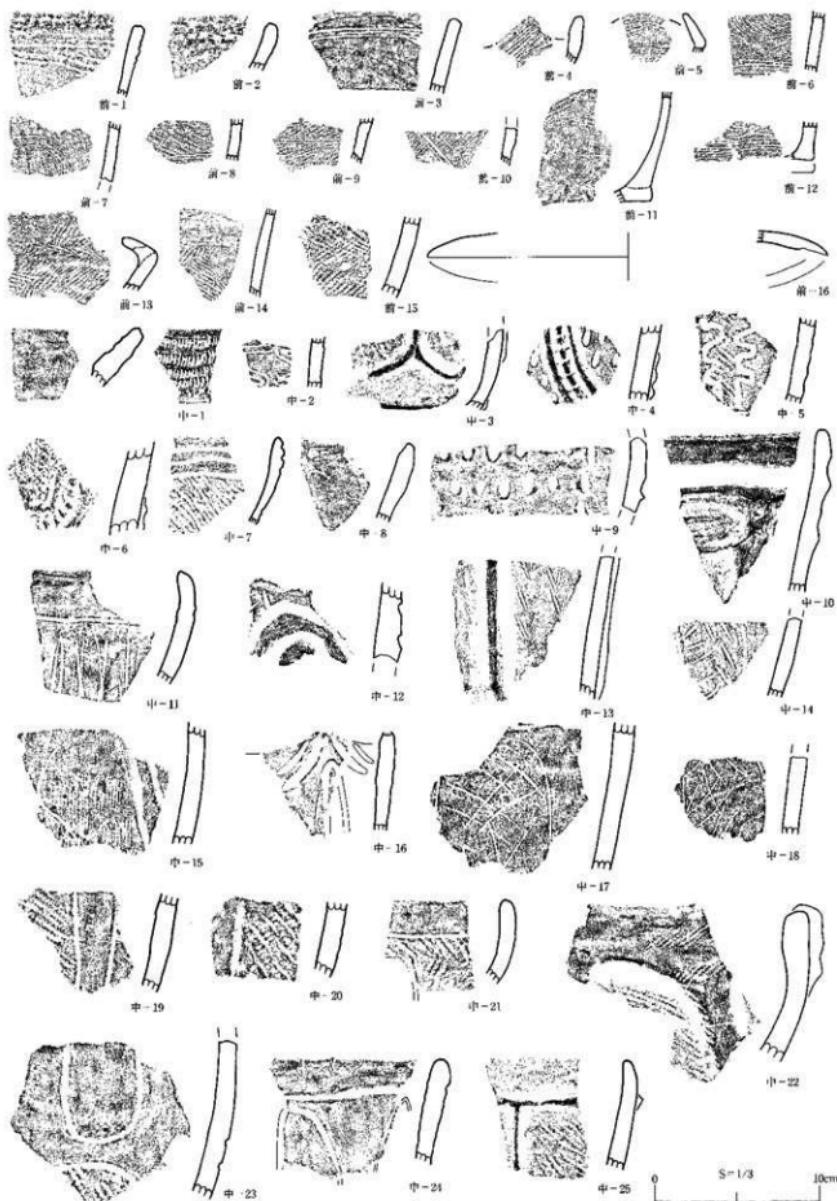
第90図 グリット土坑・ピット出土遺物 (3)



第91図 グリット土坑・ピット出土遺物 (4)



第92図 遺構外出土遺物 (1)



第93図 遺構外出土遺物 (2)



第94図 遺構外出土遺物 (3)

## 造構覆土説明表

規格名	規格番号	色調	内 容 物	備考
1 位 7 A	1	褐色	φ0.1~1mmLBや少、φ0.1mmFR多	上層
	2	褐色	1層より色々色や少、φ0.5mmLB多	上層
	3	褐色	φ0.1~1mmLRやや少、φ0.5mmFRや少	中層～下層
	4	褐色～暗褐色	φ2mmLRやや少、φ10mmLB少	中層
	5	褐色～明褐色	4層に似るがLB少	中層
	6a	褐色	φ5~10mmLBやや少、φ0.5mmLR少	下層～深層
	6b	褐色	6a層に似るがLB5~20mmLBやや少	下層～深層
	6c	褐色	6a層に似るがLB少	下層～深層
	6d	褐色	6a層に似るがLB少	下層～深層
	7	褐色～明褐色	φ1mmLR少	鐵道等々
	8	褐色	φ1~2mmLRやや少	河川堤防等
	9	褐色	褐色方①	
	10	明褐色～褐色	φ1~2mmLR、φ3~20mmLB多	振り方②
	11	褐色	φ1~2mmLR・φ5mmLBやや少	振り方③
	12	褐色	-	柱穴
	13	褐色	φ1~2mmLRやや少	上場
	14	褐色	13層に似るが色調やや明	下場
特性 性状 1.9>6>8~6.5、13.14>3~3.11、12.7>1~2.4.5 しまり 9.10.11>13.11>6~6.3>3.4.5>1.2>7~8 きめ 9~11>6>7.8.12~14>1~5				
1 位 土 1 D	1	暗褐色	φ3~10mmLBやや少、φ1mmLR少	
	2	暗褐色	φ1mmLBや少、φ2~3mmLB少	
	3a	暗黃褐色	φ10mmLR少	
	3b	暗褐色	1a層より色々色、φ5mmLRやや少	
	4	暗褐色	φ2mmLB少	
	5	暗褐色	φ1mmLRやや少	
	6	暗褐色	φ2~5mmLB少	
	7	暗褐色	φ1mmLR少	
	8	暗褐色	2.3a.3b.6.5>7.2~1.4 しまり 1>7>3b>2.3a.5.6>4 きめ 4>1.2.3a.5.6.7	
	9	暗褐色	φ1~3mmLR少	
	10	暗褐色	φ1~2mmLRやや少	
	11	暗褐色	φ2~5mmLB・φ1mmLR多	
	12	暗褐色	2mmLR少	
1 位 土 2 C	1	暗褐色	3>4>1.2	
	2	暗褐色	しまり 2.4>1.3	
	3	暗黃褐色	暗褐色	
	4	暗褐色	2mmLR少	
	5	暗褐色	3>4>1.2	
	6	暗褐色	しまり 2.4>1.3	
	7	暗褐色	きめ 3>1.2.4	
	8	暗褐色	1a	
	9	暗褐色	1b	
	10	暗褐色	2a	
	11	暗褐色	2b	
	12	暗褐色	2c	
1 位 E	3a	暗黃褐色	2a層より色々色やや明	
	3b	暗褐色	2a層に似るが色調やや暗	
	4	暗褐色	3a	
	5	暗褐色	3b	
	6	暗褐色	4a	
	7	暗褐色	4b	
	8	暗褐色	4c	
	9	暗褐色	4d	
	10	暗褐色	4e	
	11	暗褐色	5	
	12	暗褐色	6a	
1 位 F	1a	暗褐色	6b	
	1b	暗褐色	6c	
	2a	暗黒褐色	6d	
	2b	暗褐色	6e	
	3a	暗褐色	6f	
	3b	暗褐色	6g	
	4a	暗褐色	6h	
	4b	暗褐色	6i	
	5	暗褐色	6j	
	6	暗褐色	6k	
	7	暗褐色	6l	
	8	暗褐色	6m	
	9	暗褐色	6n	
2 B 位 9 A	1	暗褐色	6o	
	2	暗褐色	6p	
	3	暗褐色	6q	
	4a	暗褐色	6r	
	4b	暗褐色	6s	
	5	暗褐色	6t	
	6	暗褐色	6u	
	7	暗褐色	6v	
	8	暗褐色	6w	
	9	暗褐色	6x	
	10	暗褐色	6y	
	11	暗褐色	6z	
	12	暗褐色	6aa	
2 位 9 A	1a	暗褐色	6ab	
	1b	暗褐色	6ac	
	2a	暗褐色	6ad	
	2b	暗褐色	6ae	
	3a	暗褐色	6af	
	3b	暗褐色	6ag	
	4a	暗褐色	6ah	
	4b	暗褐色	6ai	
	5	暗褐色	6aj	
	6	暗褐色	6ak	
	7	暗褐色	6al	
	8	暗褐色	6am	
	9	暗褐色	6an	
2 位 9 D	10	暗褐色	6ao	
	11	暗褐色	6ap	
	12	暗褐色	6aq	
	13	暗褐色	6ar	
	14	暗褐色	6as	
	15	暗褐色	6at	
	16	暗褐色	6au	
	17	暗褐色	6av	
	18	暗褐色	6aw	
	19	暗褐色	6ax	
	20	暗褐色	6ay	
	21	暗褐色	6az	
	22	暗褐色	6ba	
2 位 9 A	23	暗褐色	6ca	
	24	暗褐色	6da	
	25	暗褐色	6ea	
	26	暗褐色	6fa	
	27	暗褐色	6ga	
	28	暗褐色	6ha	
	29	暗褐色	6ia	
	30	暗褐色	6ja	
	31	暗褐色	6ka	
	32	暗褐色	6la	
	33	暗褐色	6ma	
	34	暗褐色	6na	
	35	暗褐色	6oa	
2 位 9 D	36	暗褐色	6pa	
	37	暗褐色	6qa	
	38	暗褐色	6ra	
	39	暗褐色	6sa	
	40	暗褐色	6ta	
	41	暗褐色	6ua	
	42	暗褐色	6va	
	43	暗褐色	6wa	
	44	暗褐色	6xa	
	45	暗褐色	6ya	
	46	暗褐色	6za	
	47	暗褐色	6ba	
	48	暗褐色	6ca	
2 位 9 A	49	暗褐色	6da	
	50	暗褐色	6ea	
	51	暗褐色	6fa	
	52	暗褐色	6ga	
	53	暗褐色	6ha	
	54	暗褐色	6ia	
	55	暗褐色	6ja	
	56	暗褐色	6ka	
	57	暗褐色	6la	
	58	暗褐色	6ma	
	59	暗褐色	6na	
	60	暗褐色	6oa	
	61	暗褐色	6pa	
2 位 9 A	62	暗褐色	6qa	
	63	暗褐色	6ra	
	64	暗褐色	6sa	
	65	暗褐色	6ta	
	66	暗褐色	6ua	
	67	暗褐色	6va	
	68	暗褐色	6wa	
	69	暗褐色	6xa	
	70	暗褐色	6ya	
	71	暗褐色	6za	
	72	暗褐色	6ba	
	73	暗褐色	6ca	
	74	暗褐色	6da	
2 位 9 D	75	暗褐色	6ea	
	76	暗褐色	6fa	
	77	暗褐色	6ga	
	78	暗褐色	6ha	
	79	暗褐色	6ia	
	80	暗褐色	6ja	
	81	暗褐色	6ka	
	82	暗褐色	6la	
	83	暗褐色	6ma	
	84	暗褐色	6na	
	85	暗褐色	6oa	
	86	暗褐色	6pa	
	87	暗褐色	6qa	
2 位 9 A	88	暗褐色	6ra	
	89	暗褐色	6sa	
	90	暗褐色	6ta	
	91	暗褐色	6ua	
	92	暗褐色	6va	
	93	暗褐色	6wa	
	94	暗褐色	6xa	
	95	暗褐色	6ya	
	96	暗褐色	6za	
	97	暗褐色	6ba	
	98	暗褐色	6ca	
	99	暗褐色	6da	
	100	暗褐色	6ea	
2 位 9 A	101	暗褐色	6fa	
	102	暗褐色	6ga	
	103	暗褐色	6ha	
	104	暗褐色	6ia	
	105	暗褐色	6ja	
	106	暗褐色	6ka	
	107	暗褐色	6la	
	108	暗褐色	6ma	
	109	暗褐色	6na	
	110	暗褐色	6oa	
	111	暗褐色	6pa	
	112	暗褐色	6qa	
	113	暗褐色	6ra	
2 位 9 A	114	暗褐色	6sa	
	115	暗褐色	6ta	
	116	暗褐色	6ua	
	117	暗褐色	6va	
	118	暗褐色	6wa	
	119	暗褐色	6xa	
	120	暗褐色	6ya	
	121	暗褐色	6za	
	122	暗褐色	6ba	
	123	暗褐色	6ca	
	124	暗褐色	6da	
	125	暗褐色	6ea	
	126	暗褐色	6fa	
2 位 9 A	127	暗褐色	6ga	
	128	暗褐色	6ha	
	129	暗褐色	6ia	
	130	暗褐色	6ja	
	131	暗褐色	6ka	
	132	暗褐色	6la	
	133	暗褐色	6ma	
	134	暗褐色	6na	
	135	暗褐色	6oa	
	136	暗褐色	6pa	
	137	暗褐色	6qa	
	138	暗褐色	6ra	
	139	暗褐色	6sa	
2 位 9 A	140	暗褐色	6ta	
	141	暗褐色	6ua	
	142	暗褐色	6va	
	143	暗褐色	6wa	
	144	暗褐色	6xa	
	145	暗褐色	6ya	
	146	暗褐色	6za	
	147	暗褐色	6ba	
	148	暗褐色	6ca	
	149	暗褐色	6da	
	150	暗褐色	6ea	
	151	暗褐色	6fa	
	152	暗褐色	6ga	
2 位 9 A	153	暗褐色	6ha	
	154	暗褐色	6ia	
	155	暗褐色	6ja	
	156	暗褐色	6ka	
	157	暗褐色	6la	
	158	暗褐色	6ma	
	159	暗褐色	6na	
	160	暗褐色	6oa	
	161	暗褐色	6pa	
	162	暗褐色	6qa	
	163	暗褐色	6ra	
	164	暗褐色	6sa	
	165	暗褐色	6ta	
2 位 9 A	166	暗褐色	6ua	
	167	暗褐色	6va	
	168	暗褐色	6wa	
	169	暗褐色	6xa	
	170	暗褐色	6ya	
	171	暗褐色	6za	
	172	暗褐色	6ba	
	173	暗褐色	6ca	
	174	暗褐色	6da	
	175	暗褐色	6ea	
	176	暗褐色	6fa	
	177	暗褐色	6ga	
	178	暗褐色	6ha	
2 位 9 A	179	暗褐色	6ia	
	180	暗褐色	6ja	
	181	暗褐色	6ka	
	182	暗褐色	6la	
	183	暗褐色	6ma	
	184	暗褐色	6na	
	185	暗褐色	6oa	
	186	暗褐色	6pa	
	187	暗褐色	6qa	
	188	暗褐色	6ra	
	189	暗褐色	6sa	
	190	暗褐色	6ta	
	191	暗褐色	6ua	
2 位 9 A	192	暗褐色	6va	
	193	暗褐色	6wa	
	194	暗褐色	6xa	
	195	暗褐色	6ya	
	196	暗褐色	6za	
	197	暗褐色	6ba	
	198	暗褐色	6ca	
	199	暗褐色	6da	
	200	暗褐色	6ea	
	201	暗褐色	6fa	
	202	暗褐色	6ga	
	203	暗褐色	6ha	
	204	暗褐色	6ia	
2 位 9 A	205	暗褐色	6ja	
	206	暗褐色	6ka	
	207	暗褐色	6la	
	208	暗褐色	6ma	
	209	暗褐色	6na	
	210	暗褐色	6oa	
	211	暗褐色	6pa	
	212	暗褐色	6qa	
	213	暗褐色	6ra	
	214	暗褐色	6sa	
	215			

週次	回数	セグメント	色調	内容物	備考
7位	14	A	3a	褐色	♂ 1~3mlLBや少、♀ 1mlLR少 上層
			3b	褐色	や少、♂ 1mlLR-C少 上層
			3c	褐色	3a層より色調やや明 上層
			4.	暗褐色～褐色	♂ 5~10mlLB、♀ 1mlC少 中層
			5a	褐色	♂ 5~10mlLB少 下層
			5b	暗褐色～褐色	♂ 5~10mlLDやや少 下層
			5c	暗褐色	♂ 2~3mlLB少 下層
			5d	暗褐色～褐色	♂ 2~5mlLB少 下層
			6	暗褐色	♂ 2~5mlLB少 中層
			7	黒褐色～暗褐色	♂ 1~2mlLB少、♀ 0.5~1mlFR-C少 性別差有無
			8a	黒褐色～暗褐色	♂ 2~5mlLB少 しまり無
			8b	黒褐色～暗褐色	♂ 2~5mlLB少 しまり有
			9a	褐色	♂ 2~10mlLB多 前方側面
			9b	褐色	♀ 8mlLB少 腹中筋後部
			10	に似る褐色～明黄色	腹側十糸を少なく含む 貼膜
			11	黒褐色～褐色	♂ 2~3mlLB、♀ 1~2mlC-FR少 床面直上
			12	暗褐色～明褐色	貼膜
			13	暗黃褐色	前脚より細い組合
			14	鈍性	♀ 9a, 10, 12, 13, 15>6, 7>11>5, 8>3>8a, 8b>1, 2, 3a~3 しまり♀ 9a, 10, 11~9b, 12, 13>2, 6>7, 1, 4, 5a~5d>3a~3c, 8a~8b きめ♀ 8a, 8b>3a~2c, 9a, 9b, 12, 13>2, 1, 2, 4a~5d>6, 7, 10, 11
			1a	暗褐色	♂ 2~5mlLB少 上層
			1b	暗褐色	♂ 2~10mlLBや多 上層
			2a	暗褐色	♂ 3~10mlLBやや多、黑色斑端上少 中層
			2b	暗褐色	2a層に似るがLBを含まない 中層
			2c	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			3	暗褐色	黑色斑端上少、♂ 2~3mlLR少 全体無
			4a	暗褐色	黑色斑端上少、♂ 2~3mlLRやや少 下層
			4b	暗褐色	4a層に似るが色調やや明、♂ 2~3mlLR少 性別差有無
			4c	暗褐色	4a層に似るが色調やや明 貼膜
			5	暗黃褐色	LB多、♂ 1~2mlC ペタリ状邊縁
			6	暗褐色	♂ 5~10mlLB多、♀ 2~3mlLRやや少、 ♂ 1mlC少 性別差有無
			7a	暗黃褐色	黑色斑端十糸
			7b	暗黃褐色	♀ 5~10mlLB多 性別差有無
			8a	暗黃褐色	♂ 5~10mlLB極多 貼膜
			8b	暗黃褐色	黑色斑端土少や少混合 貼膜
			8c	暗黃褐色	8b層に似るが色調やや明、黑色土少 貼膜
			8d	暗黃褐色	♂ 5~40mlLB多、黑色土少 貼膜
			9	暗赤褐色	火虫圖
			10	鈍性	♀ 5~7b~8, 9>4>1, 2>3 しまり♀ 5~7b~8, 9>4>1, 2>3 きめ♀ 8, 9>4>5>7b~1b
8位	16	A	1	黄褐色	腹側十糸で且糸を少なく含む 貼膜
			2	黄褐色	且糸～尾端十糸 貼膜
			3	黄褐色	腹側十糸で且糸を少なく含む 貼膜
			4	明黃褐色	且糸十糸でしまりやや弱、きめ細い 貼膜
			5	鈍性	2>4>1 しまり1>4>1 きめ2>4>1
9位	19	A	1a	暗褐色	Ⅲ・Ⅳ腹端
			1b	暗褐色	♂ 1~2mlLR少 上層
			2	暗褐色	黑色斑端上やや多 下層
			3a	暗褐色	黑色硬化ブロックやや多、♂ 5mlLB少 中層
			3b	暗褐色	♂ 2~3mlLR少 貼膜
			4	鈍性	3a>3b>1, 2 しまり3b>3a>1, 2 きめ3b>1, 2>3a
10位	21	A	1	暗褐色	♂ 50~70mlLBやや少 下層
			2	暗褐色	♂ 50~70mlLB少、黑色上 下層
			3	暗黃褐色	♂ 10~20mlLB多 貼膜
			4	暗褐色	C-FRやや少、♂ 10~30mlLB少 貼膜
			5	暗褐色	♂ 10mlLBやや多、♂ 10mlLB-FR少 上層
11位	16	A	1a	暗褐色	Ⅲ・Ⅳ腹端
			1b	暗褐色	♂ 1~2mlLR少 上層
			2	暗褐色	黑色斑端上やや多 下層
			3a	暗褐色	黑色硬化ブロックやや多、♂ 5mlLB少 中層
			3b	暗褐色	♂ 2~3mlLR少 貼膜
			4	鈍性	3a>3b>1, 2 しまり3>1, 2 きめ3, 4>1>2
12位	21	A	1	暗褐色	♂ 3~10mlLB少 上層
			2	暗褐色	♂ 3~10mlLB少 下層
			3	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 上層
			4	暗褐色	3a層に似るがLBや少 中層
			5	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 上層
			6	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			7	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 下層
			8	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			9	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 下層
			10	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			11	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 下層
			12	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			13	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			14	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			15	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 下層
			16	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			17	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			18	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			19	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			20	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			21	暗褐色	LBやや少、きめ細い 中層
			22	暗褐色	LBやや多 中層
			23	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			24	暗褐色	6b層に似るがLB少、LR-LB少 中層
			25	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			26	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			27	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			28	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			29	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			30	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			31	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			32	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			33	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			34	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			35	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			36	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			37	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			38	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			39	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			40	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			41	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			42	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			43	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			44	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			45	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			46	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			47	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			48	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			49	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			50	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			51	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			52	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			53	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			54	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			55	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			56	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			57	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			58	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			59	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			60	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			61	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			62	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			63	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			64	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			65	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			66	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			67	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			68	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			69	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			70	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			71	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			72	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			73	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			74	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			75	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			76	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			77	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			78	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			79	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			80	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			81	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			82	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			83	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			84	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			85	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			86	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			87	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			88	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			89	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			90	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			91	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			92	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			93	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			94	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			95	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			96	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			97	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			98	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			99	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			100	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			101	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			102	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			103	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			104	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			105	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			106	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			107	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			108	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			109	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			110	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			111	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			112	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			113	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			114	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			115	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			116	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			117	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			118	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			119	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			120	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			121	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			122	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			123	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			124	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			125	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			126	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			127	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			128	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			129	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			130	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			131	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			132	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			133	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			134	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			135	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			136	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			137	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			138	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			139	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			140	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			141	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			142	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			143	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			144	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			145	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			146	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			147	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			148	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			149	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			150	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			151	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			152	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			153	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			154	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			155	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			156	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			157	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			158	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			159	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			160	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			161	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			162	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			163	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			164	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			165	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			166	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			167	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			168	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			169	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			170	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			171	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			172	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			173	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			174	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			175	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			176	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			177	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			178	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			179	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			180	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			181	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			182	暗褐色	♂ 3~5mlLB少 中層
			183	暗褐色	

性名	セキ名	層名	色調	内 容 物	性 質
16住 16付	A	1c	暗褐色	1b層に似るが色をやや暗	上層
		2a	暗褐色	φ 0.1~1mm多く、φ 0.5mm少	下層
		2b	暗褐色	φ 1~10mmLB・LR多	下層
		3a	暗褐色	φ 0.5~5mm粒や多、φ 1mmLB・Cやや少	中層
		3b	暗褐色	φ 2~3mmLB・LBや多、φ 2~3mm	側溝
		4a	暗黒褐色	φ 1mmLB・LR多	側溝
		4b	暗褐色	φ 2~2.5mmLB・LBや多、φ 1mmCやや少	側溝
		5a	暗褐色	φ 1~5mmLB・LR 10~50mmLB多	側溝
		5b	明褐色	φ 1~5mmLB・LB多	側溝
		5c	明褐色	層よりもややきめ細い。N層を除く全層	側溝
16住 16付	B	5d	暗褐色	φ 1~10mmLB・LB・少、墨層を若干含む	側溝
		5e	暗褐色	φ 1~5mmLB・LB・少、φ 5~1mmCやや多	側溝
		5f	明褐色	φ 1mmLB・LB多	側溝
		5g	暗褐色	φ 5~10mmLBやや多	側溝
		5h	明褐色	φ 10~50mmLB多	側溝
		5i	暗褐色	5b>5a, 5c, 5g>5d~5h, 5b>2b, 2c>a~c>1b>2a>3a	側溝
		5j	暗褐色	5b>5a, 5c, 5g>5d~5h, 5b>2b, 2c>a~c>1b>2a>3a	側溝
		5k	暗褐色	5a, 5c, 5h>3c>5f, 5b>5d>4a>1c, 3a, 3b, 4b>5b>1a, 1b>2a, 2b	側溝
		5l	暗褐色	1a	弱褐色
		5m	暗褐色	1b	弱褐色
16住 16付	D,G	1a	暗褐色	LR少、C微	
		1b	暗褐色	LR・C微	
		1c	暗褐色	LR少、φ 10mmLB・C微	
		2	黒褐色	φ 5~10mmLB・C少	
		3	暗褐色	LR少や多、S 30~50mmLB少	
		4a	褐色	LRや少、φ 10mmLB少	
		4b	褐色	LRや少、φ 10mmLB少	
		5a	暗褐色	4a, 4b>2>3>1a~1b, 1c>2	
		5b	暗褐色	3>4a, 4b>1a, 1b, 1c>2	
		5c	暗褐色	1a, 4b>1c, 3>1a, 1b, 2	
16住 16付	D	1	暗褐色	弱褐色土中にLB・LR多、弱い	
		2	暗褐色	1層と少	
		3	黒褐色	弱土Iの單色の層、C-FRに入る、弱い	
		4	暗褐色		16住付
		5	暗褐色	C+1Rはそほそのφ 30~50mmLB	
		6	暗褐色		
		7	-		
		8	-		
		9	-		
		10	-		
16住 16付	E,F, F'	1	黒褐色	C微	測定
		2	暗褐色	φ 1~5mmLB少、C微	
		3	褐色	広く撒った斑状をと同じに2で判めた層。φ 10~30mmLBや少	
		4	暗褐色	φ 5~7mmLBや少、LR少、C微	
		5	暗褐色	C+1Rはそほそのφ 30~50mmLB	
		6	暗褐色		
		7	暗褐色		
		8	暗褐色		
		9	-		
		10	-		
16住 16付	G	1	暗褐色	褐色土やや少、C微	
		2	暗褐色	φ 3~5mmLB・褐色土やや少、C微	
		3	暗褐色	褐色土やや少、φ 3~5mmLB少、C褐色土上層	
		4	暗褐色	2層 I層、褐色土やや少、C・φ 3~5mmLB・褐色土上層	
		5	暗褐色	褐色土上層、C-LB強	
		6a	暗褐色	褐色土十強、C-LB強	
		6b	暗褐色	6a+1R強	
		7a	暗褐色	C-LR少、褐色土・FR強	
		7b	暗褐色	7a+FRや少	
		8	明褐色		
20住 20付	A	9	暗褐色	褐色土上層、φ 5~7mmLB・C微	
		10a	暗褐色	褐色土・LB・C微	
		10b	暗褐色	10mmに似るが褐色土・LB少	
		11	暗黒褐色	C少、褐色土上層	
		12	暗褐色	6a+φ 10~30mmLBやや少	
20住 20付	B	13	暗褐色	φ 5~50mmLB・LBや少	
		14	暗褐色	褐色土やや少、C微	
		15	暗褐色	褐色土やや少、φ 10~30mmLB・C微	
		16	暗褐色	C多、褐色土上層	
		17	暗褐色		

種類	回数	セキ名	種名	色調	内 容 物		備考
					内	容	
17・ 20件	18		暗青色	LR+暗青色上質、15層の様にLBが 紙に入らぬのはなく、とてもしまつ てい			
		納得	8.17>IN>12.13>10>10>7.16>1~6.9.11,14,15				
		しまり	8.17>12.13,18>10>10>7.16>1~6.9.11,14,15				
17件 41	18	きめ	8.17>15>12>10>10>18>1~7.9.11,14~16				
		1	暗青色	暗青色上質に、#30~50mlLB+LRや 多、C版、極めて固い			
		2	暗褐色	LR少、C版			
		3	黒褐色	暗褐色上質、C版FR多			
		4	暗褐色	LR少、わからぬ			
		5	暗褐色	2ml+4よりLR少、C多			
		6	黄褐色	ほそそそLR+LR、固い			
		7	黒褐色	C多、FR版、極めてしまる			
		8	黄褐色	薄褐色上質やLBやや少			
23件	B,C	強性	1>6>8>7>3>2,4,5				
		しまり	1>7>6>8>3>2>2				
		きめ	6>2>1>2,3,4,5,7				
		1	暗褐色	LRやや少、C少、#3mlLB少			
		2	黒褐色	C少、LR版			
		3	暗褐色	LRやや少、#3~7mlLB版			貼庫
		4	暗褐色	LR少、C版			
		5	暗褐色	LR少、#3mlLB版、C版微			
		6	暗褐色	C多、FR+LR少、#3~10mlLB版、			
		7	暗褐色	LR版強、C版微			
18位		8	暗褐色	LRやや少、C少			
		9	暗褐色	LRやや少、#3mlLB版、C版微			貼庫
		10	暗褐色	LR少、C版微			
		11	暗褐色	#1~1~5mlLB版、C版微			
		12	暗褐色	LRやや少			
		13	暗褐色	LRやや多、#10mlLB+C少			
		14	暗褐色	LRやや少			
		15	暗褐色	LRやや少、C少、#1mlLB版			
		16	暗褐色	#30~50ml褐色紙、LR少、1mm LB版			
30	C	17	黒褐色	黒褐色十幾やや少(#50mmの塊もあ り)、#10~30mlLB版、LR版			
		18	暗褐色	黒褐色上質やや多、#10~30mlLB や少、LR少			
		19	暗褐色	16ml+IV版、LRやや少、#30mlLB 少、C版			
		20	暗青褐色	II等+LR+LB、暗青色上質版、弱い			
		21	暗褐色	C少、LRやや少、#10mlLB版			
		22	暗褐色	C多、LRやや少			
		23	暗褐色	LRやや少、#10mlLB版			
		24	暗褐色	LRやや多、C少			
		25	暗褐色				直上等
		26	暗褐色				上級
G 11 + 4		27	暗褐色	LR多			
		3.9	強性	3.9>20>19>2,13>17>27>16>23>24,25>10,19> 1,4,5,8,12,11,15,21,22>25>11>6,7			
		しまり	3.9>2,10>13>17>18>15>16>1,4,5,8,10,11,14,21,27 >6,13,23>26>7>22				
		きめ	17,18>20>15>5,9>13>6>1,2,4,7,8,16>12,14,15,19,21~ >27>5				
G 11 + 4 G 11 上 4		1	暗褐色	#2~3mlLRやや多、#3~10mlLB+ #2mlFR版			上級
		2	暗褐色	#1mlLR少			上級
		3a	暗褐色	#2~5ml+LBやや多、#2mlFR版			上級~下級
		3b	暗褐色	3ml版に似るがLB多			上級~下級
		3c	暗褐色	3ml版に似るが色調やや暗、さめ細い			上級~下級
		4a	暗褐色	#2~5mlLB少			中級
		4b	暗褐色	4ml版に似るが色調やや暗			中級
		5a	暗褐色	#3~5mlLB少			上級
		5b	暗褐色	5ml版に似るが色調やや暗、#5mlLBや少			中級
		5c	暗褐色	#0.5~1mlLB少、#3~5mlLB版			中級
21件	A	6a	暗褐色	6ml版に似るが色調やや暗			中級
		6c	暗褐色	6ml版に似る			中級
		6d	暗褐色	6ml版に似る			中級
		7a	明黄色	N版(ブロック)+且版			振り方③
		7b	明黄色	N版より大きめ細かい			振り方①
		7c	明黄色	#5~10mlLBやや多			振り方④
		8a	暗褐色	#0.5~1mlLB少、#3~5mlLB版			中級
		8b	暗褐色	N版より少く含む			振り方②
		8c	暗褐色	N版と田字形に混合			振り方③
		9a	強性	5a,5b>2>7a>8~9>6a,6b>7>1>3a~3c			
		9b	しまり	7a>7c>8>9>5a,5b>4a,4b>2>1>3a~3c>6b>6a			
		9c	きめ	8a~8c>7c>7c>1>3a~3c>6a,6b>5a,5b			
32	C	1	暗褐色	C版			
		2	暗褐色				

部屋番号	回数	回数	色調	内容物	備考
21位 ビ1	32	2a	暗褐色	LRや少、♂ 3~5mlLR-C・FR多	
		2b	暗褐色	2aに似るがしまりや暗	
		3	暗褐色	LR少、C暗	
		4	暗褐色	♂ 30~50mlLB少(他の層より多い)、LR少、C・FR少	
		5	褐色	LRや多、C無	
		6	褐色	S>2a, 2b, 3>1	
21位 ビ2	32	7	褐色	2b>2a>3, 3>1	
		8	褐色	きめ 4>2a, 2b, 3>1	
		1	褐色	LB多	
		2	暗褐色	LR-C少	
		3	暗褐色	C多、♂ 30~50mlLB少	
		4	黄褐色	LR多	
		5	褐色	C暗、♂ 30mlLB極端、ふかふか	
		6	褐色	♂ 30mlLBや少、LR少	
22位	32	7	暗褐色	♂ 30mlLBや少、LR少	
		8	褐色	幼性(1)>1>6>7>3>>5	
		9	褐色	しまり 1,4>2>3>2,5	
		10	褐色	きめ 1,7>2>3>2,5	
		11	褐色	9a層<14層、LRや多	
		12	褐色	9a層少、C暗、しまりなくほそほそ	
22位	32	13	褐色	幼性 10>9a, 9b>11	
		14	褐色	しまり 10>9a, 9b>11	
		15	褐色	きめ 10>9a, 9b>11	
		16	褐色	褐色生や少、黒色粒子(鉱質)-C少	
		17	暗褐色	-	貼床
		18	暗褐色	暗褐色少	
		19	暗褐色	暗褐色少+始末室LB多	
		20	暗褐色	暗め、褐色上少、C暗	
		21	暗褐色	褐色生や少	
		22	暗褐色	褐色生や少	
		23	暗褐色	褐色生や少、C暗、1層より色深済	
		24	暗褐色	わざわざに明	
		25	暗褐色	6層 速十や少	
23位	30	26	暗褐色	にじみ暗褐色 黒め、暗褐色少、C暗	
		27	暗褐色	にじみ暗褐色 黒め、暗褐色少、C暗	
		28	暗褐色	にじみ暗褐色 黒め、暗褐色少、しまりなくほそほそ	
		29	暗褐色	にじみ暗褐色 黒め、暗褐色少、C暗	
		30	暗褐色	目標 10>9a, 9b>11	
		31	暗褐色	12層+13層、LR少	
		32	暗褐色	13a層 にじみ暗褐色 黒め、暗褐色少、C暗 H1)PT1	
		33	暗褐色	13b層 にじみ暗褐色 黒め、13b層+LR少、12b層よりやや H1)PT1	
		34	暗褐色	14a層 にじみ暗褐色 褐色生や少、褐色少	
		35	暗褐色	14b層 にじみ暗褐色 12層+褐色生兼	
		36	暗褐色	幼性 2a>2b>3c>11>4a>4b>5d>1>6, 7, 10, 12a>3, 8, 9>13a, 14a, 14b	
		37	暗褐色	2a>2b>11>9c>4a, 4b, 12b, 13b>10>1, 6, 7, 12a>3, 8, 9>13a, 14a	
		38	暗褐色	しまり 2a>2b, 12b>3c>4a, 4b, 12b, 13b>11>7, 10, 12a, 13b, 14b>1, 3, 6, 8, 9, 13, 14a	
24位	34	39	暗褐色	2a>2b, 12b>3c>4a, 4b, 12b, 13b>11>7, 10, 12a, 13b, 14b>1, 3, 6, 8, 9, 13, 14a	
		40	暗褐色	1a 层 黒褐色 ♂ 1~2mlLRや多 上層	
		41	暗黃褐色	1a層に似るが♀ 3~10mlLBやや少 上層	
		42	暗黃褐色	1a層に似るが♀ 黄褐色や暗 上層	
		43	暗黃褐色	♂ 1~2mlLR多、♀ 10~20mlLRやや多 上層	
		44	暗褐色	♂ 1~2mlLR多、♀ 10~20mlLRやや多 下層①	
		45	暗褐色	2a層に似るがしまりや暗 LB少 下層①	
		46	暗褐色	2c層に似るがしまりや暗 LB少 下層①	
		47	暗褐色	2d層に似るがしまりや暗 LB少 下層①	
		48	暗褐色	2e層に似るがしまりや暗 LB少 下層①	
25位	37	49	暗褐色	2f層に似るがしまりや暗 LB少 下層①	
		50	暗褐色	2g層に似るが色調やや暗、しまりや少 下層②	
		51	暗褐色	♂ 3~5mlLB少、♀ 1mlC暗 下層	
		52	暗褐色	♂ 5~10mlLBやや多 挿り方	
		53	暗褐色	しまり 2>1	
		54	暗褐色	きめ 2>1	
		55	暗褐色	♂ 1~2mlLR多、♀ 3~5mlLB少	
		56	暗褐色	1a層に似るが色調やや暗、♀ 0.5~1mlLBやや少	
		57	暗褐色	♂ 1~2mlLR多	
		58	暗褐色	♀ 1~2mlLR少	
26位	37	59	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR-Cや少	
		60	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR-Cや少	
		61	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		62	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		63	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		64	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		65	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		66	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		67	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
		68	暗褐色	♀ 1~2mlLR少、♂ 1mlFR少	
27位	35	69	暗褐色	♂ 2>5a, 5b>3, 4>1a, 1b	
		70	暗褐色	しまり 2>5a, 5b>3, 4>1a, 1b	
28位	35	71	暗褐色	きめ 6>1a, 1b>3~5b>2	
		72	暗褐色	きめ 6>1a, 1b>3~5b>2	

通名	品番	セクション	色	調	内 容 物	備考
31仕 付 +1	35 H		1	暗褐色	LRや少、C標準	
			2	暗褐色	蓝色弱了やや少、LR少、C標準、相 めでしまる	
31仕 附 付 状 態 付	35 I		1	暗褐色	♂ 2~3mmLB少	
			2	暗褐色	♂ 2~10mmLBやや多	
	35 L		3	暗褐色		
			4	暗褐色	♂ 2>1>2 ♂ 2>1>3 ♂ 1>2>3	
31仕 附 付 方	37 L		1	暗褐色	♂ 1cmC標準、♂ 2~5mmLB少	調溝
			2	暗褐色	♂ 3~5mmLB少	撫り方
	37 E		3	暗褐色	♂ 3~10mmLBやや多	撫り方
			4	暗褐色	♂ 3~10mmLB多	マウンド
	39 A		5	暗褐色	♂ 2~3mmLB少	相手の頭
			6	暗褐色	♂ 5mmLBやや少、他の目でくしまる	貼床
32仕 付 方	39 B		6a	暗褐色	♂ 6mmLBなど、他の目でくしまるが、6mmと 同じ距離で、同じレベルでのびる	
			7	暗褐色	LRやや少	
	39 C		8a	黒褐色	LR強、C標準	
			8b	黒褐色	LR少、C標準	
	39 D		9	黒褐色	LRやや少	
			10	暗褐色	♂ 2~6mm>3a>7, 9>1, 2, 3b, 4, 5a, 5b, 8 しまり(♂ 3a>6b>6b>7, 9>1>1, 2, 3b, 4, 5a, 5b, 8b きめ 6a>6b>7a>3a>b>1>2, 4, 5a, 5b, 7a, 8b)	
33仕 付 方	39 E		1	暗褐色	腹板を苦しむ化け、塗めて弱い	
			2	暗褐色	1層のLRが暗褐色十中に、多々多	
33仕 付 方	39 F		3	暗褐色	1層のLRが暗褐色十中に多く、F標準	
			4	暗褐色	LBやや多、F標準	
33仕 付 方	39 G		5a	暗褐色	黒い、♂ 1~3mmLB少、C標準、しまる	
			5b	暗褐色	黒い、♂ 1~3mmLBやや少、C標準、しまる	
33仕 付 方	39 H		6	暗褐色	♀ 3mm~1mm強	
			7	暗褐色	♂ 1>2>2~4	
34仕 付 方	39 I		8	暗褐色	♂ 1>2~3a, 5b>6>4	
			9	暗褐色	♂ 1>2>3>4>5a, 5b	
34仕 付 方	40 A		10	暗褐色	♂ 1~3mmLBや多、♂ 1mmC-FR強	
			11	暗褐色	♂ 2~3mmLRやや少、♂ 3mmLB強	
34仕 付 方	40 B		12	暗褐色	♂ 2~3mmLBや少、♂ 4mmLB多	
			13	暗褐色	♂ 3~5mmLBや少	
34仕 付 方	40 C		14	暗褐色	♂ 3~5mmLBや少	
			15	暗褐色	♂ 3~5mmLBや少	
34仕 付 方	40 D		16	暗褐色	♂ 1mmLB多	
			17	暗褐色	♂ 1mmLB、♂ 1mmC多	
34仕 付 方	40 E		18	暗褐色	♂ 1, 2 動弱	
			19	暗褐色		
34仕 付 方	40 F		20	暗褐色		
			21	暗褐色		
34仕 付 方	40 G		22	暗褐色		
			23	暗褐色		
34仕 付 方	40 H		24	暗褐色		
			25	暗褐色		
34仕 付 方	40 I		26	暗褐色		
			27	暗褐色		
34仕 付 方	40 J		28	暗褐色		
			29	暗褐色		
34仕 付 方	40 K		30	暗褐色		
			31	暗褐色		
34仕 付 方	40 L		32	暗褐色		
			33	暗褐色		
34仕 付 方	40 M		34	暗褐色		
			35	暗褐色		
34仕 付 方	40 N		36	暗褐色		
			37	暗褐色		
34仕 付 方	40 O		38	暗褐色		
			39	暗褐色		
34仕 付 方	40 P		40	暗褐色		
			41	暗褐色		
34仕 付 方	40 Q		42	暗褐色		
			43	暗褐色		
34仕 付 方	40 R		44	暗褐色		
			45	暗褐色		
34仕 付 方	40 S		46	暗褐色		
			47	暗褐色		
34仕 付 方	40 T		48	暗褐色		
			49	暗褐色		
34仕 付 方	40 U		50	暗褐色		
			51	暗褐色		
34仕 付 方	40 V		52	暗褐色		
			53	暗褐色		
34仕 付 方	40 W		54	暗褐色		
			55	暗褐色		
34仕 付 方	40 X		56	暗褐色		
			57	暗褐色		
34仕 付 方	40 Y		58	暗褐色		
			59	暗褐色		
34仕 付 方	40 Z		60	暗褐色		
			61	暗褐色		
34仕 付 方	40 AA		62	暗褐色		
			63	暗褐色		
34仕 付 方	40 BB		64	暗褐色		
			65	暗褐色		
34仕 付 方	40 CC		66	暗褐色		
			67	暗褐色		
34仕 付 方	40 DD		68	暗褐色		
			69	暗褐色		
34仕 付 方	40 EE		70	暗褐色		
			71	暗褐色		
34仕 付 方	40 FF		72	暗褐色		
			73	暗褐色		
34仕 付 方	40 GG		74	暗褐色		
			75	暗褐色		
34仕 付 方	40 HH		76	暗褐色		
			77	暗褐色		
34仕 付 方	40 II		78	暗褐色		
			79	暗褐色		
34仕 付 方	40 JJ		80	暗褐色		
			81	暗褐色		
34仕 付 方	40 KK		82	暗褐色		
			83	暗褐色		
34仕 付 方	40 LL		84	暗褐色		
			85	暗褐色		
34仕 付 方	40 MM		86	暗褐色		
			87	暗褐色		
34仕 付 方	40 NN		88	暗褐色		
			89	暗褐色		
34仕 付 方	40 OO		90	暗褐色		
			91	暗褐色		
34仕 付 方	40 PP		92	暗褐色		
			93	暗褐色		
34仕 付 方	40 QQ		94	暗褐色		
			95	暗褐色		
34仕 付 方	40 RR		96	暗褐色		
			97	暗褐色		
34仕 付 方	40 SS		98	暗褐色		
			99	暗褐色		
34仕 付 方	40 TT		100	暗褐色		
			101	暗褐色		
34仕 付 方	40 UU		102	暗褐色		
			103	暗褐色		
34仕 付 方	40 VV		104	暗褐色		
			105	暗褐色		
34仕 付 方	40 WW		106	暗褐色		
			107	暗褐色		
34仕 付 方	40 XX		108	暗褐色		
			109	暗褐色		
34仕 付 方	40 YY		110	暗褐色		
			111	暗褐色		
34仕 付 方	40 ZZ		112	暗褐色		
			113	暗褐色		
34仕 付 方	40 AA		114	暗褐色		
			115	暗褐色		
34仕 付 方	40 BB		116	暗褐色		
			117	暗褐色		
34仕 付 方	40 CC		118	暗褐色		
			119	暗褐色		
34仕 付 方	40 DD		120	暗褐色		
			121	暗褐色		
34仕 付 方	40 EE		122	暗褐色		
			123	暗褐色		
34仕 付 方	40 FF		124	暗褐色		
			125	暗褐色		
34仕 付 方	40 GG		126	暗褐色		
			127	暗褐色		
34仕 付 方	40 HH		128	暗褐色		
			129	暗褐色		
34仕 付 方	40 II		130	暗褐色		
			131	暗褐色		
34仕 付 方	40 JJ		132	暗褐色		
			133	暗褐色		
34仕 付 方	40 KK		134	暗褐色		
			135	暗褐色		
34仕 付 方	40 LL		136	暗褐色		
			137	暗褐色		
34仕 付 方	40 MM		138	暗褐色		
			139	暗褐色		
34仕 付 方	40 NN		140	暗褐色		
			141	暗褐色		
34仕 付 方	40 OO		142	暗褐色		
			143	暗褐色		
34仕 付 方	40 PP		144	暗褐色		
			145	暗褐色		
34仕 付 方	40 QQ		146	暗褐色		
			147	暗褐色		
34仕 付 方	40 RR		148	暗褐色		
			149	暗褐色		
34仕 付 方	40 SS		150	暗褐色		
			151	暗褐色		
34仕 付 方	40 TT		152	暗褐色		
			153	暗褐色		
34仕 付 方	40 UU		154	暗褐色		

登録年月日	登録番号	セイ	姓	色調	内 容 物		備考
					セイ	姓	
38件 上1	46	D	2	暗黒褐色	φ 1cmC多、φ 1cmLRやや少、φ 1cmCR少		
			1	暗褐色	やや少		
			2	暗褐色	φ 3~5cmLB、φ 1~2cmLR少		
			3	暗褐色			
			4	暗褐色	1>3>2		
			5	暗褐色	しまり	1>3>2	
			6	暗褐色	2,3>1		
			7	暗黃褐色	φ 1~2cmLRやや少		
			8	暗褐色	φ 3~5cmLB、φ 1cmLRやや少		
			9	暗褐色	φ 3~10cmLBやや少		
			10	暗黃褐色	φ 3~10cmLB少		
			11	暗褐色	暗黒褐色	3>4>1,2	
			12	暗褐色	しまり	3>2,4>1	
			13	暗褐色	3>4>1,3		
			14	暗褐色	φ 2~3cmLBや少、φ 1cmC少		
			15	暗褐色	φ 5~15cmLB多、φ 1~2cmLRやや少		
			16	暗褐色	φ 5~10cmLBやや少、φ 1cmR少		
			17	暗紅黒褐色	暗紅黒褐色	4>2,3>1,2,4	
			18	暗褐色	しまり	4>2,3>1,5,6	
			19	暗褐色	2>1,5,6>3,4		
			20	暗褐色	φ 5~10cmLBやや少、φ 1cmC板	下層	
			21	暗褐色	φ 3~5cmLB少	周囲	
			22	暗黃褐色	※層を多く含む、φ 5~10cmLB多	範囲り	
			23	暗褐色	3>1,2		
			24	暗褐色	3>2>1		
			25	暗褐色	3>2>1		
			26	暗褐色	φ 1cmLR多、φ 2~3cmLBやや多		
			27	暗褐色	φ 2~3cmLBやや多		
			28	暗褐色	2cmに似るが色調やや暗		
			29	暗褐色	φ 10~20cmLB多		
			30	暗褐色	φ 10~20cmLB多、φ 1~5cmLRやや多		
			31	暗褐色	φ 5~10cmLBやや少		
			32	暗褐色	φ 5~10cmLBやや多		
			33	暗褐色	暗黒褐色	2,3>1>3~4h	
			34	暗褐色	しまり	3>4>4h>3>2,2h>1	
			35	暗褐色	3h>4h>4h>3>1~2h		
			36	暗褐色	1	火床	
			37	暗褐色	2a	暗褐色	φ 1~2cmLRやや少、φ 1cmC板
			38	暗褐色	カマド裏面		
			39	暗褐色	2b	暗褐色	2cmに似るが色調やや暗
			40	暗褐色	カマド裏面		
			41	暗褐色	3	地山	
			42	暗褐色	4	地山	
			43	暗褐色	3,4>2h,2h>1		
			44	暗褐色	1,2,3>4>2h,2h		
			45	暗褐色	3>1>2h,2h		
			46	暗褐色	1a	暗褐色	φ 5~10cmLB、φ 1~2cmLRやや多
			47	暗褐色	1b	暗褐色	暗色土を含む
			48	暗褐色	1c	暗褐色	φ 3~5cmLB少
			49	暗褐色	1d	暗褐色	φ 3~5cmLBやや少、φ 1~2cmLR少
			50	暗褐色	1e	暗褐色	φ 2~3cmLR少
			51	暗褐色	2a	暗褐色	φ 2~3cmLBやや少
			52	暗褐色	2b	暗褐色	2cmに似るがφ 3~5cmLBやや少
			53	暗褐色	45	暗褐色	1a,1b,1d,1c>1c>2a,2b
			54	暗褐色	1h	暗褐色	1>1c>2a,2h
			55	暗褐色	3	暗褐色	2a>2h>1a~1c
			56	暗褐色	4	暗褐色	φ 1~2cmLR少
			57	暗褐色	5	暗褐色	φ 1cmCRやや少
			58	暗褐色	6	暗褐色	暗褐色
			59	暗褐色	7	暗褐色	(暗)
			60	暗褐色	8	暗褐色	φ 1~2cmLRやや多
			61	暗褐色	9	暗褐色	φ 1~2cmCR
			62	暗褐色	10	暗褐色	φ 1~2cmLR少
			63	暗褐色	11	暗褐色	暗褐色
			64	暗褐色	12	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			65	暗褐色	13	暗褐色	暗褐色
			66	暗褐色	14	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			67	暗褐色	15	暗褐色	暗褐色
			68	暗褐色	16	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			69	暗褐色	17	暗褐色	暗褐色
			70	暗褐色	18	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			71	暗褐色	19	暗褐色	暗褐色
			72	暗褐色	20	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			73	暗褐色	21	暗褐色	暗褐色
			74	暗褐色	22	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			75	暗褐色	23	暗褐色	暗褐色
			76	暗褐色	24	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			77	暗褐色	25	暗褐色	暗褐色
			78	暗褐色	26	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			79	暗褐色	27	暗褐色	暗褐色
			80	暗褐色	28	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			81	暗褐色	29	暗褐色	暗褐色
			82	暗褐色	30	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			83	暗褐色	31	暗褐色	暗褐色
			84	暗褐色	32	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			85	暗褐色	33	暗褐色	暗褐色
			86	暗褐色	34	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			87	暗褐色	35	暗褐色	暗褐色
			88	暗褐色	36	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			89	暗褐色	37	暗褐色	暗褐色
			90	暗褐色	38	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			91	暗褐色	39	暗褐色	暗褐色
			92	暗褐色	40	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			93	暗褐色	41	暗褐色	暗褐色
			94	暗褐色	42	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			95	暗褐色	43	暗褐色	暗褐色
			96	暗褐色	44	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			97	暗褐色	45	暗褐色	暗褐色
			98	暗褐色	46	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			99	暗褐色	47	暗褐色	暗褐色
			100	暗褐色	48	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			101	暗褐色	49	暗褐色	暗褐色
			102	暗褐色	50	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			103	暗褐色	51	暗褐色	暗褐色
			104	暗褐色	52	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			105	暗褐色	53	暗褐色	暗褐色
			106	暗褐色	54	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			107	暗褐色	55	暗褐色	暗褐色
			108	暗褐色	56	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			109	暗褐色	57	暗褐色	暗褐色
			110	暗褐色	58	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			111	暗褐色	59	暗褐色	暗褐色
			112	暗褐色	60	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			113	暗褐色	61	暗褐色	暗褐色
			114	暗褐色	62	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			115	暗褐色	63	暗褐色	暗褐色
			116	暗褐色	64	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			117	暗褐色	65	暗褐色	暗褐色
			118	暗褐色	66	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			119	暗褐色	67	暗褐色	暗褐色
			120	暗褐色	68	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			121	暗褐色	69	暗褐色	暗褐色
			122	暗褐色	70	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			123	暗褐色	71	暗褐色	暗褐色
			124	暗褐色	72	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			125	暗褐色	73	暗褐色	暗褐色
			126	暗褐色	74	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			127	暗褐色	75	暗褐色	暗褐色
			128	暗褐色	76	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			129	暗褐色	77	暗褐色	暗褐色
			130	暗褐色	78	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			131	暗褐色	79	暗褐色	暗褐色
			132	暗褐色	80	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			133	暗褐色	81	暗褐色	暗褐色
			134	暗褐色	82	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			135	暗褐色	83	暗褐色	暗褐色
			136	暗褐色	84	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			137	暗褐色	85	暗褐色	暗褐色
			138	暗褐色	86	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			139	暗褐色	87	暗褐色	暗褐色
			140	暗褐色	88	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			141	暗褐色	89	暗褐色	暗褐色
			142	暗褐色	90	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			143	暗褐色	91	暗褐色	暗褐色
			144	暗褐色	92	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			145	暗褐色	93	暗褐色	暗褐色
			146	暗褐色	94	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			147	暗褐色	95	暗褐色	暗褐色
			148	暗褐色	96	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			149	暗褐色	97	暗褐色	暗褐色
			150	暗褐色	98	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			151	暗褐色	99	暗褐色	暗褐色
			152	暗褐色	100	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			153	暗褐色	101	暗褐色	暗褐色
			154	暗褐色	102	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			155	暗褐色	103	暗褐色	暗褐色
			156	暗褐色	104	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			157	暗褐色	105	暗褐色	暗褐色
			158	暗褐色	106	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			159	暗褐色	107	暗褐色	暗褐色
			160	暗褐色	108	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			161	暗褐色	109	暗褐色	暗褐色
			162	暗褐色	110	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			163	暗褐色	111	暗褐色	暗褐色
			164	暗褐色	112	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			165	暗褐色	113	暗褐色	暗褐色
			166	暗褐色	114	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			167	暗褐色	115	暗褐色	暗褐色
			168	暗褐色	116	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			169	暗褐色	117	暗褐色	暗褐色
			170	暗褐色	118	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			171	暗褐色	119	暗褐色	暗褐色
			172	暗褐色	120	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			173	暗褐色	121	暗褐色	暗褐色
			174	暗褐色	122	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			175	暗褐色	123	暗褐色	暗褐色
			176	暗褐色	124	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			177	暗褐色	125	暗褐色	暗褐色
			178	暗褐色	126	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			179	暗褐色	127	暗褐色	暗褐色
			180	暗褐色	128	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			181	暗褐色	129	暗褐色	暗褐色
			182	暗褐色	130	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			183	暗褐色	131	暗褐色	暗褐色
			184	暗褐色	132	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			185	暗褐色	133	暗褐色	暗褐色
			186	暗褐色	134	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			187	暗褐色	135	暗褐色	暗褐色
			188	暗褐色	136	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			189	暗褐色	137	暗褐色	暗褐色
			190	暗褐色	138	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			191	暗褐色	139	暗褐色	暗褐色
			192	暗褐色	140	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			193	暗褐色	141	暗褐色	暗褐色
			194	暗褐色	142	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			195	暗褐色	143	暗褐色	暗褐色
			196	暗褐色	144	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			197	暗褐色	145	暗褐色	暗褐色
			198	暗褐色	146	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			199	暗褐色	147	暗褐色	暗褐色
			200	暗褐色	148	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			201	暗褐色	149	暗褐色	暗褐色
			202	暗褐色	150	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			203	暗褐色	151	暗褐色	暗褐色
			204	暗褐色	152	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			205	暗褐色	153	暗褐色	暗褐色
			206	暗褐色	154	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			207	暗褐色	155	暗褐色	暗褐色
			208	暗褐色	156	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			209	暗褐色	157	暗褐色	暗褐色
			210	暗褐色	158	暗褐色	φ 1~2cmLB少
			211	暗褐色	159	暗褐色	暗褐色
			212	暗褐色	160	暗褐色	φ 1~2cmLB少
		</					

測定番号	測定部位	色調	内 容 物		備考
			内	外	
G 12 上	A 65	1c 淡褐色	♂ 2~3mlLB少		
		1d 斑褐色	♂ 5~10mlLB少		
		1e 暗褐色	?		
		2a 淡褐色	♂ 1mlLB少		
		2b 斑褐色	♂ 2~3mlLBや少		
		2c 鹿毛褐色	♂ 1mlR微		
		粘性	1c>1a>1b>1d>2a>2c		
		しりり	1c>1a>1b>1d>2a>2b, 2c		
		きめ	1b>1c, 1d>1a>2a>2c>1e		
		1 淡褐色	♂ 2mlR少		
		2 深褐色	♂ 1~2mlLBやや多, ♂ 1mlC少		
		3 黄褐色	♂ 2~5mlLB少		
		4 避光褐色	♂ 2~6mlB, Bやや少, ♂ 1mlC少		
		5 淡黃褐色			
		粘性	1, 3, 5>2>4		
		しりり	4>1, 2>2, 5		
		きめ	2>1, 3, 5>4		
H 17 土1	A 66	1a 粉褐色	LR少, ♂ 1~6mlLB少, ♂ 3ml黑色土, ♂ 10~20ml灰褐色十葉・C微微		
		1b 淡褐色	LRやや少, ♂ 0.5mlLB-C微微		
		2a 淡褐色	LRやや多, ♂ 0.3~0.5mlLB-C微微		
		2b 褐褐色	LRやや少, ♂ 10mlLB, C微微		
		3 深褐色	LR少, ♂ 10mlLB, C微微		
		4 黑褐色	LRやや少, ♂ 30mlLB微微		
		粘性	2a>2d>2b>1a, 1b, 2c		
		しりり	2a, 2b>2d<1b<1a>2c		
		きめ	2b>2d>1b, 2c>1a, 2a		
		1 暗褐色	LRやや少, ♂ 3~5mlLB少, 黑色土+樹脂, C微微		
H 17 土2	A 66	2a 深褐色	LRやや多, 黑色土微	C微微	
		2b 深褐色	LRやや少, ♂ 1mlLB少, C微微		
		3 暗褐色	LRやや少, ♂ 2~5ml黑色土+C微微		
		4 暗褐色	LR少, ♂ 1mlB, C 黑色土+樹脂		
		5 暗褐色	LRやや少, ♂ 5mlLB少, 黑色土+葉		
		6 暗褐色	LRやや少, ♂ 5ml灰褐色, 3.1つ入る, ♂ 3ml土		
		7 黑色	LRやや少, ♂ 70~100mlLB-C微微		
		8 灰色			
		粘性	2a, 2b>5>1>7>3, 6>4		
		しりり	2a, 2b>5>1>7>3, 6>4		
K 31 土1	A 67	1 暗黃褐色	♂ 1mlLBやや多		
		2a 暗褐色	♂ 10mlLB少, ♂ 2~3mlLB少		
		2b 暗褐色	♂ 1~3mlLBやや多, ♂ 1~2mlC少		
		2c 暗褐色	♂ 2~3mlLBやや少, ♂ 1mlC微		
		2d 暗褐色	♂ 2~2mlLB, ♂ 10mlLB少		
		2e 暗褐色	♂ 1~2mlLBやや多		
		2f 暗褐色	♂ 2~3mlLBやや多		
		3 暗黃褐色	♂ 2~3mlLB少		
		4a 暗黃褐色	♂ 1~2mlLB多, ♂ 3~3mlLBやや多		
		4b 暗褐色	♂ 1~2mlLB, ♂ 3~5mlLB多, ♂ 1~2mlC少		
L 31 土1	A 67	1 暗褐色	LR少, ♂ 3~1mlLB微, C微微		
		2 暗褐色	LRやや少, ♂ 3mlLB微, C微微		
		3 暗褐色	LRやや少, ♂ 3mlLB微, C微微		
		粘性	2>1>2>3		
		しりり	1>2>3		
		きめ	2>1>3		

### 出土土器観察表

報告番号	回数	器種	色調(内)	色調(外)	胎 士	部 位	残 存 率	法量(器高、口径、底径)	時 期	備 考
1住-1	74	S字型	にい・褐色	DE, DE褐色	金色, 白, 水, 黑	口縁~底部	6.8	-	19.3	古墳
1住-2	74	S'字型	にい・褐色	にい・DE褐色	金色, 白, 黑, 水, 灰	口縁~底部	3.9	-	14.8	古墳
1住-3	74	S'字型	浅褐色	浅褐色	赤, 金, 白	口縁~底部	7.8	-	10.8	古墳
1住-4	74	壺	褐色	褐色	乳白色, 金色, 透明, 黑	口縁~底部	1.8	-	31.0	古墳
1住-5	74	串	褐色	褐色	金色, 乳白色, 水, 黑, 水	口縁~底部	1.8	-	31.1	古墳
1住-6	74	皿	にい・褐色	にい・褐色	赤, 金, 乳白色, 白	口縁~底部	1.8	-	27.6	古墳
1住-7	74	合付壺	褐色	褐色	白, 金, 黑	口縁~底部	8.8	-	7.0	古墳
1住-8	74	壺	にい・褐色	明暗褐色	白, 金, 黑	口縁~底部	1.8	-	-	古墳
1住-9	74	盆	褐色	褐色	赤, 金, 白, 黑	口縁~底部	5.8	-	23.0	古墳
1住-10	74	設台	褐色	褐色	赤, 金, 白, 黑	底部	3.8	-	26.8	古墳
1住-11	74	壺	にい・褐色	にい・褐色	白, 水, 黑, 金	口縁~底部	3.8	-	-	古墳

報告名	図版番号	器種	色調(内)	色調(外)	胎上	部位	残存率	法量(容積、11枝、底面)	時期	備考
1年 12	74	Lニチュア	黒褐色	に赤い黄褐色	乳白色、金色、黒光	口端部	1.8	-	7.6	古墳 内面削除後で、外面部磨耗で、崩壊
1年-12	71	小笠原	黄褐色	赤褐色	金色、白、赤、青	口端部-剥落	2-2.8	3.0	7.6	古墳 内面削除後で、外面部磨耗で、崩壊
3年 14	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74
1年-15	24	74	74	74	74	74	74	74	74	74
1年-16	74	Lニチュア	黒褐色	に赤い黄褐色	白、赤、青	口端部-剥落	1.8	-	10.0	古墳 外面部削除後で、胎部にヘラ削り
1年-17	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74
1年-18	74	Sアズキ	黒褐色	に赤い黄褐色	白、赤、青	口端部-剥落	5.8	3.5	4.6	古墳 内面削除後で、外面部磨耗で、崩壊
1年-19	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74
1年-20	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74
2年 -1	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-2	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-3	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-4	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-5	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-6	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-7	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-8	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-9	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-10	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-11	75	Lニチュア	黒褐色	に赤い黄褐色	白、赤、青	口端部-剥落	8/8	4.4	3.2	古墳 予備土器・内面削除で、外面部磨耗で、胎部削り
2年-12	75	Lニチュア	黒褐色	に赤い黄褐色	白、赤、青	口端部-剥落	3.8	-	4.5	古墳 予備土器・内面削除で、外面部磨耗で、胎部削り
2年-13	75	Lニチュア	黒褐色	に赤い黄褐色	白、赤、青	口端部-剥落	3/8	-	3.6	古墳 予備土器・内面削除で、外面部磨耗で
2年-14	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-15	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-16	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-17	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-18	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-19	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-20	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-21	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-22	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-23	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-24	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-25	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-26	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-27	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-28	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-29	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-30	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-31	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-32	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-33	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-34	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-35	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-36	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-37	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-38	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-39	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-40	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-41	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-42	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-43	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-44	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-45	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-46	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-47	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-48	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-49	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-50	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-51	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-52	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-53	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-54	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-55	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-56	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-57	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-58	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-59	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-60	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-61	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-62	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-63	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-64	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-65	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-66	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-67	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-68	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-69	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-70	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-71	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-72	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-73	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-74	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-76	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-77	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-78	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-79	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-80	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-81	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-82	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-83	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-84	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-85	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-86	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-87	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-88	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-89	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-90	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-91	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-92	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-93	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-94	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-95	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-96	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-97	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-98	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-99	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-100	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-101	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-102	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-103	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-104	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-105	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-106	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-107	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-108	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-109	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-110	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-111	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-112	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-113	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-114	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-115	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-116	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-117	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-118	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-119	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-120	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-121	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-122	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-123	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-124	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-125	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-126	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-127	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-128	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-129	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-130	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
2年-131	75	75	75							

報告書 番号	回数	品種	色調(内)	色調(外)	動	土	部位	残存 水	法被(裏芯、 口唇、底材)	時期	備考	
8位-13	29	黒	にぶい黄褐色	褐色	白・乳白色・黒・赤	黒帶	8.8	-	6.5	古墳	内面漆で、外面底部外側刷で	
6位-14	29	高坏	褐色	褐色	白・茶・黒	脚部	7.8	-	10.8	古墳	内面漆と、外面部・下地部へ刷り	
9位-15	29	茶	にぶい黄褐色	明褐色	墨・白・茶	脚部	3.8	-	13.4	古墳	内面漆刷で、外面底部刷で	
8位-16	29	小野白台	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	白・茶・金・金色	脚部・頭部	7.8	-	8.2	古墳	内面口輪部便毛刷で、外面部便毛刷で	
8位-17	29	茶	褐色	明褐色	白・金色・茶・黒	脚部	1.8	-	16.0	古墳	内面漆とともに刷で	
8位-18	29	茶	褐色	褐色	白・茶・金・茶・赤	脚部	1.8	-	16.0	古墳	内面口輪部便毛刷具による刷実丈	
8位-19	29	高坏	褐色	褐色	全赤・赤・白	脚部	1.8	-	20.1	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷で	
10位-1	29	S字壺	褐色	褐色	金色・白・黑・赤	口縁・胴部	6.8	-	14.5	古墳	1)内面漆で、上面に白細刷による刷實丈。2)底部刷で、底毛刷で、外面部便毛刷で、底部刷で。	
10位-2	29	高坏	褐色	褐色	全赤・白・赤	口縁・削削	2.8	-	14.1	古墳	内面漆とともに刷で	
10位-3	29	茶	にぶい黄褐色	白・金色・茶・黒	口縁部	2.8	-	9.0	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷で、外面部便毛刷で、底部刷で、外面部便毛刷で、底部刷で。		
10位-4	29	小野栗	黄褐色	黄褐色	赤・白・茶・金	口縁部・底部	3.8	6.0	8.4	3.4	古墳	内面口輪部便毛刷で、外面部便毛刷で、底部刷で、底部刷で、底部刷で、底部刷で。
10位-5	30	升付壺	にぶい黄色	淡黄色	白・黑・赤・金色	脚部	-	-	-	古墳	内面ヘルツで、外面部毛刷で	
10位-6	30	S字壺	明褐色	明褐色	白・茶・金・茶・赤	脚部	-	-	-	古墳	外面部毛刷で	
10位-7	30	高坏	褐色	褐色	全赤・白・赤	脚部	4.8	-	16.2	古墳	内面漆とともに刷でより不解明	
10位-8	30	升付壺	褐色	褐色	白・小・赤・全赤	脚部	3.8	-	10.2	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷で、外面部便毛刷で、底部刷で。	
10位-9	30	茶	明褐色	明褐色	白・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷毛と外面部毛刷と、ボタン状粘土付	
10位-10	30	茶	暗黃褐色	褐色	白・黑・茶・全赤	口縁部	-	-	-	古墳	1)内面漆刷毛と其による刷実丈。2)内面漆刷毛。3)外面部毛刷で。	
11位-1	30	茶	明褐色	褐色	赤・黑・透明・口	上縁部	2.8	-	18.6	古墳	内面漆刷毛と、外面部毛刷と、底で	
11位-2	30	S字壺	褐色	褐色	口・全赤・茶・赤	口縁・脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷による刷實丈。	
12位-1	30	S字壺	褐色	褐色	白・黑・茶・全赤	口縁・削削	4.8	-	13.8	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷で、底部刷で。	
12位-2	30	S字壺	褐色	褐色	白・茶・白・茶・茶	口縁・脚部	3.8	-	14.6	古墳	内面漆刷毛と外面部毛刷と、外面部便毛刷で、底部刷で。	
12位-3	30	茶	灰褐色	褐色	白・茶・全赤	脚部	2.8	-	22.8	古墳	内面漆刷毛と外面部便毛刷で、底部刷で。	
12位-4	30	茶	褐色	褐色	赤・白・茶	脚部	2.8	-	16.2	古墳	内面漆刷で	
12位-5	30	茶	茶	茶	にぶい黄褐色	白・全赤・茶・茶	口縁部	1.8	-	17.1	古墳	内面漆刷・赤部・外面部便刷で
12位-6	30	升付壺	茶	茶	にぶい茶褐色	白・浅茶・茶・茶	脚部	8.8	-	9.0	古墳	内面漆刷毛と、磁鐵毛と、外面部便毛刷で
12位-7	30	茶	浅褐色	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	4.8	-	18.0	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
12位-8	30	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	3.8	-	-	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
12位-9	30	升付壺	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	8.8	-	7.0	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
12位-10	30	升付壺	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	7.8	-	7.0	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
12位-11	31	骨	にぶい茶褐色	茶褐色	白・茶・白・茶・茶	口縁・脇部	3.8	-	9.8	古墳	内面漆刷と、ハラ刷りと、耐水性	
12位-12	31	高坏	褐色	褐色	全赤・白・茶・茶	脚部	4.8	-	8.6	古墳	内面漆刷と、ハラ刷りと、耐水性	
12位-13	31	ビニゴ	にぶい茶褐色	茶褐色	白・茶・茶・茶・茶	口縁部	8.8	-	6.7	古墳	内面漆刷方の刷きと、外面部毛刷と、耐水性	
12位-14	31	小野栗	にぶい茶褐色	茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷	
12位-15	31	ビニゴ	にぶい茶褐色	茶褐色	白・茶・茶・茶	口縁部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷	
12位-16	31	程	暗褐色	茶褐色	全赤・白・茶	口縁・脇部	2.8	-	9.9	古墳	内面ヘルツと、外面部毛刷	
32位-18	31	動搖車	褐色	褐色	白・黑・赤	口縫毛	-	-	-	古墳	内面漆刷で、底部刷で、耐水性	
32位-19	30	茶	にぶい黄褐色	茶褐色	白・乳光・金色・茶	脚部	5.8	-	14.9	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷で、耐水性	
33位-1	31	茶	にぶい褐色	褐褐色	全赤・黑・茶・白	脚部	1.8	-	16.8	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷で	
13位-2	31	骨?	茶?	茶?	にぶい褐色	白・乳白茶・茶・茶	脚部	1.8	-	12.6	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷で。
13位-3	31	茶	茶	茶	茶	白・茶・白・茶	脚部	1.8	-	17.6	古墳	外面部便毛刷で。
13位-4	31	小野栗	茶	茶	にぶい茶褐色	全赤・茶・口	脚部	4.8	-	5.0	古墳	内面漆刷で、内面漆刷毛と、底部刷で。
14位-1	31	S字壺	茶	茶	明褐色	白・茶・茶・茶	脚部	1.8	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-2	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・黑・茶・茶	脚部	3.8	-	18.6	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-3	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-4	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-5	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-6	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-7	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-8	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-9	31	茶	茶	茶	にぶい茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-10	30	升付壺	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	7.8	-	7.0	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-11	31	骨	にぶい茶褐色	茶褐色	白・茶・茶・茶	L形・脇部	3.8	-	9.8	古墳	内面漆刷と、ハラ刷りと、耐水性	
14位-12	31	高坏	茶	茶	茶	全赤・茶・茶	脚部	4.8	-	8.6	古墳	内面漆刷と、ハラ刷りと、耐水性
14位-13	31	ビニゴ	にぶい茶褐色	茶褐色	白・乳白茶・茶・茶	口縫部	8.8	-	6.7	古墳	内面漆刷方の刷きと、外面部毛刷と、耐水性	
14位-14	31	小野栗	茶	茶	茶	全赤・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷と、底部刷で。
14位-15	31	ビニゴ	にぶい茶褐色	茶褐色	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷と、底部刷で。	
14位-16	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷と、底部刷で。
14位-17	31	茶	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷と、底部刷で。
14位-18	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、底部刷で。
14位-19	30	茶	にぶい茶褐色	茶褐色	白・黑・茶・茶	脚部	5.8	-	14.9	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、耐水性	
14位-20	31	骨	にぶい茶褐色	茶褐色	全赤・茶・茶・茶	脚部	1.8	-	16.8	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、耐水性	
14位-21	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	1.8	-	12.6	古墳	内面漆刷毛と、外面部便毛刷と、耐水性
14位-22	31	高坏	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	4.8	-	8.6	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-23	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	8.8	-	6.7	古墳	内面漆刷方の刷きと、外面部毛刷と、耐水性
14位-24	31	小野栗	茶	茶	茶	全赤・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷と、耐水性
14位-25	31	ビニゴ	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部毛刷と、耐水性
14位-26	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-27	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-28	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-29	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-30	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-31	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-32	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-33	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-34	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-35	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-36	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-37	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-38	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-39	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-40	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-41	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-42	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-43	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-44	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-45	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-46	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-47	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-48	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-49	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-50	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-51	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-52	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-53	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-54	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-55	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-56	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-57	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-58	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-59	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-60	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-61	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-62	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-63	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-64	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-65	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	内面漆刷で、外面部便毛刷と、耐水性
14位-66	31	骨	茶	茶	茶	白・茶・茶・茶	脚部	-	-	-	古墳	



報告No	固版 番号	番種	色調(内)	色調(外)	地土	部位	残存 率	法益(最高、 中性、底性)	時期	備考		
33件-2	45	瓦坏	暗黄褐色	こい、黄褐色	白、金色、赤	口縫部	2.8	- 7.4	-	古墳 内面崩壊部		
34件-1	45	S丁美	褐色	白、金色、赤	口縫部	2.8	-	5.8	-	古墳 内面崩壊部で、口縫部崩壊部で、外側崩壊部		
34件-1-1	45	梁	暗黄褐色	褐色	白、乳白色、赤、金色	口縫一部	4.8	-	23.4	-	古墳 内面崩壊部で、口縫部崩壊部で、外側崩壊部で、外側崩壊部	
34件-1-2	45	S字型	にい・青色	にい・青色	白、金色、赤、黑	脚部	2.8	-	10.4	-	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部、上部に崩れに網が見られ、瓦張内側に折り返し	
34件-1-3	45	S丁美	にい・黄褐色	黒褐色	全色、白、赤	口縫・剥離	3.8	-	15.3	-	古墳 口縫内外側崩壊で、内面崩壊部、瓦張部崩壊、脚部崩壊で、外側崩壊部、脚部剥離部で、外側崩壊部	
36件-1	85	不明	にい・褐色	褐色	白、乳白色、黑、赤	底部	8.8	-	-	2.7	古墳 内面崩壊部で、下部にへら舟形で、外側崩壊部で、帶き内面崩壊(不剥離)、外側崩壊部の内側凹	
36件-2	85	谷筋	表被色	褐色	白、赤、黑	器部	2.8	-	9.8	-	古墳 内面みこみ崩壊部、外側崩壊部、脚部剥離・削離	
36件-3	85	ミニチュア	にい・黄褐色	褐色	白、乳白色、黑、赤、金	底部	8.8	-	-	2.2	古墳 内面みこみ崩壊部、外側崩壊部、脚部剥離・削離	
36件-4	85	瓦坏	褐色	褐色	白、黑、金色、赤	脚部	2.8	-	-	15.0	古墳 内面ヘタリ部で、脚部剥離部で、外側崩壊部の巻き、種1.5cm、3年位の瓦張支石	
36件-5	85	台付瓦	明赤褐色	灰黄褐色	白、黑、乳白色	器部	2.8	-	-	9.0	古墳 内面みこみ崩壊方向の網から10片、瓦張上部に瓦張部崩壊部、瓦張部剥離部で、瓦張部崩壊部、ヘタリ部で、脚部みこみ	
36件-6	85	盤	蓝色	褐色	白、乳白色、墨、金	口縫部	1.8	-	29.4	-	古墳 内面みこみ崩壊部で、外側崩壊部10片には3季1半段の瓦張部付合みあり	
36件-1-1	85	小切山	にい・黄褐色	褐色	白、墨、黄色、赤	底部	8.8	-	-	3.0	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部	
37件-1	85	洗	にい・褐色	褐灰色	白、赤、黑	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部み右裏り、抜きで、指痕部、外側崩壊部付合へる部で	
37件-1-2	85	S字型	にい・半赤褐色	褐色	白、赤、墨、金色	口縫部	1.8	-	12.6	-	古墳 「境内」内面崩壊部「内面」内側アラウドで、外側崩壊部付合	
37件-3	85	瓦坏	褐色	褐色	白、赤、金色	脚部	2.8	-	-	-	古墳 内面みこみ崩壊部で、外側崩壊部で、瓦孔文有り	
37件-4	85	瓦坏	明赤褐色	褐色	白、赤、黑	底部	1.8	-	14.4	-	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部で、瓦孔文有り	
37件-5	85	瓦坏	にい・褐色	褐色	白、赤、黑	脚部	1.8	-	14.0	-	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部で、瓦孔文有り	
37件-6	85	ミニチュア	白、褐色	褐色	白、赤	口縫部	2.8	-	10.0	-	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部で、瓦孔文有り	
37件-7	85	瓦坏	にい・黄褐色	褐色	白、赤、金色、赤	脚部	7.8	-	-	19.5	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部で、瓦孔文有り	
37件-8	85	小切山	透赤褐色	褐色	白、墨、赤	底部	1.8	-	-	4.4	古墳 内面崩壊部とも外側崩壊部で	
37件-9	85	盤	にい・黄褐色	褐色	白、赤、金	器部	1.8	-	10.0	-	古墳 内面崩壊部とも外側崩壊部で後引き	
37件-10	85	台付瓦	にい・褐色	褐色	白、赤、金	口縫部	2.8	-	14.4	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部へ瓦張で、外側崩壊部	
37件-11	85	瓦坏	にい・黄褐色	褐色	白、赤、白	脚部	1.8	-	-	22.0	古墳 内面崩壊部で、外側崩壊部で、瓦孔部へ瓦張で、脚部みこみ崩壊部で、瓦孔部	
38件-1	87	瓦坏	にい・青色	褐色	白、赤、金色、赤	口縫	3.8	-	22.6	-	古墳 瓦孔部で、瓦孔部で瓦張り、瓦孔部剥離部で、瓦孔部へ瓦張りで、瓦孔部で瓦張り	
38件-2	87	瓦坏	にい・褐色	褐色	白、赤、黑	脚部	2.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部とも外側崩壊部で	
38件-3	87	瓦坏	にい・褐色	褐色	白、赤、黑	脚部	2.8	-	7.0	-	古墳 内面崩壊部とも外側崩壊部で後引き	
38件-5	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	6.8	-	14.4	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部へ瓦張で、外側崩壊部	
38件-6	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	12.4	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部へ瓦張で、外側崩壊部	
38件-7	87	台付瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	3.8	-	8.8	-	古墳 内面崩壊部、瓦孔部で瓦張り、瓦孔部剥離部で、瓦孔部へ瓦張り	
38件-8	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部、瓦孔部で瓦張り	
38件-9	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部とも瓦孔部で、瓦孔部	
38件-10	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り、瓦孔部剥離部で、瓦孔部へ瓦張り	
38件-11	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	8.8	-	10.2	4.4	古墳 瓦孔部の瓦孔部有り	
38件-12	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部とも瓦孔部	
38件-13	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	2.8	-	12.0	-	古墳 内面崩壊部とも瓦孔部で、瓦孔部	
38件-14	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-15	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	3.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-16	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-17	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-18	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-19	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-20	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-21	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-22	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-23	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-24	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-25	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-26	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-27	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-28	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-29	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-30	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
38件-31	87	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-1	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	口縫部	2/8	-	17.0	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-2	88	S字型	にい・青色	褐色	白、赤、墨、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-3	88	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、墨、金	脚部	2/8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
41件-1	88	瓦	褐色	褐色	赤、黑、金	底部	2.8	-	-	-	平安 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
41件-2	88	瓦	褐色	褐色	赤、黑、金	口縫部	3.8	-	-	-	平安 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
41件-3	88	瓦	褐色	褐色	赤、黑、金	器部	3.8	-	-	-	平安 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
41件-4	88	瓦	褐色	褐色	赤、黑、金	口縫部	1.8	-	-	-	平安 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
E6土-1-1	88	S字型	黒	黒	白、赤、墨	口縫部	3/8	-	17.0	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
E6土-1-2	88	台付瓦	にい・青色	褐色	白、赤、墨、金	口縫部	5/8	-	8.0	9.7	13.5	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
E6土-2-1	88	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、墨、金	口縫部	3.8	-	-	12.8	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
E6土-2-2	88	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、墨、金	脚部	8.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
E6土-3-1	88	瓦	にい・青色	褐色	白、赤、墨、金	脚部	8.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-1	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	口縫部	2/8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-2	88	S字型	黒	黒	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-3	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	脚部	2/8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-4	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
E6土-1-1	88	S字型	黒	黒	白、赤、金	口縫部	3/8	-	-	15.8	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
E6土-1-2	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	脚部	4.8	-	-	13.0	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
E6土-2	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	脚部	3.8	-	-	12.8	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
E6土-3	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	脚部	8.8	-	-	3.9	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
39件-1	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	口縫部	2/8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-2	88	S字型	黒	黒	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-3	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	脚部	2/8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
39件-4	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
E6土-1-1	88	瓦	黒	黒	白、赤、金	脚部	3/8	-	-	8.2	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
G11件-1	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	口縫部	2/8	-	-	17.0	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り
H11件-1-1	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	口縫部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
H11件-1-2	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
H11件-1-3	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
H11件-2-1	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
H11件-2-2	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	1.8	-	-	-	古墳 内面崩壊部で、瓦孔部で瓦張り	
K11件-1-1	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	2/8	-	-	44.0	笠利後半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り
K11件-1-2	88	瓦	灰青褐色	灰青褐色	白、赤、墨、黑色	口縫部	1.8	-	-	-	笠利後半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り
Q11件-1	90	瓦	褐色	褐色	白、赤、墨、黑色	口縫部	1.8	-	-	-	笠利後半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り
Q11件-2	90	瓦	褐色	褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	1.8	-	-	-	笠利後半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り
Q11件-3	90	瓦	褐色	褐色	白、赤、墨、黑色	口縫部	1.8	-	-	-	笠利後半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り
Q11件-4	90	瓦	褐色	褐色	白、赤、墨、黑色	脚部	1.8	-	-	-	笠利後半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り
K11件-1-1	90	瓦	褐色	褐色	白、赤、墨、黑色	口縫部	2.8	-	-	34.9	笠利前半	内面崩壊部で、外側口縫部を剥離する剥離部で、瓦孔部で瓦張り

報告番号	国版番号	部種	色調(内)	色調(外)	脂 土	部位	残存率	法規(高・半・低)	時期	備考	
K35.1-1	90	蟹	青色	明示褐色	白・全赤・黒・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内・外全面	
K34.1-1	90	深海	黒褐色	灰褐色-赤褐色	白・黒・赤・全赤	頭部	8/8	29.8	24.5	7.0	古墳時代 外曲輪型-鶴突文、鈎形孔あり
L30.1-1	90	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面口輪輪郭線状態で、頭部單刷	
L30.1-2	90	深海	明示褐色	黒褐色	白・全赤・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
L30.1-3	90	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・赤・乳白色・金色	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
L30.1-4	90	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・乳白色・金色・黒・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
L30.1-5	90	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤・黒	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
M20.1-1	90	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・赤・黒・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-1	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・黒・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-2	92	深海	明示褐色	黒褐色	白・全赤・赤・乳白色	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-3	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-4	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-5	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-6	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・赤・黒	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-7	92	深海	明示褐色	黒褐色	白・全赤・赤・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-8	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 内面墨書き状態で、外面部-行書風-竹管内皮による沈刷文	
平・前-9	92	深海	明示褐色	黒褐色	白・全赤・赤・黒	口唇部	8/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-10	92	深海	黒褐色	明示褐色	白・全赤・赤・黒	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-11	92	深海	明示褐色	明示褐色	白・全赤・赤・乳白色	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-12	92	深海	に赤い貴賤色	明示褐色	白・全赤・赤・乳白色	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-13	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤・乳白色	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-14	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤・乳白色	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-15	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤・乳白色	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-16	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・赤・乳白色	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-17	92	深海	に赤い貴賤色	赤褐色	透明・乳白色・黒	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-18	92	深海	明示褐色	に赤い貴賤色	透明・白・全赤・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-19	92	深海	黒褐色	に赤い貴賤色	乳白色・黒・白	頭部	8/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-20	92	深海	黒褐色	明示褐色	白・全赤・赤・黒	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-21	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・乳白色・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-22	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-23	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-24	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-25	92	深海	明示褐色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-26	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-27	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-28	92	深海	黒褐色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平・前-29	92	深海	に赤い貴賤色	黒褐色	白・全赤・全赤	頭部	2/8	-	-	古墳時代 初期	
平-1	93	深海	黒褐色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-2	93	深海	黒褐色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-3	93	深海	黒褐色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-4	93	深海	浅褐色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-5	93	深海	に赤い貴賤色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-6	93	深海	に赤い貴賤色	に赤い貴賤色	白・全赤・乳白色・赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-7	93	深海	黒褐色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-8	93	深海	水褐色	明示褐色	白・全赤・乳白色・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-9	93	深海	黒褐色	水褐色	全赤・白・赤・乳白色	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-10	93	深海	に赤い貴賤色	水褐色	全赤・白・赤・乳白色	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-11	93	深海	に赤い貴賤色	水褐色	全赤・白・乳白色・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-12	93	深海	明示褐色	水褐色	全赤・白・乳白色・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-13	93	深海	明示褐色	に赤い貴賤色	白・全赤・全赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-14	93	深海	に赤い貴賤色	に赤い貴賤色	白・全赤・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-15	93	深海	水褐色	水褐色	全赤・白・乳白色・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
平-16	93	有孔土器	明示褐色	水褐色	全赤・白・乳白色・赤	頭部	1/8	-	-	古墳時代 初期	
中-1	93	深海	明示褐色	水褐色	全赤・白・全赤	口唇部	1/8	-	-	古墳時代 初期	

報告No.	固形 番号	器種	色調(内)	色調(外)	胎上	部位	残存 率	法量(認高、 口径、底径)	時期	備考
中-2	93	深井	褐色	褐色	白・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-3	93	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・黒・黒・黒角・ 金・金色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-4	93	深井	にぶい青褐色	にぶい青褐色	黒・白・赤	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-5	93	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・乳白色・透明・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-6	93	深井	にぶい青褐色	にぶい青褐色	白・乳白色・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-7	93	深井	にぶい褐色	にぶい褐色	金色・白・乳白色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-8	93	深井	にぶい褐色	褐色	白・黒・茶	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-9	93	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・黒・乳白色・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-10	93	深井	にぶい青褐色	青褐色	金色・乳・乳白色・白・黒・黒	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-11	93	井	にぶい褐色	にぶい褐色	白・黒・透明	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-12	93	深井	にぶい褐色	褐色	白・乳白色・黒・光	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-13	93	深井	開灰色	褐色	黒・赤・白・黒・光	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-14	93	深井	にぶい褐色	褐色	乳白色・赤・白色・黒・ 赤	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-15	93	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・乳白色・企・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-16	93	深井	褐色	にぶい褐色	白・乳白色・黒・透明	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-17	93	深井	褐色	にぶい褐色	白・乳・赤・赤・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-18	93	深井	にぶい青褐色	青褐色	乳・白・乳白色	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-19	93	深井	明黄褐色	明黄褐色	黑・白・赤	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-20	93	深井	黃褐色	明黄褐色	黑・白・乳白色・黒光	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-21	93	深井	黃褐色	明黄褐色	黑・白・金色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-22	93	深井	にぶい褐色	褐色	白・赤・黒・乳白色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-23	93	深井	褐色	褐色	白・乳白色・黒	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-24	93	深井	明黄色	褐色	乳・白・乳白色・全色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-25	93	深井	褐色	にぶい褐色	白・乳白色・赤・黒	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-26	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・乳白色・黒	山根部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-27	94	深井	にぶい褐色	褐色	白・黑	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-28	94	深井	褐色	褐色	黑・白・白・透明	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-29	94	深井	明黄褐色	黃褐色	黑・乳・乳白色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-30	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・乳白色・赤・黒・ 乳白色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-31	94	深井	にぶい褐色	褐色	白・乳白色・黒	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-32	94	深井	褐色	にぶい褐色	白・乳白色・黑	山根部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
中-33	94	若井	褐色	にぶい褐色	白・黑・乳・乳白色	口縁部	3/8	-	-	鶴文小字 内・外面模様で
中-34	94	浅井	にぶい褐色	褐色	白・黑・乳白色・黒・光	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-1	94	深井	灰黄褐色	褐色	白・赤・黒光	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-2	94	深井	浅黄褐色	褐色	白・赤・金・白・黒	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-3	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・乳白色・企・赤	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-4	94	深井	褐色	にぶい褐色	白・赤・金	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-5	94	深井	褐色	にぶい褐色	白・金色・黒光	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-6	94	深井	にぶい赤褐色	褐色	白・金色・乳白色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-7	94	深井	明赤褐色	褐色	白・企・赤	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-8	94	深井	褐色	にぶい青褐色	白・企・赤・企	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-9	94	深井	にぶい褐色	褐色	白・企・赤	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-10	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・企・白・赤・企	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-10	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	企・白・企・赤・企	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-11	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・企・乳白色・企	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-12	94	深井	深褐色	褐色	白・企・赤・企	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-13	94	深井	明黄褐色	明黄褐色	黑・白・乳白色・金色	茶薪	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-14	94	深井	にぶい青褐色	青褐色	白・企・白・乳白色・企	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-15	94	深井	にぶい褐色	褐色	白・企・白・乳白色	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-16	94	深井	褐色	褐色	白・企・白・乳白色	頭部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-17	94	深井	褐色	にぶい褐色	白・企・企・赤	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-18	94	深井	明黄褐色	黃褐色	白・企・企・企・赤	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
後-19	94	深井	褐色	褐色	白・企・企・企	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
第-1	94	葉	灰黄褐色	褐色	白・企・企	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
第-2	94	葉	灰黄褐色	褐色	白・企・企	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文
第-3	94	葉	灰黄褐色	褐色	白・企・企	口縁部	1/8	-	-	鶴文小字 内面模様で、外面部竹外皮による沈透文

報告No	出版 番号	器種	色調(内)	色調(外)	貼士	部位	残存 率	法量(深高、 口幅、底径)	時期	備考
古-1	91	壺	に赤い褐色	に赤い青褐色	白・黒・赤・金色	口縁部	1.8	- - -	-	古墳時代 内面磨毛目、外面磨毛目・絞貼付、研毛目
古-2	94	S字壺	黒褐色	黒褐色	白・金色・黒・赤	口縁部	1.8	- - -	10.0	古墳時代 内面研磨跡で、黒く崩れ、外側口縁部剥落で、研磨目付
古-3	94	S字壺	に赤い黄褐色	に赤い青褐色	黒・白・赤・金色	口縁部	1.8	- - -	-	古墳時代 内面研磨毛目、裏面研磨で、外側口縁部剥落で、研磨目付
古-4	94	三ハニチュア灰青褐色	削成灰青色	白・黒・金	腹部	1.8	- - -	-	古墳時代 手取七型 内面磨毛目、外側磨毛目→崩れ	
古-5	94	壺	に赤い褐色→赤	に赤い青褐色	白・透青・墨光	口縁・側部	2.8	- - -	8.4	古墳時代 内面小研磨、裏面毛目、外側の縁部は絞貼毛目→剥離で、腹部は研磨毛目→解体
古-6	94	壺	に赤い褐色	に赤い青褐色	白・乳白色・黒・金色	腹部	1.8	- - -	-	古墳時代 手取七型 内面研磨毛目→外側研磨で、研磨目付
古-7	94	壺	赤色	赤色	白・金色・黒光	口縁	1.8	- - -	25.1	古墳時代 内面研磨毛目→外側研磨毛目→底面
平-1	94	長頸壺	灰青褐色	灰オリーブ色	白・黒・赤	腹部	2.8	- - -	-	平安時代 ロゴ底部、内面上部に赤がかかる、外側全体に軽かかること
平-2	94	羽茎	明赤褐色	黒色～赤褐色	全色・白・黒	腹部(底部)	1.8	- - -	-	平安時代 内面研磨毛目・外側研磨底部とH、断続模様→別の剥離

### 出土石器觀察表

報告No	図No	器種	被熱	石材	法量(長さcm・幅cm・厚さcm・重量)	備考
1住-21	75	塊石	○	花崗岩	44.0 20.3 12.7 1,760.0	
1住-22	73	塊石	○	安山岩	7.0 5.5 2.4 110.0	
1住-23	75	積石石器	×	青石	8.8 6.0 1.2 80.0	
1住-24	75	石器	×	チャート	3.9 4.3 1.0 20.0	
2住1-1～3	76	塊石	○	安山岩	13.9 8.1 5.2 910.0	先端部を敲石として使用
3住-7	77	塊石	○	安山岩	13.5 6.4 3.7 720.0	
4住-4	77	塊石	○	安山岩	20.5 13.2 4.2 2,340.0	刃頭解明
5住-1	77	打製石斧	×	頁岩	14.8 6.6 2.5 340.0	
6住-20	79	鉈	×	頁岩	8.0 0.8 0.3 10.4	
8住-21	79	磨石	○	安山岩	12.1 9.0 4.2 670.0	
8住-22	79	滑石石器	×	黒曜石	4.8 2.9 1.3 14.3	
8住土-1～1	79	石器	×	黒曜石	2.3 1.2 0.4 6.7	
12住-17	81	經營	×	フォルン フルス	11.4 16.1 4.6 980.0	
13住-5	81	打製石斧	×	フォルン フルス	11.6 8.4 2.0 220.0	
14住-5	81	磨石	×	フォルン フルス	8.2 9.1 3.2 300.0	
16住-11	82	石盤	×	黒曜石	2.0 1.9 0.4 1.2	
16住-12	82	石石	○	砂岩	9.5 4.5 3.0 196.0	
20住-4	83	石磚	×	砂岩	1.6 1.4 0.4 0.1	
21住-6	83	石石	×	安山岩	22.5 18.2 4.3 2,540.0	
26住-3	84	玉石	×	砂岩	3.9 2.7 1.8 28.7	
28住-5	84	磨石	×	安山岩	9.0 5.6 3.0 320.0	
29住-3	84	打製石斧	×	フォルン フルス	6.7 5 1.3 46.0	
31住-7	84	剥片石器	×	黒曜石	2.1 1.2 0.4 1.3	
31住-8	84	石石	×	頁岩	3.0 2.3 0.6 6.5	
32住-5	85	台石	×	安山岩	22.3 26.0 8.5 11,900.0	中央部に微打痕
34住-2	86	石盤	×	黒曜石	1.7 1.3 0.3 0.5	
36住-7	86	石盤	×	黒曜石	2.0 1.6 0.4 0.8	
36住-8	86	石盤	×	砂岩	3.3 2.7 0.1 6.3	
36住-9	86	打製石斧丁	×	頁岩	5.5 6.0 1.0 40.0	
37住-10	86	磨石	○	安山岩	9.9 12.2 4.2 910.0	
38住-4	87	石盤	×	黒曜石	2.2 0.5 0.2 0.4	
T1ビ1-1	88	凹石	×	安山岩	8.0 9.0 4.6 420.0	
K11.1-1-3	89	透石、磨石	×	砂岩	17.0 7.4 4.5 860.0	
K11.1-1-4	89	磨石、透石	×	砂岩	17.0 8.2 6.1 1,480.0	
K21.1-1-5	89	門石	×	安山岩	13.8 8.1 5.1 760.0	
K31.1-1-6	89	磨石	×	安山岩	9.8 8.8 4.8 520.0	
K31.1-1-7	89	打製石斧	×	頁岩	8.9 5.8 1.3 90.0	
HT1.1-1-2	90	石盤	×	黒曜石	2.8 0.8 0.6 2.5	
L31.1-2-1	90	磨石	×	花崗岩	10.6 9.2 5.3 750.0	
L31.1-2-2	90	透形石器	×	黒曜石	2.0 1.8 0.7 2.5	
M34.1.2-1	90	磨石	×	砂岩	4.5 8.9 1.9 13.5	
M34.1.2-2	90	透石	×	安山岩	9.5 11.4 7.9 1,980.0	
満-4-1	90	透石	×	花崗岩	13.0 11.3 7.8 1,400.0	
青-1-1	92	台石	×	安山岩	18.3 22.5 6.3 3,410.0	
青-1-2	92	西石	○	安山岩	26.0 20.4 12.5 9,500.0	
石-1	94	石盤	×	黒曜石	1.3 1.3 0.3 0.3	
石-2	94	石盤	×	黒曜石	2.8 1.4 0.6 1.3	

住居以外出土器重量破片数 (1)

グリッド	遺構名	古墳		縄文		早 期		商 周		中 期		後 期		晩 期		不 明		中・近世		時 期
		重 量 (g)	重 量 (銅 g)	重 量 (g)																
D.3	ビ2	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.5	ビ5	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.3	ビ7	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.3	ビ8	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.4	ビ8	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.4	ビ9	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.5	ビ1	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M.6	土1	2,393	79	3	29	1	-	-	59	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P.6	土1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I.10	土1,2	-	77	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	3	-	-	
G.11	ビ1	390	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
H.17	土1	-	286	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
H.17	土2	-	647	39	-	-	-	-	496	29	-	-	-	-	-	183	10	-	古墳V	
H.17	土3	-	228	11	-	-	-	-	228	11	-	-	-	-	-	99	2	-	古墳V	
H.17	ビ5	367	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
H.17	ビ1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
H.17	土1	90	260	11	-	-	-	-	244	10	16	1	-	-	-	-	-	-	古墳V	
H.19	ビ1	-	7	1	-	-	-	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
H.18	ビ1	-	47	2	-	-	-	-	47	2	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
J.21	土1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	1	-	古墳V	
J.21	ビ3	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	3	-	古墳V	
K.22	ビ1	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.22	土1	20	145	5	-	-	-	-	145	5	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.22	土1	58	348	14	-	-	-	-	348	14	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.22	ビ2	2	66	2	-	-	-	-	66	2	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.23	土1	6	175	4	-	-	-	-	175	4	-	-	-	-	-	33	3	-	古墳V	
K.25	土2	308	214	12	-	-	-	-	214	12	-	-	-	-	-	74	13	-	古墳V	
K.25	土1	219	221	8	-	-	-	-	221	8	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.25	ビ1	22	12	1	-	-	-	-	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.26	土1	194	117	4	-	-	-	-	117	4	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.26	ビ1	24	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	2	-	古墳V	
K.26	ビ2	4	109	3	-	-	-	-	109	3	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.29	土1	-	202	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	202	4	-	古墳V	
K.30	土1	-	658	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	658	21	-	古墳V	
K.30	上2	-	74	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	3	-	古墳V	
K.30	ビ1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.30	ビ4	17	2	-	-	-	-	-	17	2	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.30	ビ3	28	40	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	8	-	古墳V	
K.31	土1	-	305	7	-	-	-	-	305	7	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.31	1.1	-	206	16	-	26	1	180	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.31	上2	-	50	5	-	-	-	-	50	5	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.31	土4	28	50	2	-	-	-	-	50	2	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.31	ビ1	227	3	-	-	-	-	227	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.31	ビ2	-	73	3	-	-	-	-	73	3	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
M.32	ビ4	4	127	9	-	-	-	-	76	6	51	3	-	-	-	76	15	-	古墳V	
M.32	ビ5	6	102	9	-	-	-	-	85	4	17	2	-	-	-	25	5	-	古墳V	
M.32	ビ11	-	36	3	-	-	-	-	36	3	-	-	-	-	-	14	3	-	古墳V	
M.32	ビ6	-	37	5	-	-	-	-	37	5	-	-	-	-	-	9	3	-	古墳V	
M.32	ビ1	13	5	-	-	-	-	-	7	2	6	2	-	-	-	62	9	-	古墳V	
M.33	ビ1	-	4	1	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
M.33	ビ2	-	25	2	-	-	25	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
J.33	土1	-	101	3	-	-	101	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.34	土1	-	3	35	-	-	-	-	3	35	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
K.34	土1	2	25	3	-	-	-	-	25	3	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
M.34	土1	-	20	1	-	-	-	20	1	-	-	-	-	-	-	12	1	近世4.7	古墳V	
M.34	土2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	近世29.7	古墳V	
M.35	ビ2	-	11	1	-	-	-	-	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
L.36	土1	-	107	8	-	-	-	107	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
L.36	ビ2	-	70	3	-	-	-	70	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
M.36	ビ1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
M.37	1	-	230	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	237	8	近世27.0	古墳V	
M.37	4	-	5,060	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310	29	-	古墳V	
M.37	5	-	206	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	143	3	-	古墳V	
M.37	3	-	785	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1	近世68.8	古墳V	
M.37	6	-	239	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	201	9	近世48.1	古墳V	
M.37	7	-	149	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
I.36	-	62	3	-	-	-	-	-	67	1	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
C.1	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
C.2	-	781	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
D.2	-	212	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
E.2	-	192	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
C.3	-	632	47	1	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
D.3	-	746	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
E.3	-	1,335	81	6	-	-	-	65	4	16	2	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
C.4	-	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
D.4	-	698	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
E.4	-	1,096	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	
F.4	-	656	75	3	-	-	-	-	3	1	71	2	-	-	-	-	-	-	古墳V	
D.4	-	396	8	2	-	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	古墳V	

住居以外出土器重量破片数(2)

グリッド	遺構名	古墳		早 期				中 期		後 期		晚 期		不明		中・近世		時 期	
		重 量 (g)	破 片 (個)	重 量 (g)															
D.5	983	120	3	-	-	-	-	77	2	44	1	-	-	15	2	-	-	-	
E.5	550	25	1	-	-	-	-	25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F.5	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.6	895	162	4	-	-	-	-	162	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C.6	108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D.6	538	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F.6	543	3	1	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.19	69	10	1	-	-	-	-	10	1	-	-	-	-	-	近世4	-	-	-	
J.20	242	18	3	-	-	-	-	18	3	-	-	80	3	中世33	-	-	-	-	
J.17	49	150	12	-	-	-	-	135	11	15	1	-	-	近世1.3	-	-	-	-	
J.20	153	300	24	-	-	-	-	300	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.21	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.21	194	35	2	-	-	24	1	11	1	-	-	-	11	1	-	-	-	-	
K.21	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.22	7	18	2	-	-	-	-	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.22	35	28	4	-	-	-	-	28	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.22	14	35	2	-	-	-	-	12	1	23	1	-	-	-	-	-	-	-	
K.22	27	113	4	-	-	-	-	48	3	65	1	-	-	-	-	-	-	-	
J.23	75	194	11	-	-	-	-	194	11	-	-	-	87	14	-	-	-	-	
J.23	49	184	13	-	-	-	-	184	13	-	-	-	43	8	近世2.9	-	-	-	
K.23	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.24	777	436	30	-	-	-	-	436	30	-	-	-	-	-	近世44	-	-	-	
J.24	206	212	21	-	-	-	-	212	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.24	107	94	8	-	-	-	-	94	8	-	-	-	6	1	-	-	-	-	
L.25	65	4	-	-	-	-	-	65	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.25	135	153	6	-	-	-	-	153	6	-	-	-	99	8	-	-	-	-	
J.26	100	163	7	-	-	-	-	163	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.26	98	223	20	-	-	-	-	288	18	35	2	-	-	-	-	-	-	-	
L.26	43	102	10	-	-	-	-	102	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.28	19	162	5	-	-	-	-	162	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L.28	16	122	7	-	-	-	-	122	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S.29	2	133	5	-	-	-	-	133	5	-	-	-	12	2	-	-	-	-	
J.29	75	484	15	-	-	-	-	487	14	17	1	-	48	3	-	-	-	-	
J.31	14	53	4	-	-	-	-	53	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.32	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K.34	2,673	33	-	-	-	-	-	2,673	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
黄壁	1,068	987	44	-	-	-	-	13	2	920	36	54	6	-	428	45	平安79.4	-	
L.32	10	4	1	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	35	3	-	-	-	
L.34	-	18	1	-	-	-	-	18	1	-	-	-	-	-	近世14	-	-	-	
J.35	-	23	2	-	-	-	-	6	1	17	1	-	-	-	-	-	-	-	
M.35	3	37	1	-	-	-	-	27	1	-	-	-	-	34	3	近世3.9	-	-	
L.36	12	83	8	-	-	-	-	83	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J.37	76	63	3	-	-	-	-	63	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M.37	66	64	7	-	-	-	-	64	7	-	-	-	-	-	近世43	-	-	-	
M.38	25	41	2	-	-	-	-	41	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L.39	362	1,124	39	-	-	-	-	1,092	57	32	2	-	-	189	27	平安6.3	-	-	
M.39	489	664	47	-	-	15	1	624	38	24	2	-	-	241	57	近世108.1	-	-	
L.39	269	664	48	-	-	-	-	664	48	-	-	-	-	196	42	-	-	-	
L.40	-	330	787	66	127	7	87	5	373	54	-	-	-	320	43	平安42.3	-	-	
N.40	-	57	5	-	-	-	-	37	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M.40	3	64	2	-	-	-	-	38	1	26	1	-	-	-	-	-	-	-	
M.41	23	53	2	-	-	-	-	35	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N.41	-	33	2	-	-	-	-	33	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M.42	19	36	2	-	-	-	-	36	2	-	-	-	-	-	近世17	-	-	-	
T.43	-	1,142	56	805	46	-	-	340	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L.42	-	206	2,663	168	1,500	105	160	15	780	41	222	7	-	-	234	22	-	-	-
M.43	-	137	121	9	32	3	78	5	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
M.44	-	150	10	77	5	59	3	-	-	23	2	-	-	-	-	-	-	-	
L.45	-	396	21	288	16	81	3	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

住居内出土土器重量破片数(1)

遺構名1	遺構名2	層位	古墳時代		縄文時代		早期		前期		中期		後期		不明	
			重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数
1住		古上層	1,737	76	6						13	2	65	4		
		上層	2,495	280	14						143	9	131	5		
		下層	5,339	840	11						273	9	36	2		
		床面	1,560													
		床下	540													
		一括	110		10	1							10	1		
		1土	580													
		2-1	520	20	2						20	2				
		1-1	25													
		4-1	10													
2住		上層	10													
		古湯	50													
		北窓八	320													
		上層	290	20	1						20	1				
		下層	1,310	420	14						152	6			268	8
		床面	2,079	127	3						127	3				
		床下	50													
		一括	30	90	1								90	1		
		炭化穀殼小	230													
		1器裏中2	160													
3住		1土	345													
		上層	50													
		下層	200	50	1						50	1				
		-延	700	60	1						60	1				
		古上層	340													
		上層	270	65	2						65	2				
		下層	910	22	1								32	1		
		床面	1,540	18	1						18	1				
		一括	1,260													
		-1括	20													
4住		夷湯	60													
		土器裏中1	60													
		1器裏中3	1,230	40	1						60	1				
		下層	695	98	3						69	2	22	1		
		床面	206	158	1						158	1				
		上1	20													
		床面	190													
		床下	910	90	3								27	1	63	1
		一括	600	140	6								50	3	90	3
		夷湯	90													
5住		一括	42	16	1						16	1				
		上層	1,600	100	3								100	3		
		下層	480	15	1						15	1				
		床面	350													
		床下	30													
		土1	990													
		2-3	20													
		2-5	50													
		夷湯	20													
		一括	1,680	160	1						160	1				
6住		古上層	1,428	20	2						20	2				
		上層	3,420	150	10						130	8				
		下層	2,580	38	4						27	3	9	1		
		床面	2,670	158	4						144	3			10	1
		床下	155													
		一括	368	40	1								40	1		
		上1	1,030													
		2-2	8													
		2-3	30													
		2-4	20													
7住		2-6	40													
		車内	340													
		古上層	280													
		上層	5,230	60	4						60	4				
		床面	330													
		床面	130													
		一括	1,680													
		上層	200													
		下層	140													
		床下	40													
8住		一括	390	20	1						20	1				
		上層	1,490													
		2-2	8													
		2-3	30													
		2-4	20													
		2-6	40													
		車内	340													
		古上層	280													
		上層	5,180	60	2						60	2				
		床面	300													
10住		床下	50													
		一括	1,680													
		上層	200													
		下層	140													
		床下	40													
		一括	390	20	1						20	1				
		上層	1,490													
		2-2	8													
		2-3	30													
		2-4	20													
11住		2-6	40													
		車内	340													
		古上層	280													
		上層	5,180	60	2						60	2				
		床面	300													
		床下	50													
		一括	1,680													
		上層	200													
		下層	140													
		床下	40													
12住		一括	390	20	1											
		上層	1,490													
		2-2	8													
		2-3	30													
		2-4	20													
		2-6	40													
		車内	340													
		古上層	280													
		上層	5,180	60	2						60	2				
		床面	300													

住居内出土器重量破片数 (2)

遺構名1	遺構名2	層位	占據時代	縄文時代		草縄		前期		中縄		後期		不明	
				重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数
13住	一括			2,910											
		下層		1,380											
		床直		420	32	2									
		床下		200											
	乙3			40											
	乙4			120											
14住	上層			138											
	上層			130											
	床下			180											
	一括			200											
	乙1			60											
	乙2			180											
15住	一括			550	198	3									
		床上層		225	54	4									
		上層		3,236	966	67									
		下層		672	168	34									
		床直		205	24	3									
16住	床下			227	249	19									
		一括		1,743	1,538	34									
		同構		215	51	2									
	乙1			35											
	乙2			36	1										
17住	乙3			69	47	1									
	乙4			30	2										
	上層			1,157	289	15									
	下層			687	463	28									
	床下			111	19	1									
18住	一括			2,434	189	3									
	1.1			364											
	土2			12											
	乙1			17											
	乙2			7											
19住	下層			555	390	3									
	床下			97	44	2									
	床直			542	83	2									
	一括			604	105	7									
	床直			147	4	1									
20住	床下			5	29	1									
	一括			39											
		上層		91	14	1									
		床直		490	10	2									
		床下		71	21	3									
21住	一括			384											
		下層		440	934	72									
		床直		89	66	5									
		床下		318	64	4									
	一括			1,017	607	10									
22住	乙1			2	7	1									
	乙2			15	45	4									
	下層			24	193	15									
	床直			3											
	一括			35	231	5									
23住	下層			197	45	1									
	床直			66	27	2									
	床下			64	38	3									
	上層			231	59	1									
	一括			446	1,149	47									
24住	床直			225	171	4									
	床下			17	129	2									
	乙3			15											
	床下			29	1										
	下層			294	483	35									
25住	床下			119	151	6									
	一括			354	469	15									
	上層			32	13	1									
	一括			7	3,154	29									
	床直			63	126	7									
26住	下層			264	329	17									
	床直			13	85	5									
	床下			767	365	21									
	調査			2	50	3									
	一括			1,040	1,625	77									
27住	乙3			47											
	上層			1,468	4,256	217	11	1	36	3	2,855	122	356	14	998
	下層			243	823	53					580	29	42	2	201
	床直			53	81	5					84	5			
	床下			10	1										10
28住	一括			682	623	16									

住居内出土器重量破片数(3)

遺構名1	遺構名2	層位	古墳時代	绳文時代		早期		中期		後期		小明		
				重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	
31住	乙1			264										
	乙2				33	1							33 1	
	上層			513	960	42				740	25	65 1	155 16	
	下層			215	350	14		18	1	302	12	30 1		
	床直			83	43	4				94	4		41 4	
	床下			62	34	4				446	29	12 1		
	梯			2,275	466	30				10	1			
	井			28	10	1								
	土1			60	31	3							33 3	
	土2			88										
32住	上層			364	917	38				643	24	20 1	244 13	
	下層			68	87	8				87	8			
	床直			101	521	27		6	1	185	10	28 2	362 14	
	床下			66	117	8		6	1	99	6		12 1	
	一括			422										
33住	上層			322	283	9				133	4		130 5	
	上層			655	1,476	97	22	1	57	3	1,221	85		
	下層			671	332	37			17	1	488	34	22 2	
	床直			53	122	6				122	6			
	床下			22	353	25			10	1	315	24		
	井			7										
34住	土1			5,279	370	36			7	1	272	27	91 3	
	乙1			207	66	4				66	4			
	乙2				28	3				28	3			
	乙6			15										
	一括			81	187	4				149	3	26 1		
35住	床直			431	713	39				508	26	43 3	143 10	
	床下			306	418	22			27	1	349	15	22 1	32 5
	上層			130	1,964	130				1,405	80		560 70	
	下層			150	1,620	79				1,160	47		505 80	
	床直			170	169	12				169	12			
36住	床F			24	2,596	155				2,477	152	119 3		
	乙2			192	145	9				145	9			
	乙3				17	1						17 1		
	乙4			1	6	1				6	1			
	乙6				37	3				37	3			
	乙8			16	39	2				38	2			
	乙9			4	203	6				203	6			
	井1			5	37	3				37	3			
	一括			781	489	13				489	13			
	上層			1,530	1,470	94			63	5	970	58	128 8	313 23
37住	下層			426	479	20			27	3	328	19	71 2	85 7
	床直			219	92	6			26	1	25	2		32 3
	腰孔			530	438	26				373	22	65 4		
	一括			383	89	10				40	4		53 6	
	床直			1,035	840	17			87	2	613	11	140 6	
38住	土1			170	305	10				305	10			
	乙3			60										
	上層				182	6			86	1	108	3		
	下層			920	1,227	25	17	1	126	5	619	41	145 3	318 23
	床直			200	338	23					243	13	10 1	44 9
39住	床下			177	102	10					44	4		35 5
	一括			2,458	8	1					8	1		
	土1			1,061	247	10					170	6		76 4
	土2			1,466	66	7					66	7		
	土3			259	66	3					66	3		36 2
41住	乙6			6	36	2								
	下層			313	791	66					682	56	111 10	
	床F			142	1,148	91					850	66	303 21	
42住	下層			124	48	2					48	2		
	腰孔			86									12 1	
推1	当マ穴			137	12	1								
	西側腰孔			171										

## 第4章 自然科学分析

本章では、宿尻第2遺跡で出土した炭化物、古墳時代前期の土器・粘土等の胎土分析ならびに動物遺体の分析結果報告を行なう。自然科学分析についてはすべて委託し、報告を受けている。本来であれば、報告されたものをそのまま掲載すべきであるが、紙面の都合上、文意が変わらないことに留意して編集したことをご了承願いたい。

### 第1節 2号竪穴住居跡内出土の炭化物

#### 1 出土状況と試料

出土状況は第3章第1節の2号竪穴住居跡で報告したのでここでは省略する。試料は炭化物が集中して出土した竪穴内南東隅の種実遺体混じりの土壌である。試料は調査時に洗浄した移植コテを用いて採取したものであり、大小ビニール袋31点に納めた。分析時には便宜上、試料番号として（仮No. 1～31）を付しているが、集中部における詳細な採取場所については記録をとらず、集中部を一ブロックとして捉えたことから、以下の報告による植物遺体数量等はすべて仮試料単位を加算してある。

#### 2 分析方法

試料を水に一晩没し、試料の泥化を促した。0.5 mm の籠を通して水洗し残滓を集め、双眼実体顕微鏡により観察し、種実遺体の形態的特徴を現生標本（石川茂雄1994「原色日本植物種子写真図鑑」・中山至大ほか2000「日本植物種子図鑑」）と比較し、種類を同定した。なお、細片を含み個数推定が困難である種類は表中に「+」と、数字の個数以上が推定される種類は「数字+」と表示した。分析後の植物遺体は、48時間40℃で乾燥後、乾燥剤とともに種類毎にビン詰めし保存した。未炭化個体であった試料1点については蒸留水による液浸保存とした。

#### 3 分析結果

種実遺体は1点を除き全て炭化しており、遺存状態は良好ではない。種実は落葉広葉樹のオニグルミとモモの計2種類が同定された。この他に、炭化材は5 mm 以下の細片を中心に検出された。不明炭化物は、木材組織が認められない部位・種類不明の炭化物を示すが、オニグルミやモモの細片の可能性が高い。

##### ・オニグルミ（クルミ科クルミ属）

核の完形、破片が検出された。完形個体は未炭化で灰褐色を呈する。破片個体は全て炭化しており、黒色を呈する。核は直径25～30 mm 程度の大きさの広卵形で、先端部がややとがる。明瞭な縫合線があり、縫合線に沿って半分に割れている個体が多い。表面には溝状の薄い彫文が縦方向に走り凸凹している。内部には隔壁と子葉が入る大きな2つの窪みがあり、表面は平滑である。破片には頂部や側部などを欠損する個体がみられる。

なお、完形の未炭化個体は、他の検出個体と比較して遺存状態が極めて良好である。分析処理中に核が縫合線に沿って半分に割れ、内部に黄白色の子葉が認められた。低湿地遺跡などの特別な状況下を除けば、炭化していない限り種実は残存しない場合が多く、解析に関しては炭化種子以外を除外すべきという見解がある（吉崎昌一1992「古代穀類の検出」『月刊考古学ジャーナル No. 355』）。また、オニグルミはリスやネズミなどによる動物散布型種実で、貯蔵のために土中に埋められることが知られている。以上のことから、未炭化個体は後代からの混入の可能性がある。

##### ・モモ（バラ科サクラ属）

核（内果皮）の完形、破片が検出された。いずれも炭化しており、黒色を呈し、広卵円形でやや扁平

種類名	オニグルミ				モモ				未炭化材	不明炭化物	備考			
	核		核		核		核							
状態	未炭化		炭化		未炭化		炭化							
	完形	破片	完形	破片	完形	破片	完形	破片						
1	—	—	245+	—	—	—	85	125+	*	1	未炭化は後代混入か？			

\*「+」は、細片を含むため加算推定が困難であることを示す  
\* 数字+は、数字以上の個数が推定されることを示す  
種実遺体同定表

である。先端部はわずかにとがり、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。長さ20~25 mm、幅19~22 mm、厚さ14~18 mm程度であり、現在のモモ核よりも小型で丸みを帯びる。一方の側面には縫合線が発達し、縫合線に沿って半分に割れた個体がみられた。内果皮は厚く硬く、表面は縱に流れる不規則な線状の溝があり、全体として粗いしわ状に見える。

#### 4 考察

オニグルミは、沢沿いなどの湿地に自生する落葉高木である。堅果の収穫は多く、長期保存・生食が可能であることから、縄文時代以来の植物質食糧として日本各地の遺跡から検出されている。

今回検出された多量の核破片について、鳥浜貝塚（福井県）などの低湿地遺跡の報告（島中清隆1981「クルミの形状別分類と欠損部位」『鳥浜貝塚1980年度調査概報』福井県教育委員会・南木謙彦1991「栽培植物」「古墳時代の研究4」雄山閣）例を検討すると、核頂部を破損する打撲痕を有する試料が認められる。

一方、モモは中国からの渡来系栽培植物とされ、觀賞用のほか、果実や核の中にある仁（種子）などが食用・薬用等に利用される。モモの最も古い出土例は、縄文時代前期の伊木力遺跡とされるが、弥生時代以降になると出土例が増加する（南木前掲・翁川昭平1988「穀物以外の植物食」『弥生文化の研究2』雄山閣など）。山梨県下では、身洗沢遺跡の弥生時代後期に比定される谷部からの検出例が知られている（渡辺誠1990「植物遺体」「身洗沢遺跡・一町五反遺跡」山梨県教育委員会）。

今回の炭化物集中から検出された種実は、有冂植物のオニグルミ・モモに限定されることや、堅穴住居跡内から出土していることなどを考慮すると、本遺跡周辺で栽培あるいは採取され、利用後の残滓が炭化し残存した状況が窺われる。なお、これらオニグルミ・モモの核の残存状況を観察すると、オニグルミの核は破片のみであるに対し、モモの核では完形のものが全体の約1/3を占めている。また、オニグルミの核の中には打撲痕を有するものが認められることから、核の残滓状況はこれら有用植物の利用形態を示している可能性がある。オニグルミは核内の子葉を食用とし、モモは果実を中心に食用とした状況が窺われる。

山梨県内では種粒遺体分析成果（櫛原功一1999「炭化種粒から探る食生活」「食の復元 遺物・遺

跡から何を読みとるか』岩田書院）、花粉分析・植物珪酸体分析結果から、縄文時代以降の古植生や植物質食糧の変遷等について様々な成果が蓄積されている。今回の分析ではイネは確認されなかつたが、宮ノ前遺跡（静岡市）や油田遺跡（甲西町）などでは弥生時代に相当する水田構造や水稻耕作の傍証となりうる石器・木器などが出土し、自然科学分析成果などから、当該期にすでに植物質食糧としてイネの利用も考えられる。

以上のことから、少なくとも当該期においても縄文時代以来の植物質食糧であるオニグルミや、栽培植物のモモが食用資源として利用されていた状況が確認された。（株式会社パリノ・サーヴェイ）

## 第2節 土師器の胎土分析

### 1 はじめに

宿戸第2遺跡は、八ヶ岳南麓の火山麓扇状地に連続する菲崎台地上に位置している集落遺跡である。古墳時代前期のS字状口縁台付甕（以下S字甕）や同時期の土師器などが多く出土している。周辺の伊藤塗第2遺跡での土師器の分析では、ほとんどの試料が花崗岩類の含有で特徴づけられる搬入土器であることが推定されている（河西学1991「伊藤塗第2遺跡出土土器の胎土分析」「伊藤塗第2遺跡」並崎市教育委員会）。ここでは、宿戸第2遺跡から出土した土師器を堅穴住居跡床面直上から出土した粘土塊あるいは伊藤塗第2遺跡などと比較すること目的として胎土分析を行ったので、以下に報告する。

### 2 分析試料

分析試料は、第1表に示す。土師器試料Nos. 1~6は、2・8・12・31号堅穴住居跡から出土した個体である。粘土試料Nos. 7~8は、8・21号堅穴住居跡の床面直上から出土した粘土塊の一部である。

### 3 分析方法

土器試料は、以下の方法で薄片を作製した。土器試料は、切断機で3×2.5 cm程度の大きさに切断し、残りの試料は保存した。脆弱な試料はエボキシ樹脂を含浸させて補強し、岩石薄片と同じ要領で土器の器壁に平行する薄片を作製した。さらにフッ化水素酸蒸気でエッティングし、コバルチ亞硝酸ナトリウム饱和溶液に浸してカリ長石を黄色に染色しプレバーラートとした。次に以下の方法で岩石質物成分のモード分析を行なった。偏光顕微鏡下において、ボ

インカウンタを用い、ステージの移動ピッチを薄片長辺方向に0.33 mm、同短辺方向に0.40 mmとし、各薄片で2,000ポイントを計測する。計数対象は、粒径0.05 mm以上の岩石鉱物粒子、およびこれより細粒のマトリックス（粘土）部分とし、植物珪酸体はすべてマトリックスに含めた。

#### 4 分析結果

分析結果を第2表に示す。試料全体の砂粒子・赤褐色粒子・マトリックスの割合（粒子構成）、砂粒子の岩石鉱物組成および重鉱物組成を第1図に示す。重鉱物組成では右側に基數を表示した。

変質火山岩類・玄武岩・安山岩・デイサイト（デイサイト・流紋岩を含む珪長質火山岩の総称とする）・花崗岩類・変成岩類（含ホルンフェルス）・砂岩・泥岩・珪質岩・炭酸塩岩のポイント数の総数を基數とし、各岩石の構成比を折れ線グラフに示した（第2図）。折れ線グラフのピークに基づいて土器を便宜的に分類した（第3表）。

折れ線グラフと同様の10種の岩石データを用い、甲府盆地および八ヶ岳南麓地域の河川砂・伊藤窪第2遺跡・村前東A遺跡（南アルプス市）出土S字壺などとの比較のためにクラスター分析を行った（第3図）（河西学1989「甲府盆地における河川堆積物の岩石鉱物組成－上器胎十分析のための基礎データー」「山梨考古学論集II」山梨県考古学協会、河西学・樋原功・大村昭三1989「八ヶ岳南麓地域とその周辺地域の縄文時代中期末上器群の胎十分析」「帝京大学山梨文化財研究所研究報告1」、河西学1999「村前東A遺跡出土上器胎十分析」「村前東A遺跡」山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第157集）。クラスター分析での非類似度は、ユークリッド平方距離を用い、最短距離法によって算出した。第3図のクラスターには便宜的に1~18の番号を付し、クラスター3ではさらには細分した。

以下に胎土の特徴と推定産地について以下に述べ

る。

#### No.1 (単純口縁壺)

粒子構成に占める砂粒子の含有率（含砂率）は、14%である。赤褐色粒子は0.9%と低率である。

岩石鉱物組成は、斜長石・石英・花崗岩類が多く、泥岩・ホルンフェルス・デイサイト・安山岩・変質火山岩類などを伴う。重鉱物含有率は低率で、黒雲母と不透明鉱物をわずかに伴う。第3表ではG群に、第3図では、笛吹川河川砂などとともにクラスター3 bに含まれる。主として花崗岩類が分布する地域に原料産地が推定される。類似性の認められる笛吹川流域や釜無川あるいは塩川流域などが候補地として考えられる。

#### No.2 (単純口縁小型台付壺)、No.4 (単純口縁装飾壺)、No.5 (器台)

含砂率は、9~22%と試料ごとに多様である。赤褐色粒子は低率である。

岩石鉱物組成は、斜長石・石英・花崗岩類が多く、泥岩がこれに続く。No.2, 4では、安山岩・ホルンフェルス・砂岩・変質火山岩類などを伴い、重鉱物が普通に含まれ、重鉱物組成では、黒雲母が主体で、角閃石・酸化角閃石・单斜輝石・斜方輝石・不透明鉱物などを伴う。No.5は、重鉱物含有率が低く、角閃石がわずかに計数されている。No.2, 4, 5は、第3表でG-md群に、第3図では、笛吹川水系および釜無川水系の河川砂などとともにクラスター3 cを構成している。花崗岩類を主体とし泥岩などが混ざり合うような地域に原料産地が推定される。産地候補は、遺跡の立地する菲崎台地に接する釜無川流域・塩川流域が可能性が高いが、笛吹川流域なども可能性がある。

#### No.3 (S字状口縁台付壺)

含砂率は17%である。赤褐色粒子は低率である。

岩石鉱物組成は、斜長石・石英・花崗岩類が多く、デイサイトがこれに続き、安山岩・ホルンフェ

第1表 分析資料表

分析番号	時 程	記 標	出土地点	開発番号
No.1	古墳時代前期	単純口縁壺	2号堅穴住居跡	JU 2~6
No.2	古墳時代前期	単純口縁小型台付壺	8号堅穴住居跡	JU 8~16
No.3	古墳時代前期	S字状口縁台付壺	8号堅穴住居跡	JU 8~6
No.4	古墳時代前期	単純口縁装飾壺	12号堅穴住居跡	JU 12~19
No.5	古墳時代前期	器台	31号堅穴住居跡	JU 31~2
No.6	古墳時代前期	折返し口縁壺	31号堅穴住居跡	JU 31~3
No.7	古墳時代前期	床面直上の粘土	8号堅穴住居跡	JU 8~22
No.8	古墳時代前期	床面直上の板状粘土塊	21号堅穴住居跡	JU 21年貯

第2表 土器胎土中の岩石鉱物（数字はポイント数を、十は計数以外の検出を示す）

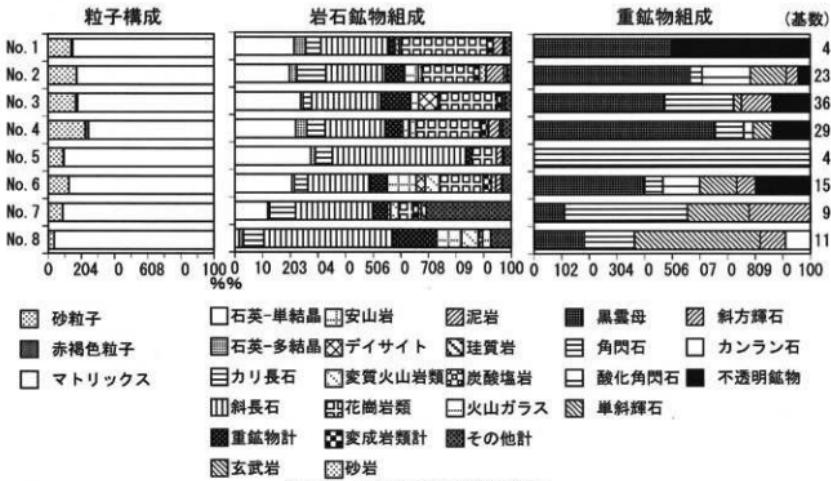
試料番号	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8
石英-单結晶	58	66	79	99	50	51	26	1
石英-自形		1						
石英-多結晶	12	9	3	17	3	2	1	1
カリ長石	15	38	16	39	11	17	16	5
斜長石	68	73	83	97	88	56	47	31
黑雲母	2	13	17	19		6	1	2
角閃石		1	9	3	4	1	4	2
綠色角閃石		4		1		2		
單斜輝石		3	1	2		2	2	5
斜方輝石		1	4			1	2	1
カングン石								1
不透明鉱物	2	1	5	4		3		
玄武岩		1						
安山岩	2	17	10	10		26		6
マタイト	4		23	2		8	2	
安賀火山岩類	2	4	2	9		13	5	4
緑色安賀火山岩類								
花崗岩類	86	64	69	106	16	39	9	1
ホルンフェルス	6	7	5	10		7	3	
変成岩類								
砂岩		8	1	1		4		
凝灰岩	19	22	3	18	4	5	2	
頁岩	1	3		4		1	3	
風化風岩								
火山ガラス-無色	1	1		1				2
火山ガラス-褐色				1				
玄武岩岩	2	3	3	7	1	2	1	3
重質鉱物	4			5	2	6	43	1
磁鐵石ブロック		2	4	2	2		8	1
その他の								
赤褐色粒子	18	8	21	36	7	2	6	3
マトリックス	1706	1652	1547	1516	1811	1751	1825	1930
合計	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
石英波浪消光	+	+	+	+	-	+	+	
パーサイト	+	+	+	+			+	
マイクロクリン	+							
玄武岩の薄片断面								
安山岩の薄片断面	cpx opx	cpx cpx	opx	cpx opx		cpx cpx		
マタイトの薄片断面	ho		cpx ho	oxyho				
安賀火山岩類岩質	AD ADD	AD AD	AD D		AD D	AD	AD	
花崗岩類含有岩質	bi ho	bi	bi, ma h	bi, ma	bi, ho	bi		
火山ガラス形態	B B	C B	B	B			A' C	
植物珪藻体	+	+	+	+	+	+	++	+

組織：oxy 穀青， ma 無色雲母， ho 角閃石， oxyho 硅酸化角閃石， cpx 単斜輝石， opx 新方輝石。

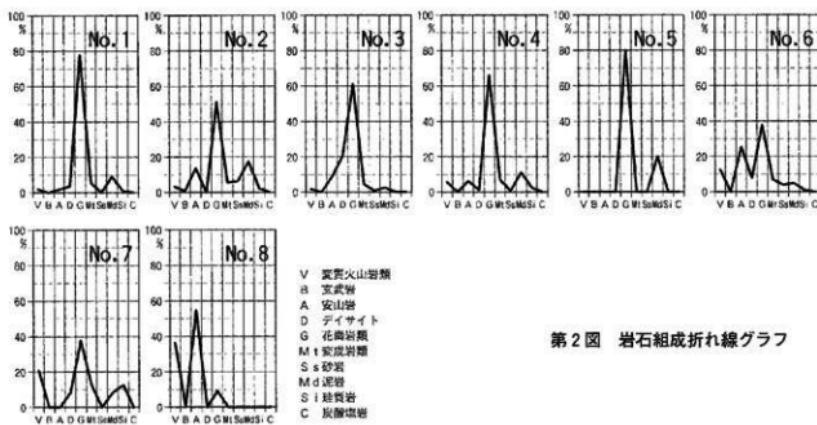
cpxq 不透明鉱物

安賀火山岩質：AD 安山岩質～マタイト質， D マタイト質

火山ガラス形態：A 波状型 Y 字状， B 斜状， C 中間型



第1図 土器胎土の岩石鉱物組織



第2図 岩石組成折れ線グラフ

第3表 折れ線グラフによる土器分類

分類	折れ線グラフの特徴	試料番号
A-v群	安山岩の第1ビーカ	変質火山岩類の第2ビーカ 8
G群	花崗岩類の第1ビーカ	湖港の第1ビーカ 1
G-v群		変質火山岩類の第2ビーカ 7
G-a群		安山岩の第2ビーカ 6
G-d群		デイサイトの第2ビーカ 3
G-m群		泥岩の第2ビーカ 2, 4, 5

ルス・泥岩・変質火山岩類などをわずかに伴う。重鉱物はやや多く含まれ、重鉱物組成では、黒雲母が主体で、角閃石・单斜輝石・斜方輝石・不透明鉱物などを伴う。なおデイサイトは、角閃石・酸化角閃石・单斜輝石などの斑晶を伴う。No. 3は、第3表でG-d群に、第3図では、荒川河川砂などとともにクラスター3 dを構成している。花崗岩類を主体としデイサイトが混ざり合うような地域に原料产地が推定される。遺跡周辺では花崗岩類を主体とする伊府岩体とデイサイト・安山岩から主となる黒富士火山とが流域に存在する荒川・塩川流域が原料の产地候補としてまず考えられる。伊藤庵第2遺跡や村前東A遺跡のS字型の多くのこのクラスターに含まれていて、関連性が想定される。

#### No. 6 (折返し口縫壺)

含砂率は12%である。赤褐色粒子は低率である。

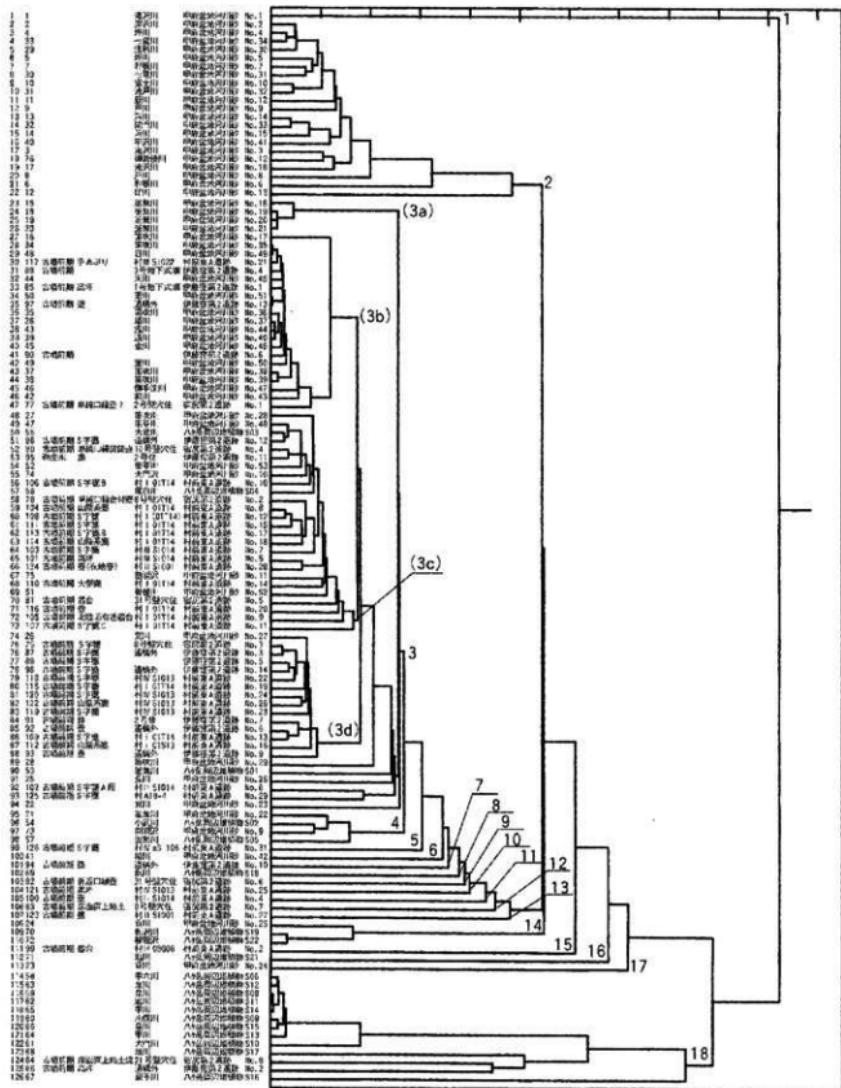
岩石鉱物組成は、斜長石・石英・カリ長石・変質鉱物が多い。安山岩がこれに続き、変質火山岩類・デイサイト・ホルンフェルス・泥岩・砂岩などを伴う。重鉱物は普通に含まれ、重鉱物組成では、黒雲母が主体で、酸化角閃石・角閃石・单斜輝石・斜方輝石・不透明鉱物などを伴う。第3表では、G-a群に、第3

図では、単独でクラスター9を構成する。第3図では他の上器や河川砂との直接的な類似性は認められない。しかし第1・2図などの傾向からNo. 6は、花崗岩類を主体とし安山岩ほかの多様な岩石が含まれる点で釜無川の組成に類似する。原料产地としては釜無川流域がより可能性が高いが、塩川流域についても可能性は残る。

#### No. 7 (8号竪穴住居跡床面直上の粘土)

含砂率は8%と低く、赤褐色粒子は極めて少ない。

岩石鉱物組成は、斜長石・石英・カリ長石・変質鉱物が多い。試料が粘土質なので粘土化によって生じたと思われる変質鉱物が多く含まれる。岩石では花崗岩類・変質火山岩類・ホルンフェルス・珪質岩・泥岩・デイサイトなどをわずかに伴う。重鉱物は普通に含まれ、重鉱物組成では、角閃石・单斜輝石・斜方輝石・黒雲母が検出されている。第3表では、G-v群に、第3図では、単独でクラスター12を構成する。No. 7は、安山岩が検出されない点で菲崎台地および八ヶ岳南麓地域の地質とは異質であるといえる。含砂率も低く粘土化が進んでいることからはっきりしないが、おそらく釜無川流域・塩川



第3図 土器のクラスター分析樹形図

流域などと関連性が高い試料であると推定される。

No. 8 (21号竪穴住居床面直上の板状粘土塊)

含砂率は8%と低く、赤褐色粒子は極めて少ないと。

岩石鉱物組成は、斜長石・重鉱物・安山岩などが多い。岩石では、変質火山岩類・火山ガラスなどが続いている。重鉱物含有率がやや高く、單斜輝石・斜方輝石・黒雲母・角閃石・カランラン石などが検出されている。第3表では、A-v群に、第3図では、八ヶ岳南麓河川砂などとクラスター18を構成している。No.8は、蘿崎市穴山町字重久での御岳第一軽石On-pm1下位の暗褐色粘土試料C04(河西ほか1989前掲)とも類似性の認められる岩石鉱物組成を示す。蘿崎台地において在地的な地質試料であると考えられる。わずかな花崗岩類の含有は、蘿崎岩屑流の流下時あるいはそれ以降の釜無川・塙川堆積物の影響が蘿崎台地形成後にもおよんでいることによるものと考えられる。

## 5 考察

古墳前期の土器部は、甲府盆地西部の本遺跡・伊藤窪第2遺跡・村前東A遺跡などを比較した場合、花崗岩類を主体とする岩石組成を示す土器が大部分である点で共通している。第3図でのクラスター3は花崗岩類を主体とする試料の集合であり、主要な土器試料は、各遺跡とも3b・3c・3dの小クラスターに分類された。これらの中の小クラスターは、それぞれ異なる複数の原料産地に対応するものと考えられる。また同一クラスター内においても複数の原料産地が存在する可能性がある。これらの原料産地は、笛吹川流域の影響も考慮しなければならないが、釜無川流域および塙川・荒川流域など遺跡に近接する地域に推定されることは重要である。また伊藤窪第2遺跡での縄文中期土器は、安山岩を主体としてアサイサイト・花崗岩類を伴うなど、八ヶ岳南麓から蘿崎台地の地質をより反映した胎土組成を示している点で古墳前期土器部の胎土組成とは明らかに異なり、十器作りの違いが認められる。近接する本遺跡・伊藤窪第2遺跡ばかりではなく村前東A遺跡まで同様な傾向が認められることは、古墳前期におけるこの地域の土器部生産と移動のシステムが類似あるいは共通したものであった可能性が考えられる。

住居跡内から出土した粘土試料Nos.7, 8は、遺跡出土土器との直接的な類似性は認められなかつた。しかし、No.7は、蘿崎台地および八ヶ岳南麓地域の地質とは異質であり、花崗岩類を主体とする

点で本遺跡分析土器試料との類似性が認められる。No.8は蘿崎台地において地元の堆積物である可能性が高い。混和について仮定すると、複数の堆積物の組成と混合比率で多様な岩石組成が想定できる。したがって粘土質堆積物について、土器原料としての利用の可能性を否定するのは多くの場合難しい。No.7中の変質鉱物は、粘土鉱物と考えられる。これらの粘土鉱物は、土器胎土の素地として調整されたものであれば、マトリックス中に分散して計数対象にならないことが予想されることから、No.7は調整済みの素地として存在していた可能性は低く、おそらく採取された自然に近い状態で存在していた可能性が考えられる。No.7は、含砂率がやや低く、岩石鉱物組成も土器とは一致しない点があることから、もしNo.7が土器原料として利用されるような場合には、砂分の混和などの調整が行われた可能性が想定できる。堆積物が土器原料として利用されていたかについて考える場合、土器製作に関わる他の考古学的事実が重要であると思われる。

## 6 おわりに

宿尻第2遺跡での分析で、古墳前期土器のほとんどが花崗岩類を主体とする組成を示し、地元の地質原料で作られたものではないことが明らかになった。住居跡床面直上の粘土では、鐵入されたものと地元の粘土とが区別された。(河西学)

## 第3節 動物遺体について

宿尻第二遺跡からは、表土直下より3体分出土した。これらの遺体には骨とともに毛がわずかに残り、さらにNo.3とした個体には「子L」と刻印されたプラスチック製の札が伴ったことから、現代に帰属する資料であることは明らかであった。

3体分のブタは、1.5×4m程の範囲内にまとまって出土した。遺体に、西側から順にNo.1、No.2、No.3と仮の番号をふり、個体ごとに取り上げた。以下に、個々の説明を行う。それぞれの残存部位については第1表に示した。

No.1の個体は、左半身を上にした状態で出土した。歯の萌出は全て完了しており、咬耗も全歯において認められるが、四肢骨の中には関節の融合がなされていない部位もある。Sus (イノシシ属) の四肢骨関節の融合時期のデータ (Elisabeth Schmid 1972 *Atlas of Animal Bones*, Elsevier Publishing Company.) を参考にすれば、生後3歳半程度の個体とみなせる。

第4表 個体別残存部位

No.1	No.2	No.3
基	基	基
年齢段階IV	年齢段階IV	年齢段階III
頭蓋骨	頭蓋骨	頭蓋骨
上顎骨 L (1123CP1234M123)	上顎骨 L (1123CP1234M123)	上顎骨 L (112×CP1234M123)
R (1123CP1234M123)	R (1123CP1234M123)	R (112×CP1234M123)
下顎骨 L (1123C×P234M123)	下顎骨 L (1123CP234M123)	下顎骨 L (1123CP234M123)
R (112×CP1234M123)	R (112×CP1234M123)	R (×××C) (×P34M123)
肩甲骨 L/R	肩甲骨 L/R	肩甲骨 L/R
上腕骨 L/R	上腕骨 L/R	上腕骨 L/R
橈骨 L/R	橈骨 L/R	橈骨 L/R
尺骨 L/R	尺骨 L/R	尺骨 L/R
掌骨 L/R	掌骨 L/R	掌骨 L/R
人形骨 L/R	人形骨 L/R	人形骨 L/R
蹠骨 L/R	蹠骨 L/R	蹠骨 L/R
膝骨 L/R	膝骨 L/R	膝骨 L/R
脛蓋骨 R	脛蓋骨 L/R	脛蓋骨 L/R
距骨 L/R	距骨 L/R	距骨 L/R
踵骨 L/R	踵骨 L/R	踵骨 L/R
中手骨・中足骨 16	中手骨・中足骨 16	中手骨・中足骨 10
第一指骨 12	第一指骨 15	第一指骨 10
第二指骨 7	第二指骨 12	第二指骨 7
第三指骨 10	第三指骨 12	第三指骨 8
手根骨・足根骨・様子骨 20	手根骨・足根骨・様子骨 40	手根骨・足根骨・様子骨 17
足根骨 (第1頭骨)	胸椎 16	胸椎 14
軸椎 (第1頸椎)	腰椎 7	腰椎 1
頸椎 5	仙椎 2	仙椎 2
胸椎 16	肋骨 L 16/R 9	肋骨 L 15
腰椎 6	腰椎 6	腰椎 5
骶椎 5		
坐骨 L 16/R 15		

年齢段階は Hayashi et al. (1977)に基づく  
L: 左側, R: 右側

なお、野生イノシシについては、歯の咬耗の程度からより詳細な年齢段階の推定が可能であるが、食性の影響を強く受けるため、飼育ブタである本資料に適用可能かどうかは疑問の余地を残す。年齢推定法 (Hayashi Yoshihiro, Nishida Takao and Mochizuki Koshi 1977 Sex and Age Determination of the Japanese Wild Boar (*Sus scrofa leucomystax*) by the Lower Teeth Jap. J.Vet. Sci., 39, 165-174.) に基づいた観察では、年齢段階IV (生後43-44ヶ月) に相当した。この個体は犬歯の大きさから雄であることが明らかである。骨格は、指骨などの小さな骨を除いてほとんど全てが揃っていた。

No. 2 の個体は、右半身を上にした状態で出土した。歯の萌出はすべて完了しており、咬耗も認められるが、No. 1 に比べて咬耗の程度は低く、四肢骨の中で関節が融合していない部位も多い。*Sus* (イノシシ属) の四肢骨関節の融合時期のデータ (Elisabeth 前掲) を参考にすれば、この個体は生後2歳半程度であったとみなせるが、全歯が萌出を完

了し、咬耗も認められることからすれば、Hayashi et al.による年齢段階IV (生後43-44ヶ月) に相当することとなり、部位によって推定年齢に齟齬をきたす。犬歯の大きさからすれば、雌であることは明らかである。頸椎が全く認められていない以外は、ほぼ全身の骨が揃っている。

No. 3 の個体は、右半身を上にした状態で出土した。上顎・下顎ともに第三後臼歯 (M 3) が最後縁までは萌出しておらず、上記の2個体より若い個体と判断できる。Hayashi et al.による年齢段階III (生後31-32ヶ月) に相当する。前述したように、「子L」という札が付いていたことも、若い個体であることの傍証となる。この個体は、頸骨、腰椎の大半と左右の上腕骨、大腿骨、左の下肢骨などといった多くの部位を欠いている。そのため四肢骨の関節融合に基づいた年齢推定には限界がある。犬歯の大きさから雌であることは明らかである。

これらの資料は飼育ブタであるとみられるが、解剖学的位置を保っていたことから、解体が施されな

い、すなわち肉の利用がなされずに遺棄されたものと判断できる。食肉用に飼育されたであろうブタが雌雄とともに3体もまとめて遺棄された理由を明らかにすることはできないが、病気の発生等が背景にあったのかもしれない。また、ここで出土しなかつた部位は、遺棄後にイヌなどによって移動されられた

た可能性が考えられる。なお、現在では通常生後6ヶ月程度の個体が食肉用として出荷されることから（田中智夫2001『ブタの動物学』東京大学出版会）、これらの資料は現在とは異なるブタ利用が当地で行われていたことの証左となろう。（内山幸子）

## 第5章 成果と課題

### 第1節 占墳時代前期の遺物について

#### ① 土器

S字状口縁台付甕B・C類併行期にあたる県史Ⅱ期（本節では混乱を避けるため県史の時期区分については「県史〇期」とする）の時期細分について、造構の重複関係を重視し、その可能性を指摘しておきたい。

#### 1 宿尻第2遺跡内の県史Ⅱ期細分事例

すでに報告したとおり、県史Ⅱ期の造構同上で重複関係にあり、かつその前後関係が明らかであるものに10・12号竪穴住居跡を挙げることができる。

12号住が古く、10号住が新しいことは土層観察により把握されている。10号住の遺物は少なく、器種組成での相違を指摘することは控えておく。

10住-1は床面から出土し、脚部を欠く。口唇部内面直下に沈線が巡る。口縁部直下に横位のハケ日があり、内面は脣部中半から上半にまで伸びるやや長めの指によるナデ調整が観察できる。県史Ⅱ期の中でも占い様相をもつ。

12住-1は床面から出土した。肩部上位に横位ハケ目があり、内面は下半から上半にかけて指頭痕が短く連続的に観察できる。12住-2は床面から出土した。器形は肩の張りが弱く腹部全体に丸みがある。肩部上位に横位ハケ目があり、内面は中半から上半にかけて指頭痕が観察できる。口唇部は端部でやや膨らむ。県史Ⅱ期の中で新しい様相をもっている。

これまで、指摘してきたS字状口縁台付甕の型式的変化と逆行したものといえる。

造構の重複の状況も隣接して重複した状況ではなく、入れ子状であり、10号住の竪穴内に土の堆積がほぼ終了し、ややくぼむ程度となってから12号住の掘削がされている。10号住の覆土形成が自然埋没、埋め戻しまたは埋め戻し後自然埋没のいずれである

かの判定はできないが、少なくとも一般的に考えられる人為的な埋め戻しの土という印象はない。12号住の建替えた結果が10号住ということだけは少なくともない。

以上のことから、覆土堆積に一定の時間差が認められるにもかかわらず、土器型式的にその変化を把握することは非常に困難であることが分かる。

次に、竪穴住居内出土の共伴例として1・3・8号竪穴住居跡の検討を加えておく。

1住-1はS字甕C類相当の特徴である口縁部端部内面が面取りと体部内面にハケ日調整が一部に見られる。一方で、外縁の横ハケは省略され、D類相当の特徴である。このようにC類とD類の両方の特徴を兼ね備えたものといえる。新しい要素をもってして時期を決定すべきであるので、D類併行期の県史Ⅲ期ということになる。1住-3は口縁部端部がやや尖るとともに横ハケがあることからC類相当の特徴であり、県史ⅢIIといえる。両者は床面に近い位置で出土していることから共伴といえる。

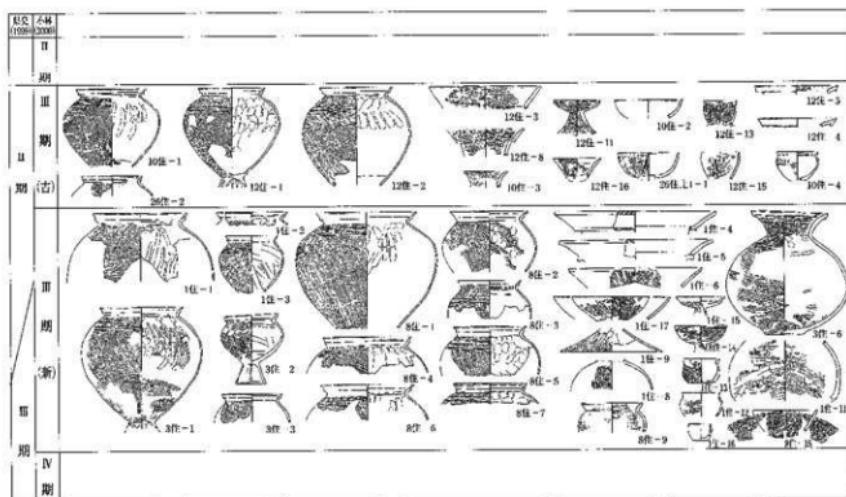
3住-1は内面にハケ日調整を大きく残す他はC類相当の特徴を持つ。3住-2は口縁部のS字状は不明瞭であり、肩部の横ハケは省略されおりD類相当の特徴を持つ。床面に接し、出土位置も近接していることから共伴といえる。

8住-1～3・5～8は脣部最大径がやや下半にあり撫で肩状の器形でありC類相当の中でもやや新しい特徴である。8住-4は肩部の横ハケが見られずD類の特徴を持つ。床面および南東隅付近から出土しており、その状況から共伴といえる。

このように、C類相当とD類相当が混在する状況が時間幅として存在していることが確認できる。もちろん覆土中の出土遺物であり、広義の廃棄行為の結果であることから完全な同時性ともいえず、セットとして捉えることが妥当であるかは今後も出土状況を吟味していかなければならない。そのことを考

慮しても、今回の出土状況は共伴性が高く、またD類相当のフォルムもD類相当のみで構成される住居複数例と比較しても、丸みを帯びており、より古段階の様相を呈している。

よって、B・C類相当のみで構成される段階とC類相当とD類相当で構成される段階の少なくとも2細分が可能であり、県史Ⅱ期と県史Ⅲ期との間に一段階の時期を設定しうる。(第95図)



第95図 宿尻第2遺跡土器変遷図

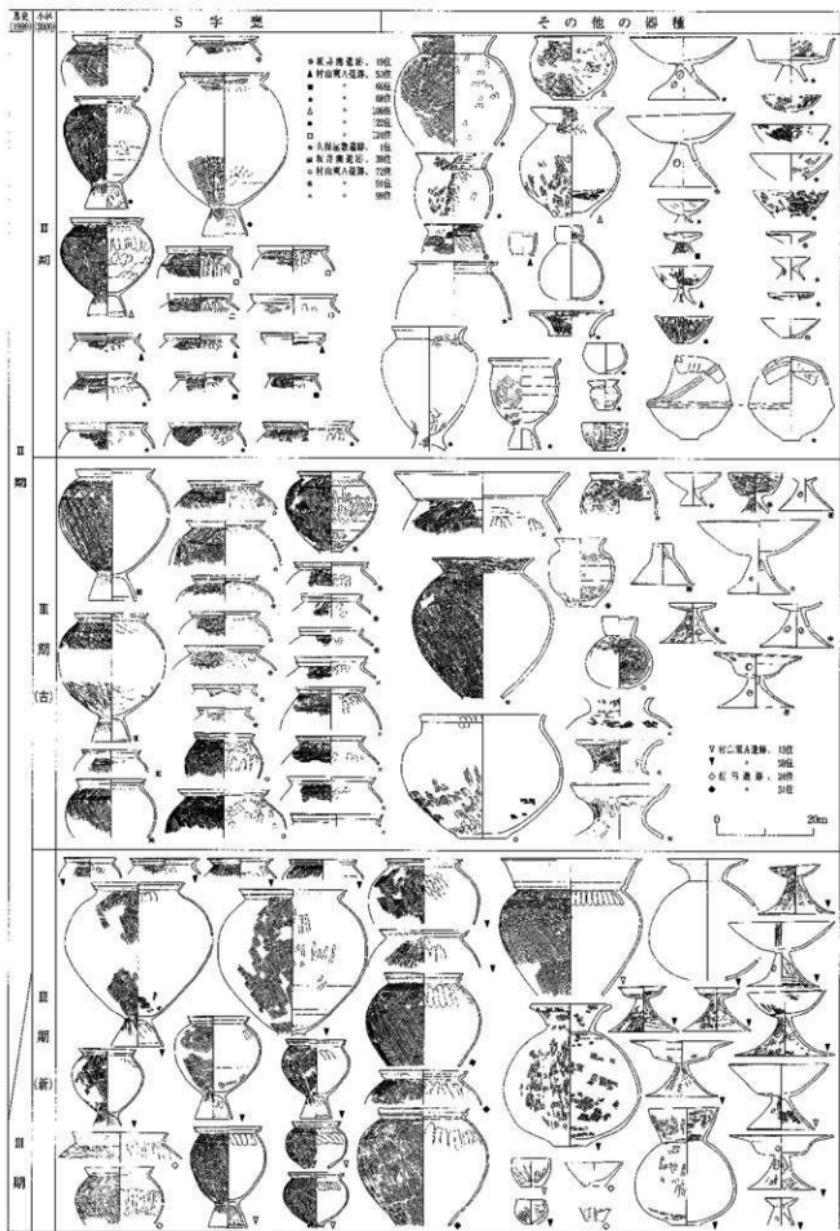
次に、当遺跡以外を検討することで、指摘した型式内容が当遺跡のみに当てはまるのか、広範囲での現象かを検証しておきたい。やはり、造構の重複関係と遺物出土位置を重視して検討する。対象とした遺跡は、宿尻第2遺跡と比較的近い距離にある久保屋敷遺跡・坂井南遺跡・伊藤窪第2遺跡・後田遺跡・立石遺跡(菲崎市)である。検証の結果、横ハケを持つ形態と持たない形態が共伴事例として報告されているものではなく、これらの遺跡では宿尻第2遺跡でみられる段階を設定し得ない状況である。

最後に、県史Ⅱ期の細分に関して、先行研究を簡単にまとめ、本遺跡の出土事例との整合性を示しておく。

本期の細分については「坂井南遺跡」の中で、B・C類相当が2細分の可能性が指摘されている(山下孝司1988「坂井南」菲崎市教育委員会)。その後、坂井南遺跡第4～6次調査の中で同じく2細分の可能性が指摘されている(小林健二1998「坂井南Ⅲ」菲崎市教育委員会)。小林健二氏は東海考古学フォーラムの中で、南アルプス市(山櫛町)の村

前東A遺跡の出土例等を検討する中で、「B類中段階併行期(小林Ⅱ期)」「B類新段階～C類併行期(小林Ⅲ期)」の大きく2期を設定し、さらに後半段階を古相と新相に細分している。これまで少なかったB類中段階の資料の増加により、「B群中段階併行期(小林Ⅱ期)」が現実的な時間軸として認識されたことによる。新古相については、横ハケを消失しながら体部球胴という古い様相を持つ形態と横ハケのある形態との共存が、村前東A遺跡や西田遺跡で出土状況を検討する中で把握されたことによる(小林健二2000「甲斐のS字壺を考える」「S字壺を考える」東海考古学フォーラム)。この小林氏による2大別3細分(「小林Ⅱ期・小林Ⅲ期古相・小林Ⅲ期新相」)が近年の研究の中で最も時間細分されている(第96図)。

宿尻第2遺跡では、小林Ⅱ期と小林Ⅲ期占相をわける積極的な資料は得られていないが、小林Ⅲ期の新古の細分は前述のとおり時間軸として十分細分が可能と考えられる。一方で本遺跡において小林Ⅲ期(B類新段階～C類併行期)と小林Ⅳ期(D類併行



第96図 県内のⅡ期～Ⅲ期の土器変遷図（小林2000を元に作成）

期)が継続しているにもかかわらず、本遺跡と比較的距離の近い坂井南遺跡ではC類相当とD類相当の共伴事例がないなど、小林Ⅲ期の細分が不分明な遺跡があることも事実である。遺跡ごとの時間幅の違いをどのように位置づけていくのかが今後の課題となろう。

#### ②住居跡内出土の石器について

古墳時代前期の堅穴住居跡内から石器が出土している。すでに報告したように、堅穴住居跡覆土内から当該期以外の土器の出土はまれであり、出土石器は古墳時代前期の所産の可能性が高い。これまでの研究で取り扱われることの少ない古墳時代前期の石器について、並崎市内の例を取り上げ、若干の見解を述べておきたい。

ここでは出土状況の把握が可能なものを基本的に取り上げることとする。取り上げる遺跡は坂井南遺跡・宿尻遺跡・後田遺跡・立石遺跡・伊藤窟第2遺跡と本遺跡の計6遺跡である。

坂井南遺跡は本遺跡と同じく七里岩台地上に占地する。

Ⅰ-7号堅穴住居跡で出土位置は不明だが石包丁と球形の磨石が出土している(以下「I」は1・2次調査報告書「坂井南」1986山下孝司・「II」は3次調査報告書「坂井南」1988山下孝司・「III」は4~6次調査報告書「坂井南遺跡Ⅲ」1997山下孝司他を示す)。

Ⅱ-12号堅穴住居跡では砥石1点、凹石1点と錐状石器2点が報告されている。錐状石器については出土位置が不明であることから分析から除外する。砥石は壺形土器の腹下半部の内部から出土している。凹石は図面および写真から判断すると壺形土器と同位置で床面に接した状況で出土している。出土十器の多くが床面より高い位置から出土していることを考えると本住居が使用されていた段階ないしは廃棄直後の遺物といえる。凹石を観察したところ縄文時代の造構から出土する円石との違いを認めることができない。しかし、同住居跡の覆土から縄文土器の出土はなく、凹石の出土を縄文時代の遺物の混入と断定することはできない。

この他に出土位置が不明だが、やや小ぶりの川原石を磨石として使用した石器はⅢ-16・19・22号住居跡・打製石斧状の石器はⅢ-1・10・14号住居跡・球形の磨石もしくは叩き石はⅢ-1号住居跡から出土している。

坂井南遺跡は縄文時代の集落跡として著名な坂井遺跡の南側に位置することから、縄文時代の石器が

混入することも十分ありうるが、出土状況を確認されたⅢ-12号住居跡などは古墳時代前期の石器として認識すべきである。

伊藤窟第2遺跡は七里岩台地上に占地し、本遺跡から東に2km先にある。堅穴住居跡が1軒確認されているが、石器の報告はない。

立石遺跡は七里岩台地と塙川にはさまれた通称藤井平に位置し、七里岩台地上に所在する遺跡との比高差は約100mである。2軒の堅穴住居跡を確認している。いずれもⅣ期に相当する。6号住居跡では床面に接して「平石」(台石か)3点が出土している。7号住居跡では炉に関連するが枕石2点と「平石」1点が出土している。この例は炉の構築物として取り扱うべきかも知れない。なお、資料についての詳説は報告されていない。

後田遺跡は立石遺跡の南に位置し、塙川の低位段丘面上に占地する。2軒の堅穴住居跡を確認している。いずれもⅠ期に相当する。C区5号住居跡の炉には枕石が用いられている。遺物出土状況写真から堅穴内に礫など出土しているが石器かどうかは不明である。

出土状況等が不明であり、住居に伴うものあるか判断しかねる事例が多いものの、住居内土坑や住居床面から出土する事例も確実に存在する。

以上のように古墳時代の石器として積極的に取り扱うべき種類としては、縄石状石器(出土状況の検討が不可欠である。特に氾濫原など遺跡内の地山に礫が含まれる場合などは安易に縄石状石器とすべきではない。細長い礫が地山に含まれない地域で出土した場合には少數の出土であっても積極的に石器として捉えるべきである)・叩石・磨石・凹石・打製石斧・石包丁・砥石・台石などを挙げることができる。

器種組成の特徴としては、石包丁や砥石など穀物類の収穫や鉄製品の加工など原始狩猟採集民では使用されない道具が含まれることである。一方で從前から使用された道具も見られる。叩石・磨石・凹石・台石などである。縄文時代以来の器種であり、古墳時代の堅穴住居跡から出土した場合に、混入という扱いを受けるかまたは対象物に違いがあることが想定されている。

古墳時代前期といえれば稲作がもたらされてから時は経ち、北巨摩地域でも稲作が開始されていたことは宮ノ前遺跡で弥生時代の水田跡が発掘されていること(『宮ノ前遺跡』1992)からも疑う余地はない。しかし、集落の居住者が完全に稲作に依拠していた

か、また北巨摩地域のほぼ全域が稲作可能であったのかは不明な点が多い。

まず、水田跡は確認されているものの極めて少ない、調査精度の問題もあるがそれを加味しても少ないことは厳然たる事実として認めざるをえない。また、水耕作に適した藤井平において古墳時代の集落跡は非常に少なく、七里岩台地上で坂井南遺跡や宿戸第2遺跡など規模の大きい集落跡が確認されている。居住地・墓域と生産域が現在のように空間的に広範囲に及ぶことも考える必要もある。しかし、七里岩台地上の遺跡と藤井平との距離は、日常的な生活上の効率性からはかけ離れており、生業の中心が稲作であったことを現状の資料では積極的に評価できない。

北巨摩地域ではS字型D類相当を伴う段階以降に遺跡の分布が広がる。S字型A類～C類相当を作う古い段階の遺跡は菲崎市の北限とほぼ重なり、八ヶ岳山麓・茅ヶ岳山麓・甲斐駒ヶ岳山麓ではみられない。ちなみに、用水施設の整った現在にあっても、北巨摩地域での水稲耕作は限定されている。

山梨県内での遺跡の分布状況を検討すると、弥生時代後期では曾根丘陵上・旧御勅使川扇状地・藤井平に遺跡が見られる。その後、古墳時代に入り、徐々に山間部（高標高）にまで遺跡が拡大する傾向がある。水耕作に適した低位段丘面を中心に遺跡があることは、水耕に依拠していたことを間接的に示している。しかし、北巨摩地域の場合現在の状況をみてもわかるが、決して水稲耕作に適した上地が多いわけではない。

北巨摩地域において古墳時代前期の遺跡が多くないことは、それだけ自然に対する開発行為の少なかったことを示すとともに無謀なことではな

い。そのような環境の中で、稲作依存型食糧獲得システムとは異なるシステム（畑作・管理栽培・狩猟採集など）の存在を考えることはできないだろうか。

## 第2節 古墳時代前期の集落様相

すでに報告したとおり、古墳時代前期（県史Ⅱ～Ⅲ期）に集中しており、その前後する段階の遺構・遺物は調査区内では確認されなかった。第5表は出土土器から判断した各住居の所属時期を示したものである。「Ⅱ」はS字型B・C類相当及びC類・D類相当が堅穴内で混在する段階を示し、出土遺物内容から細分にいたらず、大枠としての時期区分である。「Ⅱ～Ⅲ」はS字型B・C類相当からD類相当の段階と考えられるが、細分しきれないものであり、「Ⅲ」よりもさらに大きな枠組みとして捉えざるをえない時期区分である。「古墳前」は古墳時代前期（S字型の使用が認められる段階）全般を示す。なお、S字型A類相当は今回の調査で出土していないことから「Ⅱ～Ⅲ」と捉えることも可能であるが、時期決定根拠が薄いことから分けておく。「Ⅱ新」は前節で示したS字型C類の中でもやや新しい要素がみられる段階であり、「Ⅲ」を細分できたものである。同様に「Ⅱ新～Ⅲ古」は「Ⅲ」を細分できたものであり、前節で示したS字型B・C類相当とD類相当が混在する。

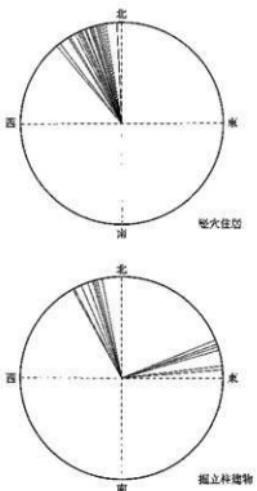
このように、土器細分に対比しきれない住居跡の存在・掘立柱建物跡所属細分時期の不確定や土器細分内での重複関係の存在などから、細分時期ごとの集落様相を提示することは非常に困難なことは認めざるをえない。そこで、Ⅱ期（Ⅲ期前半も含めて）という限定された時期の住居及び掘立柱建物の傾向

遺構名	時期（県史）	深浅
1住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
2住	Ⅱ	深
2B住	Ⅲ古	浅
3住	Ⅱ新～Ⅲ古	浅
5住	Ⅲ	浅
6住	古前	深
7住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
8住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
9住	古前	浅
10住	Ⅱ新	浅
11住	Ⅱ	浅
12住	Ⅲ古	深
13住	Ⅱ	浅

遺構名	時期（県史）	深浅
14住	Ⅱ	浅
15住	Ⅱ～Ⅲ	深
16住	Ⅱ新	深
17住	Ⅱ新	深
18住	Ⅱ～Ⅲ	浅
19住	古前	浅
20住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
21住	Ⅱ～Ⅲ	深
22住	Ⅱ～Ⅲ	浅
23住	Ⅱ～Ⅲ	浅
24住	Ⅱ新	深
25住	Ⅱ新～Ⅲ古	浅
26住	Ⅱ～Ⅲ	浅

遺構名	時期（県史）	深浅
29住	Ⅱ～Ⅲ	深
30住	古前	浅
31住	Ⅱ～Ⅲ	深
32住	Ⅱ～Ⅲ	深
33住	Ⅱ～Ⅲ	深
34住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
35住	Ⅱ～Ⅲ	浅
36住	Ⅱ～Ⅲ	深
37住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
38住	Ⅱ新～Ⅲ古	深
39住	Ⅱ～Ⅲ	浅
40住	古前	浅

第5表 住居別時期



第97図 堅穴住居・掘立柱建物主軸方位

をまとめることとする。

#### 豎穴住居跡

形態は隅のやや丸い方形であることは共通している。床面までの深さは浅いものと深いものの2種類に分けることが可能である（古墳時代の生活面がほぼ残っている地点は違いが明瞭であるが、残っていない地点では感覚的な違いであることは否めない）。深いもの19軒、浅いものの19軒と同数である。床面までの深度以外の構造も異なり、深いものは床面が極めて脆弱であり柱穴の確認できない場合が大多数を占める。堅穴内の遺物も少なく、深度の違いによる堅穴の役割の違いが存在する可能性がある。

主軸方位は第97図に示したように概ね同一方向である。掘立柱建物跡の主軸方位が東西方向と南北方向の大体2つに分かれることに対して、堅穴の主軸の一貫性が認められる。

#### 掘立柱建物跡

16棟を確認している。掘立柱建物跡とは確定できていないものの類似した柱跡があり、さらに数棟の掘立柱建物が調査区内に存在したものと考えられる。掘立柱建物跡の柱の掘り方は方形である。これまで山梨県内で方形の掘り方は奈良・平安時代以降の遺跡で確認されることが多く、古墳時代では円形が主体であり、方形は管見ではない。さらに古墳時代前期の掘立柱建物自体確認例が極端に少ない。弥

生時代後期段階を含めても少なく、静岡県東部の同時期の遺跡と同様に、堅穴住居と掘立柱建物の比率が8:1程度である（「山梨県史」）。これに対し、当遺跡では調査区範囲が遺幅と限定されるものの、38軒に対し16棟であり、高い比率で存在する。再確認の意味で掘立柱建物跡の所属時期決定の判断基準を示しておきたい。

古墳時代前期の堅穴住居跡と重複し、明らかに古いこと（貼床をはずした段階で柱穴の平面プランを確認した場合）が把握できるものである。弥生時代にまで遡る可能性もあるが、調査区内から典型的な弥生土器は出土していないことから、遡っても弥生時代終末であり、概ね堅穴住居の時期と併行すると見える。また、堅穴住居跡と重複していないことから時期決定が困難なものに関しては、周辺の出土遺物が古墳時代前期には限定されることや堅穴住居跡と重複するものと構造的に類似することなどから、同時期と捉えることができる。

共伴する遺物が皆無であることから詳細な時期決定には至らないが、古墳時代前期（S字型B・C類相当の段階前後）に方形の掘り方を伴う掘立柱建物跡が川井斐国内に存在することを把握した。このような構造を持つ同時期の掘立柱建物跡は県内では確認されていない。掘り方を方形に掘削するという行為の系譜が明らかになることで、土器以外の文化要素の流れが見えてくるのではないかだろうか。また、布堀を持つ掘立柱建物跡があるが、報文中に示したとおり、古墳時代前期では全国的にも少ない。規模は異なるが弥生時代に盛行した大型掘立柱建物跡にその形態の類似する例（日本考古学協会編『2003年滋賀大会資料集』）もあり、関連性の検討は今後必要であろう。

このように、他遺跡と比較して遺存状況が良好であったことから、浅い住居と深い住居が共存する可能性、さらに方形の掘り方を持つ掘立柱建物も共存する可能性が見えてきた。また、今後の検証も必要であるが、堅穴内から上塙ないしは上屋根の燃焼したものと捉えることのできる焼成粘土塊などが出土しており、建物構造に迫る資料もある。

### 第3節 胡桃と桃の種子について

2号堅穴住居跡の南東隅から大量に炭化種子が出土している。その状況は第3章で報告したとおりである。当遺跡に限らず桃や胡桃の炭化種子が出土す

ることは決して珍しいことではない。山梨県内では、新津氏がまとめたように、桃に關しては弥生時代前半から確実に存在していたことが知られている（新津健1999「遺跡から出土するモモ核について」『論集Ⅳ』山梨県考古学協会）。桃という主食とは成りえない食料という点や桃以外の種子がほとんど出土しない点などから、神聖な食物として捉えられている。これは、考古学的な立場ではなくても、文献史料側でも論じられていることであり、「古事記」や「日本書紀」中の、よもつひら坂の話はあまり有名である。

神聖な食物であるが、遺跡からこのような種子が出土際にその意味を考えたとき、前述した神話に必要以上に強く影響されていないであろうか。もちろん神聖な食物として取り扱われたこと自体を否定するわけではないが、果たして單一的な見解で理解するだけよいのか。

オニグルミは周知のとおり食用として縄文時代以降食されてきたものである。桃は果実を食すが種子を食用としないということが一般概念として存在している。しかし、自然科学分析の中で指摘されているとおり、核の中にある仁（種子）が食用とされている事実がある。このように、桃は果実部分の食用や神聖な食物として存在する以外に、種子食用の可能性がある。

今回の出土例は堅穴住居跡の隅からまとめて大量に出土しており、周辺にミニチュア土器があるなど祭祀性が強いことも否定できない。一方で、大量出土であることから、堅穴内から數個出土する通常の祭祀と同一視することはできない。ミニチュア土器とも一旦切り離して考え、食用食物としての貯蔵といった視点で検討を試みることとする。

2号堅穴住居跡の炭化物集中地點の土壤サンプル分析の結果、オニグルミ245点以上と桃210点以上の存在が報告された。土壤中には不明の炭化材が含まれていたが、穀物類などその他の種子は検出されていない。このことから、オニグルミと桃を選択してひとまとまりとしていたといえる。炭化物集中の意味を考えていく上で重要なことは、種子の状態なのか果実の状態であったのかである。

炭化している以上、果実の柔らかい部分はすでに残っておらず、確認しようがない。そこで、果実であった場合、報告された最低点数でのおよその容量がどの程度になるかを検討した。

現生種の果実の大きさは直径5~7cmである

（北村四郎・村田源1979『原色日本植物図鑑・木本編Ⅱ』保育社）。体積は1個あたり65~175cm<sup>3</sup>で、210個以上となると13,650~36,750cm<sup>3</sup>の量になる。出土品等をいれる通常のプラ箱では1箱分ということになる。果实同士の隙間や重みによる損傷を回避することを考えれば、それ以上となる。いかに保管しても、この量が被熱し崩れた結果を想定すると、発掘した状況とはなり得ないことは容易に想像がつく。保管の状況としては種子の状態ということになる。共伴するオニグルミは秋に収穫されることから、保管時期は秋以降と考えられる。桃果実の採取時期は夏で、オニグルミ採取時期の秋まで果实のまま保管することは不可能なことは明らかである。保管時期が同時と考えるのであれば、やはり核の状況での保管と考えた方が妥当といえる。

食料として貯蔵されていたのであれば、これだけの量が残っていることを考慮すると貯蔵直後から冬の間に、炭化する状況が起きたのではないか。炭化する状況として想定できるのは大きく分けて次の5つである。

- 1 故意に貯蔵物を焼く
- 2 不慮の事故による貯蔵物の焼失
- 3 故意に堅穴住居を焼失させた際に焼けた
- 4 故意に堅穴住居跡を焼失させた際に焼けた
- 5 不慮の事故による堅穴住居焼失の際に焼けた

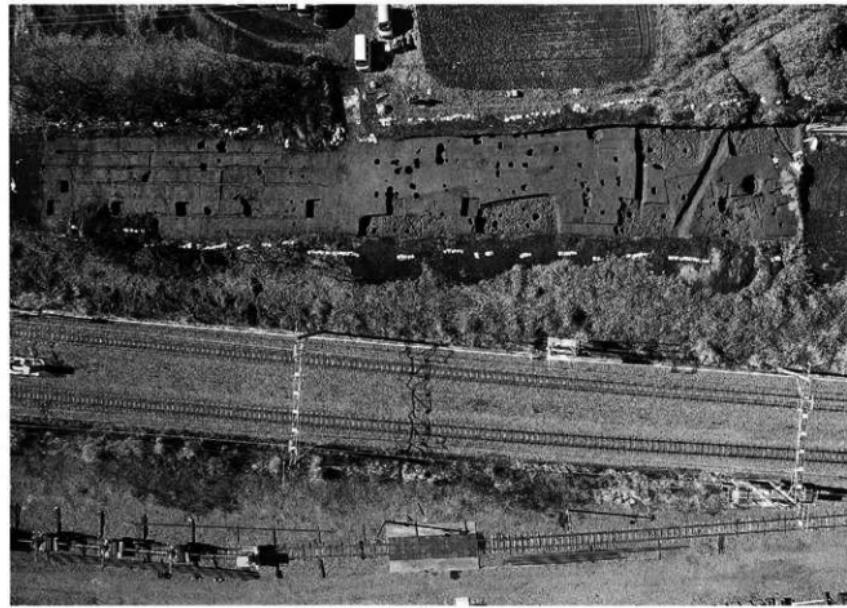
堅穴住居跡内から重木などの上部構造を示す材木の炭化したものには見られず、貯蔵物の炭化と堅穴住居（跡）の上屋構造物の炭化は同時ではないといえ、3~5の状況は考えにくい（上屋構造物の完全焼失が考えられないこともないが、その場合貯蔵物も当然遺存しないであろう）。2の場合、堅穴内で小規模な火事が発生したことになるが、堅穴住居への延焼を防ぎ消火したことになる。消火後に堅穴内に住まうには当然焼けたものは片付けると想定できることから、この状況も考えられない。消去法であるが、1の故意に貯蔵物を焼いたことが想定できる。いくつかの点について指摘したが、本遺跡に内在する意義は以上に取り上げた内容のみでない。例えば、布掘の掘立柱建物跡の位置づけ、長さ70cmを越す堅穴住居の建物構造や隣接する遺跡との関係などである。これらについては時間的な都合でまとめえないが、遺跡の歴史的な位置づけを行なうためには必要不可欠であり、来年度以降実施予定の穴山バイパス建設予定地における発掘調査成果も踏まえながら今後の検討課題としたい。

# 写 真 図 版





調査区北部 全景（北から）



調査区中央部 全景（東から）

図版 2



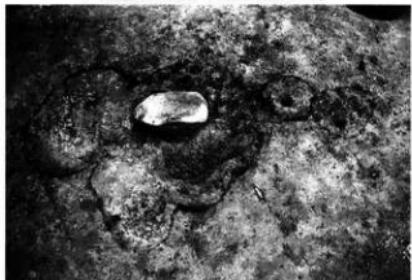
調査区南部 全景（北から）



1号竖穴住居跡 全景（東から）



1号竖穴住居跡 掘り方全景（東から）



1号竖穴住居跡 炉（南から）



2号竖穴住居跡 全景（東から）



2号竪穴住居跡 南東隅炭化物出土状況（北から）



2号竪穴住居跡 南東隅炭化物出土状況近接（北から）



3号竪穴住居跡 全景（東から）



3号竪穴住居跡 遺物出土状況（北から）



3号竪穴住居跡 掘り方全景（西から）



4号竪穴住居跡 全景（西から）



5号竪穴住居跡 掘り方全景（西から）

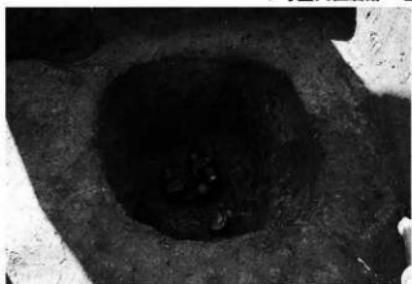


7号竪穴住居跡 全景（東から）

図版 4



7号竪穴住居跡 埋土堆積状況（東から）



7号竪穴住居跡 1号土坑遺物出土状況（北から）



8号竪穴住居跡 全景（東から）



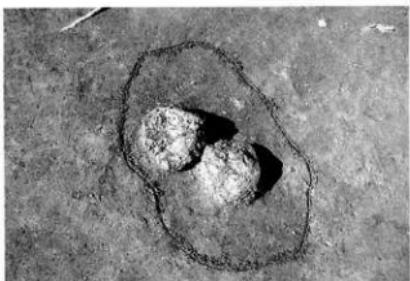
8号竪穴住居跡 埋土堆積状況（東から）



8号竪穴住居跡 遺物出土状況（北から）



9号竪穴住居跡 全景（東から）



9号竪穴住居跡 生粘土塊出土状況（南から）



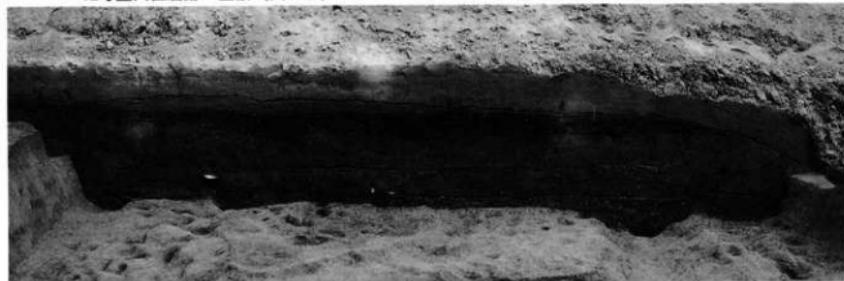
11号竪穴住居跡 掘り方全景（東から）



12号竪穴住居跡 全景（西から）



12号竪穴住居跡 掘り方全景（東から）



10・12号竪穴住居跡 埋土堆積状況（西から）



16号竪穴住居跡 全景（西から）



16号竪穴住居跡 掘り方全景（南東から）

図版 6



17・20号竪穴住居跡 挖り方全景（東から）



17号竪穴住居跡 1号土坑遺物出土状況（東から）



21号竪穴住居跡 全景（西から）



21号竪穴住居跡 1号ピット遺物出土状況（西から）



21号竪穴住居跡 2号ピット遺物出土状況（西から）



21号竪穴住居跡 床下土坑遺物出土状況（北東から）



25号竪穴住居跡 全景（西から）



25号竪穴住居跡 南部埋土堆積状況（西から）



25号竪穴住居跡 南部埋土堆積状況近接（西から）



28号竪穴住居跡 全景（東から）



29～31号竪穴住居跡 全景（南から）



29号竪穴住居跡 全景（西から）



29号竪穴住居跡 1号ピット遺物出土状況（南から）



31号竪穴住居跡 全景（南西から）



31号竪穴住居跡 北壁周辺遺物出土状況（北から）



32号竪穴住居跡 全景（東から）

図版 8



34号竪穴住居跡 全景（西から）



34号竪穴住居跡 1号土坑遺物出土状況（西から）



35号竪穴住居跡 掘り方全景（東から）



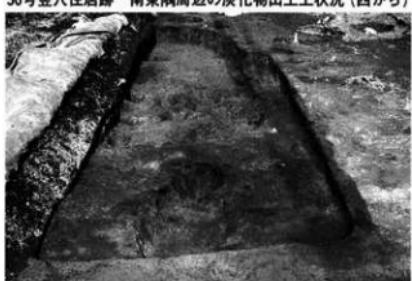
36号竪穴住居跡 全景（東から）



36号竪穴住居跡 南東隅周辺の炭化物出土上状況（西から）



36号竪穴住居跡 掘り方全景（東から）



37・38号竪穴住居跡 全景（東から）



38号竪穴住居跡 1号土坑遺物出土状況（東から）



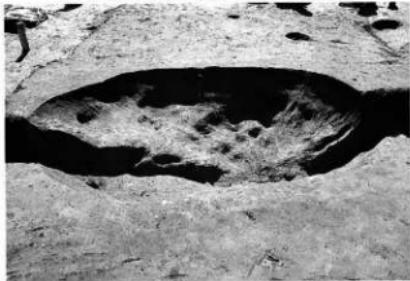
1号掘立柱建物跡 全景（北から）



2~4号掘立柱建物跡 全景（北から）



11号掘立柱建物跡 全景（南から）



E 6グリッド内1号土坑 全景（北から）



K 34グリッド内1号土坑 遺物出土状況（東から）



井戸跡 石組み状況（南から）



4号溝 埋土堆積状況（東から）



G 10グリッド内1号土坑 全景（北から）

図版10



4号溝 全景（西から）



4号溝階段状造構（西から）



1・2号竪穴住居跡内出土遺物



3号竪穴住居跡内出土遺物



7号竪穴住居跡内出土遺物



8・10・12号竪穴住居跡内出土遺物



17・21号竪穴住居跡内出土遺物



29・31・32・23号竪穴住居跡内出土遺物



34号竪穴住居跡内出土遺物



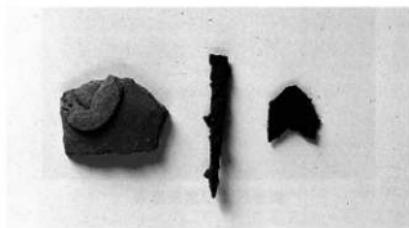
36・38号竪穴住居跡内出土遺物



34 K グリッド内 1号土坑出土土器



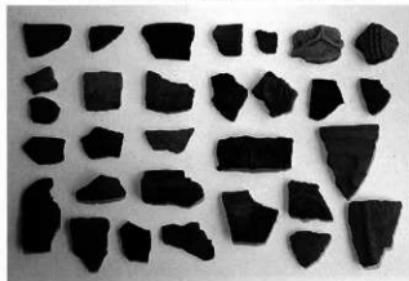
16・21号竪穴住居跡内出土土壁状焼成粘土塊



18・8・36号竪穴住居跡出土 土器・鐵鎌



縄文時代前期初頭土器



縄文時代中期土器



縄文時代中～後期土器

図版12



31号竪穴住居調査風景



29号竪穴住居周辺調査風景



8号竪穴住居跡調査風景



調査区北部調査風景



29号竪穴住居跡 1号ピット調査風景



参加調査メンバー

**報 告 書 抄 錄**

ふりがな	しゅくじりだいにいせき					
書名	宿尻第2遺跡					
副書名	県道茅野小淵沢軽崎線（穴山バイパス）建設に伴う緊急発掘調査報告書					
編著者名	岡田俊明、河西学、内山幸子、パリノ・サーヴェイ株式会社					
編集機関	韮崎市教育委員会					
発行機関	韮崎市教育委員会					
住所	〒407-8501 山梨県韮崎市水神1丁目3番1					
発行年月日	2004(平成16)年3月25日					
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号			調査原因
しゅくじりだい にいせき	にらさきしあな やまちょうあざ しゅくじり	19207	S-1	35°45'12"	138°24'46" 2002年4月 1日～ 2004年3月 31日 (整理等含む)	2,600m <sup>2</sup>
宿尻 第2遺跡	韮崎市穴山 町宇宿尻					県道建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な造構	主な遺物	特記事項	
宿尻 第2遺跡	集落跡	縄文時代	土坑	縄文土器・石器他		
		古墳時代	竪穴住居跡・掘立柱建物 跡・溝	土師器・石器	布掘立柱建物跡・建物 構造に関連する焼成粘土 塊など	
		平安時代	竪穴住居跡	土師器・石器		
耕地等	近世以降	土坑・溝	陶磁器他	連続方形土坑		

Shukujiri No.2 Site

**宿尻第2遺跡**

県道穴山バイパス建設に伴う発掘調査報告書

発行日 平成16(2004)年3月31日

発行 韮崎市教育委員会

〒407-8501 山梨県韮崎市水神1 3 1

TEL 0551-22-1111 (内224)

印刷 株式会社サンニチ印刷

〒400-0058 山梨県富士吉田市608-1

TEL 055-241-1111

